

bizhub 501/421/361

ユーザーズガイド プリンター機能編 [IC-207]



はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

bizhub 501/421/361 にオプションのイメージコントローラー (IC-207) を装着すると、Windows 対応コンピューターまたは Macintosh から直接印刷することができます。

このユーザーズガイドには、イメージコントローラーのプリンター機能や操作方法、使用上のご注意などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、必要に応じてこのユーザーズガイドをお読みください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず別冊の「安全にお使いいただくために」をお読みください。

商標およびライセンスについては、別冊の「商標／ライセンスについて」をごらんください。

ユーザーズガイド内で使用しているイラストなどは、実際の装置とは異なる場合があります。

目次

はじめに	1
本書について	8
本書の構成	8
表記について	8
ページの見かた	9
マニュアル体系について	10
印刷物のユーザーズガイド	10
ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	10

第1章 プリンター機能の概要

1.1 イメージコントローラーとは	1-2
1.1.1 イメージコントローラーの役割	1-2
1.1.2 印刷の流れ	1-3
1.1.3 操作パネル	1-4
1.2 動作環境	1-6
1.2.1 接続できるコンピューターと OS	1-6
1.2.2 接続に使用するインターフェース	1-7
1.3 セットアップの流れ	1-8
1.3.1 ネットワーク接続の場合	1-8
1.3.2 ローカル接続の場合	1-9
1.4 CD-ROM の構成	1-10

第2章 インストールする前にお読みください

2.1 はじめに	2-2
2.2 各 OS にインストールできるプリンタードライバー	2-3
2.3 各 OS で選択可能な接続方法	2-5
2.3.1 Windows 2000/XP/Server 2003	2-5
2.3.2 Windows Vista/7/Server 2008	2-7
2.3.3 Windows NT4.0	2-8
2.3.4 Mac OS 9.2	2-8
2.3.5 Mac OS 10.2/10.3/10.4/10.5	2-8
2.3.6 Mac OS 10.6	2-9
2.3.7 NetWare について	2-9

第3章 インストーラーによる簡易インストール (Windows)

3.1 インストーラーについて	3-2
3.1.1 インストーラーの動作環境	3-2
3.2 インストーラーによる簡単インストール手順	3-3
3.2.1 本機の設定	3-3
3.2.2 プリンタードライバーをインストール	3-3

第4章 プリンタの追加ウィザードによる手動インストール

4.1 Windows XP/ Server 2003	4-2
4.1.1 ネットワーク接続 (LPR/Port9100) の場合	4-2
4.1.2 ネットワーク接続 (SMB) の場合	4-5
4.1.3 ネットワーク接続 (IPP/IPPS) の場合	4-8
4.1.4 ローカル接続の場合	4-10
4.2 Windows Vista/7/Server 2008	4-11
4.2.1 ネットワーク接続 (LPR/Port9100/SMB) の場合	4-11

4.2.2	ネットワーク接続 (IPP/IPPS) の場合	4-16
4.2.3	ネットワーク接続 (Web サービスプリント) の場合	4-19
4.2.4	ローカル接続の場合	4-22
4.3	Windows 2000	4-26
4.3.1	ネットワーク接続 (LPR/Port9100) の場合	4-26
4.3.2	ネットワーク接続 (SMB) の場合	4-29
4.3.3	ネットワーク接続 (IPP/IPPS) の場合	4-30
4.3.4	ローカル接続の場合	4-32
4.4	Windows NT 4.0	4-33
4.4.1	ネットワーク接続 (LPR) の場合	4-33

第 5 章 Macintosh のインストール

5.1	Mac OSX 10.2/10.3/10.4/10.5/10.6	5-2
5.1.1	プリンタードライバーのインストール	5-2
5.1.2	プリンターの選択と接続 (OS 10.4/10.5/10.6)	5-3
5.1.3	プリンターの選択と接続 (OS 10.2/10.3)	5-9
5.2	Mac OS 9.2	5-15
5.2.1	プリンタードライバーのインストール	5-15
5.2.2	プリンターの選択と接続	5-15

第 6 章 NetWare を使用する場合のインストール

6.1	NetWare	6-2
6.1.1	ネットワーク設定	6-2
6.1.2	Windows クライアント設定	6-2

第 7 章 プリンタードライバーのアンインストール

7.1	Windows	7-2
7.1.1	アンインストールプログラムによるアンインストール	7-2
7.1.2	インストーラーによるアンインストール	7-2
7.1.3	手動アンインストール	7-3
7.2	Macintosh	7-5
7.2.1	Mac OS X の場合	7-5
7.2.2	Mac OS 9.2 の場合	7-6

第 8 章 Windows 用 PCL/PS/XPS ドライバーの印刷機能

8.1	印刷操作	8-2
8.2	プリンタードライバーの初期設定	8-3
8.2.1	プロパティ画面の表示方法	8-3
8.2.2	装置情報タブ	8-3
8.2.3	初期設定タブ	8-4
8.2.4	デフォルト設定の登録	8-5
8.3	共通項目	8-6
8.4	設定項目詳細	8-7
8.4.1	基本設定タブ	8-7
8.4.2	レイアウトタブ	8-9
8.4.3	仕上げタブ	8-10
8.4.4	カバーシート / 挿入紙タブ	8-11
8.4.5	スタンプ / ページ印字タブ	8-12
8.4.6	画像品質タブ	8-16

8.4.7 その他タブ	8-17
-------------------	------

第 9 章 Mac OS X の印刷機能

9.1 印刷操作	9-2
9.2 プリンタードライバーの初期設定	9-3
9.2.1 オプション設定	9-3
9.2.2 デフォルト設定の登録	9-4
9.3 共通項目	9-5
9.4 カスタムサイズの追加方法	9-6
9.5 設定項目詳細	9-7
9.5.1 ページ属性	9-7
9.5.2 印刷部数と印刷ページ	9-8
9.5.3 出力方法	9-8
9.5.4 レイアウト / 仕上げ	9-11
9.5.5 給紙トレイ / 排紙トレイ	9-13
9.5.6 カバーシート / OHP 合紙	9-14
9.5.7 ページ単位設定	9-15
9.5.8 スタンプ / ページ印字	9-16
9.5.9 画像品質	9-20

第 10 章 Mac OS 9.2 の印刷機能

10.1 印刷操作	10-2
10.2 プリンタードライバーの初期設定	10-3
10.2.1 オプション設定	10-3
10.2.2 デフォルト設定の登録	10-4
10.3 設定項目詳細	10-5
10.3.1 ページ属性	10-5
10.3.2 カスタム用紙サイズの設定	10-5
10.3.3 一般設定	10-6
10.3.4 レイアウト (ページ割付)	10-6
10.3.5 プリンター固有機能 (Finishing Option 1 ~ 3)	10-7

第 11 章 機能詳細説明

11.1 確認印刷	11-2
11.1.1 プリンタードライバーの設定	11-2
11.1.2 操作パネルからのジョブ呼び出し	11-3
11.2 セキュリティー印刷	11-5
11.2.1 プリンタードライバーの設定	11-5
11.2.2 操作パネルからのジョブ呼び出し	11-8
11.3 ボックス保存	11-12
11.3.1 プリンタードライバーの設定	11-12
11.3.2 操作パネルからのジョブ呼び出し	11-15
11.4 ユーザー認証を設定している本機で印刷する	11-17
11.4.1 プリンタードライバーの設定	11-17
11.5 部門管理機能を使用している本機で印刷する	11-19
11.5.1 プリンタードライバーの設定	11-19
11.6 認証 & プリント	11-22
11.6.1 プリンタードライバーの設定	11-22
11.6.2 操作パネルからのジョブ呼び出し	11-25

11.7	暗号化ワードをユーザー設定する	11-28
11.7.1	本機の設定	11-28
11.7.2	プリンタードライバーの設定	11-29
11.8	ドライバー設定を保存する	11-32
11.8.1	プリンタードライバーの設定	11-32
11.8.2	設定を呼び出すには	11-33
11.8.3	設定を編集する	11-33
11.8.4	ドライバー設定のインポート／エクスポート	11-34
11.9	bizmic PS Lite によるプリントデータスプール機能	11-35
11.9.1	印刷データをスプールする	11-35
11.9.2	複合機から印刷する	11-36

第 12 章 操作パネルでの各種設定

12.1	ユーザー設定の基本操作	12-2
12.1.1	ユーザー設定画面を表示させるには	12-2
12.2	ユーザー設定	12-3
12.2.1	PDL 設定	12-3
12.2.2	印刷部数	12-4
12.2.3	画像の向き	12-5
12.2.4	スプール設定	12-5
12.2.5	用紙サイズ変換	12-6
12.2.6	バナーシート設定	12-7
12.2.7	開き方向 / とじ方向補正	12-8
12.2.8	白紙抑制	12-9
12.2.9	給紙トレイ	12-10
12.2.10	用紙サイズ	12-11
12.2.11	両面印刷	12-11
12.2.12	開き方向 / とじ方向	12-12
12.2.13	ステープル	12-13
12.2.14	パンチ	12-14
12.2.15	バナーシート給紙トレイ	12-14
12.2.16	フォント設定	12-15
12.2.17	シンボルセット	12-16
12.2.18	フォントサイズ	12-17
12.2.19	ライン / ページ	12-18
12.2.20	CR/LF マッピング	12-19
12.2.21	PS エラー印刷	12-20
12.2.22	XPS デジタル署名検証	12-21
12.2.23	TIFF/PDF 画像用紙設定	12-22
12.2.24	レポート出力	12-23
12.2.25	画像シフト設定	12-24
12.2.26	スタンプ設定	12-25
12.3	管理者設定の基本操作	12-27
12.3.1	管理者設定画面を表示させるには	12-27
12.4	管理者設定	12-28
12.4.1	受信印刷出力設定	12-28
12.4.2	排紙トレイ設定	12-29
12.4.3	セキュリティー文書削除	12-29
12.4.4	セキュリティー文書削除時間設定	12-30
12.4.5	認証＆プリント削除時間設定	12-31
12.4.6	認証＆プリント印字後削除設定	12-31

12.4.7	認証&プリント設定	12-32
12.4.8	認証&プリント動作設定	12-34
12.4.9	認証指定なし印刷	12-35
12.4.10	I/F タイムアウトの設定	12-36
12.4.11	XPS エラー印刷	12-37
12.4.12	OpenAPI 設定の認証設定	12-38
12.4.13	プリントデータキャプチャー	12-39
12.4.14	セキュリティー印刷のみ許可	12-40
12.4.15	ドライバーパスワード暗号化設定	12-41

第 13 章 PageScope Web Connection

13.1	PageScope Web Connection の使いかた	13-2
13.1.1	動作環境	13-2
13.1.2	アクセス方法	13-2
13.1.3	Web ブラウザーのキャッシュ機能について	13-3
13.1.4	画面の構成	13-4
13.2	ログインとログアウト	13-6
13.2.1	ログインとログアウトのながれ	13-6
13.2.2	ログアウト	13-8
13.2.3	ログイン	13-8
13.3	ユーザー モードの概要	13-11
13.3.1	情報表示	13-11
13.3.2	ジョブ確認	13-12
13.3.3	ボックス	13-12
13.3.4	ダイレクトプリント	13-13
13.3.5	宛先登録	13-13
13.4	管理者 モードの概要	13-14
13.4.1	メンテナンス	13-14
13.4.2	セキュリティー	13-15
13.4.3	ボックス	13-16
13.4.4	プリンター設定	13-17
13.4.5	宛先登録	13-18
13.4.6	ネットワーク	13-19

第 14 章 トラブルシューティング

14.1	印刷できない	14-2
14.2	設定できない／設定したとおりに印刷できない	14-4
14.2.1	プリンタードライバーの設定が機能しない	14-4
14.2.2	その他	14-5
14.2.3	エラーメッセージ	14-5

第 15 章 付録

15.1	製品仕様	15-2
15.2	コンフィグレーションページ	15-5
15.3	フォントリスト	15-6
15.3.1	PCL フォントリスト	15-6
15.3.2	PS フォントリスト	15-7
15.3.3	デモページ	15-8
15.4	PPD ドライバー (Linux 用、アプリケーション用)	15-9

15.4.1	PPD ドライバーの種類	15-9
15.4.2	Linux 用 PPD ドライバーについて	15-9
15.4.3	アプリケーション用 PPD ドライバーについて	15-10
15.5	BMLinkS 統合プリンタードライバー	15-11
15.5.1	仕様とプリンタードライバーの入手方法	15-11
15.5.2	印刷する	15-11
15.6	用語集	15-12

第 16 章 索引

16.1	使用別索引	16-2
16.2	項目別索引	16-5

本書について

本書は、コニカミノルタイメージコントローラーで実現できるプリンター機能のユーザーズガイドです。コピー機能、スキャナー機能、ボックス機能、ファクス機能についてはそれぞれのユーザーズガイドをごらんください。

本書はコンピューターの基本操作、および本機の基本操作を理解しているお客様を対象としています。Windows または Macintosh の各オペレーティングシステムの操作方法や、アプリケーションの操作方法は、それぞれの操作説明書をごらんください。

本書の構成

本書は、以下の章から構成されています。

- 第1章 プリンター機能の概要
- 第2章 インストールする前にお読みください
- 第3章 インストーラによる簡易インストール（Windows）
- 第4章 プリンタの追加ウィザードによる手動インストール
- 第5章 Macintosh のインストール
- 第6章 NetWare を使用する場合のインストール
- 第7章 プリンタードライバーのアンインストール
- 第8章 Windows 用 PCL/PS/XPS ドライバーの印刷機能
- 第9章 Mac OS X の印刷機能
- 第10章 Mac OS 9.2 の印刷機能
- 第11章 機能詳細説明
- 第12章 操作パネルでの各種設定
- 第13章 PageScope Web Connection
- 第14章 トラブルシューティング
- 第15章 付録
- 第16章 索引

表記について

名称および製品名	本書の表記
bizhub 501/421/361、プリンター本体（本機）	本機、プリンター
内蔵ネットワークコントローラー	ネットワークコントローラー
イメージコントローラー、本機を組み合わせたプリントティングシステム	プリントティングシステム
Microsoft Windows	Windows

ページの見かた

■ 原則

機能を使用するときに必要なオプションを説明しています。

項目タイトルの概要を説明しています。



操作上の注意事項です。
指示内容をよく読んで、必ず行ってください。

8.1 印刷操作

通常、印刷はアプリケーションソフトウェアから指定します。
【原則】
ファックス機能を利用する場合は、オプションのFAXキットが必要です。

- 1 本機とコンピューターをUSBケーブルで接続後、コンピューターを起動します。
- 2 アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル]をクリックしてメニューから「印刷」(または「プリント」)をクリックします。
○メニューがない場合は、[印刷]ボタンをクリックします。
- 3 「プリンタ名」(または「プリンタの選択」)で印刷したいプリンタ名が選択されているか確認します。
○目的のプリンターが選択されていないときは、クリックして選択します。



- 4 印刷するページ範囲や部数を設定します。
- 5 印刷結果を確認するときは、ジョブリストから確認するジョブを選び、操作パネルの【確認コピー】を押します。
○1部印刷されますので、印刷結果を確認します。

- 6 [印刷]をクリックします。
コピー機のデータランプが点滅します。

必ず守ってください
コンピューターの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

ひとこと
[印刷]画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

詳しく説明します
[印刷]画面で「プロパティ」や「詳細設定」をクリックすると、プリンタードライバーの設定画面が表示され、各種機能が設定できます。詳しくは、「[\[設定項目詳細\]](#) (p. 8-7)」をごらんください。

●
・プリンタードライバーの機能や設定項目については、「[\[設定項目詳細\]](#) (p. 8-7)」をごらんください。
・プリンタードライバーには、設定した内容を「お気に入り」として保存する機能もあります。詳しくは、「[\[共通項目\]](#) (p. 8-6)」をごらんください。

「 」
コンピューター画面上に表示されるウインドウ、ダイアログボックス、アイコンなどの機能名称を示します。

【 】
操作パネル(タッチパネルを除く)のキー名称、電源スイッチなどを示します。

[]
コンピューター画面上に表示されるボタン名称、タッチパネル上のキー名称を示します。



参照先を指示します。
必要に応じてごらんください。

8-2 Windowsの印刷機能

操作手順や内容に関して、さらに詳しく説明しています。

ひとこと

作業手順や内容に関して、参考となることや補足事項などが書かれています。
お読みになることをおすすめします。

(このページは実際には存在しません。)

マニュアル体系について

本製品のユーザーズガイドには、印刷物の冊子でご提供するユーザーズガイドと、ユーザーズガイド CD に収められた PDF のユーザーズガイドがあります。

印刷物のユーザーズガイド

●すぐに使える操作ガイド

すぐに本製品をご利用いただけるよう使用頻度の高い機能や操作方法を紹介しています。

本製品をはじめてお使いになる場合や機能の概要を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド

●ユーザーズガイド（コピー機能編）

本製品のコピー機能およびメンテナンス方法について記載しています。

用紙と原稿について、便利な応用コピーのとりかた、消耗品の交換方法、紙づまりなどのトラブル対処方法を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（拡大表示機能編）

拡大表示機能の操作について記載しています。

拡大表示画面でのコピー機能、スキヤナー機能、G3 ファクス機能、ネットワークファクス機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（プリンター機能編（IC-207））<本書>

オプションのイメージコントローラーで設定できるプリンター機能について記載しています。

プリンター機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（ボックス機能編）

オプションのハードディスクを利用したボックス機能について記載しています。

ボックスへのデータ保存、ボックスからのデータ取り出し、データ転送方法を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編）

ネットワークスキャン機能、G3 ファクス機能、ネットワークファクス機能について記載しています。

E メールや FTP などによるネットワークスキャン機能や G3 ファクス、インターネットファクス、IP アドレスファクス、SIP ファクスの使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ファクス機能をご利用になるには、別途オプションの FAX キットを購入していただく必要があります。

●ユーザーズガイド（ファクスドライバー機能編）

コンピューターから直接ファクス送信を行うファクスドライバーの機能について記載しています。

PC-FAX の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ファクス機能をご利用になるには、別途オプションの FAX キットを購入していただく必要があります。

●ユーザーズガイド（ネットワーク管理者編）

ネットワークを利用した各機能について、おもに PageScope Web Connection を使用した設定方法を記載しています。

ネットワーク機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（拡張機能編）

オプションのライセンスキットを登録することで有効化して利用できる各機能と、アプリケーションと連携させることで利用できる各機能の概要と使い方について記載しています。

各機能を効果的にご使用いただくために、このユーザーズガイドをごらんください。

●商標／ライセンスについて

商標およびライセンスについて記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

第1章

プリンター機能の概要

本機のプリンター機能を実現するイメージコントローラーの概要と接続環境を説明します。

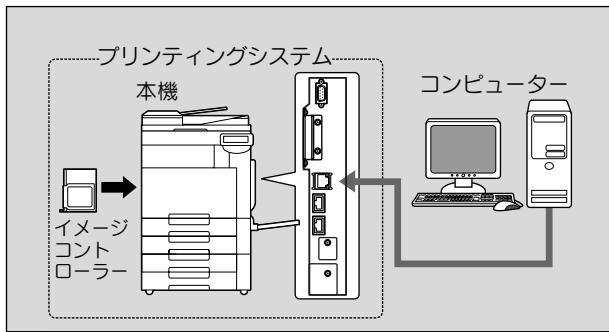
1.1	イメージコントローラーとは	1-2
1.2	動作環境	1-6
1.3	セットアップの流れ	1-8
1.4	CD-ROM の構成	1-10

1.1 イメージコントローラーとは

イメージコントローラーは、本機で印刷機能、ネットワーク印刷機能を実現するための装置です。

1.1.1 イメージコントローラーの役割

オプションのイメージコントローラーを装着することで、本機がプリントシステムとなり、本機とつながっているコンピューター上のアプリケーションから印刷ができます。本機をネットワークプリンターとして使用するときも、コンピューター上のアプリケーションから印刷ができます。



イメージコントローラーは、以下の機能を持っています。

- コンピューター上のプリンタードライバーから送られたデータを印刷する機能
- TCP/IP (IPv4/IPv6)、IPX/SPX、AppleTalkなどのネットワークプロトコルをサポート
- SMB 印刷 (Windows 印刷)、LPR 印刷、IPP 印刷などを利用した、ネットワーク経由による印刷機能
- ネットワーク経由での、クライアント PC からの本機／イメージコントローラーの設定 (Web ブラウザー使用)
- 印刷枚数の管理 (ユーザー認証・部門管理機能)
- コンピューターを使用したファクス機能 (PC-FAX 送信)

■ 原則

ファクス機能を利用する場合は、オプションの FAX キットが必要です。



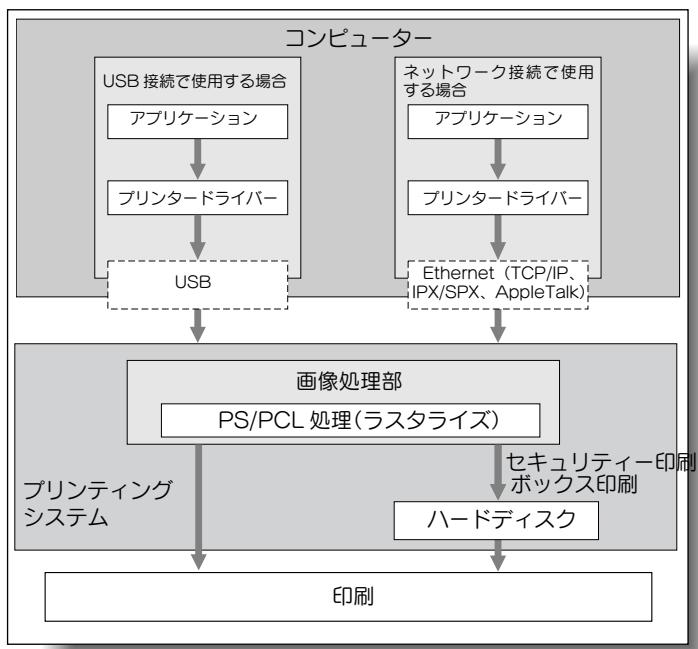
PC-FAX 送信については、「ユーザーズガイド ファクスドライバーモード編」をごらんください。

1.1.2 印刷の流れ

プリンターとして本プリントシステムを使用するときの大まかな処理の流れは以下のとおりです。

アプリケーションから送られた印刷コマンドは、プリンタードライバーが受け取ります。

USB 接続で使用する場合は USB インターフェース、ネットワーク接続で使用する場合は Ethernet (TCP/IP、IPX/SPX、AppleTalk) を通じてデータが本機に送られ、本機からイメージコントローラに渡されます。イメージコントローラでは画像のラスタライズ（出力する文字や画像をビットマップデータに展開する）処理が行われます。このデータが本機から印刷されます。



ひとこと

USB 接続でプリントするには、別途ローカルインターフェースキットが必要です。

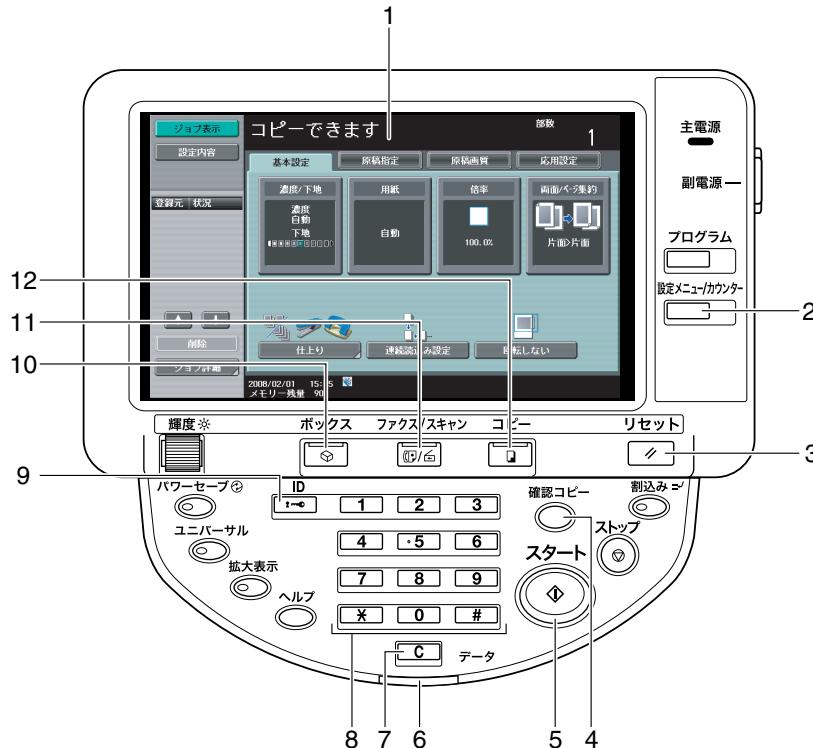
プリンターとして機能している途中で、コピー機能やネットワークスキャン機能の原稿読み取りを行うことができます。コピー機能を使用するときは、操作パネルの【コピー】を押すと、コピーができるようになります。

コピー中に印刷ジョブを受信したときは、データが本機のメモリに蓄積されます。コピーが終了すると自動的に出力を開始します。

1.1.3 操作パネル

プリンタードライバーの設定は主にコンピューターで行いますが、本機の操作パネルでフォントリストの印刷やネットワークコントローラーの設定、印刷時の初期設定ができます。

プリンター機能で利用する主なキーを紹介します。



No.	名称	説明
1	タッチパネル	各設定画面やメッセージが表示されます。 タッチパネルに直接タッチして各設定を行います。
2	【設定メニュー / カウンター】キー	設定メニュー画面、セールスカウンタ画面に切換わります。
3	【リセット】キー	操作パネル、タッチパネルで入力した全ての設定（登録した設定は除く）がリセットされます。
4	【確認コピー】キー	確認印刷ジョブが蓄積されているときに確認印刷を行います。
5	【スタート】キー	選択されている機能の動作を開始するときに押します。本機が動作を開始できる状態のときは、【スタート】が青色に点灯します。【スタート】がオレンジ色に点灯しているときは動作を開始できません。
6	データランプ	印刷ジョブやファクスの受信中は、青色に点滅します。 印刷ジョブやファクスの印刷待ちおよび印刷中は、青色に点灯します。
7	【C】（クリア）キー	テンキーで入力した数値や画面のキーボードで入力した文字が取消されます。
8	テンキー	数字を入力します。管理者パスワードや各種設定値の入力に使用します。

ひとこと

印刷時の初期設定を変更する場合は、設定メニューで行います。



確認印刷について詳しくは、「[確認印刷](#)」(p. 11-2) をご覧ください。

No.	名称	説明
9	【ID】キー	ユーザー認証および部門管理を設定している場合は、ユーザー名とパスワード（ユーザー認証）、部門名とパスワード（部門管理）を入力したあとにこのキーを押すと本機が使用できるようになります。
10	【ボックス】キー	ボックス機能に切換わります。ボックス機能中は【ボックス】が緑色に点灯します。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
11	【ファクス / スキャン】キー	ファクス / スキャン機能に切換わります。ファクス / スキャン機能中は【ファクス / スキャン】が緑色に点灯します。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファックス機能編」をごらんください。
12	【コピー】キー	コピー機能に切換わります。（初期設定ではコピー機能が選択されています。）コピー機能中は【コピー】が緑色に点灯します。詳しくは、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

ひとこと

ボックス機能、ファクス / スキャン機能、コピー機能のどのモードでも、本機をプリンターとして使用することができます。

1.2 動作環境

本プリンティングシステムを使うために必要なシステムと、接続に使用するインターフェースについて説明します。

1.2.1 接続できるコンピューターとOS

接続するコンピューターが、以下の条件を満たしていることを確認してください。

■ Windows

オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none">· 32bit 版 Windows NT4.0 (Service Pack 6a 以降) Windows 2000 Professional/Server (Service Pack 3 以降) Windows XP Home/Professional (Service Pack 2 以降) Windows Server 2003 Standard Windows Vista (全バージョン) Windows Server 2008 (全バージョン) Windows 7 (全バージョン)· 64bit 版 Windows XP Professional (Service Pack 2 以降) Windows Server 2003 Windows Vista (全バージョン) Windows Server 2008 (全バージョン) Windows Server 2008 R2(全バージョン) Windows 7 (全バージョン)
ドライブ	CD-ROM ドライブ
Web ブラウザー (PageScope Web Connection 使用 時)	<p>Microsoft Internet Explorer Ver.6 以降推奨 (JavaScript 有効・Cookie 有効)</p> <p>Internet Explorer Ver.5.5 の使用の場合は、Microsoft XML parser MSXML3.X のインストールが必須</p> <p>Netscape Navigator Ver.7.02 以降 (JavaScript 有効・Cookie 有効)</p> <p>Mozilla Firefox Ver.1.0 以降 (JavaScript 有効・Cookie 有効)</p> <p>Adobe® Flash® (表示形式で Flash を選択する場合は、Ver.7.0 以降のプラグイン必須)</p>

■ Macintosh

オペレーティングシステム	Mac OS 9.2/OS X (10.2、10.3、10.4、10.5、10.6) (Intel Mac 10.4/10.5/10.6 含む)
ドライブ	CD-ROM ドライブ
Web ブラウザー (PageScope Web Connection 使用 時)	<p>Netscape Navigator Ver.7.02 以降 (JavaScript 有効・Cookie 有効)</p> <p>Mozilla Firefox Ver.1.0 以降 (JavaScript 有効・Cookie 有効)</p> <p>Adobe® Flash® (表示形式で Flash を選択する場合は、Ver.7.0 以降のプラグイン必須)</p>

1.2.2 接続に使用するインターフェース

本プリンティングシステムとコンピューターを接続するには、以下の種類のインターフェースが使用できます。

■ Ethernet

本プリンティングシステムをネットワーク接続で使用するときに利用します。

1000Base-T、100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。また、プロトコルは TCP/IP (LPD/LPR、IPP、SMB)、IPX/SPX (NetWare)、AppleTalk (EtherTalk) などに対応しています。

■ USB インターフェース

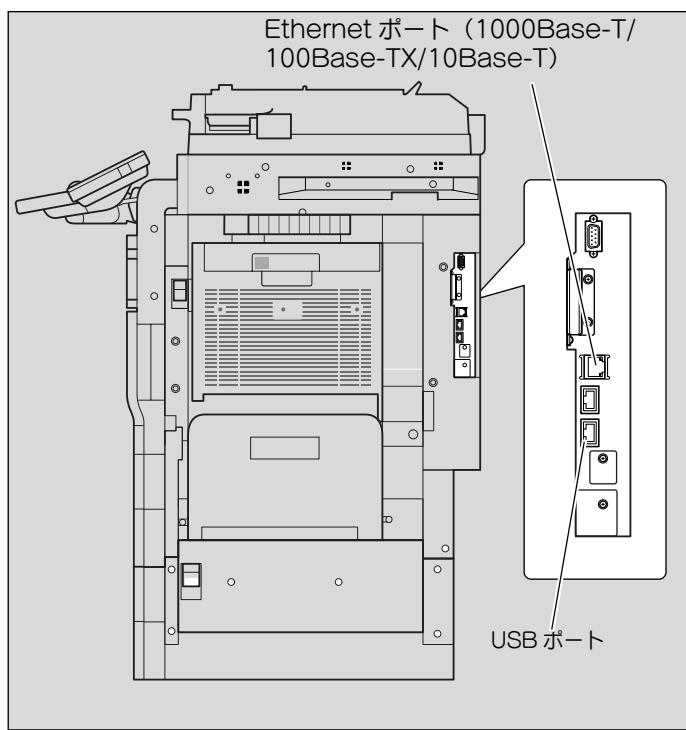
本プリンティングシステムを USB 接続で使用するときに利用します。

Windows コンピューターで接続できます。接続には USB ケーブルが必要です。USB ケーブルは A タイプ (4 ピンオス) - B タイプ (4 ピンオス) のものを使用してください。USB ケーブルは 3 m 以下をおすすめいたします。

■ 接続図

プリンターケーブルは、本機の各ポートに接続します。

本機側面



ひとこと

USB 接続でプリントするには、別途ローカルインターフェースキットが必要です。

1.3 セットアップの流れ

本プリンティングシステムをご使用いただくためには、セットアップを行う必要があります。

セットアップとは、本機とコンピューターを接続し、プリンタードライバーをコンピューターへインストールする一連の準備をいいます。

セットアップする場合は、以下の流れとなります。

1.3.1 ネットワーク接続の場合

- 1** 本機とコンピューターを接続します。
- 2** 使用するコンピューターがネットワークに接続されていることを確認します。
- 3** 本機の IP アドレスを設定し、ネットワークに接続します。
- 4** 接続方法やプロトコルに応じて、本機のネットワーク設定を変更します。
 - LPR : 「LPD 設定」で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。
 - Port9100 : 「TCP/IP 設定」で RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を使用可能にしておきます。
 - SMB : 「SMB 設定」の「プリント設定」を設定しておきます。
 - IPP/IPPS : 「IPP 設定」で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。 IPPS 印刷の場合は、本機に証明書をインストールしておきます。
 - Bonjour : 「Bonjour 設定」で Bonjour を使用可能に設定しておきます。
 - AppleTalk : 「AppleTalk 設定」で AppleTalk を使用可能に設定しておきます。
- 5** プリンタードライバーをインストールします。
 - 接続方法やプロトコルに応じてプリンタードライバーのネットワークポートを設定します。
- 6** スクリーンフォントをインストールします。
 - ドライバー CD には、欧文の TrueType フォントが「スクリーンフォント」として添付されています。スクリーンフォントは CD-ROM の ScreenFont または、Screen Fonts フォルダーにあります。
 - インストールについては、OS 標準のフォントの追加から行います。詳細は、OS のヘルプをごらんください。
 - Mac のフォントの場合は、フォントが圧縮されていますので、解凍後、インストールをしてください。

ひとこと

プリンタードライバーのインストール後は、印刷テストを行い、接続に問題がないことを確認してください。



- ・接続できるインターフェースについては、「[接続に使用するインターフェース](#)」(p. 1-7) をごらんください。
- ・ネットワークの設定については、「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をごらんください。
- ・プリンタードライバーのインストールは、本機との接続方法やご使用になるコンピューターの OS、プリンタードライバーの種類によって、手順が異なります。詳しくは、「[インストールする前にお読みください](#)」(p. 2-1) をごらんください。
- ・既存のプリンタードライバーをアップデートする場合は、先に既存のプリンタードライバーを削除してください。詳しくは、「[プリンタードライバーのアンインストール](#)」(p. 7-1) をごらんください。
- ・必要に応じて、操作パネルの設定メニューでインターフェースのタイムアウト設定を行います。詳しくは、「[I/F タイムアウトの設定](#)」(p. 12-36) をごらんください。
- ・ポイントアンドプリントインストールを使うことが可能ですが、クライアントが Windows NT の場合、サーバーが WindowsNT 以外の OS はサポートしておりませんのでご注意ください。

1.3.2 ローカル接続の場合

1

本機とコンピューターを接続します。

2

プリンタードライバーをインストールします。

3

スクリーンフォントをインストールします。

- ドライバー CD には、欧文の TrueType フォントが「スクリーンフォント」として添付されています。スクリーンフォントは CD-ROM の ScreenFont または、Screen Fonts フォルダーにあります。
- インストールについては、OS 標準のフォントの追加から行います。詳細は、OS のヘルプをごらんください。

ひとこと

USB 接続でプリントするには、別途ローカルインターフェースキットが必要です。

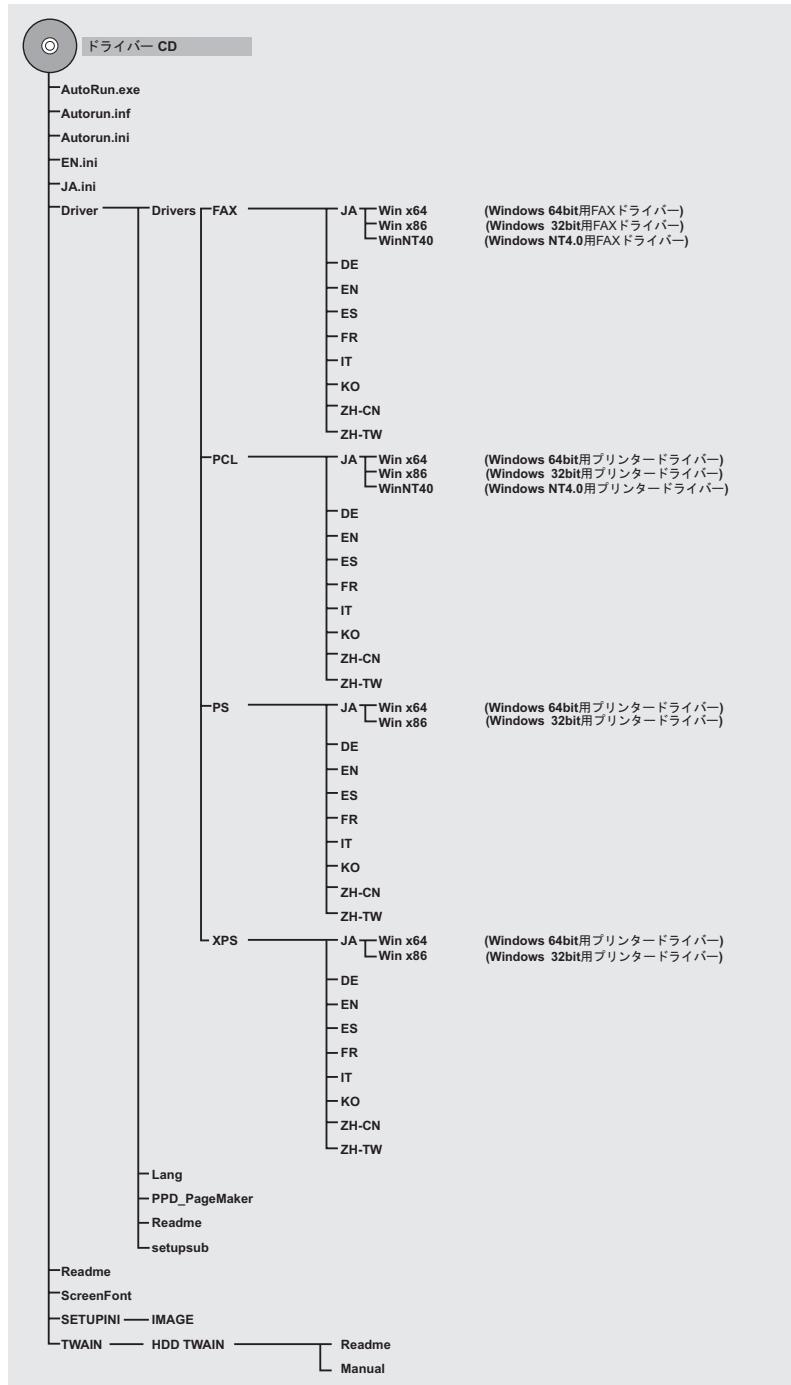
1.4 CD-ROM の構成

本製品には以下の CD があります。

- ドライバー CD (プリンタードライバー CD)
- アプリケーション CD (PageScope Utilities)
- ユーザーズガイド CD

各 CD には、プリンタードライバー (Windows 用、Macintosh 用) やユーティリティのほかに、ユーザーズガイド、リリースノートなどのドキュメントデータやスクリーンフォントが収録されています。

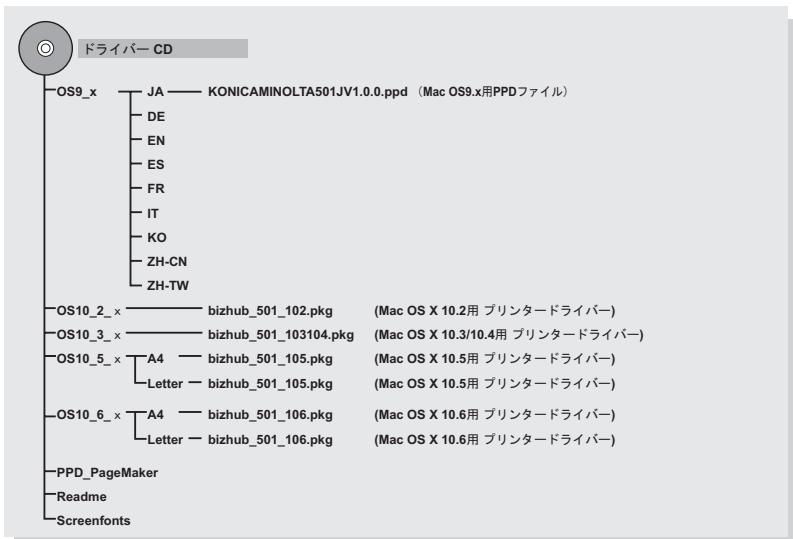
Windows :



ひとこと

- ・ユーザーズガイドでは、フォルダ名やファイル名をルートから記述していない場合があります。
- ・ファイルは全て JA (Japanese) フォルダー内のものをご使用ください。

Mac :



第2章

インストールする前にお読みください

プリンタードライバーを選択するために必要な情報を説明します。

2.1	はじめに	2-2
2.2	各 OS にインストールできるプリンタードライバー	2-3
2.3	各 OS で選択可能な接続方法	2-5

2.1 はじめに

本章では、プリンタードライバーをインストールする前に、知っておいていただきたいことを説明しています。

プリンタードライバーのインストール方法は、ご使用になるコンピューターと本機の接続方法やコンピューターのOS、プリンタードライバーの種類によって、手順が異なります。

はじめに、お使いのコンピューターのOSや接続環境を確認し、インストールするプリンタードライバーと接続方法を決定してください。

インストール方法は、プリンタードライバーと接続方法によって選択してください。

2.2 各OSにインストールできるプリンタードライバー

本プリントイングシステムを使用するためには、プリンタードライバーのインストールが必要です。

付属のCDに含まれるプリンタードライバーと、対応しているコンピューターのOSは以下のとおりです。必要なプリンタードライバーを選択してください。

プリンタードライバー	ページ記述言語	対応OS
PCL コニカミノルタ製ドライバー(PCL ドライバー)	PCL XL (PCL 6)	<ul style="list-style-type: none">· 32bit 版 Windows NT4.0 (Service Pack 6a 以降) Windows 2000 Professional/Server (Service Pack 3 以降) Windows XP Home/Professional (Service Pack 2 以降) Windows Server 2003 Standard Windows Vista (全バージョン) Windows Server 2008 (全バージョン) Windows 7 (全バージョン)· 64bit 版 Windows XP Professional (Service Pack 2 以降) Windows Server 2003 Windows Vista (全バージョン) Windows Server 2008 (全バージョン) Windows Server 2008 R2 (全バージョン) Windows 7 (全バージョン)
PostScriptコニカミノルタ製ドライバー(PS ドライバー)	PostScript 3 Emulation	<ul style="list-style-type: none">· 32bit 版 Windows 2000 Professional/Server (Service Pack 3 以降) Windows XP Home/Professional (Service Pack 2 以降) Windows Server 2003 Standard Windows Vista (全バージョン) Windows Server 2008 (全バージョン) Windows 7 (全バージョン)· 64bit 版 Windows XP Professional (Service Pack 2 以降) Windows Server 2003 Windows Vista (全バージョン) Windows Server 2008 (全バージョン) Windows Server 2008 R2 (全バージョン) Windows 7 (全バージョン)
PostScript PPD ドライバー(PS-PPD)		<ul style="list-style-type: none">Mac OS 9.2 以降 Mac OS X 10.2/10.3/10.4/10.5/10.6
XPS コニカミノルタ製ドライバー(XPS ドライバー)	XPS	<ul style="list-style-type: none">· 32bit 版 Windows Vista (全バージョン) Windows Server 2008 (全バージョン) Windows 7 (全バージョン)· 64bit 版 Windows Vista (全バージョン) Windows Server 2008 (全バージョン) Windows Server 2008 R2 (全バージョン) Windows 7 (全バージョン)

ひとこと

ページ記述言語は、印刷に使用するアプリケーションに応じて選択してください。

ひとこと

ファクスドライバーについては、「ユーザーズガイド ファクスドライバー機能編」をごらんください。

プリンタードライバー	ページ記述言語	対応OS
ファクスドライバー		<ul style="list-style-type: none">・32bit版 Windows NT4.0 (Service Pack 6a以降) Windows 2000 Professional/Server (Service Pack 3以降) Windows XP Home/Professional (Service Pack 2以降) Windows Server 2003 Standard Windows Vista(全バージョン) Windows Server 2008(全バージョン) Windows 7(全バージョン)・64bit版 Windows XP Professional (Service Pack 2以降) Windows Server 2003 Windows Vista(全バージョン) Windows Server 2008(全バージョン) Windows Server 2008 R2(全バージョン) Windows 7(全バージョン)

2.3 各 OS で選択可能な接続方法

本機の接続方法はコンピューターの OS によって異なります。また、接続方法によってプリンタードライバーのインストール方法も異なります。接続方法には、ネットワーク接続と USB インターフェースでの接続があります。ネットワーク接続は、さらに使用するプロトコルによりプリンタードライバーのインストール方法が異なります。

ネットワーク接続 (Ethernet) :

ネットワークプリンターとして使用する接続方法です。

本プリントシステムは、1000Base-T、100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。また、プロトコルは TCP/IP (LPD/LPR、IPP、SMB)、IPX/SPX (NetWare)、AppleTalk (EtherTalk) などに対応しています。

利用できるプロトコルはコンピューターの OS によって異なります。

USB インターフェース :

ローカルプリンターとして使用する接続方法です。Windows コンピューターで接続できます。

2.3.1 Windows 2000/XP/Server 2003

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
インストラーでセットアップが可能な接続方法	Port9100	PORT9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。	「インストラーによる簡単インストール (Windows)」(p. 3-1)
	IPP/IPPS	IPP (Internet Printing Protocol) プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP (HyperText Transfer Protocol) を利用し、インターネット経由で印刷できます。IPPS は、SSL による暗号化通信を行う IPP です。	* 接続方法はインストールの途中で選択します。接続方法が Port 9100、USB の場合は「標準印刷」、IPP の場合は「インターネット印刷」、IPPS の場合は「セキュリティ印刷」を選択してください。
	USB	USB ポートによる接続です。	

ひとこと

- ・ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、Administrator 権限のあるユーザー名でログオンしてプリンタードライバーをインストールしてください。

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
プリンタの追加ウィザードでセットアップが可能な接続方法	LPR	LPR（ラインプリンタリモート）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに LPR を使用します。	「プリンタの追加 ウィザードによる 手動インストール」 (p. 4-1)
	Port9100	PORT9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。	
	SMB	Windows でファイル共有やプリンター共有を実現する SMB (Server Message Block) を利用したネットワーク接続です。TCP/IP のプロトコルに対応しています。	
	IPP/IPPS	IPP (Internet Printing Protocol) プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP (HyperText Transfer Protocol) を利用し、インターネット経由で印刷できます。IPPS は、SSL による暗号化通信を行う IPP です。	
	USB	USB ポートによる接続です。	
プラグアンドプレイでセットアップが可能な接続方法	USB	USB ポートによる接続です。	Windows XP/ Server 2003 : 「ローカル接続の場合」(p. 4-10) Windows 2000 : 「ローカル接続の場合」(p. 4-32)

ひとこと

本書では、USB 接続のセットアップ方法として、プラグアンドプレイの方法のみ説明しています。
また USB 接続でプリントするには、別途ローカルインターフェースキットが必要です。

2.3.2 Windows Vista/7/Server 2008

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
インストーラーでセットアップが可能な接続方法	Port9100	PORT9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。	「インストーラによる簡易インストール(Windows)」(p. 3-1)
	IPP	IPP (Internet Printing Protocol) プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP (HyperText Transfer Protocol) を利用し、インターネット経由で印刷できます。	* 接続方法はインストールの途中で選択します。接続方法が Port 9100、USB の場合は「標準印刷」、IPP の場合は「インターネット印刷」を選択してください。
	USB	USB ポートによる接続です。	
プリンタの追加ウィザードでセットアップが可能な接続方法	LPR	LPR (ラインプリンタリモード) プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに LPR を使用します。	「プリンタの追加ウィザードによる手動インストール」(p. 4-1)
	Port9100	PORT9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。	
	SMB	Windows でファイル共有やプリンター共有を実現する SMB (Server Message Block) を利用したネットワーク接続です。TCP/IP のプロトコルに対応しています。	
	IPP/IPPS	IPP (Internet Printing Protocol) プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP (HyperText Transfer Protocol) を利用し、インターネット経由で印刷できます。IPPS は、SSL による暗号化通信を行う IPP です。	
	Web サービスプリント	Windows Vista/7/Server 2008 の Web サービスに対応した接続で、ネットワーク上のプリンターを自動的に検出して接続します。	
	USB	USB ポートによる接続です。	

ひとこと

- ・ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・Windows Vista/7/Server 2008 の場合は、Administrator 権限のあるユーザー名でログオンしてプリンタードライバーをインストールしてください。
- ・PCL ドライバー、PS ドライバーはインストーラーでもプリンタの追加ウィザードでもインストールできます。
- ・Windows Vista/7/Server 2008 の場合は、インストーラを使って IPPS 接続 (セキュリティ印刷) のセットアップを行なうことはできません。IPPS 接続にする場合は、プリンタの追加ウィザードでセットアップしてください。詳しくは、「[ネットワーク接続 \(IPP/IPPS\) の場合](#)」(p. 4-16) をごらんください。

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
プラグアンドプレイでセットアップが可能な接続方法	USB	USB ポートによる接続です。	Windows Vista/7/Server 2008 : 「ローカル接続の場合」(p. 4-22)

2.3.3 Windows NT4.0

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
プリンタの追加ウィザードでセットアップが可能な接続方法	LPR	LPR プリントサービスによるネットワーク接続です。	「プリンタの追加 ウィザードによる手動インストール」(p. 4-1)

2.3.4 Mac OS 9.2

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
プリンター記述ファイル(PPD ファイル)を指定する方法	AppleTalk	AppleTalk によるネットワーク接続です。	「Macintosh のインストール」(p. 5-1) * 接続方法はプリンターの選択で指定します。
	LPR (LPD)	LPR プリントサービスによるネットワーク接続です。	

2.3.5 Mac OS 10.2/10.3/10.4/10.5

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
インストラーでセットアップが可能な接続方法	Bonjour	Bonjour、Rendezvous によるネットワーク接続です。	「Macintosh のインストール」(p. 5-1) * 接続方法はプリンターの選択で指定します。
	AppleTalk	AppleTalk によるネットワーク接続です。	
	LPR	LPR プリントサービスによるネットワーク接続です。	
	IPP	IPP プリントサービスによるネットワーク接続です。	

ひとこと

- ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- Windows NT4.0 の場合は、Administrator 権限のあるユーザー名でログオンしてプリンタードライバーをインストールしてください。



ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

2.3.6 Mac OS 10.6

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
インストーラーでセットアップが可能な接続方法	Bonjour	Bonjour によるネットワーク接続です。	「Macintosh のインストール」(p. 5-1) * 接続方法はプリンターの選択で指定します。
	LPR	LPR プリントサービスによるネットワーク接続です。	
	IPP	IPP プリントサービスによるネットワーク接続です。	



ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

2.3.7 NetWare について

NetWare バージョン	使用するプロトコル	接続方法
NetWare 4.x	IPX	Bindery Pserver Nprinter/Rprinter
NetWare 5.x	IPX	NDS Pserver Nprinter/Rprinter
	TCP/IP	NDPS
NetWare 6.x	IPX	NDS Pserver
	TCP/IP	NDPS

ひとこと

NetWare の機能の詳細は、NetWare の操作説明書をごらんください。

NetWare 環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

第3章

インストーラーによる簡易インス トール (Windows)

インストーラーを利用して Windows プリンタードライバーをインストールする操作を説明しま
す。

3.1 インストーラーについて	3-2
3.2 インストーラーによる簡単インストール手順	3-3

3.1 インストーラーについて

本インストーラーを利用すると、コンピューターと同じ TCP/IP ネットワーク上の本機や、USB で接続されている本機が自動的に検出され、必要なプリンタードライバーがインストールされます。また、接続先を手動で指定してインストールすることもできます。

3.1.1 インストーラーの動作環境

OS	・ 32bit 版 Windows NT4.0 (Service Pack 6a 以降)* Windows 2000 Professional/Server (Service Pack 3 以降) Windows XP Home/Professional (Service Pack 2 以降) Windows Server 2003 Standard Windows Vista (全バージョン) Windows Server 2008 (全バージョン) Windows 7 (全バージョン)
	・ 64bit 版 Windows XP Professional (Service Pack 2 以降) Windows Server 2003 Windows Vista (全バージョン) Windows Server 2008 (全バージョン) Windows Server 2008 R2 (全バージョン) Windows 7 (全バージョン)

* Windows NT4.0 で、ネットワークに TCP/IP プロトコルで直接接続されている本機をインストールするには、お使いのコンピューターにあらかじめ Microsoft TCP/IP 印刷サービスがインストールされている必要があります。

ひとこと

- ・ インストールするときは、管理者権限が必要です。
- ・ USB で接続していて、新しいハードウェアを追加するための ウィザード画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックしてください。
- ・ インストーラーは Windows Vista/7/Server 2008 の場合のみ IPv4/IPv6 環境の両方に対応しています。ただし、Windows Vista/7/Server 2008 での「セキュリティー印刷 (IPPS)」および IPv6 環境での「インターネット印刷 (IPP)」には対応していません。

3.2 インストーラによる簡単インストール手順

3.2.1 本機の設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

接続方法やプロトコルに応じて、本機のネットワーク設定を変更します。

- Port9100：「TCP/IP 設定」で RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を使用可能にしておきます。
- IPP/IPPS：「IPP 設定」で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

ひとこと

ネットワーク接続の場合は、本機を自動的に検出するため、あらかじめ本機に IP アドレスを設定しておく必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

- ・ 本機の TCP/IP 設定、IPP 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・ IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

3.2.2 プリンタードライバーをインストール

1

ドライバー CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

- インストーラが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。
- インストーラが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて、32bit 版 OS の場合は「Setup.exe」を、64bit 版 OS の場合は「Setup64.exe」をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。

2

「プリンタのインストール」をクリックします。

プリンタードライバーのインストーラーが起動します。

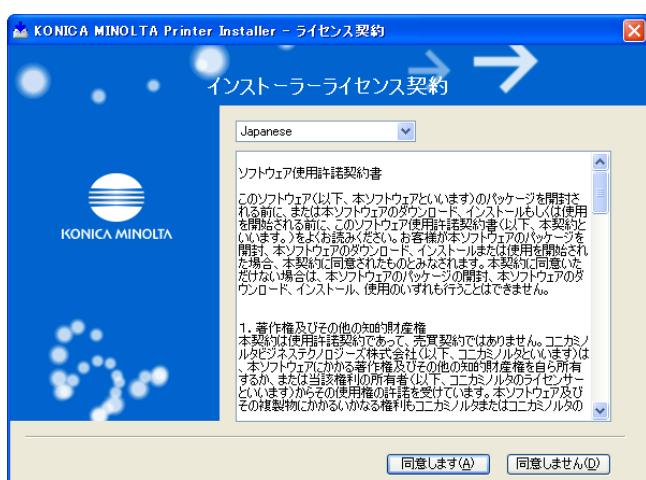
3

使用許諾契約書の全ての条項に同意する場合は、[同意します] をクリックします。

- 同意していただけない場合は、インストールできません。
- ドロップダウンリストで表示言語を変更できます。

ひとこと

Windows Vista/7/Server 2008 にインストールする場合、「ユーザー権限」に関する画面が表示されるときは、「許可」または「続行」をクリックします。



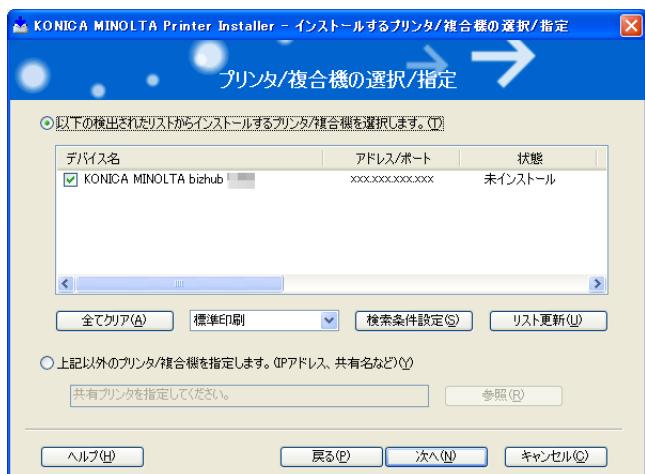
4

- セットアップの内容を選択する画面が表示された場合は、「プリンタのインストール」を選択して「次へ」をクリックします。
接続されているプリンター・複合機が検出されます。

5

- 本機を選択して「次へ」をクリックします。

- 本機の接続が認識できないときは、リストに表示されません。この場合は、画面下部の「上記以外のプリンタ／複合機を指定します。(IP アドレス、共有名など)」を選択し、手動で指定してください。
- 印刷の方法として、標準印刷 (Port 9100、USB) のほか、インターネット印刷 (IPP) やセキュリティー印刷 (IPPS) を選択できます。ただし、セキュリティー印刷 (IPPS) は、PageScope Web Connection で SSL が ON になっており、かつ IPP が有効な場合に利用できます。



6

- インストール内容を確認します。

- 変更する場合は「インストール設定」をクリックし、手順 7 に進みます。
- 変更しない場合は手順 8 に進みます。



ひとこと

- ・プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
- ・Windows Vista/7/Server 2008 の場合は、IPv4 優先 / IPv6 優先を選択できます。検出するプリンター・複合機が IPv4 と IPv6 の両方で検出したとき、優先するアドレスになります。電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たつてから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。
- ・Windows Vista/7/Server 2008 の場合は、インストーラを使って IPPS 接続（セキュリティー印刷）のセットアップを行うことはできません。IPPS 接続にする場合は、プリンタの追加ウィザードでセットアップしてください。詳しくは、「ネットワーク接続 (IPP/IPPS) の場合」(p. 4-16) をごらんください。
- ・Windows Vista/7/Server 2008 の場合は、IPv4/IPv6 環境の両方に対応していますが、IPv6 環境での「インターネット印刷 (IPP)」には対応していません。

7

インストールするコンポーネントを選択し、[OK] をクリックします。



ファクスドライバーについては、「ユーザーズガイド ファクスドライバー機能編」をごらんください。

8

「インストール内容確認」画面で [インストール] をクリックします。

- Windows XP/Server 2003/2000 で 「Windows ロゴテスト」、「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- Windows Vista/7/Server 2008 で 「Windows セキュリティー」の発行元検証に関する画面が表示されるときは、「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。

9

「インストールの完了」画面で [完了] をクリックします。
インストールが完了します。



「インストールの完了」画面では、インストール項目の確認や設定変更を行えます。

[内容確認]：インストール内容を確認します。

[プリンタ名の変更]：プリンター名を変更します。

[共有設定]：プリンターの共有設定を行います。

[プリンタプロパティ]：プリンターのプロパティ設定を行います。詳しくは、「[プリンタードライバーの初期設定](#)」(p. 8-3) をごらんください。

[印刷設定]：プリンタードライバーの各種機能を設定します。詳しくは、「[設定項目詳細](#)」(p. 8-7) をごらんください。

[テストページ印刷]：テスト印刷を行います。

第4章

プリンタの追加ウィザードによる手動インストール

インストーラーを利用せず、Windows 標準のプリンター追加機能で Windows プリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

4.1	Windows XP/ Server 2003	4-2
4.2	Windows Vista/7/Server 2008	4-11
4.3	Windows 2000	4-26
4.4	Windows NT 4.0	4-33

4.1 Windows XP/ Server 2003

4.1.1 ネットワーク接続 (LPR/Port9100) の場合

LPR/Port9100 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。

■ 本機の RAW ポート番号設定

Port9100 印刷を利用する場合は、本機の「TCP/IP 設定」で RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を使用可能にしておきます。

■ 本機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、本機の「LPD 設定」で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

■ プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

- 1 ドライバー CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 [スタート] をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。
- 3 Windows XP の場合は、「プリンタのタスク」メニューから「プリンタのインストール」をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、「プリンタの追加」をダブルクリックします。



「プリンタの追加ウィザード」が起動します。

- 4 [次へ] をクリックします。



本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



本機の RAW ポート番号の設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



本機の LPD 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

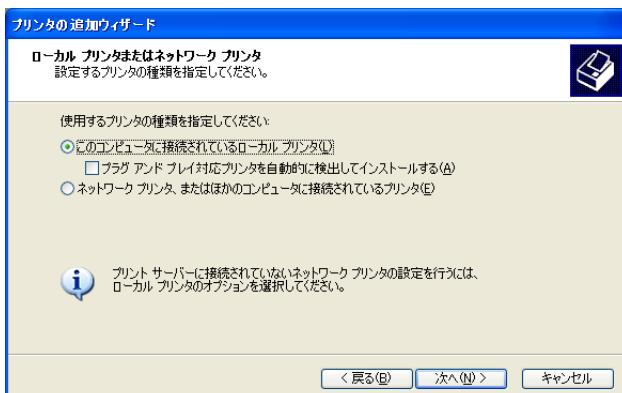
Windows XP/Server 2003 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

ひとこと

[スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

5

- 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、[次へ] をクリックします。
- 「プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックは外しておきます。



「プリンタポートの選択」ダイアログボックスが表示されます。

6

- 「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類で「Standard TCP/IP Port」を選択します。



7

- [次へ] をクリックします。
「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が起動します。

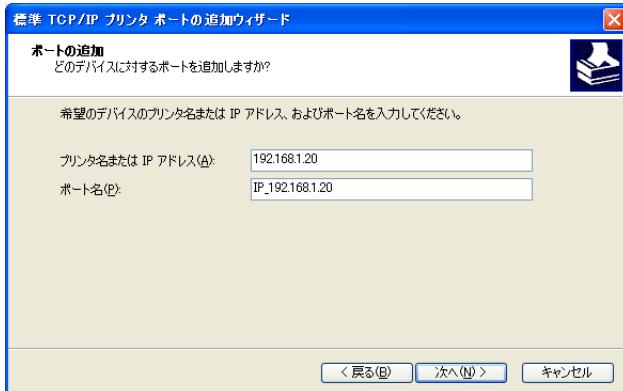
8

- [次へ] をクリックします。

9

「プリンタ名または IP アドレス」ボックスに本機の IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

- 「ポート情報がさらに必要です」画面が表示される場合は、手順 10 へ進みます。
- 「完了」画面が表示される場合は、手順 13 へ進みます。



10

「カスタム」をチェックし、[設定] をクリックします。

11

ポートに合わせて設定を変更し、[OK] をクリックします。

- LPR 接続の場合は、「LPR」をチェックし、「 QUEUE 名」ボックスに「Print」と入力します。
- Port9100 の場合は、「RAW」をチェックし、「ポート番号」ボックスに RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を入力します。

12

[次へ] をクリックします。

13

[完了] をクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

14

[ディスク使用] をクリックします。

15

[参照] をクリックします。

16

CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー

17

[OK] をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

ひとこと

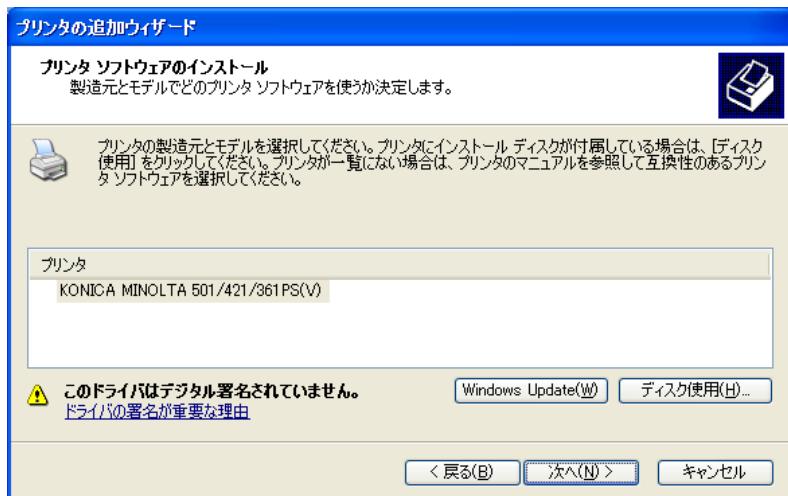
大文字、小文字も正確に入力する必要があります。

ひとこと

CD-ROM 内の構成については、
[「1.4 CD-ROM の構成」](#)をごらんください。

18

[次へ] をクリックします。



19

画面の指示にしたがって操作します。

20

[完了] をクリックします。

21

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタとFAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。

22

CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

4.1.2 ネットワーク接続 (SMB) の場合

SMB 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でプリンターを指定してポートを設定します。プリンターはネットワークを検索して選択することも、直接プリンターナー名を入力することもできます。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。

■ 本機の SMB 設定

本機の「SMB 設定」の「プリント設定」で NetBIOS 名、プリントサービス名、ワークグループを設定しておきます。

ひとこと

- ・「Windows ロゴテスト」、「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- ・ネットワーク接続の場合は、ネットワーク設定完了後にテスト印刷を行ってください。



本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

IPv6 を利用している場合は、本機の「DirectHosting 設定」を有効にしておく必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



本機の SMB 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

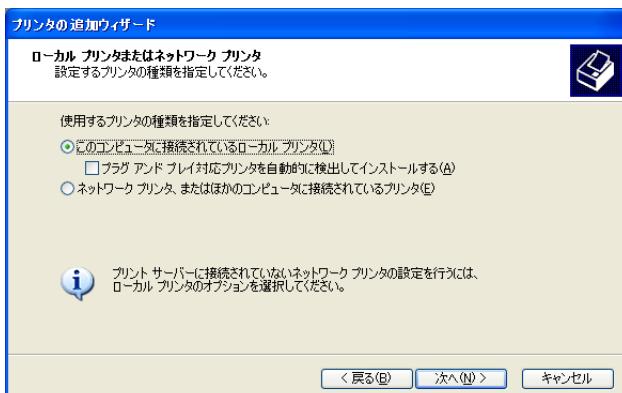
■ プリンタの追加ウィザードでプリンターを指定してプリンタードライバーをインストール

- 1** ドライバー CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2** [スタート] をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。
- 3** Windows XP の場合は、「プリンタのタスク」メニューから「プリンタのインストール」をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、「プリンタの追加」をダブルクリックします。



「プリンタの追加ウィザード」が起動します。

- 4** [次へ] をクリックします。
- 5** 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、[次へ] をクリックします。
 「プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックは外しておきます。



「プリンタポートの選択」ダイアログボックスが表示されます。

ひとこと

Windows XP/Server 2003 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

ひとこと

[スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

6

- 「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類で「Local Port」を選択します。



7

- 「ポート名」ボックスに「¥¥NetBIOS 名 ¥プリントサービス名」を入力します。

8

- [OK] をクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

9

- [ディスク使用] をクリックします。

10

- [参照] をクリックします。

11

- CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

選択できるプリンタードライバー：

PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー

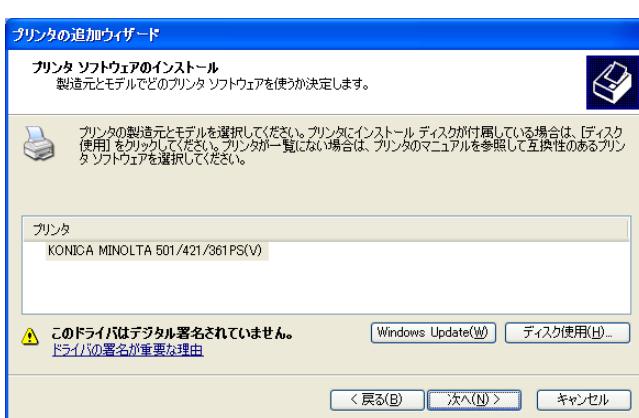
12

- [OK] をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

13

- [次へ] をクリックします。



ひとこと

NetBIOS 名とプリントサービス名は、本機の「SMB 設定」の「プリント設定」と同じ名前を入力してください。

ひとこと

CD-ROM 内の構成については、[「1.4 CD-ROM の構成」](#)をごらんください。

14

画面の指示にしたがって操作します。

15

[完了] をクリックします。

16

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタとFAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。

17

CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

ひとこと

- ・「Windows ロゴテスト」、「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- ・ネットワーク接続の場合は、ネットワーク設定完了後にテスト印刷を行ってください。

4.1.3 ネットワーク接続 (IPP/IPPS) の場合

IPP 印刷の場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。



本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



- ・本機の IPP 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

■ 本機の IPP 設定

本機の「IPP 設定」で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

■ プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール**1**

ドライバー CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2

[スタート] をクリックして、「プリンタとFAX」をクリックします。

3

Windows XP の場合は、「プリンタのタスク」メニューから「プリンタのインストール」をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、「プリンタの追加」をダブルクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が起動します。

4

[次へ] をクリックします。

5

「ローカルまたはネットワークプリンタ」画面で、「ネットワークプリンタ」を選択し、[次へ] をクリックします。

ひとこと

Windows XP/Server 2003 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

ひとこと

[スタート] メニューに「プリンタとFAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタとFAX」を選びます。

6

「プリンタの指定」画面で、「インターネットまたは自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する」を選択します。

7

「URL」フィールドに、以下の形式で、本機の URL を入力し、[次へ] をクリックします。

- http:// <本機の IP アドレス> /ipp

例：本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合
http://192.168.1.20/ipp

8

確認のダイアログが表示されたら、[OK] をクリックします。

9

[ディスク使用] をクリックします。

10

[参照] をクリックします。

11

CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー

12

[OK] をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

13

[次へ] をクリックします。

14

画面の指示にしたがって操作します。

15

[完了] をクリックします。

16

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタと FAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。

17

CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

設定が完了したプリンターは、通常のローカルプリンターと同様に使用できます。また、Windows 上でプリンターを共有設定することにより、ネットワーク内のほかの Windows コンピューターからネットワークプリンターとして使用できます。

ひとこと

IPPS 印刷に設定するときは「https:// <本機の IP アドレス> /ipp」を入力してください。この場合は、インストール途中でユーザー名とパスワードを確認する画面が表示されます。

ひとこと

CD-ROM 内の構成については、「[1.4 CD-ROM の構成](#)」をごらんください。

ひとこと

「Windows ロゴテスト」、「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。

4.1.4 ローカル接続の場合

USB ポートで接続する場合は、プラグアンドプレイでプリンタードライバーをインストールできます。

- 1** 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。
- 2** ドライバー CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 3** 本機の主電源を入れます。
「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログが表示されます。
- 4** 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、[次へ] をクリックします。
 - 「Windows アップデートに接続する」画面が表示された場合は、「いいえ」を選択します。
- 5** 「次の場所で最適のドライバーを検索する」から「次の場所を含める」を選択し、[参照] をクリックします。
- 6** CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。
 - 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー
- 7** [次へ] をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。
- 8** [完了] をクリックします。
- 9** インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタと FAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。
- 10** CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。
これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

ひとこと

- ・ USB 接続でプリントするには、別途ローカルインターフェースキットが必要です。
- ・ プリンタの追加ウィザードでもプリンタードライバーをインストールできます。プリンタの追加ウィザードを利用する場合は、「プリンタポートの選択」で接続する USB ポートを選択してください。



コンピューターの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

ひとこと

「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログが表示されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。

電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

ひとこと

CD-ROM 内の構成については、[\[1.4 CD-ROM の構成\]](#)をごらんください。

ひとこと

「Windows ロゴテスト」、「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。

4.2 Windows Vista/7/Server 2008

4.2.1 ネットワーク接続 (LPR/Port9100/SMB) の場合

Windows Vista/7/Server 2008 では、ネットワーク上のプリンターを検索してインストールすることも、プリンターポートを作成してインストールすることもできます。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。



本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

■ 本機の RAW ポート番号設定

Port9100 印刷を利用する場合は、本機の「TCP/IP 設定」で RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を使用可能に設定しておきます。



本機の RAW ポート番号の設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

■ 本機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、本機の「LPD 設定」で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。



本機の LPD 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

■ 本機の SMB 設定

本機の「SMB 設定」の「プリント設定」で NetBIOS 名、プリントサービス名、ワークグループを設定しておきます。



本機の SMB 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

IPv6 を利用している場合は、本機の「DirectHosting 設定」を有効にしておく必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

- Windows Vista/7/Server 2008 にインストールするときは、管理者権限が必要です。
- インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON してください。

ひとこと

- 「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合、「コントロールパネル」がカテゴリ表示になっていない場合は、「デバイスとプリンター」をダブルクリックします。

■ プリンタの追加でプリンターを検索してプリンタードライバーをインストール

1

ドライバー CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2

[スタート] をクリックして、「コントロールパネル」をクリックします。

3

「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。
「プリンタ」ウィンドウが開きます。

○ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、「ハードウェアとサウンド」の「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

4

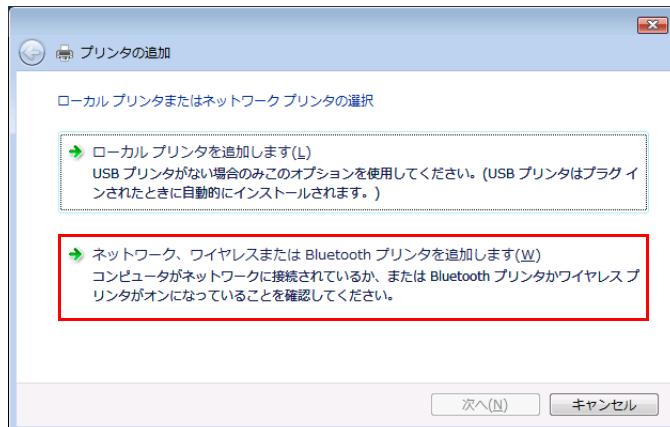
- ツールバーの「プリンタのインストール」をクリックします。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は「プリンターの追加」をクリックします。



「プリンタの追加」が表示されます。

5

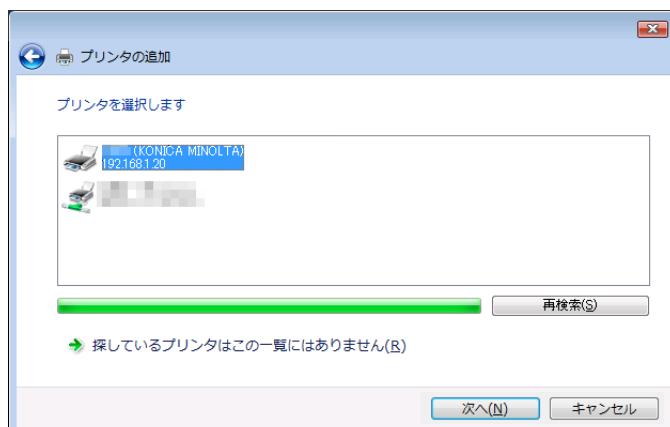
- 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」をクリックします。



接続されているプリンターが検出されます。

6

- 一覧から本機を選択して、[次へ] をクリックします。
- LPR/Port9100 接続の場合は、IP アドレスのプリンターを選択します。
 - SMB 接続の場合は、「¥¥NetBIOS 名 ¥プリントサービス名」のプリンターを選択します。



7

- [ディスク使用] をクリックします。

ひとこと

ここでは、Windows Vista の画面を使って説明しています。

ひとこと

プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。

電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

ひとこと

すべてのプリンターを検索するまでに時間がかかる場合があります。

8

[参照] をクリックします。

9

CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバー、ファクスドライバー

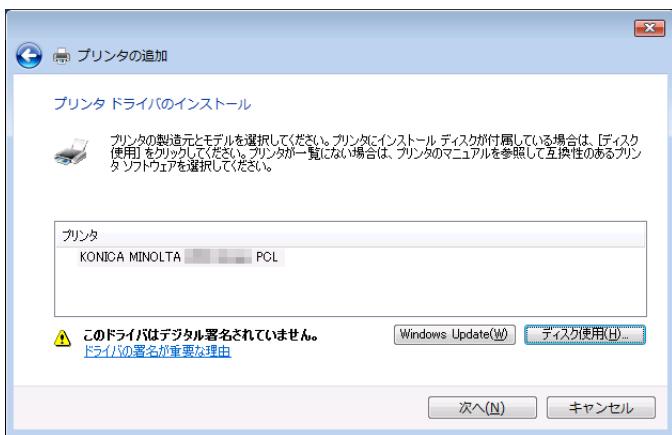
10

[OK] をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

11

[次へ] をクリックします。



12

画面の指示にしたがって操作します。

13

[完了] をクリックします。

14

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

15

CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

■ プリンタの追加でポートを作成してプリンタードライバーをインストール

1

ドライバー CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2

[スタート] をクリックして、「コントロールパネル」をクリックします。

ひとこと

CD-ROM 内の構成については、[「1.4 CD-ROM の構成」](#)をごらんください。

ひとこと

- ・「ユーザー アカウント制御」に関する画面が表示されるときは、[続行] をクリックします。
- ・「Windows セキュリティー」の「発行元検証」に関する画面が表示されるときは、「このドライバ ソフトウェアをインストールします」をクリックします。

ひとこと

- ・Windows Vista/7/Server 2008 にインストールするときは、管理者権限が必要です。
- ・インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ONにしてください。

3

- 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、「ハードウェアとサウンド」の「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

「プリンタ」ウィンドウが開きます。

4

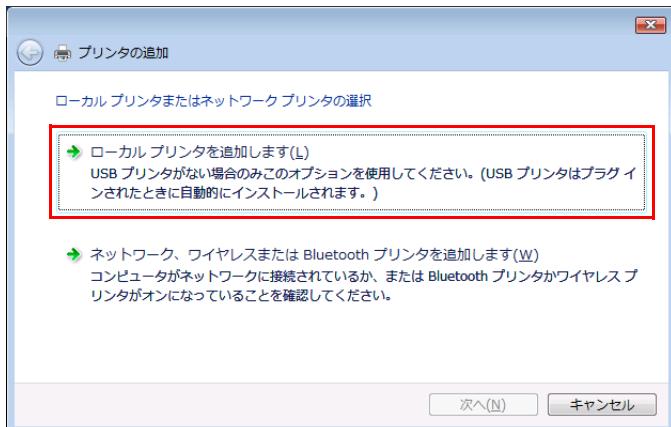
- ツールバーの「プリンタのインストール」をクリックします。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は「プリンターの追加」をクリックします。



「プリンタの追加」が表示されます。

5

「ローカル プリンタを追加します」をクリックします。



プリンタポートの選択ダイアログボックスが表示されます。

6

- 「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類を選択します。
- LPR/Port9100 接続の場合は、「Standard TCP/IP Port」を選択します。
 - SMB 接続の場合は、「Local Port」を選択します。

7

[次へ] をクリックします。

ひとこと

- ・「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。
- ・Windows 7/Server 2008 R2 の場合、「コントロールパネル」がカテゴリ表示になっていない場合は、「デバイスとプリンター」をダブルクリックします。

8

IP アドレスやポートを設定します。

- LPR/Port9100 接続の場合は、「TCP/IP デバイス」を選択し、IP アドレスを入力します。
- SMB 接続の場合は、「ポート名」ボックスに「¥NetBIOS 名¥プリントサービス名」を入力します。

9

[次へ] をクリックします。

- 「ポート情報がさらに必要です」画面が表示される場合は、手順 10 へ進みます。
- 「プリンタドライバ」のインストールダイアログボックスが表示される場合は、手順 13 へ進みます。

10

「カスタム」をチェックし、[設定] をクリックします。

11

ポートに合わせて設定を変更し、[OK] をクリックします。

- LPR 接続の場合は、「LPR」をチェックし、「キュー名」ボックスに「Print」と入力します。
- Port9100 の場合は、「RAW」をチェックし、「ポート番号」ボックスに RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を入力します。

12

[次へ] をクリックします。

「プリンタドライバ」のインストールダイアログボックスが表示されます。

13

[ディスク使用] をクリックします。

14

[参照] をクリックします。

15

CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバー、ファクスドライバー

16

[OK] をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

17

[次へ] をクリックします。

ひとこと

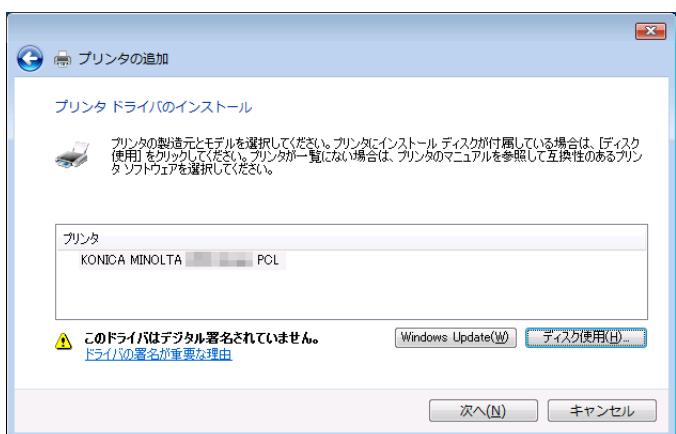
- ・本機で LPR と Port9100 の両方が有効に設定されている場合、プリンタードライバーと本機は LPR で接続されます。
- ・NetBIOS 名とプリントサービス名は、本機の「SMB 設定」の「プリント設定」と同じ名前を入力してください。

ひとこと

大文字、小文字も正確に入力する必要があります。

ひとこと

CD-ROM 内の構成については、
[\[1.4 CD-ROM の構成\]](#) をご覧ください。



18

画面の指示にしたがって操作します。

19

[完了] をクリックします。

20

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

21

CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

4.2.2 ネットワーク接続 (IPP/IPPS) の場合

IPP 印刷の場合は、ネットワーク設定を行ってからプリンタードライバーをインストールします。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

■ 本機の IPP 設定

本機の「IPP 設定」で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

■ プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

1

ドライバー CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

ひとこと

- 「ユーザー帳票」に関する画面が表示されるときは、「[続行]」をクリックします。
- 「Windows セキュリティ」の「発行元検証」に関する画面が表示されるときは、「このドライバ ソフトウェアをインストールします」をクリックします。

参照

本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

参照

- 本機の IPP 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

Windows Vista/7/Server 2008 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

2

[スタート] をクリックして、「コントロールパネル」をクリックします。

3

「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、「ハードウェアとサウンド」の「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

「プリンタ」ウィンドウが開きます。

4

ツールバーの「プリンタのインストール」をクリックします。

- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は「プリンターの追加」をクリックします。

「プリンタの追加」が表示されます。

5

「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」をクリックします。

接続されているプリンターが検索されます。

6

検索された画面で、「探しているプリンタはこの一覧にはありません」をクリックします。

7

「共有プリンタを名前で選択する」ボックスに、以下の形式で、本機の URL を入力し、[次へ] をクリックします。

- http:// <本機の IP アドレス> /ipp
例：本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合
http://192.168.1.20/ipp

8

[ディスク使用] をクリックします。

9

[参照] をクリックします。

10

CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバー、ファクスドライバー

11

[OK] をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

ひとこと

- ・「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。
- ・Windows 7/Server 2008 R2 の場合、「コントロールパネル」がカテゴリ表示になっていない場合は、「デバイスとプリンター」をダブルクリックします。

ひとこと

IPPS 印刷に設定するときは、「https://<ホスト名>.<ドメイン名>/ipp」を入力してください。この場合は、インストール途中でユーザー名とパスワードを確認する画面が表示される場合があります。

ホスト名とドメイン名は、本機に設定されている名称、かつ証明書のコモンネームの名称を指定してください。

本機の証明書が証明機関により発行されたものでない場合は、Windows Vista/7/Server 2008 でコンピュータアカウント用の信頼された発行元の証明書として本機の証明書を登録しておく必要があります。

ひとこと

CD-ROM 内の構成については、「[1.4 CD-ROM の構成](#)」をごらんください。

12

[次へ] をクリックします。

13

画面の指示にしたがって操作します。

14

[完了] をクリックします。

15

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

16

CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

設定が完了したプリンターは、通常のローカルプリンターと同様に使用できます。また、Windows 上でプリンターを共有設定することにより、ネットワーク内のほかの Windows コンピューターからネットワークプリンターとして使用できます。

ひとこと

- ・「ユーザー アカウント制御」に関する画面が表示されるときは、「続行」をクリックします。
- ・「Windows セキュリティー」の「発行元検証」に関する画面が表示されるときは、「このドライバ ソフトウェアをインストールします」をクリックします。

4.2.3 ネットワーク接続（Web サービスプリント）の場合

Windows Vista/7/Server 2008 では、ネットワーク上にある Web サービスプリント対応のプリンターを検索してインストールできます。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。

■ 本機の Web サービス設定

Web サービスプリントを利用する場合は、本機の「Web サービス設定」でプリント機能を使用可能にしておきます。

■ ネットワークウィンドウからプリンターをインストール

- 1** ドライバー CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れ、プリンタードライバーをインストールします。
 - インストーラーまたはプリンターの追加ウィザードでプリンタードライバーをインストールします。インストールするポートはどのポートでも構いません。詳しくは [3-3 ページ](#) または [4-11 ページ](#)をごらんください。
- 2** 本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にします。インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態にしてください。
- 3** Web サービスプリントを利用する場合は、コンピューターの「ネットワークと共有センター」で「ネットワーク探索」が有効になっていることを確認します。
- 4** [スタート] をクリックして、「ネットワーク」をクリックします。
 - Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、[スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [ネットワークのコンピューターとデバイスの表示] を選択します。

「ネットワーク」ウィンドウが開き、接続されているコンピューターとデバイスが検索されます。
- 5** 本機のデバイス名を選択し、ツールバーの「インストール」をクリックします。

ひとこと

プリンタードライバーをインストールした後に、異なる種類のプリンタードライバーをインストールする場合は、先に既存のプリンタードライバーをパッケージごと削除してください。詳しくは、「[手動アンインストール](#)」(p. 7-3) をごらんください。



本機の IP アドレスの設定については、「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をごらんください。



本機の Web サービス設定については、「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をごらんください。

ひとこと

・ Windows Vista/7/Server 2008 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

ひとこと

「[ユーザー アカウント制御](#)」に関する画面が表示されるときは、[続行] をクリックします。

- デバイス名は、本機の【管理者設定】の【ネットワーク設定】 - 【Web サービス設定】 - 【プリンター設定】で確認できます。初期設定では【プリンター名】の末尾 6 文字が MAC アドレスの後半 3 バイトに対応した値になっています。

本機のプリンタードライバーが検索され、印刷の準備が完了します。

6

画面の指示にしたがって操作します。



- ・インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが【プリンタ】ウィンドウまたは【デバイスとプリンター】ウィンドウに表示されていることを確認します。
- ・プリンタードライバーが正しくインストールされない場合は、【ドライバーの更新...】が必要です。詳しくは、[4-24 ページ](#)ページをごらんください。

ひとこと

- ・「ユーザー権限制御」に関する画面が表示されるときは、【続行】をクリックします。
- ・「Windows セキュリティー」の「発行元検証」に関する画面が表示されるときは、「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックします。

ひとこと

- ・Windows Vista/Server 2008 にインストールするときは、管理者権限が必要です。
- ・インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON してください。

■ プリンタの追加で IP アドレスを指定してプリンタードライバーをインストール (Windows Vista/Server 2008 のみ)

1

本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にします。インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態にしてください。

2

Web サービスプリントを利用する場合は、コンピューターの「ネットワークと共有センター」で「ネットワーク探索」が有効になっていることを確認します。

3

ドライバー CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

4

[スタート] をクリックして、「コントロールパネル」をクリックします。

5

「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。「プリンタ」ウィンドウが開きます。

6

ツールバーの「プリンタのインストール」をクリックします。

ひとこと

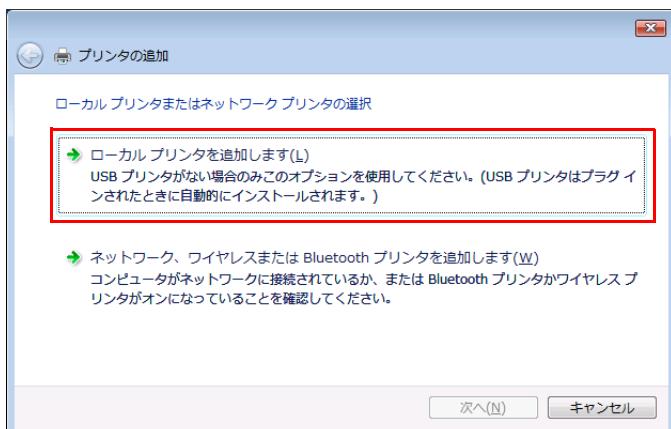
- 「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。



「プリンタの追加」が表示されます。

7

「ローカル プリンタを追加します」をクリックします。



プリンタポートの選択ダイアログボックスが表示されます。

8

「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類を選択します。

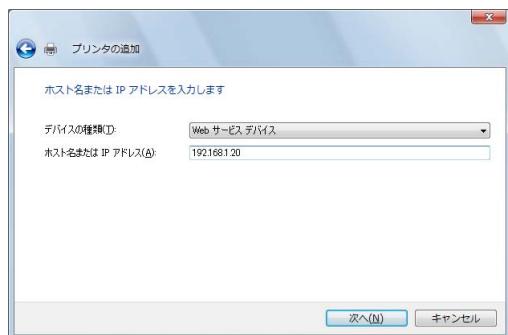
○ 「Standard TCP/IP Port」を選択します。

9

[次へ] をクリックします。

10

「Web サービスデバイス」を選択し、IP アドレスを入力します。



入力した IP アドレスの Web サービスプリント対応プリンターが検索され、「新しいハードウェアが見つかりました」ダイアログボックスが表示されます。

11

「ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）」をクリックします。

検索方法を確認する画面が表示されます。

- 12** 「オンラインで検索しません」をクリックします。
- 13** 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します(上級)」をクリックします。
- 14** [参照] をクリックします。
- 15** CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。
 - 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバー、ファクスドライバー
- 16** [次へ] をクリックします。
- 17** 画面の指示にしたがって操作します。
- 18** [閉じる] をクリックします。
- 19** インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。
- 20** CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。
これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

ひとこと

CD-ROM 内の構成については、「[1.4 CD-ROM の構成](#)」をごらんください。

ひとこと

- ・「ユーザー アカウント制御」に関する画面が表示されるときは、[続行] をクリックします。
- ・「Windows セキュリティー」の「発行元検証」に関する画面が表示されるときは、「このドライバ ソフトウェアをインストールします」をクリックします。

4.2.4 ローカル接続の場合

■ インストール済みのプリンタードライバーを認識させる

Windows Vista/Server 2008/7 で USB ポートに接続する場合は、プリンタードライバーを先にインストールしてからプラグアンドプレイでプリンタードライバーを認識させます。

- 1** 本機のプリンタードライバーをインストールします。
 - インストーラーまたはプリンターの追加 ウィザードでプリンタードライバーをインストールします。
プリンターの追加 ウィザードを利用する場合は、[プリンタ ポートの選択] で接続する USB ポートを選択してください。詳しくは、[4-16 ページ](#)をごらんください。
- 2** 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続します。
- 3** 本機の主電源を入れます。
本機のプリンタードライバーが検索され、印刷の準備が完了します。
 - プリンタードライバーが検索されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

ひとこと

USB ポートで接続する場合は、オプションのローカルインターフェースキットが必要です。

4

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「[プリンタ] ウィンドウまたは「[デバイスとプリンター]」ウィンドウに表示されていることを確認します。

- プリンタードライバーが正しくインストールされない場合は、「[ドライバーの更新...]」が必要です。詳しくは、[4-24 ページ](#)をごらんください。

■ 接続時にプリンタードライバーをインストールする

Windows Vista/Server 2008 の場合は、本機を接続してからプリンタードライバーをインストールできます。

- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、接続したあとにインストールディスクを指定する画面が表示されません。あらかじめプリンタードライバーをインストールし、「インストール済みのプリンタードライバーを認識させる」方法で接続してください。

1

本機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。

2

本機の主電源を入れます。

[新しいハードウェアが見つかりました] ダイアログが表示されます。

- [新しいハードウェアが見つかりました] ダイアログが表示されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

3

[ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします（推奨）] をクリックします。

4

[オンラインで検索しません] をクリックします。

ディスク (CD-ROM) を要求するダイアログが表示されます。

- ディスク (CD-ROM) がない場合は、「[ディスクはありません。他の方法を試します]」をクリックします。次の画面で「[コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します（上級）]」を選択して目的のプリンタードライバーフォルダーを指定してください。
- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

5

Windows 用プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

ディスク内の情報が検索され、本機に対応するソフトウェアの一覧が表示されます。

6

目的のプリンタードライバー名を指定し、「[次へ]」をクリックします。

- 選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバー、ファクスドライバー



必ず守ってください
コンピューターの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

7

画面の指示にしたがって操作します。

- [ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] をクリックします。

8

インストールが終了したら [閉じる] をクリックします。

9

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが [プリンタ] ウィンドウに表示されていることを確認します。

- [Windows セキュリティ] の発行元検証に関する画面が表示されるときは、[このドライバ ソフトウェアをインストールします] をクリックします。

10

CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

■ 接続後にドライバーを更新する

Windows 7/Server 2008 R2 でプリンタードライバーを先にインストールせずに本機を接続した場合、プリンタードライバーが正しく認識されません。この場合は、[ドライバーの更新 ...] が必要です。

1

[デバイスとプリンター] ウィンドウを開きます。

- [コントロールパネル] で [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。[コントロールパネル] がアイコン表示になっている場合は、[デバイスとプリンター] をダブルクリックします。

2

[未指定] カテゴリに表示されている本機のデバイス名を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

- 本機のデバイス名でなく [不明なデバイス (Unknown Device)] と表示されているときは、右クリックでデバイスを削除してから、プリンタードライバーをインストールしてください。本機との接続は、「プリンタードライバーを認識させる」方法で接続してください。詳しくは、[4-23 ページ](#)をごらんください。

3

[ハードウェア] タブの [プロパティ] をクリックします。

4

[全般] タブの [設定の変更] をクリックします。

5

[ドライバー] タブの [ドライバーの更新 ...] をクリックします。

6

ドライバーソフトウェアの検索方法を選択する画面で [コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します] をクリックします。

7

[参照 ...] をクリックします。

8

CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[OK] をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
- 選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバー、ファクスドライバー

9

[次へ] をクリックします。

10

画面の指示にしたがって操作します。

- [Windows セキュリティ] の発行元検証に関する画面が表示されるときは、[このドライバーソフトウェアをインストールします] をクリックします。

11

[閉じる] をクリックします。

12

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが [デバイスとプリンター] ウィンドウに表示されていることを確認します。

13

CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーの更新が完了しました。



Windows Vista/Server 2008 でも、[ドライバの更新...] を利用できます。Windows Vista/Server 2008 の場合は、[デバイスマネージャ] で [ほかのデバイス] に表示されている本機の [プロパティ] を開くと、[ドライバの更新...] が指定できます。

[デバイスマネージャ] は、[コンピュータ] を右クリックして [プロパティ] をクリックし、表示される [タスク] で選択できます。

4.3 Windows 2000

4.3.1 ネットワーク接続 (LPR/Port9100) の場合

LPR/Port9100 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。



本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



本機の RAW ポート番号の設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



本機の LPD 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

Windows 2000 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

■ 本機の RAW ポート番号設定

Port9100 印刷を利用する場合は、本機の「TCP/IP 設定」で RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を使用可能にしておきます。

■ 本機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、本機の「LPD 設定」で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

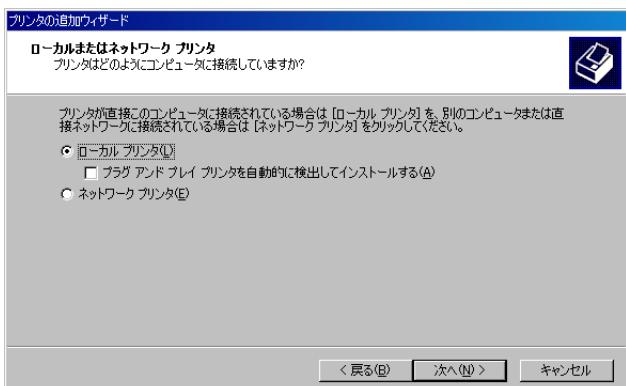
■ プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

- 1 ドライバー CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 [スタート] をクリックして、「設定」 – 「プリンタ」をクリックします。
- 3 「プリンタの追加」をダブルクリックします。
「プリンタの追加ウィザード」が起動します。
- 4 画面の指示にしたがって操作します。

5

接続方法を指定する画面で、「ローカルプリンタ」を選択し、[次へ] をクリックします。

- 「プラグ アンド プレイプリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックは外しておきます。



「プリンタポートの選択」ダイアログボックスが表示されます。

6

「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類で「Standard TCP/IP Port」を選択します。

7

[次へ] をクリックします。

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が起動します。

8

[次へ] をクリックします。

9

「プリンタ名または IP アドレス」ボックスに本機の IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

- 「ポート情報がさらに必要です」画面が表示される場合は、手順 10 へ進みます。
- 「完了」画面が表示される場合は、手順 13 へ進みます。

10

「カスタム」をチェックし、[設定] をクリックします。

11

ポートに合わせて設定を変更し、[OK] をクリックします。

- LPR 接続の場合は、「LPR」をチェックし、「キュー名」ボックスに「Print」と入力します。
- Port9100 の場合は、「RAW」をチェックし、「ポート番号」ボックスに RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を入力します。

12

[次へ] をクリックします。

13

[完了] をクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

14

[ディスク使用] をクリックします。



ひとこと

大文字、小文字も正確に入力する必要があります。

15

[参照] をクリックします。

16

CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー

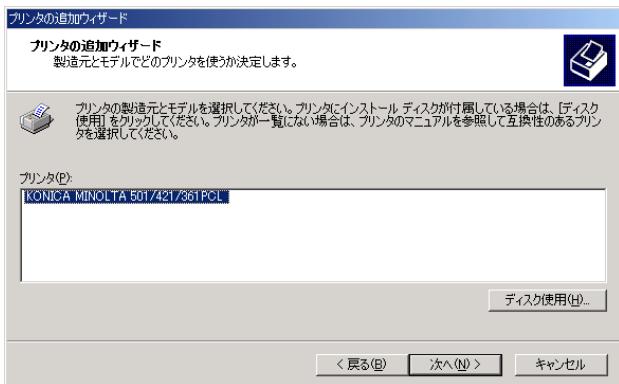
17

[OK] をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

18

[次へ] をクリックします。



19

画面の指示にしたがって操作します。

20

[完了] をクリックします。

21

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

22

CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

ひとこと

CD-ROM 内の構成については、「[1.4 CD-ROM の構成](#)」をごらんください。

ひとこと

「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、[はい] をクリックします。

4.3.2 ネットワーク接続 (SMB) の場合

SMB 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でプリンターを指定してポートを設定します。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。



本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

IPv6 を利用している場合は、本機の「DirectHosting 設定」を有効にしておく必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



本機の SMB 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

Windows 2000 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

■ 本機の SMB 設定

本機の「SMB 設定」の「プリント設定」で NetBIOS 名、プリントサービス名、ワークグループを設定しておきます。

■ プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

- 1** ドライバー CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2** [スタート] をクリックして、「設定」 – 「プリンタ」をクリックします。
- 3** 「プリンタの追加」をダブルクリックします。
「プリンタの追加ウィザード」が起動します。
- 4** 画面の指示にしたがって操作します。
- 5** 接続方法を指定する画面で、「ローカルプリンタ」を選択し、[次へ] をクリックします。
 - 「プラグ アンド プレイプリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックは外しておきます。
 「プリンタポートの選択」ダイアログボックスが表示されます。
- 6** 「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類で「Local Port」を選択します。
- 7** [次へ] をクリックします。
- 8** 「ポート名」ボックスに「¥NetBIOS 名 ¥プリントサービス名」を入力します。

ひとこと

NetBIOS 名とプリントサービス名は、本機の「SMB 設定」の「プリント設定」と同じ名前を入力してください。

9

[開く] をクリックします。
「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

10

[ディスク使用] をクリックします。

11

[参照] をクリックします。

12

CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー

13

[OK] をクリックします。
「プリンタ」リストが表示されます。

14

[次へ] をクリックします。

15

画面の指示にしたがって操作します。

16

[完了] をクリックします。

17

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

18

CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。
これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

ひとこと

CD-ROM 内の構成については、
[「1.4 CD-ROM の構成」](#)をごらんください。

ひとこと

「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、[はい] をクリックします。



本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



- ・本機の IPP 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

4.3.3 ネットワーク接続 (IPP/IPPS) の場合

IPP 印刷の場合は、ネットワーク設定を行ってからプリンタードライバーをインストールします。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

■ 本機の IPP 設定

本機の「IPP 設定」で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

■ プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

- 1** ドライバー CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2** [スタート] をクリックして、「設定」 – 「プリンタ」をクリックします。
- 3** 「プリンタの追加」をダブルクリックします。
「プリンタの追加ウィザード」が起動します。
- 4** [次へ] をクリックします。
- 5** 「ローカルまたはネットワークプリンタ」画面で、「ネットワークプリンタ」を選択し、[次へ] をクリックします。
- 6** 「プリンタの検索」画面で、「インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します」を選択します。
- 7** 「URL」フィールドに、以下の形式で、本機の URL を入力し、[次へ] をクリックします。
 - `http://<本機の IP アドレス>/ipp`
例：本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合
`http://192.168.1.20/ipp`
- 8** 確認のダイアログが表示されたら、[OK] をクリックします。
- 9** [ディスク使用] をクリックします。
- 10** [参照] をクリックします。
- 11** CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。
 - 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー
- 12** [OK] をクリックします。
「プリンタ」リストが表示されます。
- 13** [OK] をクリックします。
- 14** 画面の指示にしたがって操作します。
- 15** [完了] をクリックします。

ひとこと

Windows 2000 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

ひとこと

IPPS 印刷に設定するときは
「`https://<本機の IP アドレス>/ipp`」を入力してください。この場合は、インストール途中でユーザー名とパスワードを確認する画面が表示されます。

ひとこと

CD-ROM 内の構成については、
[「1.4 CD-ROM の構成」](#)をごらんください。

ひとこと

「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、[はい] をクリックします。

16

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタとFAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。

17

CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。設定が完了したプリンターは、通常のローカルプリンターと同様に使用できます。また、Windows 上でプリンターを共有設定することにより、ネットワーク内のほかの Windows コンピューターからネットワークプリンターとして使用できます。

4.3.4 ローカル接続の場合

USB ポートで接続する場合は、プラグアンドプレイでプリンタードライバーをインストールできます。

1

本機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。

2

ドライバー CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

3

本機の主電源を入れます。

「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログが表示されます。

4

「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、[次へ] をクリックします。

5

「場所の指定」を選択し、[次へ] をクリックします。

6

CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
PCL ドライバー、PS ドライバー、ファクスドライバー

7

[OK] をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。

8

[完了] をクリックします。

9

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタとFAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。

10

CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

ひとこと

USB 接続でプリントするには、別途ローカルインターフェースキットが必要です。



コンピューターの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

ひとこと

「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログが表示されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。

電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

ひとこと

CD-ROM 内の構成については、「[1.4 CD-ROM の構成](#)」をごらんください。

ひとこと

「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、[はい] をクリックします。

4.4 Windows NT 4.0

4.4.1 ネットワーク接続 (LPR) の場合

LPR 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。

■ 本機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、本機の「LPD 設定」で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

■ プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

- 1 ドライバー CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 [スタート] をクリックして、「設定」 – 「プリンタ」をクリックします。
- 3 「プリンタの追加」をダブルクリックします。
「プリンタの追加ウィザード」が起動します。
- 4 画面の指示にしたがって操作します。
- 5 接続方法を指定する画面で、「このコンピュータ」を選択し、[次へ] をクリックします。
- 6 [次へ] をクリックします。
ポートを指定する画面が表示されます。
- 7 [ポートの追加] をクリックします。
- 8 「利用可能なプリンタポート」リスト内で「LPR Port」を選択し、[新しいポート] をクリックします。
- 9 「アドレス」ボックスに本機の IP アドレスを、「キュー名」ボックスに「Print」入力し、[OK] をクリックします。
- 10 作成したポートを選択し、[次へ] をクリックします。
- 11 [ディスク使用] をクリックします。
- 12 [参照] をクリックします。



本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



本機の LPD 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

- ・Windows NT 4.0 にインストールするときは、管理者権限が必要です。
- ・Windows NT4.0 で、LPR ポートを利用するには、お使いのコンピューターにあらかじめ Microsoft TCP/IP 印刷サービスがインストールされている必要があります。

ひとこと

大文字、小文字も正確に入力する必要があります。

13

CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

○ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、

OS、言語に応じて選択してください。

選択できるプリンタードライバー：

PCL ドライバー、ファクスドライバー

ひとこと

CD-ROM 内の構成については、
[「1.4 CD-ROM の構成」](#) をご覧ください。

14

[OK] をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

15

[次へ] をクリックします。

16

画面の指示にしたがって操作します。

17

[完了] をクリックします。

18

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが
「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

19

CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。



第5章

Macintosh のインストール

Mac を使用する場合に必要な設定と Mac 用プリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

5.1	Mac OSX 10.2/10.3/10.4/10.5/10.6	5-2
5.2	Mac OS 9.2	5-15

5.1 Mac OSX 10.2/10.3/10.4/10.5/10.6

5.1.1 プリンタードライバーのインストール

1

Mac を起動します。

2

ドライバー CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

3

CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを開きます。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

4

Mac OS のバージョンに合わせて、ドライバー用のファイルをデスクトップ上にコピーします。

- OS X 10.2 : bizhub_501_102.pkg
- OS X 10.3 : bizhub_501_103104.pkg
- OS X 10.4 : bizhub_501_103104.pkg
- OS X 10.5 : bizhub_501_105.pkg
- OS X 10.6 : bizhub_501_106.pkg

OS X 10.5/10.6 では使用する用紙サイズによってドライバー用フォルダが異なります。使用環境に合わせて選択してください。

おもにメトリックサイズ (A4 など) で印刷する場合：
「A4」フォルダ内

おもにインチサイズ (Letter, 8 1/2 × 11) で印刷する場合：「Letter」フォルダ

5

デスクトップ上にコピーしたファイルをダブルクリックします。

6

「インストール」画面が表示されるまで、画面の指示にしたがって [続ける] をクリックします。

7

「簡易インストール」画面で、「インストール」をクリックします。

プリンタードライバーがコンピューターにインストールされます。インストールが終了すると、メッセージが表示されます。

ひとこと

APPLICATIONソフトが起動しているときは、全て終了しておきます。

ひとこと

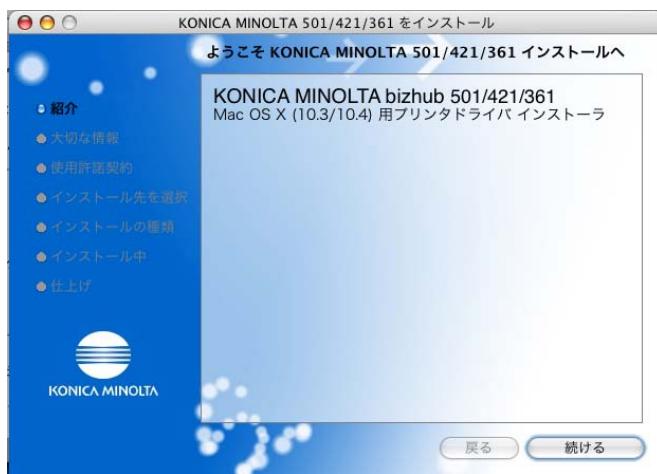
途中で、管理者の名前とパスワードを要求されますので入力してください。

管理者の名前とパスワードは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

[キャンセル] を押すと、インストーラーは終了します。

ひとこと

2回目以降のインストールでは、[インストール] ボタンが [アップグレード] に変わることがあります。



8

[閉じる] をクリックします。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

続いて、プリンターの選択をしてください。

5.1.2 プリンターの選択と接続 (OS 10.4/10.5/10.6)

Bonjour、AppleTalk(OS 10.4/10.5のみ)、LPR(LPD)、IPP で接続できます。

本機のネットワーク設定を行ったあと、[プリントとファクス] で使用するプリンターとして選択すると、印刷が可能になります。

■ Bonjour を設定する

本機の Bonjour 設定

本機の [Bonjour 設定] で Bonjour を [有効] に設定し、Bonjour 名を入力しておきます。

プリンターの追加

1
2
3
4

「アップル」メニューの [システム環境設定] を選択します。

[プリントとファクス] を選択します。

画面左下にある [+] をクリックします。

接続されているプリンターが検出されますので、[デフォルト(ブラウザ)] タブから目的のプリンター名と接続 (Bonjour) を選択します。



ひとこと

Mac OS X 10.6 では、AppleTalk は使用できません。

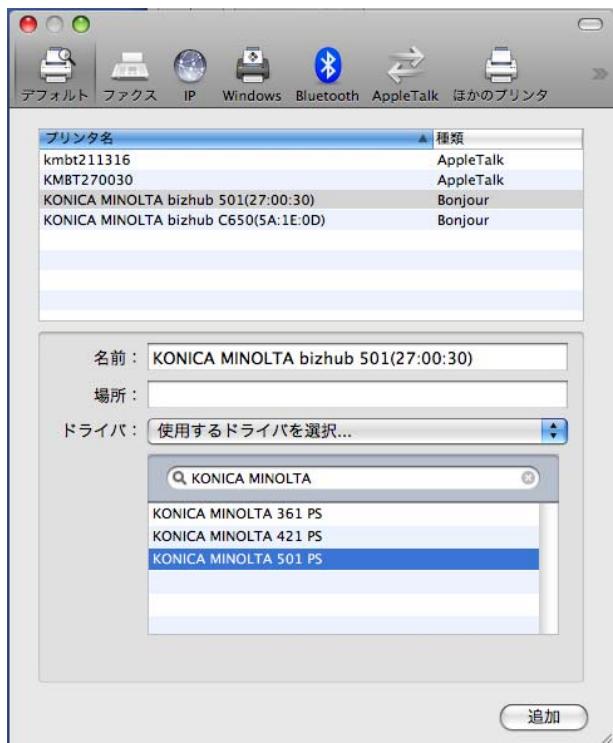


本機の Bonjour 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

5

OS 10.5/10.6 では、画面下の [ドライバ] で [使用するドライバを選択...] を選択し、一覧表から目的の機種名を選択し、[追加] をクリックします。

- OS 10.4 では、[使用するドライバ] で 「KONICA MINOLTA」 を選択し、機種一覧から目的の機種名を選択し、[追加] をクリックします。



ひとこと

OS 10.5 /10.6 では、検索用のテキストボックス内に、[KONICA MINOLTA] と入力すると、簡単にドライバーを見つけることができます。

6

[インストール可能なオプション] が表示されますので、[続ける] をクリックします。

7

[プリントとファクス] に登録されると、設定は終了です。

■ AppleTalk を設定する

本機の AppleTalk 設定

本機の [AppleTalk 設定] で AppleTalk を使用可能に設定し、プリンタ名を入力しておきます。

コンピューターの AppleTalk 設定

接続している Mac で AppleTalk を設定します。

1

「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。

2

「ネットワーク」アイコンをクリックします。

3

[(内蔵)Ethernet] を選択し、[詳細] をクリックします。



本機の AppleTalk 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

Mac OS X 10.6 では、AppleTalk は使用できません。

4

[AppleTalk] タブをクリックし、[AppleTalk を有効にする] チェックボックスを ON にします。

5

[(今すぐ) OK] をクリックします。

6

[適用] ボタンをクリックします。

7

画面左上のクローズボタン [×] をクリックします。

プリンターの追加

1

「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。

2

[プリントとファクス] を選択します。

3

画面左下にある [+] をクリックします。

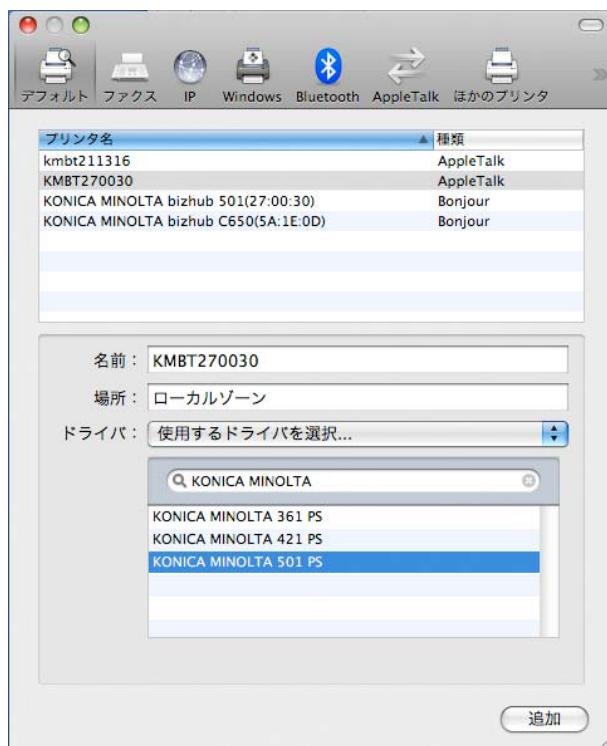
4

接続されているプリンターが検出されますので、[デフォルト] タブから目的のプリンター名と接続 (AppleTalk) を選択します。

5

OS 10.5 では、画面下の [ドライバ] で [使用するドライバを選択...] を選択し、一覧表から目的の機種名を選択し、[追加] をクリックします。

○ OS 10.4 では、[使用するドライバ] で 「KONICA MINOLTA」を選択し、機種一覧から目的の機種名を選択して [追加] をクリックします。



6

[インストール可能なオプション] が表示されますので、[続ける] をクリックします。

ひとこと

OS 10.5 では、[AppleTalk] タブからも設定することができます。この場合は、画面上に検出されたプリンターから目的のプリンター名を選択します。

ひとこと

OS 10.4 では、検索用のテキストボックス内に、「KONICA MINOLTA」と入力すると、簡単にドライバーを見つけ出すことができます。

7

[プリントとファクス] に登録されると、設定は終了です。

■ LPR を設定する

本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の LPD 設定

本機の [LPD 設定] で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

IP アドレスおよび LPR 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」を参照してください。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Mac で TCP/IP を設定します。

- 1** 「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。
- 2** 「ネットワーク」アイコンをクリックします。
- 3** [(内蔵)Ethernet] を選択し、必要であれば、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。
- 4** [(今すぐ) 適用] をクリックします。
- 5** 画面左上のクローズボタン [×] をクリックします。

プリンターの追加

- 1** 「アップル」メニューの [システム環境設定] を選択します。
- 2** [プリントとファクス] を選択します。
- 3** 画面左下にある [+] をクリックします。
- 4** [IP (プリンタ)] タブをクリックし、[プロトコル] を [LPD(Line PrinterDaemon)] に設定します。
- 5** [アドレス] に出力デバイスの IP アドレスを入力します。
- 6** OS 10.5/10.6 では、画面下の [ドライバ] で [使用するドライバを選択...] を選択し、一覧表から目的の機種名を選択し、[追加] をクリックします。



本機の IP アドレスおよび LPR 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

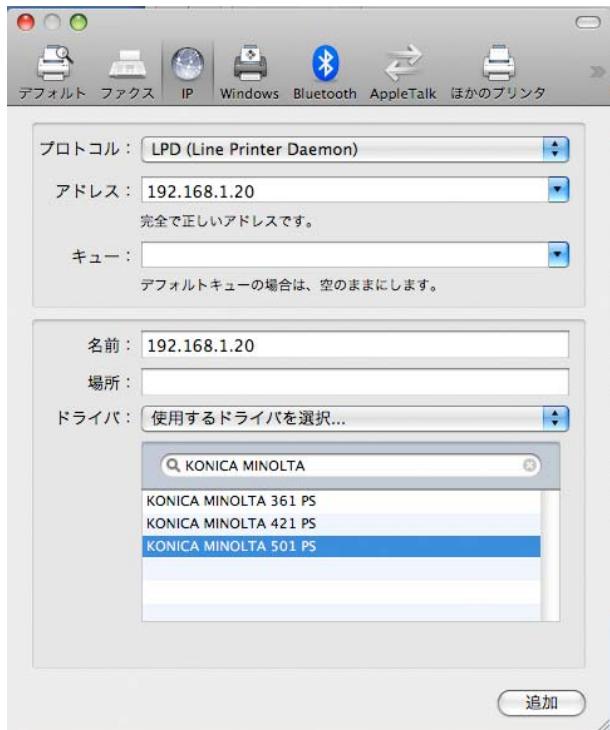
ひとこと

OS 10.5/10.6 では、[詳細] をクリックし、[TCP/IP] タブからも IP アドレスなどを設定することができます。

ひとこと

すでに使用可能なプリンターを設定している場合は、「プリンタの追加」画面は表示されません。

- OS 10.4 では、[使用するドライバ] で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種一覧から目的の機種名を選択して [追加] をクリックします。



ひとこと

OS 10.5/10.6 では、検索用のテキストボックス内に、「KONICA MINOLTA」と入力すると、簡単にドライバーを見つけることができます。

7

[インストール可能なオプション] が表示されますので、[続ける] をクリックします。

8

[プリントとファクス] に登録されると、設定は終了です。

■ IPP を設定する

本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の IPP 設定

本機の [IPP 設定] で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Mac で TCP/IP を設定します。

1

「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。

2

「ネットワーク」アイコンをクリックします。

3

[(内蔵)Ethernet] を選択し、必要であれば、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

4

[(今すぐ) 適用] をクリックします。

5

画面左上のクローズボタン [×] をクリックします。

参照

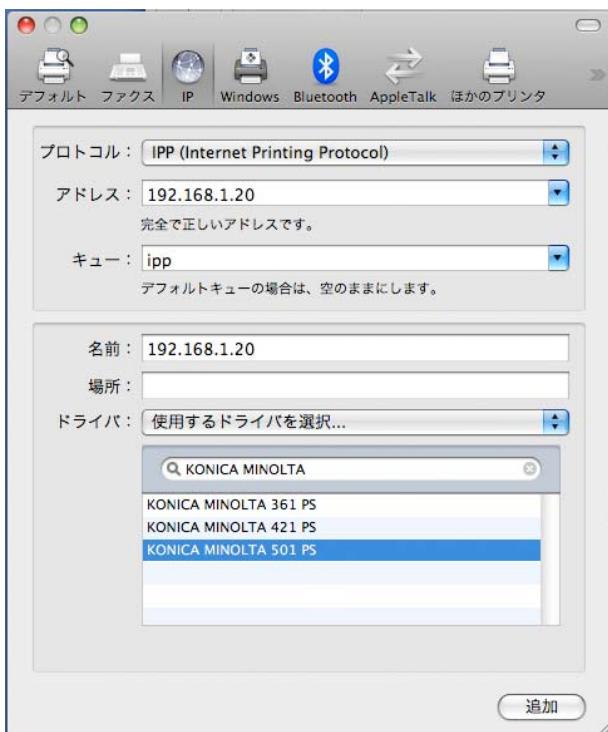
本機の IP アドレスおよび IPP 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

OS 10.5/10.6 では、[詳細] をクリックし、[TCP/IP] タブからも IP アドレスなどを設定することができます。

プリンターの追加

- 1** 「アップル」メニューの【システム環境設定】を選択します。
- 2** [プリントとファクス] を選択します。
- 3** 画面左下にある [+] をクリックします。
- 4** [IP (プリンタ)] タブをクリックし、[プロトコル] を [IPP(Internet Printing Protocol)] に設定します。
- 5** [アドレス] に出力デバイスの IP アドレスを入力します。
- 6** [キュー] に [ipp] と入力します。
- 7** OS 10.5/10.6 では、[ドライバ] で [使用するドライバを選択...] を選択し、一覧表から目的の機種名を選択し、[追加] をクリックします。
○ OS 10.4 では、[使用するドライバ] で [KONICAMINOLTA] を選択し、機種一覧から目的の機種名を選択して [追加] をクリックします。



- 8** [インストール可能なオプション] が表示されますので、[続ける] をクリックします。
- 9** [プリントとファクス] に登録されると、設定は終了です。

ひとこと

すでに使用可能なプリンターを設定している場合は、「プリンタの追加」画面は表示されません。

ひとこと

OS 10.5/10.6 では、検索用のテキストボックス内に、[KONICA MINOLTA] と入力すると、簡単にドライバーを見つけることができます。

5.1.3 プリンターの選択と接続 (OS 10.2/10.3)

OS 10.2/10.3 は、Rendezvous、AppleTalk、LPR (LPD)、IPP で接続できます。

本機のネットワーク設定を行ったあと、「プリンタ設定ユーティリティ」または「プリントセンター」で使用するプリンターとして選択すると、印刷できるようになります。

■ Rendezvous を設定する

本機の Bonjour 設定

本機の「Bonjour 設定」で Bonjour を使用可能に設定し、Bonjour 名を入力しておきます。

プリンターの追加

- 1** インストールされた「HDD」 – 「アプリケーション」 – 「ユーティリティ」内にある「[プリンタ設定ユーティリティ]」または「[プリントセンター]」をダブルクリックして開きます。
- 2** 「プリンタの追加」画面が表示された場合は、「[追加]」をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、「[追加]」をクリックします。
- 3** 接続方法に「Rendezvous」を選択します。
接続されているプリンターが検出されます。
- 4** 「名前」一覧から目的の機種名を選択します。
- 5** 「プリンタの機種」で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種名一覧から目的の機種名を選択して「[追加]」をクリックします。



選択したプリンターが「プリンタリスト」に登録されると、設定は終了です。



本機の Bonjour 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

すでに使用可能なプリンターを設定している場合は、「プリンタの追加」画面は表示されません。

ひとこと

プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。

電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

■ AppleTalk を設定する

本機の AppleTalk 設定

本機の「AppleTalk 設定」で AppleTalk を使用可能に設定し、プリンター名を入力しておきます。

コンピューターの AppleTalk 設定

接続している Mac で AppleTalk を設定します。

- 1** 「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。
- 2** 「ネットワーク」アイコンをクリックします。
- 3** 「表示」で「内蔵 Ethernet」を選択します。
- 4** 「AppleTalk」タブをクリックし、「AppleTalk 使用」チェックボックスを ON にします。
- 5** 画面左上のクローズボタンをクリックします。
○「設定の変更を適用しますか?」というメッセージが表示されたら [適用] をクリックします。

プリンターの追加

- 1** インストールされた「HDD」 – 「アプリケーション」 – 「ユーティリティ」内にある [プリンタ設定ユーティリティ] または [プリントセンター] をダブルクリックして開きます。
- 2** 「プリンタの追加」画面が表示された場合は、[追加] をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、[追加] をクリックします。
- 3** 接続方法に「AppleTalk」を選択し、本機が接続されているゾーンを選択します。
接続されているプリンターが検出されます。
- 4** 「名前」一覧から目的の機種名を選択します。
- 5** 「プリンタの機種」で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種名一覧から目的の機種名を選択して [追加] をクリックします。



本機の AppleTalk 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

すでに使用可能なプリンターを設定している場合は、「プリンタの追加」画面は表示されません。

ひとこと

プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON してください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。



選択したプリンターが「プリントリスト」に登録されると、設定は終了です。

■ LPR を設定する

本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、本機の「LPD 設定」で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Mac で TCP/IP を設定します。

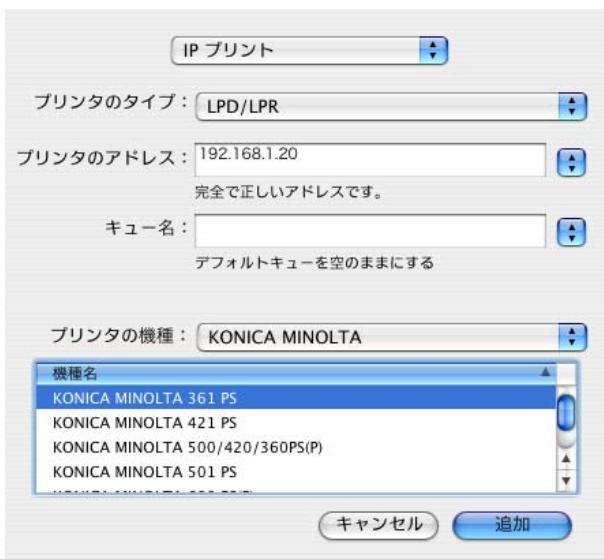
- 1** 「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。
- 2** 「ネットワーク」アイコンをクリックします。
- 3** 「表示」で「内蔵 Ethernet」を選択します。
- 4** 「TCP/IP」タブをクリックします。
- 5** Mac を接続するネットワークの設定に応じて、該当する「設定」項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。
- 6** 画面左上のクローズボタンをクリックします。
○ 「設定の変更を適用しますか?」というメッセージが表示されたら [適用] をクリックします。



- ・本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・本機の LPD 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

プリンターの追加

- 1** インストールされた「HDD」 – 「アプリケーション」 – 「ユーティリティ」内にある「[プリンタ設定ユーティリティ]」または「[プリントセンター]」をダブルクリックして開きます。
- 2** 「プリンタの追加」画面が表示された場合は、「[追加]」をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、「[追加]」をクリックします。
- 3** 接続方法に「IP プリント」を選択します。
- 4** OS 10.3 の場合は、「プリンタのタイプ」で「LPD/LPR」を選択します。
- 5** 「プリンタのアドレス」に本機の IP アドレスを入力します。
- 6** 「プリンタの機種」で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種名一覧から目的の機種名を選択して「[追加]」をクリックします。



選択したプリンターが「プリンタリスト」に登録されると、設定は終了です。

ひとこと

すでに使用可能なプリンターを設定している場合は、「プリンタの追加」画面は表示されません。

■ IPP を設定する

本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の IPP 設定

本機の「IPP 設定」で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Mac で TCP/IP を設定します。

- 1** 「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。
- 2** 「ネットワーク」アイコンをクリックします。
- 3** 「表示」で「内蔵 Ethernet」を選択します。
- 4** 「TCP/IP」タブをクリックします。
- 5** Mac を接続するネットワークの設定に応じて、該当する「設定」項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。
- 6** 画面左上のクローズボタンをクリックします。
○「設定の変更を適用しますか?」というメッセージが表示されたら [適用] をクリックします。

プリンターの追加

- 1** インストールされた「HDD」 – 「アプリケーション」 – 「ユーティリティ」内にある「[プリンタ設定ユーティリティ]」または「[プリントセンター]」をダブルクリックして開きます。
- 2** 「プリンタの追加」画面が表示された場合は、[追加] をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、[追加] をクリックします。
- 3** 接続方法に「IP プリント」を選択します。
- 4** OS 10.3 の場合は、「プリンタのタイプ」で「IPP」を選択します。
- 5** 「プリンタのアドレス」に本機の IP アドレスを入力します。
○「キュー名」は空欄にします。



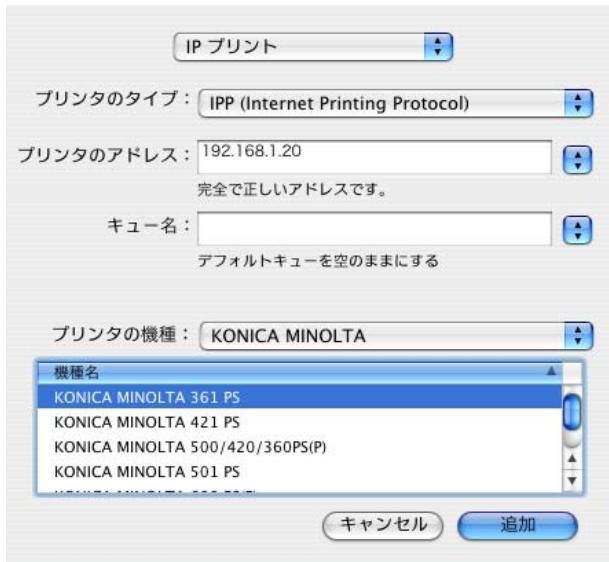
- ・本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・本機の IPP 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

すでに使用可能なプリンターを設定している場合は、「プリンタの追加」画面は表示されません。

6

「プリンタの機種」で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種名一覧から目的の機種名を選択して [追加] をクリックします。



選択したプリンターが「プリンタリスト」に登録されると、設定は終了です。

5.2 Mac OS 9.2

5.2.1 プリンタードライバーのインストール

本機に接続後、PostScript プリンターを選択し、「プリンター記述ファイル（PPD ファイル）」を指定すると、プリンターとして使用できるようになります。

まず、「プリンター記述ファイル（PPD ファイル）」をコンピューターにコピーします。

- 1 ドライバー CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを開きます。
 - 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
- 3 「KONICAMINOLTA501JVxxx.ppd」の PPD ファイルを選択し、コンピューターの「HDD」 – 「システムフォルダー」 – 「機能拡張」 – 「プリンタ記述ファイル」内にコピーします。
これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

ひとこと

CD-ROM 内の構成については、「[1.4 CD-ROM の構成](#)」をごらんください。

5.2.2 プリンターの選択と接続

OS9 は、AppleTalk、LPR (LPD) で接続できます。

本機のネットワーク設定を行ったあと、プリンターを選択します。

■ AppleTalk を設定する

本機の AppleTalk 設定

本機の「AppleTalk 設定」で AppleTalk を使用可能に設定し、プリンタ名を入力しておきます。

コンピューターの AppleTalk 設定

接続している Mac で AppleTalk を設定します。

- 1 「アップル」メニューの「コントロールパネル」 – 「AppleTalk」を選択します。
- 2 「経由先」で「Ethernet」を選択します。
- 3 画面左上のクローズボタンをクリックします。
 - 「変更内容を現在の設定に保存しますか？」というメッセージが表示されたら [保存] をクリックします。



本機の AppleTalk 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

プリンターの選択

- 1 「アップルメニュー」の「セレクタ」を選択します。
- 2 「AppleTalk」が「使用」になっていることを確認して、[LaserWriter] アイコンをクリックします。

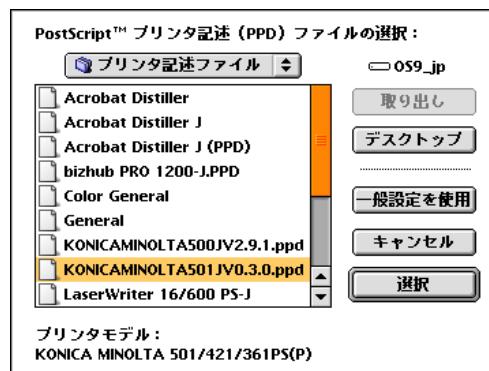
3

「PostScript プリンタの選択」一覧から、目的の機種名をクリックし、[作成] をクリックします。

PostScript プリンター記述 (PPD) ファイルを選択する画面が表示されます。

4

該当する PPD ファイルをクリックし、[選択] (または [開く]) をクリックします。

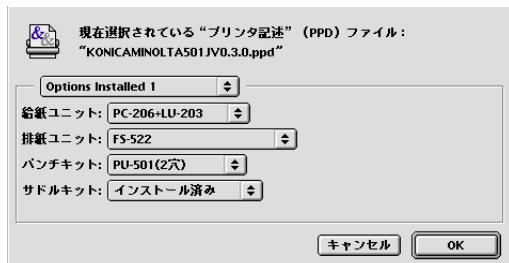


ひとこと

すでに別の PPD ファイルが選択されている場合は、手順 3 で [再設定] をクリックし、さらに表示される画面で [PPD の選択] をクリックします。

5

「Options Installed 1」と「Options Installed 2」の各画面で本機に装着しているオプションを設定します。



6

[OK] をクリックします。

「セレクタ」画面に戻ります。

7

「セレクタ」画面を閉じます。

■ LPR を設定する

本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、本機の「LPD 設定」で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Mac で TCP/IP を設定します。

1

「アップル」メニューの「コントロールパネル」 - 「TCP/IP」を選択します。



- ・本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・本機の LPD 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

2

「経由先」で「Ethernet」を選択します。

3

Mac を接続するネットワークの設定に応じて、該当する「設定方法」の項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

4

画面左上のクローズボタンをクリックします。

- 「変更内容を現在の設定に保存しますか？」というメッセージが表示されたら [保存] をクリックします。

プリンターの追加

1

「HDD」 – 「アプリケーション」 – 「ユーティリティ」内にある「デスクトッププリンタ Utility」をダブルクリックして開きます。

「新規」画面が表示されます。

2

「プリンタ」で「LaserWriter」を選択します。

3

「デスクトップに作成」で「プリンタ (LPR)」を選択します。



「名称未設定」画面が表示されます。

4

「PostScript™ 記述 (PPD) ファイル」の [変更] をクリックします。

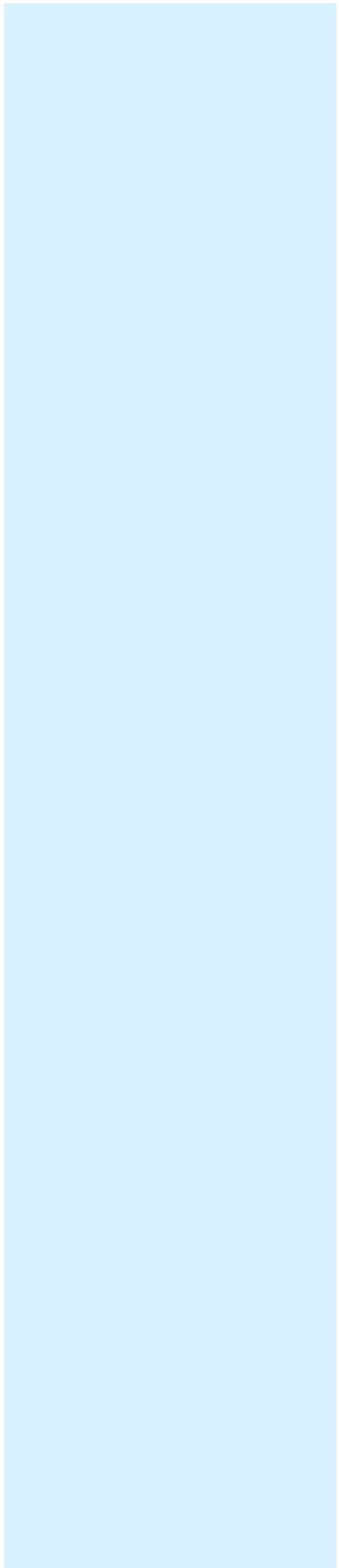
PostScript プリンター記述 (PPD) ファイルを選択する画面が表示されます。



5

該当する PPD ファイルをクリックし、[選択] をクリックします。

「名称未設定」画面に戻ります。



6

「LPR プリンタの選択」の [変更] をクリックします。
IP アドレスを入力する画面が表示されます。

7

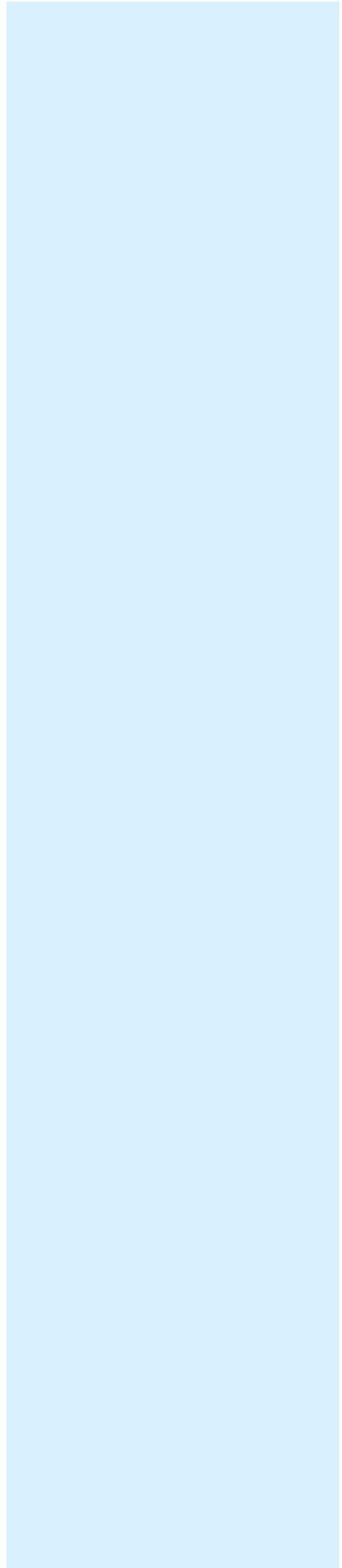
「プリンタアドレス」に本機の IP アドレスを入力して、[OK] を
クリックします。
「名称未設定」画面に戻ります。

8

[作成] をクリックします。
保存の画面が表示されます。

9

「デスクトップ・プリンタの保存名」を入力して、[保存] をク
リックします。
デスクトップに LPR プリンターのアイコンが作成されます。





第6章

NetWare を使用する場合のインストール

NetWare を使用する場合に必要な設定と Windows クライアント用のプリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

6.1 NetWare 6-2

6.1 NetWare

6.1.1 ネットワーク設定

本機の「NetWare 設定」で「IPX 設定」、「NetWare プリントモード」を設定しておきます。



本機の NetWare 設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

6.1.2 Windows クライアント設定

印刷を行う Windows クライアントでは、「プリンタの追加ウィザード」でプリンタードライバーをインストールします。

- 1 ドライバー CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 「プリンタ」ウィンドウまたは「プリンタと FAX」ウィンドウを開きます。
- 3 「プリンタのインストール」または「プリンタの追加」を実行します。
「プリンタの追加ウィザード」が起動します。
- 4 印刷先ポートの設定で、ネットワークを参照し、作成した
キュー名（または NDPS プリンター名）を指定します。
- 5 プリンターのモデル一覧で、CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定します。
 - 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、
OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
Windows 2000/XP/Server 2003 : PCL ドライバー、PS
ドライバー
Windows Vista/7/Server 2008 : PCL ドライバー、PS
ドライバー、XPS ドライバー
Windows NT4.0 : PCL ドライバー
- 6 画面の指示にしたがってインストールを完了します。

ひとこと

インストールするときは、管理者権限が必要です。

第7章

プリンタードライバーのアンインストール

プリンタードライバーを削除する操作を説明します。

7.1	Windows	7-2
7.2	Macintosh	7-5

7.1 Windows

プリンタードライバーを再インストールするときなど、プリンタードライバーを削除する必要がある場合は、以下の手順でドライバーを削除してください。

7.1.1 アンインストールプログラムによるアンインストール

プリンタードライバーをインストーラーでインストールした場合は、プリンタードライバーの削除機能が組み込まれています。

- 1 [スタート] をクリックし、「すべてのプログラム」(または「プログラム」) – 「KONICAMINOLTA」 – 「xxxxx (製品名)」 – 「プリンタードライバーの削除」をクリックします。
- 2 削除するコンポーネントを選択し、[削除] をクリックします。
○ 以降は、表示される画面にしたがって操作してください。



- 3 再起動する画面が表示されたら [OK] をクリックし、再起動します。

7.1.2 インストーラーによるアンインストール

プリンタードライバーをインストーラーでインストールした場合は、インストーラーでも削除できます。

- 1 ドライバーCDをコンピューターのCD-ROM ドライブに入れます。
○ インストーラーが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。
○ インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて 32bit 版 OS の場合は「Setup.exe」を、64bit 版 OS の場合は「Setup64.exe」をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。
- 2 「プリンタのインストール」をクリックします。
プリンタードライバーのインストーラーが起動します。
- 3 使用許諾契約書の画面で [同意します] をクリックします。

- 4** セットアップの内容を選択する画面で「プリンタドライバの削除」を選択して [次へ] をクリックします。
- 5** 削除するコンポーネントを選択し、[削除] をクリックします。
○ 以降は、表示される画面にしたがって操作してください。
- 6** 再起動する画面が表示されたら [OK] をクリックし、再起動します。

7.1.3 手動アンインストール

インストーラーを使わずにプリンタードライバーをインストールした場合は、手動でプリンタードライバーを削除します。

- 1** 「プリンタ」ウィンドウまたは「プリンタとFAX」ウィンドウを開きます。
○ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、「デバイスとプリンター」ウィンドウを開きます。
- 2** 削除したいプリンターのアイコンを選択します。
- 3** コンピューターの [Delete] キーを押し、プリンタードライバーを削除します。
○ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、ツールバーの [デバイスの削除] をクリックします。
- 4** 以降は、画面の指示にしたがって操作します。
削除が終了すると「プリンタ」ウィンドウまたは「プリンタとFAX」ウィンドウからアイコンが消えます。

Windows NT 4.0 の場合は、これでアンインストール完了です。

Windows 2000/XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008 の場合は、引き続きサーバーのプロパティでプリンタードライバーを削除します。

- 5** 「サーバーのプロパティ」を開きます。
○ Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、「ファイル」メニューをクリックし、「サーバーのプロパティ」をクリックします。
○ Windows Vista/Server 2008 の場合は、「プリンタ」ウィンドウの何もない部分を右クリックし、「管理者として実行」 - 「サーバーのプロパティ」をクリックします。
○ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、「デバイスとプリンター」ウィンドウの「プリントサーバープロパティ」をクリックします。
- 6** 「ドライバ」タブをクリックします。
- 7** 「インストールされたプリンタドライバ」一覧から、削除したいプリンタードライバーを選択し、[削除] をクリックします。

ひとこと

「ユーザー アカウント制御」に関する画面が表示されるときは、[続行] をクリックします。

- Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、手順 9 に進みます。
- Windows Vista/7/Server 2008 の場合は、手順 8 に進みます。

8

削除の対象を確認する画面で「ドライバとパッケージを削除する」を選択して、[OK] をクリックします。

9

削除を確認する画面で [はい] をクリックします。

- Windows Vista/7/Server 2008 の場合は、さらに削除を確認する画面が表示されますので [削除] をクリックします。

10

開いている画面を閉じ、コンピューターを再起動します。

- 必ず再起動してください。

これでプリンタードライバーの削除は完了です。



上記の手順でプリンタードライバーを削除しても、Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、機種情報ファイルがコンピューターに残ります。このため同一バージョンのプリンタードライバーを再インストールする場合、ドライバーが書き替えできない場合があります。この場合以下のファイルも削除してください。

32bit 版の場合 :

「C: ¥WINDOWS¥system32¥spool¥drivers¥w32x86」 フォルダー

64bit 版の場合 :

「C: ¥WINDOWS¥system32¥spool¥drivers¥x64」 フォルダー

上記フォルダーを確認し、該当機種のフォルダーがあれば削除します。ただし、PCL コニカミノルタ製ドライバーと PostScript コニカミノルタ製ドライバー、ファクスドライバーなど複数のドライバーがインストールされている場合は、全てのドライバーの機種情報が削除されます。ほかのドライバーを残す場合は削除しないでください。

「C: ¥WINDOWS¥inf」 フォルダーにある「oem*.inf」と「oem*.PNF」を削除します（ファイル名の「*」は番号を示し、番号はコンピューターの環境により異なります）。

削除する前に inf ファイルを開いて、最後の数行に記述してある機種名を確認し、該当機種のファイルであることを確認してください。PNF ファイルは inf ファイルと同じ番号となります。

Windows Vista/7/Server 2008 で「ドライバとパッケージを削除する」で操作した場合は、この作業は不要です。

7.2 Macintosh

プリンタードライバーを再インストールするときなど、プリンタードライバーを削除する必要がある場合は、以下の手順でドライバーを削除してください。

7.2.1 Mac OS X の場合

1

「プリントとファクス」画面（または「プリント設定ユーティリティ」 / 「プリントセンター」画面）を開きます。

- 「プリントとファクス」画面は、「アップル」メニューの「システム環境設定」から開きます（OSX 10.4/10.5/10.6）。
- 「プリント設定ユーティリティ」 / 「プリントセンター」画面は、「HDD」 - 「アプリケーション」 - 「ユーティリティ」から開きます（OS X 10.2/10.3）。

2

削除するプリンター名を選択し、[削除] をクリックします。

選択したプリンターが削除されます。

3

「プリンタリスト」を閉じます。

4

インストールした「HDD」の「ライブラリ」 - 「Printers」 - 「PPDs」 - 「Contents」 - 「Resources」 - 「ja.lproj」（OS X 10.5/10.6 は除く）内の以下のファイルを「ゴミ箱」へドラッグします。

- 「KONICAMINOLTA501.gz」
- 「KONICAMINOLTA421.gz」
- 「KONICAMINOLTA361.gz」

5

「ライブラリ」 - 「Printers」内の不要なファイルを削除します。

- 「ライブラリ」 - 「Printers」 - 「KONICAMINOLTA」内の「501」フォルダーを「ゴミ箱」へドラッグします。
- OS 10.2 の場合は続いて、「ライブラリ」 - 「Printers」 - 「PPDPlugins」内にある「KONICA MINOLTA 501」のついたファイルをすべて「ゴミ箱」へドラッグします。

6

コンピューターを再起動します。

これでプリンタードライバーの削除は完了です。

7.2.2 Mac OS 9.2 の場合

1

デスクトップ上のプリンターアイコンを「ゴミ箱」へドラッグします。

2

「HDD」 – 「システムフォルダー」 – 「機能拡張」 – 「プリンタ記述ファイル」内の「KONICAMINOLTA501JVxxx.ppd」のPPD ファイルを選択し、「ゴミ箱」へドラッグします。

プリンタードライバー関連ファイルが削除されます。

3

コンピューターを再起動します。

これでプリンタードライバーの削除は完了です。

第8章

Windows用PCL/PS/XPSドライバーの印刷機能

Windows用のPCL/PS/XPSプリンタードライバーの機能について説明します。

8.1	印刷操作	8-2
8.2	プリンタードライバーの初期設定	8-3
8.3	共通項目	8-6
8.4	設定項目詳細	8-7

8.1 印刷操作

通常、印刷はアプリケーションソフトウェアから指定します。

1

アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから「印刷」(または「プリント」) をクリックします。

- メニューがない場合は、[印刷] ボタンをクリックします。

2

「プリンタ名」(または「プリンタの選択」) で印刷したいプリンター名が選択されているか確認します。

- 目的のプリンターが選択されていないときは、クリックして選択します。



3

印刷するページ範囲や部数を設定します。

4

必要に応じて [プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックし、プリンタードライバーの設定を変更します。

5

[印刷] をクリックします。

本機のデータランプが点滅します。

ひとこと

「印刷」画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。



「印刷」画面で [プロパティ] や [詳細設定] をクリックすると、プリンタードライバーの設定画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、「[設定項目詳細 \(p. 8-7\)](#)」をごらんください。

ひとこと

「印刷」画面から変更したプリンタードライバーの設定は保存されず、アプリケーションソフトウェアを終了すると元に戻ります。

8.2 プリンタードライバーの初期設定

プリンタードライバーをインストールしたら、日常の印刷を行う前にオプションやユーザー認証、部門管理機能などの初期設定条件を変更し、本機の機能をプリンタードライバーから使用可能にする必要があります。

8.2.1 プロパティ画面の表示方法

1

「プリンタ」ウィンドウまたは「プリンタとFAX」ウィンドウを開きます。

- Windows 2000/NT 4.0 の場合は、「スタート」をクリックし、「設定」 - 「プリンタ」をクリックします。
- Windows XP/Server 2003 の場合は、「スタート」をクリックし、「プリンタとFAX」をクリックします。
- Windows Vista/Server 2008 の場合は、「スタート」をクリックして「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、「スタート」をクリックして「デバイスとプリンター」をクリックします。

2

インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。

- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、プリンターアイコンを右クリックして、「プリンターのプロパティ」をクリックします。

8.2.2 装置情報タブ



ひとこと

本機の機種名や装着されているオプション、ユーザー認証、部門管理機能が「装置情報」タブで設定されていないと、プリンタードライバーでオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

ひとこと

- ・Windows XP/Server 2003 で、「スタート」メニューに「プリンタとFAX」が表示されていない場合は、「スタート」メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタとFAX」を選びます。
- ・Windows Vista/Server 2008 で「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。
- ・Windows 7/Server 2008 R2 で「コントロールパネル」がカテゴリ表示になっていない場合は、「デバイスとプリンター」をダブルクリックします。

使用する機種名とオプションやユーザー認証、部門管理機能の有無を設定し、本機の機能をプリンタードライバーから使用可能にします。

項目名	機能
装置オプション	本機の機種名と装着されているオプションやユーザー認証 / 部門管理の状態を設定します。各項目の状態は「設定値の変更」で設定します。
給紙トレイ設定	給紙トレイに対する用紙種類の割り当て状態を表示します。[給紙トレイ設定] で割り当てを設定できます。
装置情報取得	本機と通信し、オプション装着の状態を読み取ります。
取得設定	装置情報取得を実行する接続先などの条件を設定します。
暗号化ワード	本機との通信を暗号化するための文字列です。 本機の暗号化ワードが「出荷値を使用」でなく「ユーザー定義」に変更している場合に、本機と同じ暗号化ワードを入力します。
ツール	PageScope Web Connection などの設定ツールを起動します。

8.2.3 初期設定タブ



確認メッセージや認証設定入力画面の表示に関する初期設定を変更できます。

項目名	機能
メタファイル (EMF) スプールを行う	独自のシステム環境で使用する場合で、メタファイル (EMF) スプールが必要な場合にチェックします。
禁則発生時に確認メッセージを表示する	プリンタードライバーで、同時に設定できない機能を有効にした場合にメッセージを表示します。
サーバープロパティー用紙を使用する	プリンターフォルダーの「サーバーのプロパティ」で追加登録した用紙を使用します。
印刷前に認証設定を検証する	印刷前に本機に対し認証設定を検証し、適合しない場合はメッセージを表示します。
印刷時に認証設定の入力画面を表示する	印刷を指定するときにユーザー認証 / 部門管理設定ダイアログボックスを表示し、ユーザー名や部門名の入力を促します。



必ず守ってください

- 「装置オプション」の機種とオプションの選択は必ず行ってください。
- 「暗号化ワード」は本機の「ドライバーパスワード暗号化設定」で設定した暗号化ワードと一致させてください。

ひとこと

- 「装置情報取得」の機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。
- 「装置オプション」で「セキュリティ印刷のみ許可」を「する」に設定してある場合は、セキュリティ印刷ジョブのみ許可されます。セキュリティ印刷については、「11.2 セキュリティ印刷」をごらんください。



「暗号化ワード」をユーザー定義にする方法については、「暗号化ワードをユーザー設定する」(p. 11-28) をごらんください。

ひとこと

「メタファイル (EMF) スプールを行う」、「不定形サイズの登録」は PCL ドライバーのみの機能です。

項目名	機能
セキュリティー 印刷時に設定の 入力画面を表示 する	セキュリティー印刷を行うときにセキュリティー印刷に使用する ID、パスワードの入力を促します。
不定形サイズの 登録	不定形サイズの用紙を登録します。

8.2.4 デフォルト設定の登録

印刷時に設定する本機機能の設定内容は、そのアプリケーションを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容は元に戻ります。

設定内容を登録する場合は、プリンタードライバーの基準設定（初期設定）を変更します。

1

「プリンタ」ウィンドウまたは「プリンタとFAX」ウィンドウを開きます。

- Windows 2000/NT 4.0 の場合は、「スタート」をクリックし、「設定」 – 「プリンタ」をクリックします。
- Windows XP/Server 2003 の場合は、「スタート」をクリックし、「プリンタとFAX」をクリックします。
- Windows Vista/Server 2008 の場合は、「スタート」をクリックして「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、「スタート」をクリックして「デバイスとプリンター」をクリックします。

2

インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして「印刷設定」をクリックします。

- Windows NT 4.0 の場合は、プリンターのアイコンを右クリックして「ドキュメントの既定値」をクリックします。

プリンタードライバーの設定ダイアログが表示されます。

3

機能の設定を変更し、[OK] をクリックして終了します。

変更した設定が、全てのアプリケーションソフトウェアでプリンターを使用するときに適用されます。

ひとこと

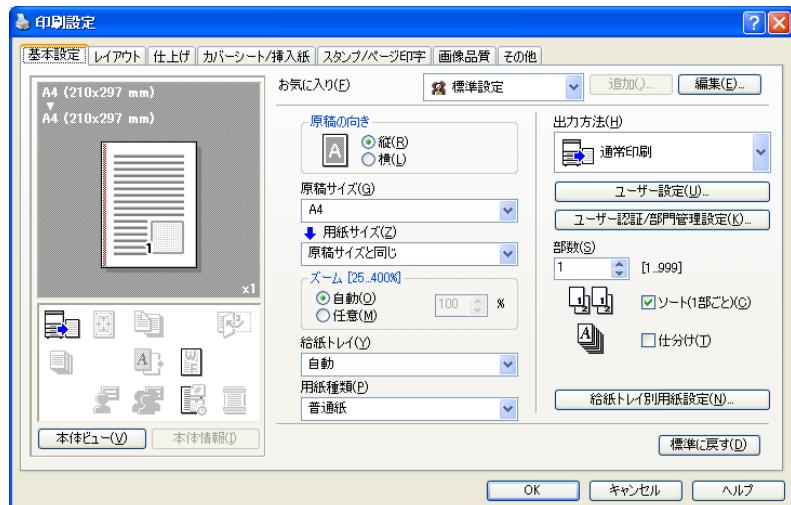
- ・ Windows XP/Server 2003 で、「スタート」メニューに「プリンタとFAX」が表示されていない場合は、「スタート」メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタとFAX」を選びます。
- ・ Windows Vista/Server 2008 で「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。
- ・ Windows 7/Server 2008 R2 で「コントロールパネル」がカテゴリ表示になっていない場合は、「デバイスとプリンター」をダブルクリックします。

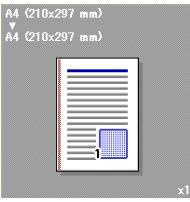
参考

- ・ プリンタードライバーの機能や設定項目については、「[設定項目詳細](#)」(p. 8-7) をご覧ください。
- ・ プリンタードライバーには、設定した内容を「お気に入り」として保存する機能もあります。詳しくは、「[共通項目](#)」(p. 8-6) をご覧ください。

8.3 共通項目

各タブの画面で共通の設定やボタンについて説明します。

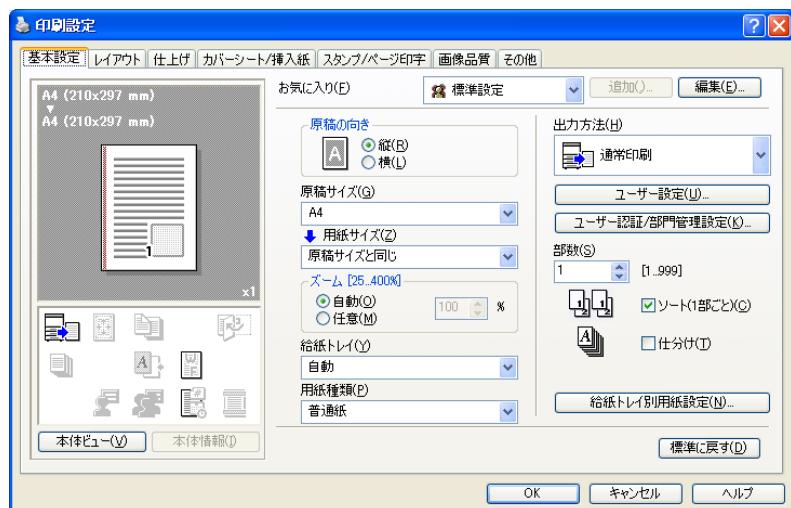


項目名	機能
OK	このボタンをクリックすると、変更した設定を有効にして、設定画面を閉じます。
キャンセル	このボタンをクリックすると、変更した設定を無効（キャンセル）にして、設定画面を閉じます。
ヘルプ	このボタンをクリックすると、表示されている画面の各項目についてのヘルプが表示されます。
追加（お気に入り）	現在の設定を登録し、あとでその設定を呼出すことができます。
編集（お気に入り）	保存してある設定を変更します。
標準に戻す	このボタンをクリックすると、初期設定の内容に戻します。
ビュー	「用紙ビュー」を選択すると、現在の設定でのページレイアウトのサンプルが表示され、印刷結果のイメージを確認できます。 「本体ビュー」を選択すると、現在本機に装着されている給紙トレイなどのオプションを含むプリンター構成の図が表示されます。  

8.4 設定項目詳細

印刷設定画面は、プリンタードライバーの機能を設定する画面です。印刷ダイアログボックスで「プロパティ」(または「詳細設定」)をクリックするか、「プリンタ」ウィンドウまたは「プリンタとFAX」ウィンドウのプリンターアイコンを右クリックし、「印刷設定」(Windows NT 4.0 の場合は、「ドキュメントの既定値」)を指定して開きます。

8.4.1 基本設定タブ



機能名称	選択肢	説明
原稿の向き	縦、横	原稿の用紙方向を設定します。
原稿サイズ	定型用紙サイズと 不定形サイズに登 録してある用紙サ イズ	原稿の用紙サイズを設定します。
	不定形サイズ	サイズを登録します。
用紙サイズ	本機で利用できる 定型用紙サイズと 不定形サイズに登 録してある用紙サ イズ	印刷する用紙サイズを設定します。原稿サ イズと異なる場合で、ズームが「自動」の ときは、サイズに合わせて拡大、縮小され ます。
	不定形サイズ	サイズを登録します。
ズーム	25 ~ 400%	拡大・縮小率を設定します。
給紙トレイ	自動、トレイ 1 ~ 4、LCT、手差し	使用する給紙トレイを選択します。 装着されているオプションによって選択で きる項目が異なります。
用紙種類	本機で利用できる 用紙種類	印刷に使用する用紙種類を選択します。 給紙トレイが「自動」のときのみ変更でき ます。給紙トレイが「自動」以外の設定の 場合は、「給紙トレイ別用紙設定」で登録 されている用紙種類になります。

ひとこと

用紙サイズが定形以外のサイズの場合は、不定形サイズを設定して
ください。不定形サイズは、用紙
サイズまたは原稿サイズの選択肢
から「不定形サイズ」を選択する
とサイズを指定して登録できます。

機能名称	選択肢	説明
出力方法	通常印刷	すぐに印刷されます。
	セキュリティー印刷	印刷文書を本機の「セキュリティー文書ボックス」に保存します。印刷するときに本機の操作パネルで ID とパスワード入力が必要になります。機密性の高い文書を印刷する場合に選択します。
	ボックス保存	印刷文書を本機のボックスに保存します。
	ボックス保存 & 印刷	ボックスに保存すると同時に印刷もします。
	確認印刷	文書が 1 部出力されたあと、本機が一時停止します。大量部数印刷のミスプリントを防ぎたい場合に選択します。
	認証 & プリント	印刷文書を本機の「認証 & プリントボックス」に保存します。印刷するときに本機の操作パネルでユーザー認証が必要になります。
[ユーザー設定]	—	「セキュリティー印刷」や「ボックス保存」をする場合の ID / パスワードやファイル名 / ボックスナンバを設定します。
[ユーザー認証 / 部門管理設定]	—	本機で「ユーザー認証」している場合のユーザー名 / パスワード、本機で「部門管理認証」している場合の部門名 / パスワードを設定します。
部数	1 ~ 999	印刷する部数を設定します。
ソート (1 部ごと)	ON/OFF	複数部数を、部数ごと印刷するかどうかを設定します。
仕分け	ON/OFF	複数部数を印刷するときに、1 部ずつ位置をずらして排出します。
[給紙トレイ別用紙設定]	用紙種類設定	設定する給紙トレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
	用紙種類	給紙トレイにセットする用紙種類を選択します。



出力方法について詳しくは、「機能詳細説明」(p. 11-1) をご覧ください。

8.4.2 レイアウトタブ



機能名称	選択肢	説明
ページ割付	2 in 1、4 in 1、6 in 1、9 in 1、16 in 1、2 × 2、3 × 3、4 × 4	複数ページの文書を 1 枚の用紙に割付ける、または 1 枚の原稿を複数の用紙に分割して印刷します。[ページ割付詳細] でページ順序や境界枠の有無が設定できます。
[ページ割付 詳細]	ページ割付	ページ割付の条件を選択します。
	順序	割付順序を設定します。ページ割付で N in N が設定されているときに設定できます。
	境界	境界線の有無と線の種類を設定します。ページ割付で N in N が設定されているときに設定できます。
	のりしろ線	のりしろの有無を設定します。ページ割付で N × N が設定されているときに設定できます。
	2 in 1、2 リピート	連続した 2 ページ、または 1 ページとそのコピー（計 2 ページ）を 1 枚の用紙にまとめて印刷します。[用紙サイズ] で設定した用紙の 2 倍のサイズの用紙に印刷します。
180°回転	ON/OFF	180°回転して印刷します。
白紙抑制	ON/OFF	データに白ページがある場合、印刷しません。
章分け	ON/OFF	オモテ面に印刷するページを指定します。印刷種類が「両面」、「小冊子」、「小冊子（等倍）」のときに設定できます。
ページ番号 入力	—	「章分け」を ON にしたとき、オモテ面に印刷するページを入力します。
印刷種類	片面、両面、小冊子、小冊子（等倍）	両面印刷や小冊子印刷を設定します。「小冊子」では用紙サイズの半分に原稿を縮小して、「小冊子（等倍）」では原稿サイズの 2 倍の用紙に原稿サイズのまま、2 ページずつ両面印刷されます。出力後の用紙を 2 つ折りすると、本のようなページ順になります。
開き方向 / とじ方向	自動、左とじ、右とじ、上とじ	とじ位置を設定します。
とじしろ	ON/OFF	とじしろ（余白）を設定します。[とじしろ設定] で余白量を設定できます。

ひとこと

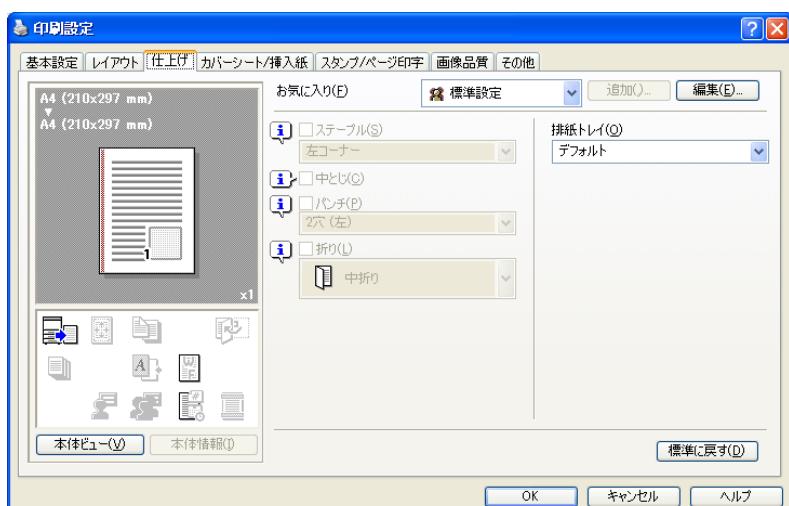
- 「ページ割付」で 1 枚の原稿を複数の用紙に分割して印刷する「2 × 2、3 × 3、4 × 4」の選択肢は PCL ドライバーのみの機能です。
- 「白紙抑制」の機能は PCL/XPS ドライバーのみの機能です。

ひとこと

とじしろの位置は、「開き方向 / とじ方向」の設定に連動します。

機能名称	選択肢	説明
[とじしろ設定]	シフトモード	とじしろの余白を空けるために、画像をどのように処理するかを選択します。
	表面 / 裏面	とじしろの値を設定します。両面印刷の場合、「表面と裏面を同じ値にする」のチェックボックスを OFF にすると、表／裏それぞれの値が設定できます。
	単位	サイズを設定する単位を選択します。
画像シフト	ON/OFF	印刷イメージを全体にずらして印刷します。[画像シフト設定] でシフト量の詳細が設定できます。
[画像シフト設定]	単位	サイズを設定する単位を選択します。
	表面 / 裏面	ずらす方向と値を設定します。両面印刷の場合、「表面と裏面を同じ値にする」のチェックボックスを OFF にすると、表／裏それぞれの値が設定できます。

8.4.3 仕上げタブ

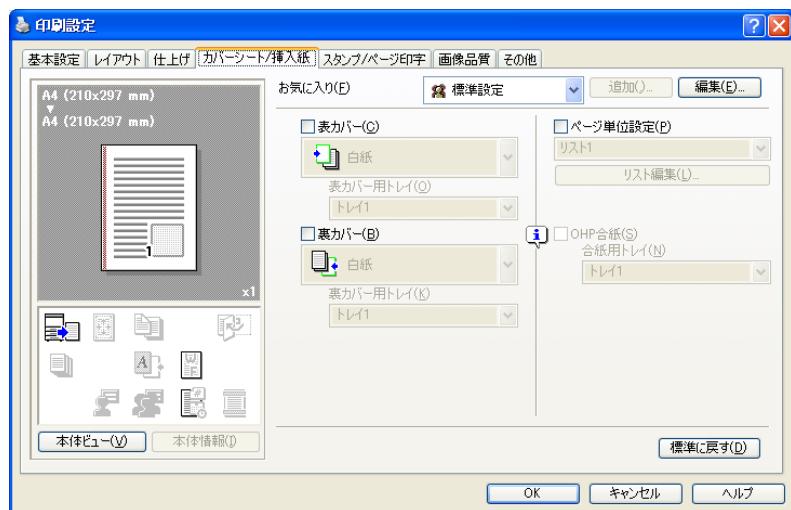


機能名称	選択肢	説明
ステープル	ON/OFF	ステープルを設定します。 ドロップダウンリストでステープルの数と位置を指定できます。
中とじ	ON/OFF	中とじを設定します。
パンチ	ON/OFF	パンチを設定します。 ドロップダウンリストでパンチの数と位置を指定できます。
折り	ON/OFF	折りを設定します。
排紙トレイ	デフォルト、メイントレイ、サブトレイ、トレイ1～3、ビン1～6	用紙を排出するトレイを設定します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。

原則

- 「ステープル」、「中とじ」、「折り」機能は、オプションのフィニッシャーが装着されている場合のみ使用可能となります。
- 「パンチ」機能は、オプションのフィニッシャーにパンチキットが装着されている場合のみ使用可能となります。

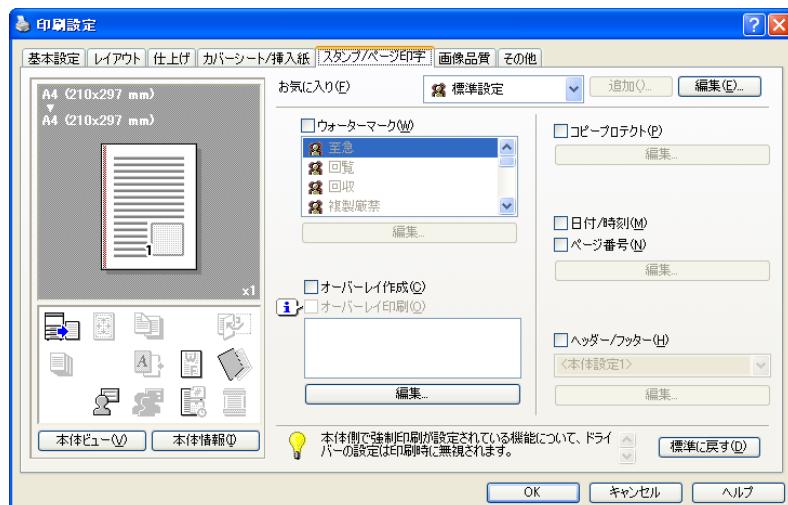
8.4.4 カバーシート / 挿入紙タブ



機能名称	選択肢	説明
表カバー	ON/OFF、白紙 / 印刷	表紙を付けて印刷します。 給紙トレイで「自動」以外の設定が選択されているときに指定できます。
表カバー用トレイ	トレイ 1 ~ 4、LCT、手差し	表紙を給紙するトレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
裏カバー	ON/OFF、白紙 / 印刷	裏表紙を付けて印刷します。 給紙トレイで「自動」以外の設定が選択されているときに指定できます。
裏カバー用トレイ	トレイ 1 ~ 4、LCT、手差し	裏表紙を給紙するトレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
ページ単位設定	ON/OFF	ページ間に用紙を挿入したり、ページごとに用紙やトレイを切換えます。[リスト編集] でページごとに条件を設定したりリストを作成できます。
[リスト編集]	リスト名	編集するリスト名を選択します。設定内容が一覧されます。
	[リスト名編集]	リスト名を変更します。
	[上へ] / [下へ]	選択している条件行の位置を入替えます。 ページ番号が小さい順に並ぶように順番を変更してください。
	[追加]	条件行を追加します。条件行は、「追加 / 削除」の項目で設定します。
	[削除]	選択している条件行を削除します。
	ページ番号	ページ番号を半角数字で入力します。複数のページ番号を入力するときは、カンマで区切るか、ハイフンで範囲を指定します。
	印刷種類	「設定変更」のドロップダウンリストで印刷種類を設定します。
	給紙トレイ	「設定変更」のドロップダウンリストで使用する給紙トレイを設定します。
OHP 合紙	ON/OFF	OHP フィルムを印刷するときに合紙をはさんで排出します。 用紙種類で「OHP フィルム」が選択されているときに指定できます。

機能名称	選択肢	説明
合紙用トレイ	トレイ 1~4、LCT	OHP 合紙を給紙するトレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。

8.4.5 スタンプ / ページ印字タブ



機能名称	選択肢	説明
ウォーターマーク	ON/OFF	文書にウォーターマーク（文字スタンプ）を重ね合わせて印刷します。[編集]でウォーターマークの作成、変更、削除ができます。
[編集]	—	詳しくは、「 ウォーターマークの編集 (p. 8-13) をごらんください。
オーバーレイ作成	ON/OFF	このチェックを付けて原稿を印刷することでオーバーレイ用のデータを作成します。
オーバーレイ印刷	ON/OFF	別途作成したオーバーレイ用のデータと原稿を重ねて印刷します。[編集]でオーバーレイの印刷方法を変更できます。
[編集]	[ファイル参照]	オーバーレイファイルを読み込みます。
	[削除]	選択しているオーバーレイを削除します。
	印字ページ	印刷するページを設定します。
	重ね合わせ	印刷するときの原稿との重ね合わせ順を設定します。
コピープロテクト	ON/OFF	特殊なパターンを印刷し、コピーを防止します。[編集]で印刷する項目や位置、合成方法を指定できます。
	[編集]	詳しくは、「 コピープロテクトの編集 (p. 8-14) をごらんください。
日付 / 時刻	ON/OFF	日付や時刻を付けて印刷します。[編集]で印刷する項目や印刷するページ、位置を指定できます。
ページ番号	ON/OFF	ページ番号を付けて印刷します。[編集]で印刷する項目や印刷するページ、位置を指定できます。
[編集]	—	詳しくは、「 日付 / 時刻、ページ番号の編集 (p. 8-15) をごらんください。

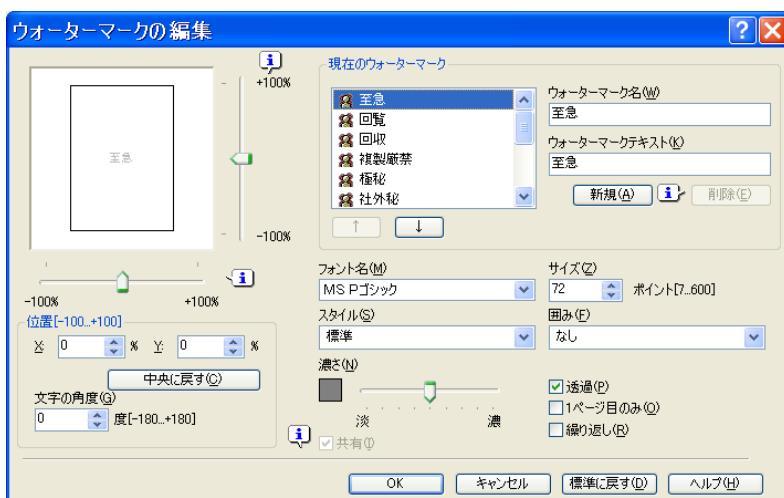
ひとこと

Windows Vista/7/Server 2008 64bit 版の場合、「ウォーターマーク」と次の機能は同時に設定できません。

- ・ [ユーザー認証]
- ・ [部門管理]
- ・ [ページ単位設定]
- ・ [印刷前に認証設定を検証する]
- ・ [印刷時に認証設定の入力画面を表示する]

機能名称	選択肢	説明
ヘッダー / フッター	本体設定 1 ~ 20	ヘッダー / フッターを付けて印刷します。ヘッダー / フッターの内容は本体で設定されている一覧から選択します。[編集]で印刷する項目や印刷するページを指定できます。
[編集]	部数管理番号	複数部数を印刷する場合、部数番号をヘッダー／フッターに印刷します。
	[編集]	部数管理番号の条件を設定します。
	印字ページ	印刷するページを設定します。
	ヘッダー印字位置	ヘッダーを印字する位置を指定します。
	フッター印字位置	フッターを印字する位置を指定します。

■ ウォーターマークの編集



ウォーターマーク名：名称を入力します。

ウォーターマークテキスト：ウォーターマークのテキストを入力します。

[新規]：新規ウォーターマークを作成します。

[削除]：選択しているウォーターマークを削除します。

位置：上下左右の位置を設定します。右側と下側のスクロールバーでも設定できます。

文字の角度：印刷角度を設定します。

フォント名：フォントを設定します。

サイズ：サイズを設定します。

スタイル：フォントのスタイルを設定します。

囲み：囲みスタイルを設定します。

濃さ：ウォーターマークの濃度をスライダーで設定します。

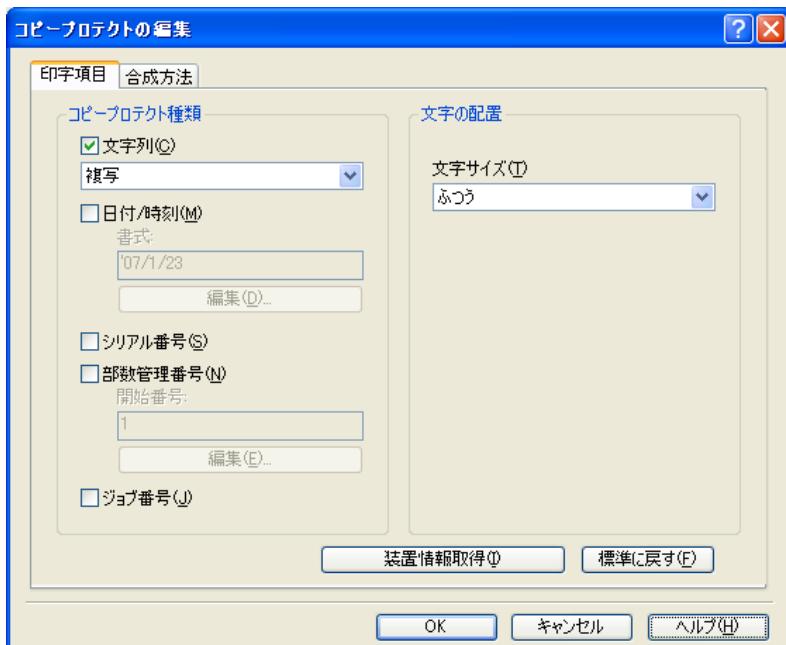
透過：ウォーターマークを透過イメージで印刷します。

1ページ目のみ：ウォーターマークを1ページ目のみ印刷します。

繰り返し：ウォーターマークを1ページの中で繰り返し印刷します。

共有：ウォーターマークを公開で登録するか、プライベートにするかを設定します。

■ コピープロテクトの編集



コピープロテクト種類：文章に合成するコピー防止パターンを選択します。

文字列：選択した文字列をパターンに埋め込みます。あらかじめ用意されている文字列（定型スタンプ）か、本機に登録されている文字列（登録スタンプ）を指定できます。

日付 / 時刻：日時と時刻をパターンに埋め込みます。「書式」の「[編集]」で表示種類や時刻表示の有無を設定できます。

シリアル番号：本機のシリアル番号をパターンに埋め込みます。

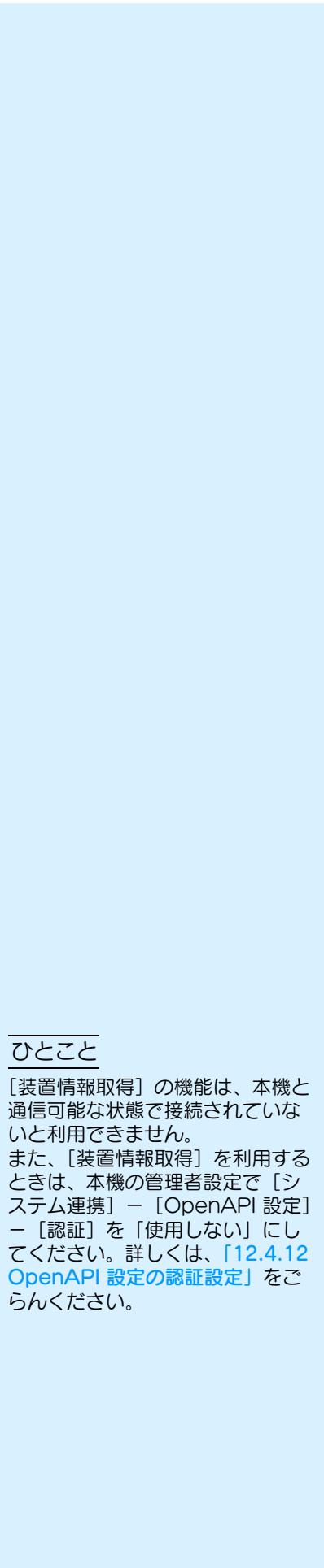
部数管理番号：複数部数を印刷する場合、部数番号をパターンに埋め込みます。「開始番号」の「[編集]」で開始番号や表示種類を設定できます。

ジョブ番号：自動的に割り付けられる文書の印刷ジョブ番号をパターンに埋め込みます。

文字の配置：文章に合成するコピー防止パターンの書式を設定します。

文字サイズ：パターンの文字サイズを指定します。

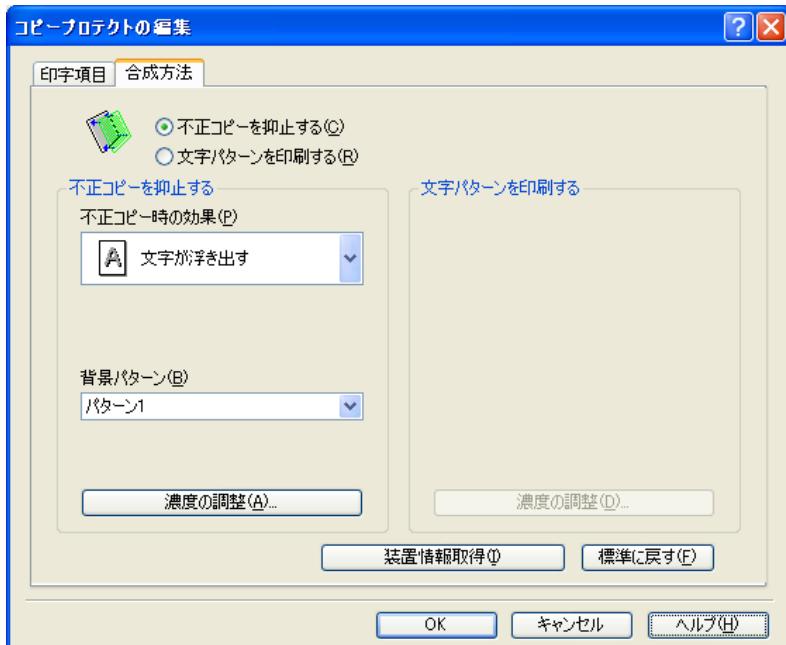
[装置情報取得]：本機と通信し、本機のコピープロテクト設定を読み取ります。



ひとこと

[装置情報取得] の機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。

また、[装置情報取得] を利用するときは、本機の管理者設定で [システム連携] – [OpenAPI 設定] – [認証] を「使用しない」にしてください。詳しくは、「[12.4.12 OpenAPI 設定の認証設定](#)」をごらんください。



不正コピーを抑止する：コピー防止パターンを背景のように目立たないように文書に合成する場合の効果を設定します。文書が不正コピーされた時に文字が浮き出すような効果が得られます。

文字パターンを印刷する：文字パターンを印刷します。

「不正コピーを抑止する」を選択するときに設定できる項目です。

不正コピー時の効果：パターンがどのように埋め込まれるかを設定します。

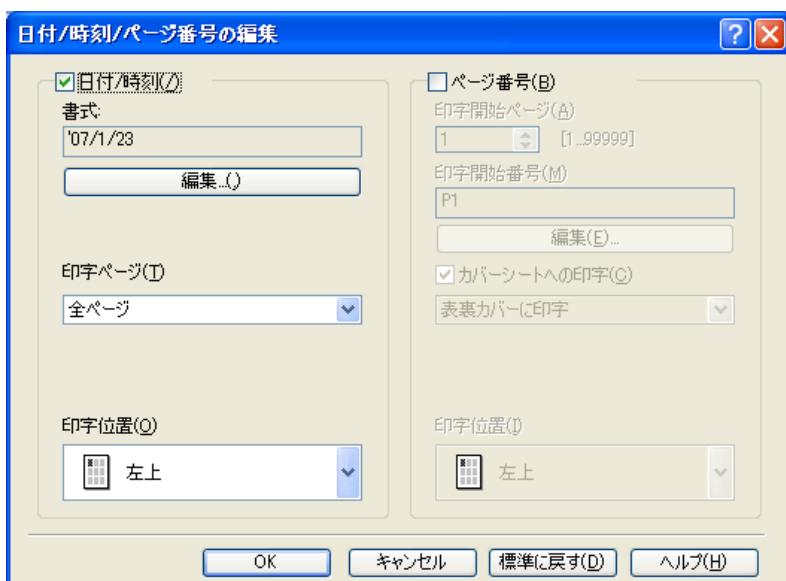
背景/パターン：背景のパターンを設定します。

濃度の調整：コピー防止パターンの濃度とコントラストを設定できます。

「文字パターンを印刷する」を選択するときに設定できる項目です。

濃度の調整：パターンの濃度を設定できます。

■ 日付 / 時刻、ページ番号の編集



書式：印刷する日時と時刻の書式を表示します。[編集] で表示種類や時刻表示の有無を設定できます。

印字ページ：日時と時刻を印刷するページを設定します。

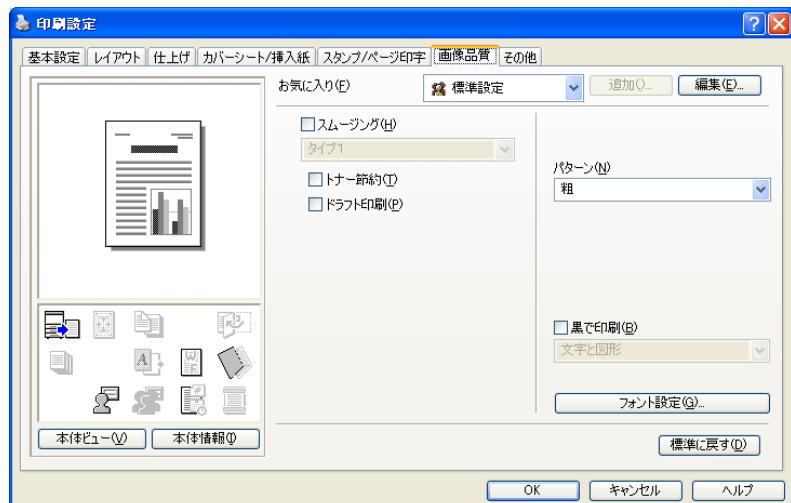
印字位置：印刷する位置を設定します。

ひとこと

- 「不正コピーを抑止する」と「文字パターンを印刷する」は同時に選択できません。
- 「不正コピーを抑止する」と「文字パターンを印刷する」では、設定できる項目が異なります。

印刷開始ページ：ページ番号印刷の開始ページを設定します。
 印刷開始番号：ページ番号印刷の開始番号を設定します。
 カバーシートへの印字：カバーシートを付けている場合、表カバーや裏カバーにページ番号を印刷するかどうかを設定します。
 印字位置：印刷する位置を設定します。

8.4.6 画像品質タブ

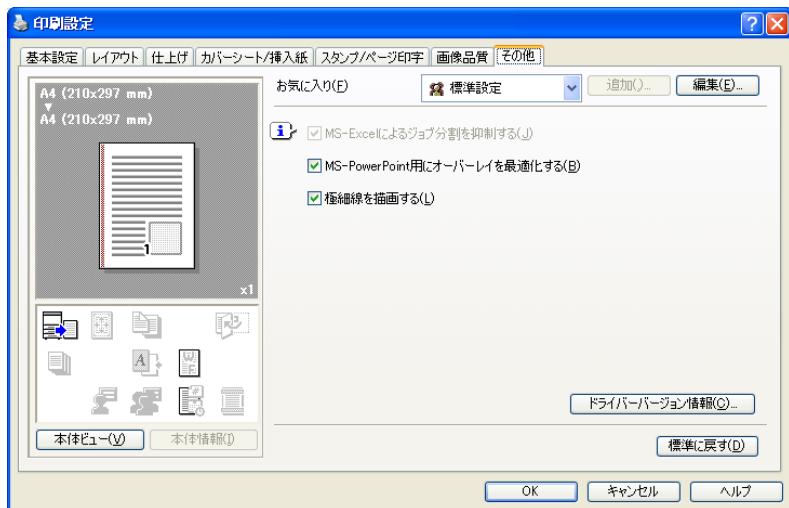


機能名称	選択肢	説明
スムージング	ON/OFF、タイプ1～3	印刷する文字やグラフィックを滑らかに印刷します。タイプ3がもっとも細かい曲線部に適しています。
トナー節約	ON/OFF	印刷濃度を調整し、トナー消費量を節約します。
ドラフト印刷	ON/OFF	下書き用に、薄く印刷します。
パターン	密、粗	グラフィックパターンの細かさを設定します。
黒で印刷	ON/OFF、文字のみ / 文字と図形 / すべて	CAD 図面などの色つき文字や線、図形などが薄く印刷されないようにします。
フォント設定	—	印刷時に、TrueType フォントを使うか、プリンターフォントを使うかを設定します。さらにダウンロードするフォントをピットマップかアウトラインかで選択します。

ひとこと

- 「パターン」、「黒で印刷」の機能は PCL/XPS ドライバーのみの機能です。
- 「フォント設定」の機能は、PCL/PS ドライバーの機能です。

8.4.7 その他タブ



機能名称	選択肢	説明
MS-Excelによるジョブ分割を抑制する	ON/OFF	Microsoft Excel でページ設定の異なる複数のシートを同時に印刷する場合に、データによっては、シートごとのジョブに分割される場合があります。この機能にチェックすると、ジョブの分割をできるだけ抑制します。
MS-PowerPoint用にオーバーレイを最適化する	ON/OFF	Microsoft PowerPoint のデータにオーバーレイファイルを重ねて印刷する場合に、PowerPoint データの白背景がオーバーレイファイルを隠さないように、白色部分を除去します。チェックをはずすと、背景を除去せず、原稿データどおりに印刷します。
極細線を描画する	ON/OFF	文書の極細線を印刷します。
ドライバーバージョン情報	—	プリンタードライバーのバージョン情報を表示します。

ひとこと

- 「MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する」、「極細線を描画する」の機能は PCL ドライバーのみの機能です。
- 「MS-Excel によるジョブ分割を抑制する」、「MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する」の設定は、Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008 の 64bit 版では使用できません。
- 「MS-Excel によるジョブ分割を抑制する」は、「プリント」(Windows XP/Server 2003 の場合は「プリントと FAX」) ウィンドウで、プリントードライバーの設定ダイアログを表示した場合のみ変更できます。



第9章

Mac OS X の印刷機能

OS X 用の PS プリンタードライバーの機能について説明します。

9.1	印刷操作	9-2
9.2	プリンタードライバーの初期設定	9-3
9.3	共通項目	9-5
9.4	カスタムサイズの追加方法	9-6
9.5	設定項目詳細	9-7

9.1 印刷操作

通常、印刷はアプリケーションソフトウェアから指定します。

1

アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから「印刷」(または「プリント」) をクリックします。

○ メニューがない場合は、[印刷] ボタンをクリックします。

「プリント」画面が表示されます。

2

「プリンタ」で印刷したいプリンター名が選択されているか確認します。

○ 目的のプリンターが選択されていないときは、選択します。



3

印刷するページ範囲や部数を設定します。

4

必要に応じて設定画面を切換えて、プリンタードライバーの設定を変更します。

5

[プリント] をクリックします。

本機のデータランプが点滅します。

ひとこと

・プリンターが表示されないときは、「プリントとファックス」、「プリンタ設定ユーティリティ」または「プリントセンター」でプリンターを選択します。詳しくは、「[プリンタの選択と接続 \(OS 10.4/10.5/10.6\)](#)」(p. 5-3)、「[プリンタの選択と接続 \(OS 10.2/10.3\)](#)」(p. 5-9)をごらんください。

・「プリント」画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

詳しく述べ 説明します

「印刷部数と印刷ページ」のメニューを変更すると、プリンタードライバーのほかの設定画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、「[設定項目詳細 \(p. 9-7\)](#)」をごらんください。

ひとこと

「プリント」画面で変更したプリンタードライバーの設定は保存されず、アプリケーションソフトウェアを終了すると元に戻ります。

9.2 プリンタードライバーの初期設定

プリンタードライバーをインストールしたら、日常の印刷を行う前にオプションなどの初期設定条件を変更し、本機の機能をプリンタードライバーから使用可能にする必要があります。

9.2.1 オプション設定

1

- 「プリントとファクス」画面（または「プリンタ設定ユーティリティ」 / 「プリントセンター」画面）を開きます。
- 「プリントとファクス」画面は、「アップル」メニューの「システム環境設定」から開きます（OS X 10.4/10.5/10.6）。
 - 「プリンタ設定ユーティリティ」 / 「プリントセンター」画面は、「HDD」 - 「アプリケーション」 - 「ユーティリティ」から開きます（OS X 10.2/10.3）。

2

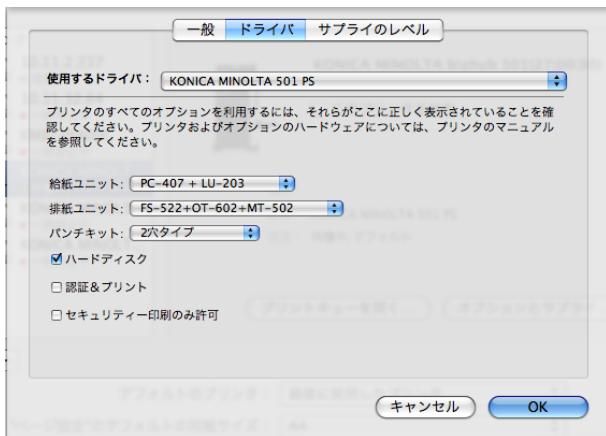
- 「プリンタ情報」画面を表示します。
- 「プリントとファクス」画面の場合は、[オプションとサプライ]（OS X 10.5/10.6）、[プリンタ設定]（OS X 10.4）をクリックします。
 - 「プリンタ設定ユーティリティ」 / 「プリントセンター」画面の場合は、「プリンタ」メニューの「情報を見る」を選択します。

3

- 「インストール可能なオプション」を選択します。
- OS X 10.5/10.6 の場合は、[ドライバ] をクリックします。
 - OS X 10.2/10.3/10.4 の場合は、「インストール可能なオプション」を選択します。

4

本機に装着しているオプションを設定します。



5

[変更を適用] をクリックしてから「プリンタ情報」画面を閉じます。

ひとこと

本機の機種名や装着されているオプションが「プリンタ情報」で設定されていないと、プリンタードライバーでオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

9.2.2 デフォルト設定の登録

印刷時に設定する本機機能の設定内容は、そのアプリケーションを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容は元に戻ります。

設定内容を登録する場合は、プリンタードライバーの設定を保存します。OS X の場合は、用紙の設定はデフォルト設定として登録できますが、そのほかの印刷機能の設定は「プリセット」機能で設定を保存し、必要に応じて呼出して利用します。

「ページ設定」画面の設定は、「設定」から「デフォルトとして保存」を選択することで保存します。



「プリント」画面から設定するプリンタードライバーの機能は、「プリセット」から「別名で保存」を選択することで保存します。

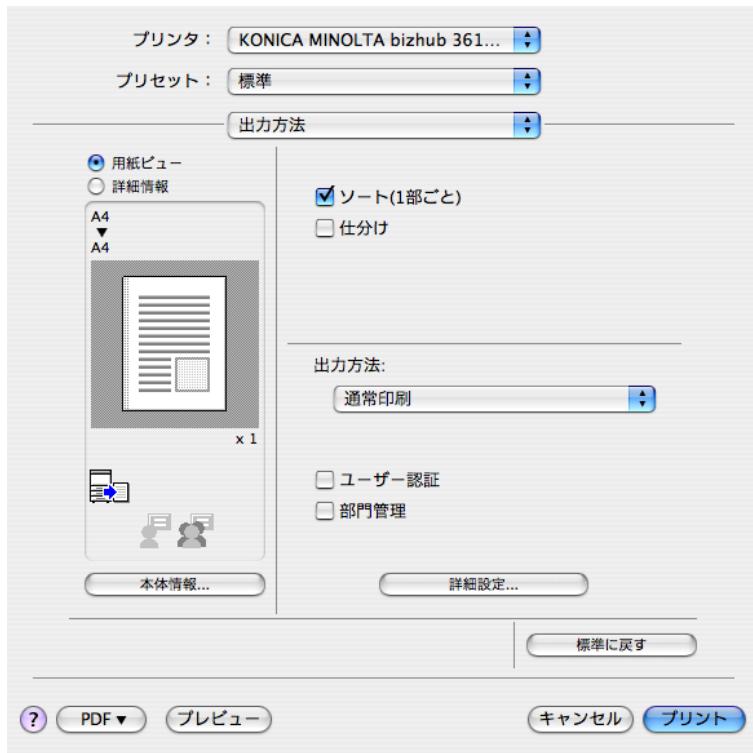
この設定は、使用するときに「プリセット」から選択します。



プリンタードライバーの機能や設定項目については、「[設定項目詳細](#)」(p. 9-7) をごらんください。

9.3 共通項目

「プリント」画面から設定する本機の固有機能（出力方法、レイアウト / 仕上げ、給紙トレイ / 排紙トレイ、カバーシート / OHP 合紙、ページ単位設定、スタンプ / ページ印字、画像品質）で表示される共通項目について説明します。



項目名	機能
用紙ビュー	現在の設定でのページレイアウトのサンプルが表示され、印刷結果のイメージを確認できます。
詳細情報	現在の設定内容が文字で表示されます。
本体情報	オプション装着の状態を表示します。
標準に戻す	このボタンをクリックすると、初期設定の内容に戻します。
キャンセル	このボタンをクリックすると、変更した設定を無効（キャンセル）にして、設定画面を閉じます。
プリント	このボタンをクリックすると、変更した設定を有効にして印刷します。

ひとこと

本体情報ダイアログの「装置情報取得」は本機と通信し、本機での設定の状態を読み取ります。この機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。

9.4 カスタムサイズの追加方法

用紙サイズが定形以外のサイズの場合は、カスタム用紙サイズを登録します。

- 1 [ファイル] メニューの「ページ設定」(または「用紙設定」) を選択します。
- 2 OS 10.4/10.5/10.6 の場合は、用紙サイズの一覧から「カスタムサイズを管理」を選択します。
 - OS 10.2/10.3 の場合は、「設定」から「カスタム用紙サイズ」を選択します。
- 3 [+] (OS 10.4/10.5/10.6) または [新規] (OS 10.2/10.3) をクリックします。
- 4 用紙サイズの名称を入力します。
- 5 各項目を設定します。
 - ページサイズ (用紙サイズ) : 任意の用紙サイズを設定します。
 - 余白 : 用紙の余白を設定します。



- 6 [OK] (OS X 10.4/10.5/10.6) または [保存] (OS X 10.2/10.3) をクリックします。
カスタム用紙サイズが登録され、「ページ属性」の用紙サイズで選択できるようになります。

ひとこと

OS X 10.5 /10.6 の場合は、プリント画面の「用紙サイズ」でも「カスタムサイズを管理」を選択できます。

9.5 設定項目詳細

プリンタードライバーの機能は「ページ設定」画面から指定する「ページ属性」と「プリント」画面から設定する「出力方法」、「レイアウト/仕上げ」、「給紙トレイ / 排紙トレイ」、「カバーシート/OHP 合紙」、「ページ単位設定」、「スタンプ / ページ印字」、「画像品質」の各画面で設定します。

9.5.1 ページ属性

[ファイル] メニューの「ページ設定」(または「用紙設定」)で選択します。



機能名称	選択肢	説明
用紙サイズ	本機で利用できる定形用紙サイズとカスタムサイズに登録してある用紙サイズ カスタムサイズを管理 (OS X 10.4/10.5/10.6)	印刷する用紙サイズを設定します。
方向	縦、横	原稿の用紙方向を設定します。
拡大縮小	— (OS X のバージョンで異なります)	拡大・縮小率を設定します。

ひとこと

- 用紙サイズが定形以外のサイズの場合は、不定形サイズを設定してください。不定形サイズの登録については、「[カスタムサイズの追加方法](#)」(p. 9-6) をご覧ください。
- OS X 10.5/10.6 の場合は、プリント画面でも「用紙サイズ」と「方向」を設定できます。

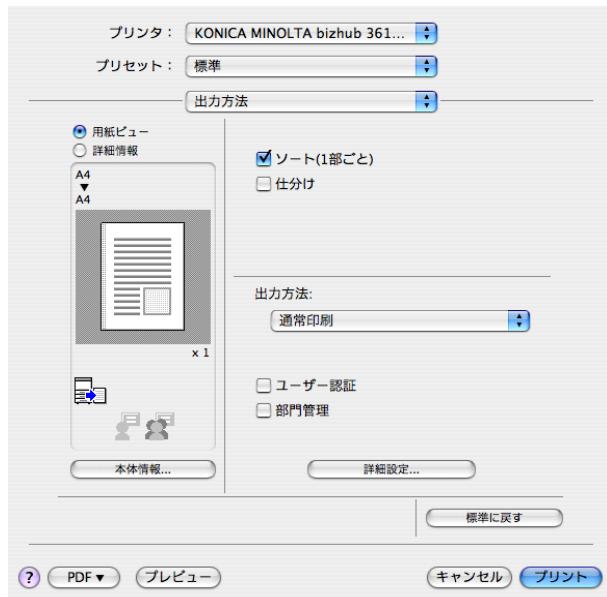
9.5.2 印刷部数と印刷ページ

[ファイル] メニューの「印刷」（または「プリント」）で選択します。



機能名称	選択肢	説明
部数	1 ~ 999	印刷する部数を設定します。
丁合い	ON/OFF	この機能は設定しないでください。 「出力方法」の「ソート（1部ごと）」で設定してください。
ページ	–	印刷するページ範囲を設定します。

9.5.3 出力方法



機能名称	選択肢	説明
ソート（1部ごと）	ON/OFF	複数部数を、部数ごと印刷するかどうかを設定します。
仕分け	ON/OFF	複数部数を印刷するときに、1部ずつ位置をずらして排出します。

ひとこと

- ・ OS X 10.5/10.6 の場合は、「用紙サイズ」、「方向」も表示されますが、「ページ属性」の機能と同じです。
- ・ OS X 10.5/10.6 で設定項目が表示されていない場合は、「プリンタ」右側の▲をクリックします。

機能名称	選択肢	説明
出力方法	通常印刷	すぐに印刷されます。
	セキュリティ印刷	印刷文書を本機の「セキュリティ文書ボックス」に保存します。印刷するときに本機の操作パネルで ID とパスワード入力が必要になります。機密性の高い文書を印刷する場合に選択します。
	ボックス保存	印刷文書を本機のボックスに保存します。
	ボックス保存 & 印刷	ボックスに保存すると同時に印刷もします。
	確認印刷	文書が 1 部出力されたあと、本機が一時停止します。大量部数印刷のミスプリントを防ぎたい場合に選択します。
	認証 & プリント	印刷文書を本機の「認証 & プリントボックス」に保存します。印刷するときに本機の操作パネルでユーザー認証が必要になります。
[ユーザー認証]	—	本機で「ユーザー認証」している場合のユーザー名／パスワードを設定します。
[部門管理]	—	本機で「部門管理認証」している場合の部門名／パスワードを設定します。
[詳細設定]	—	詳細設定項目のある機能を表示します。



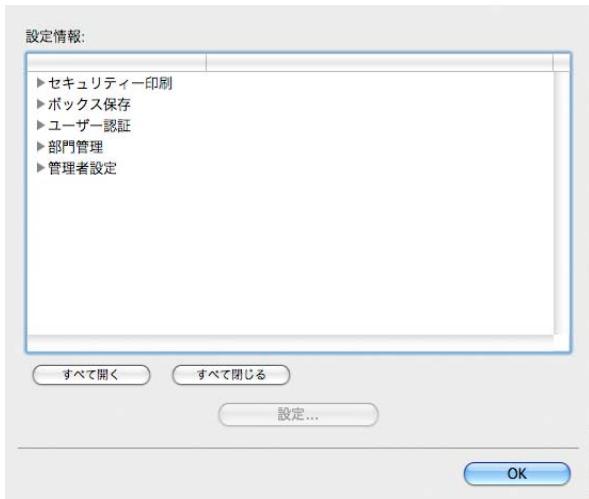
出力方法について詳しくは、「機能詳細説明」(p. 11-1) をご覧ください。

■ 出力方法の詳細設定を確認する

[詳細設定] をクリックすると、「出力方法」機能のうち、詳細設定項目のある機能が表示されます。

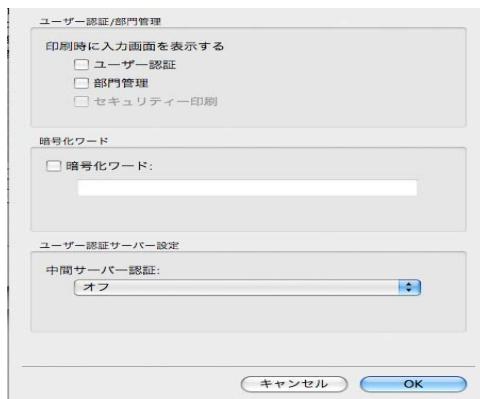
[すべて開く] をクリックすると、設定内容が表示されます。

各機能を選択して [設定] をクリックすると、各機能の詳細設定ダイアログが表示されます。



- セキュリティ印刷：「出力方式」で「セキュリティ印刷」を指定したときに表示される画面と同じです。
- ボックス保存：「出力方式」で「ボックス保存」または「ボックス保存 & 印刷」を指定したときに表示される画面と同じです。

- ユーザー認証：「出力方式」で「ユーザー認証」のチェックボックスをONにしたときに表示される画面と同じです。
- 部門管理：「出力方式」で「部門管理」のチェックボックスをONにしたときに表示される画面と同じです。
- 管理者設定：認証設定の入力ダイアログの表示設定、暗号ワード、ユーザー認証サーバー設定を変更するダイアログを表示します。



- 印刷時に認証設定の入力ダイアログを表示する：印刷を指定するときにユーザー認証や部門管理設定ダイアログを表示し、毎回ユーザー名や部門名の入力を確認させます。
- 暗号化ワード：本機との通信を暗号化するための文字列です。本機の暗号化ワードが【出荷値を使用】でなく【ユーザー定義】に変更している場合に、本機と同じ暗号化ワードを入力します。
- ユーザー認証サーバー設定：中間サーバー認証を使用するかどうかを選択します。



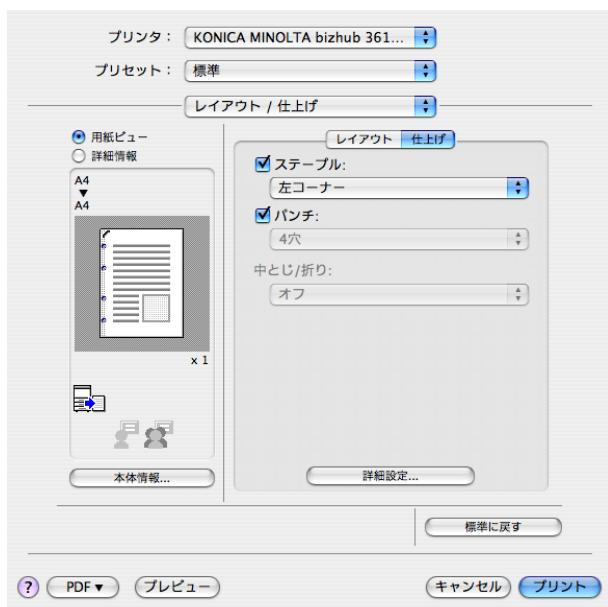
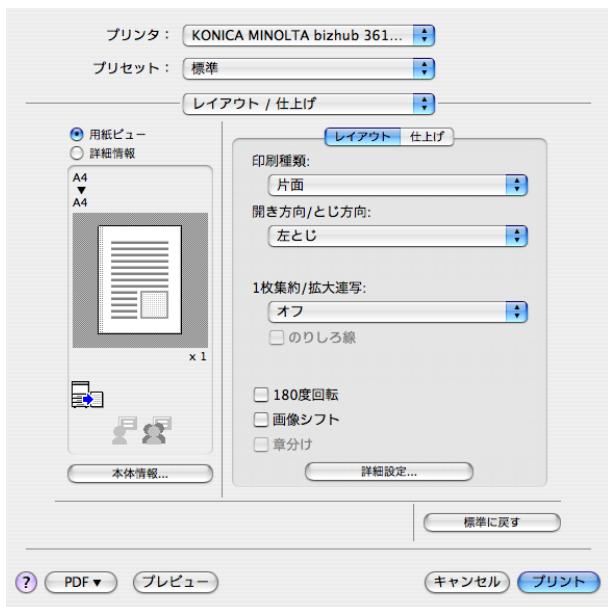
「暗号化ワード」は本機の「ドライバーパスワード暗号化設定」で設定した暗号化ワードと一致させてください。



「暗号化ワード」をユーザー定義にする方法については、「[暗号化ワードをユーザー設定する](#)」(p. 11-28) をごらんください。

9.5.4 レイアウト / 仕上げ

レイアウト設定画面と仕上げ設定画面とを切換えて表示します。



機能名称	選択肢	説明
印刷種類	片面、両面、小冊子	両面印刷や小冊子印刷を設定します。
開き方向 / とじ方向	左とじ、右とじ、上とじ	とじ位置を設定します。
一枚集約 / 拡大連写	オフ、2 in 1、2 リピート、 2 × 2、3 × 3、4 × 4	1枚集約 (2 in 1、2 リピート) では、連続した2ページ、または 1ページとそのコピー（計2ページ） を1枚の用紙にまとめて印刷します。 拡大連写 (2 × 2、3 × 3、4 × 4) では、1枚の原稿を複数の用紙に 分割して印刷します。

ひとこと

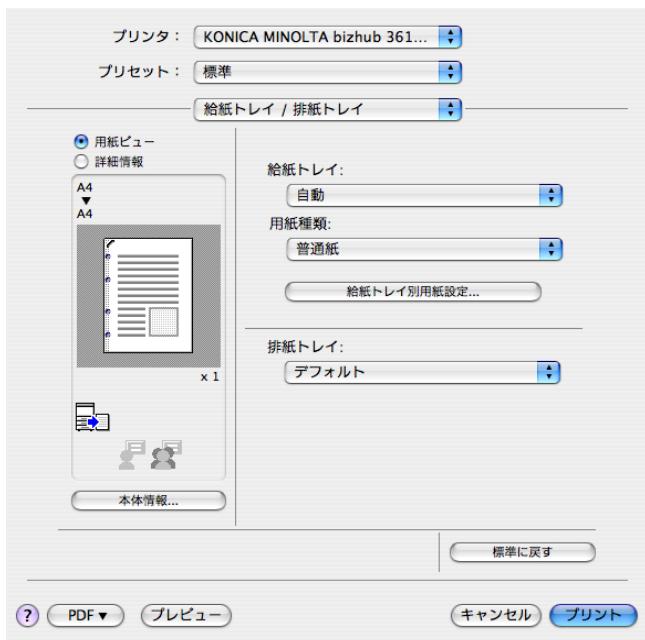
「拡大連写」の設定で、1つの印刷ジョブ内にサイズや方向が異なるページが含まれる文書を印刷すると、画像が欠損したり、画像が重なったりする場合があります。

機能名称	選択肢	説明
のりしろ線	ON/OFF	のりしろの有無を設定します。拡大連写（ 2×2 、 3×3 、 4×4 ）を選択したときに設定できます。
180°回転	ON/OFF	180°回転して印刷します。
画像シフト	ON/OFF	印刷イメージを全体にずらして印刷します。設定を有効にしたときに表示される画面でシフト量の詳細が設定できます。
	表面 / 裏面	ずらす方向と値を設定します。両面印刷の場合、「表面と裏面を同じ値にする」のチェックボックスを OFF にすると、表／裏それぞれの値が設定できます。
章分け	ON/OFF	オモテ面に印刷するページを指定します。設定を有効にしたときに表示される画面でページが設定できます。 印刷種類が「両面」、「小冊子」のときに設定できます。
	ページ番号	「章分け」を ON にしたとき、オモテ面に印刷するページを入力します。
ステープル	ON/OFF	ステープルを設定します。 ドロップダウンリストでステープルの数と位置を指定できます。
パンチ	ON/OFF	パンチを設定します。 ドロップダウンリストでパンチの数と位置を指定できます。
中とじ / 折り	オフ、中とじ、中折り	中とじ / 折りを設定します。

■ 原則

- 「ステープル」、「中とじ / 折り」機能は、オプションのフィニッシャーが装着されている場合のみ使用可能となります。
- 「パンチ」機能は、オプションのフィニッシャーにパンチキットが装着されている場合のみ使用可能となります。

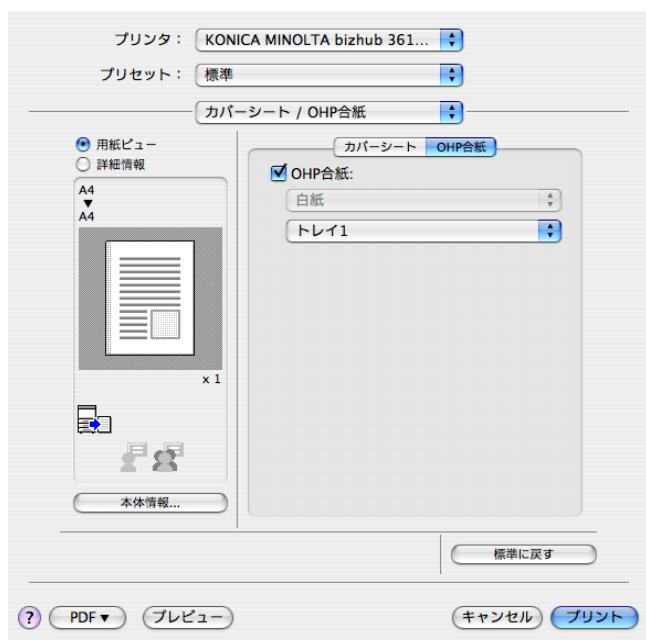
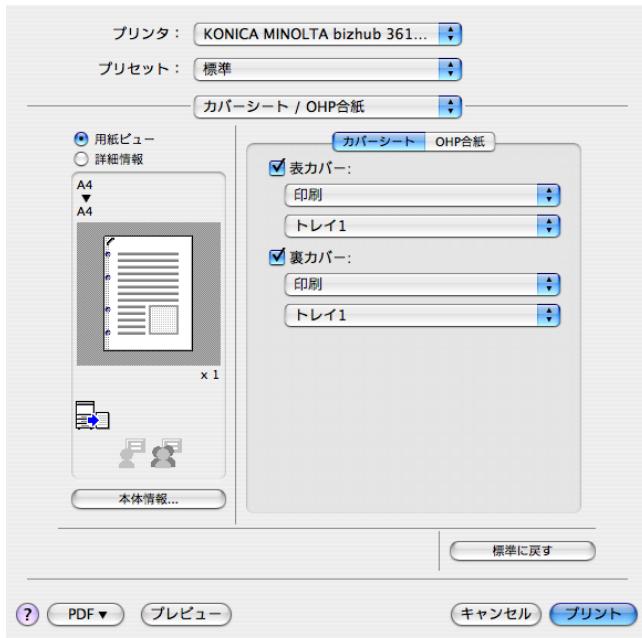
9.5.5 給紙トレイ / 排紙トレイ



機能名称	選択肢	説明
給紙トレイ	自動、トレイ 1～4、LCT、手差し	使用する給紙トレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
用紙種類	本機で利用できる用紙種類	印刷に使用する用紙種類を選択します。 給紙トレイが「自動」のときのみ変更できます。給紙トレイが「自動」以外の設定の場合は、「給紙トレイ別用紙設定」で登録されている用紙種類になります。
[給紙トレイ別用紙設定]	給紙トレイ	設定する給紙トレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
	用紙種類	給紙トレイにセットする用紙種類を選択します。
排紙トレイ	デフォルト、メイントレイ、サブトレイ、トレイ 1/ ビン 5 トレイ 2/ ビン 6 トレイ 3、ビン 1～4	用紙を排出するトレイを設定します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。

9.5.6 カバーシート / OHP 合紙

カバーシート設定画面と OHP 合紙設定画面とを切換えて表示します。

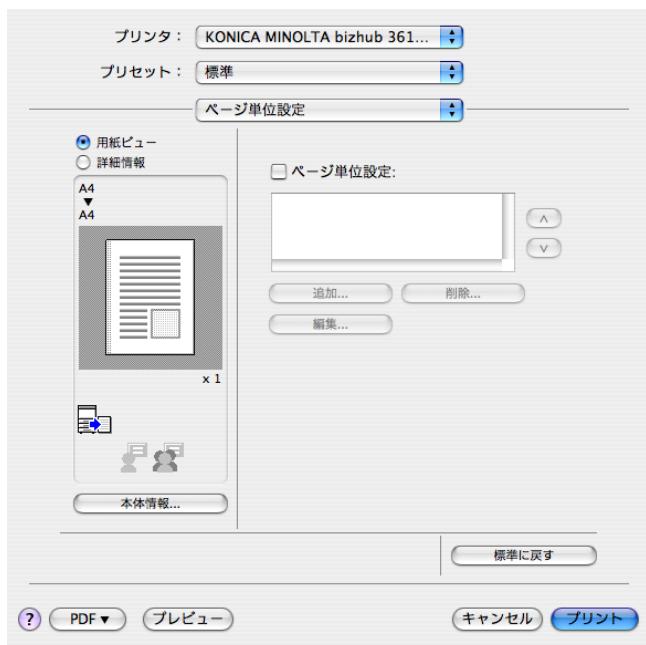


機能名称	選択肢	説明
表カバー	オフ、印刷、白紙	表紙を付けて印刷します。 給紙トレイで「自動」以外の設定が選択されているときに指定できます。
	トレイ 1 ~ 4、LCT、手差し	表紙を給紙するトレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。

機能名称	選択肢	説明
裏カバー	オフ、印刷、白紙	裏表紙を付けて印刷します。 給紙トレイで「自動」以外の設定が選択されているときに指定できます。
	トレイ 1～4、LCT、手差し	裏表紙を給紙するトレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
OHP 合紙	ON/OFF	OHP フィルムを印刷するときに合紙をはさんで排出します。 用紙種類で「OHP フィルム」が選択されているときに指定できます。
	トレイ 1～4、LCT	OHP 合紙を給紙するトレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。

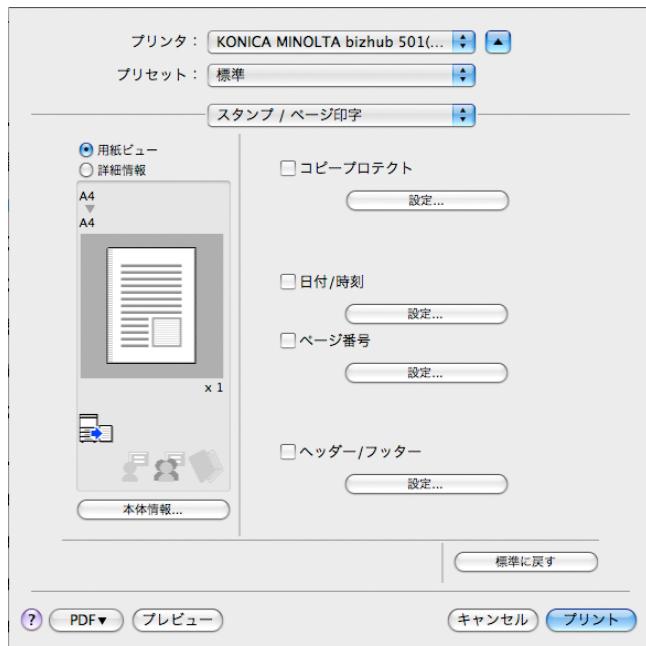
9.5.7 ページ単位設定

各ページの印刷種類や給紙トレイを指定できます。複数ページの印刷で、途中で給紙トレイを変えたい場合などに便利です。設定内容はリストに登録でき、必要なときに利用できます。



機能名称	選択肢	説明
ページ単位設定	ON/OFF	ページ間に用紙を挿入したり、ページごとに用紙やトレイを切換えます。
[追加]	—	条件を設定したリストを作成します。
[削除]	—	リストを削除します。
[編集]	—	条件を設定したリストを編集します。

9.5.8 スタンプ / ページ印字



機能名称	選択肢	説明
コピープロテクト	ON/OFF	特殊なパターンを印刷し、コピーを防止します。 [設定] で印刷する項目や位置、合成方法を指定できます。
	[設定]	詳しくは、「 コピー保護の編集 」(p. 9-17) をごらんください。
日付 / 時刻	ON/OFF	日付や時刻を付けて印刷します。[設定] で印刷する項目や印刷するページ、位置を指定できます。
[設定]	—	詳しくは、「 日付 / 時刻の編集 」(p. 9-18) をごらんください。
ページ番号	ON/OFF	ページ番号を付けて印刷します。[設定] で印刷する項目や印刷するページ、位置を指定できます。
[設定]	—	詳しくは、「 ページ番号の編集 」(p. 9-18) をごらんください。
ヘッダー / フッター	本体設定 1 ~ 20	ヘッダー / フッターを付けて印刷します。ヘッダー / フッターの内容は本体で設定されている一覧から選択します。[設定] で印刷する項目や印刷するページを指定できます。
[設定]	—	詳しくは、「 ヘッダー/フッターの編集 」(p. 9-19) をごらんください。

■ コピープロテクトの編集



コピープロテクト種類：文章に合成するコピー防止パターンを選択します

文字列：選択した文字列をパターンに埋め込みます。あらかじめ用意されている文字列（定型スタンプ）か、本機に登録されている文字列（登録スタンプ）を指定できます。

日付 / 時刻：日時と時刻をパターンに埋め込みます。「書式」の「[編集]」で表示種類や時刻表示の有無を設定できます。

シリアル番号：本機のシリアル番号をパターンに埋め込みます。

部数管理番号：複数部数を印刷する場合、部数番号をパターンに埋め込みます。開始番号や表示種類を設定できます。

ジョブ番号：自動的に割り付けられる文書の印刷ジョブ番号をパターンに埋め込みます。

文字の配置：文章に合成するコピー防止パターンの書式を設定します。

文字サイズ：パターンの文字サイズを指定します。



「不正コピーを抑止する」を選択するときに設定できる項目です。

不正コピーを抑止する：コピー防止パターンを背景のように目立たないように文書に合成する場合の効果を設定します。文書が不正コピーされた時に文字が浮き出すような効果が得られます。

不正コピー時の効果：パターンがどのように埋め込まれるかを設定します。

背景パターン：背景のパターンを設定します。

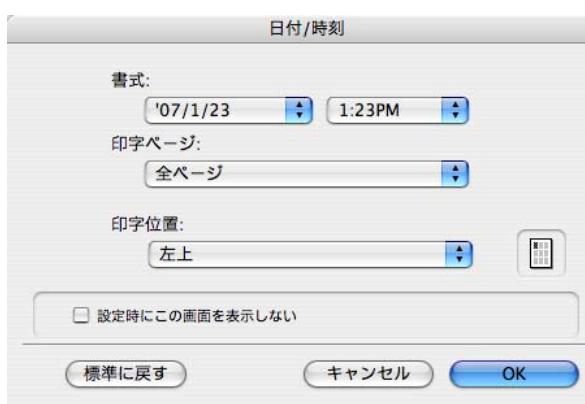
濃度の調整：コピー防止パターンの濃度とコントラストを設定できます。

「文字パターンを印刷する」を選択するときに設定できる項目です。

文字パターンを印刷する：文字パターンを印刷します。

濃度の調整：パターンの濃度を設定できます。

■ 日付 / 時刻の編集

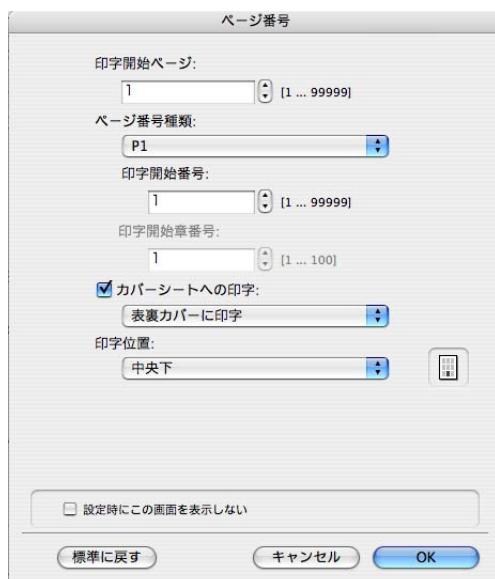


書式：印刷する日時と時刻の書式を表示します。

印字ページ：日時と時刻を印刷するページを設定します。

印字位置：印刷する位置を設定します。

■ ページ番号の編集



印刷開始ページ：ページ番号印刷の開始ページを設定します。

ページ番号種類：ページ番号の種類を選択します。

印刷開始番号：ページ番号印刷の開始番号を設定します。

印刷開始章番号：ページ番号種類で、章番号を使用する種類を選択したときは、ページ番号印刷の開始章番号を設定します。

ひとこと

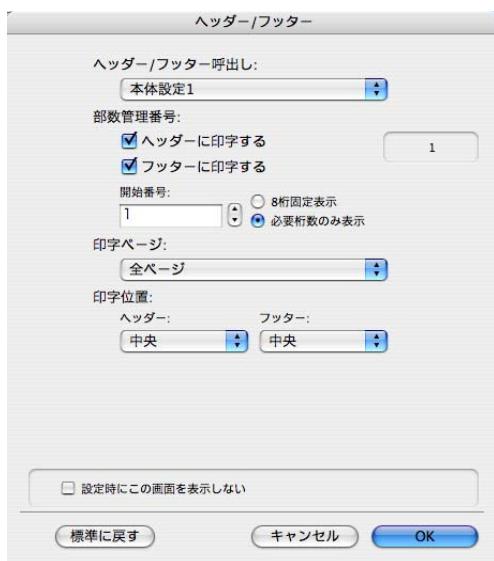
- ・「不正コピーを抑止する」と「文字パターンを印刷する」は同時に選択できません。

- ・「不正コピーを抑止する」と「文字パターンを印刷する」では、設定できる項目が異なります。

カバーシートへの印字：カバーシートを付けている場合、表カバーや裏カバーにページ番号を印刷するかどうかを設定します。

印字位置：印刷する位置を設定します。

■ ヘッダー／フッターの編集



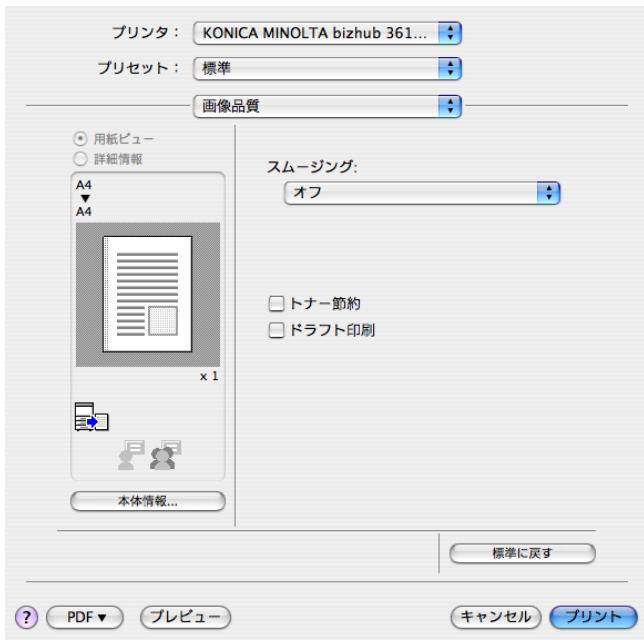
ヘッダー / フッター呼出し：本機に登録されているヘッダー／フッターの設定を選択します。

部数管理番号：複数部数を印刷する場合、部数番号をヘッダー／フッターに印刷します。開始番号や表示桁数を設定できます。

印字ページ：ヘッダー／フッターを印刷するページを設定します。

印字位置：ヘッダー／フッターを印刷する位置を設定します。

9.5.9 画像品質



機能名称	選択肢	説明
スムージング	オフ、タイプ 1 ~ 3	印刷する文字やグラフィックを滑らかに印刷します。タイプ 3 がもっとも細かい曲線部に適しています。
トナー節約	ON/OFF	印刷濃度を調整し、トナー消費量を節約します。
ドラフト印刷	ON/OFF	下書き用に、薄く印刷します。



第10章

Mac OS 9.2 の印刷機能

OS 9.2 用のプリンタードライバーの機能について説明します。

10.1	印刷操作	10-2
10.2	プリンタードライバーの初期設定	10-3
10.3	設定項目詳細	10-5

10.1 印刷操作

通常、印刷はアプリケーションソフトウェアから指定します。

1

アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから「印刷」(または「プリント」) をクリックします。

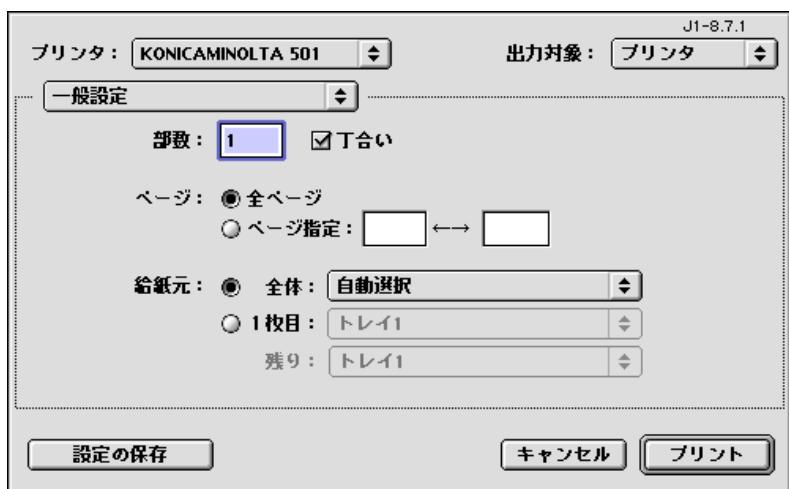
- メニューがない場合は、[印刷] ボタンをクリックします。

「プリント」画面が表示されます。

2

「プリンタ」で印刷したいプリンター名が選択されているか確認します。

- 目的のプリンターが選択されていないときは、選択します。



3

印刷するページ範囲や部数を設定します。

4

必要に応じて設定画面を切換えて、プリンタードライバーの設定を変更します。

5

[プリント] をクリックします。

本機のデータランプが点滅します。

ひとこと

- ・プリンターが表示されないときは、「セレクタ」でプリンターを選択します。詳しくは、「プリンターの選択と接続」(p. 5-15)をごらんください。
- ・「プリント」画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。



「一般設定」のメニューを変更すると、プリンタードライバーのほかの設定画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、「設定項目詳細」(p. 10-5)をごらんください。

ひとこと

「プリント」画面で変更したプリンタードライバーの設定は保存されず、アプリケーションソフトウェアを終了すると元に戻ります。

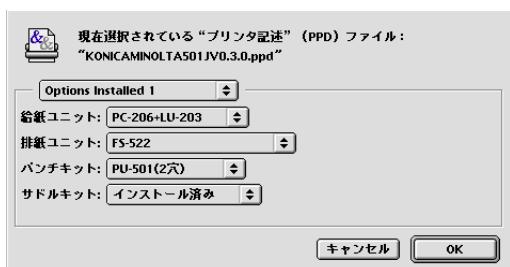
10.2 プリンタードライバーの初期設定

プリンタードライバーをインストールしたら、日常の印刷を行う前にオプションなどの初期設定条件を変更し、本機の機能をプリンタードライバーから使用可能にする必要があります。

10.2.1 オプション設定

- 1 「アップルメニュー」の「セレクタ」を選択します。
- 2 プリンター名を選択します。
- 3 [再設定] をクリックします。
- 4 [構成] をクリックします。

オプションの設定画面が表示されます。



- 5 「Options Installed 1」と「Options Installed 2」の各画面で本機に装着しているオプションを設定します。
- 6 [OK] をクリックします。
「セレクタ」画面に戻ります。
- 7 「セレクタ」画面を閉じます。

ひとこと

本機の機種名や装着されているオプションが設定されていないと、プリンタードライバーでオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

ひとこと

LPR プリンターとして設定している場合は、デスクトップ上にある LPR プリンターのアイコンをダブルクリックし、「プリンタ」メニューの「設定の変更」をクリックするとオプションの設定画面が表示されます。

参考

オプションの設定は、最初にプリンタードライバーを選択したときには、自動的に表示します。詳しくは、「[プリンターの選択と接続](#)」(p. 5-15)をごらんください。

10.2.2 デフォルト設定の登録

印刷時に設定する本機機能の設定内容は、そのアプリケーションを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容は元に戻ります。

設定内容を登録する場合は、プリンタードライバーの設定を保存します。OS 9.2 の場合は、「プリント」画面で「設定の保存」をクリックして保存します。



プリンタードライバーの機能や設定項目については、「[設定項目詳細](#)」(p. 10-5) をご覧ください。

ひとこと

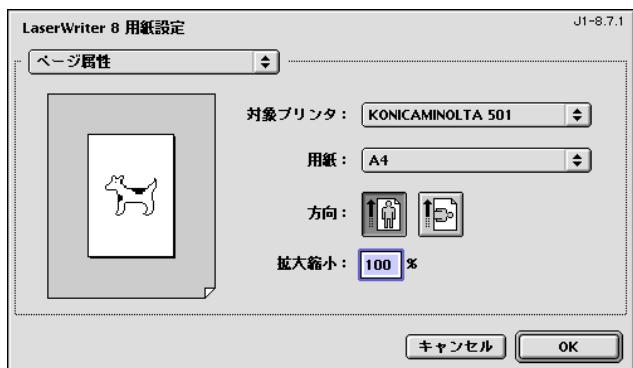
- ・「ページ設定」画面の設定は保存できません。
- ・「プリント」画面の「一般設定」は保存できません。

10.3 設定項目詳細

プリンタードライバーの機能は「ページ設定」画面から指定する「ページ属性」と「プリント」画面から設定する、「レイアウト」、「Finishing Option」の各画面で設定します。

10.3.1 ページ属性

[ファイル] メニューの「ページ設定」(または「用紙設定」)で選択します。



用紙：印刷する用紙サイズを設定します。

方向：原稿の用紙方向を設定します。

拡大縮小：拡大・縮小率を設定します。

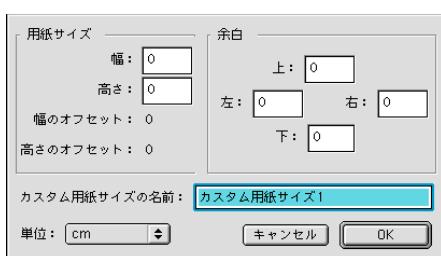
ひとこと

用紙サイズが定形以外のサイズの場合は、カスタム用紙サイズを設定してください。カスタム用紙サイズの登録については、「[カスタム用紙サイズの設定](#)」(p. 10-5)をごらんください。

10.3.2 カスタム用紙サイズの設定

「ページ設定」画面で「カスタム用紙サイズ」を選択します。

- 1 [ファイル] メニューの「用紙設定」(または「ページ設定」)を選択します。
- 2 「カスタム用紙サイズ」を選択します。
- 3 [新規] をクリックします。
- 4 各項目を設定し、カスタムページ名を入力します。



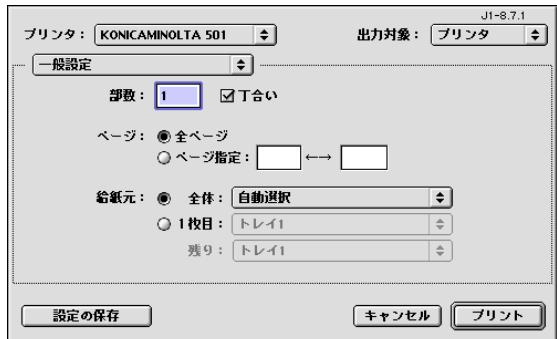
- 用紙サイズ：希望する用紙サイズを設定します。
- 余白：用紙の余白を設定します。
- カスタム用紙サイズの名前：設定した用紙サイズや余白の登録名を入力し、[OK] をクリックします。
- 単位：設定単位を選択します。

- 5 [OK] をクリックします。

カスタムページ設定が登録され、「ページ属性」の用紙で選択できるようになります。

10.3.3 一般設定

[ファイル] メニューの「印刷」(または「プリント」)で選択します。



部数：印刷する部数を設定します。

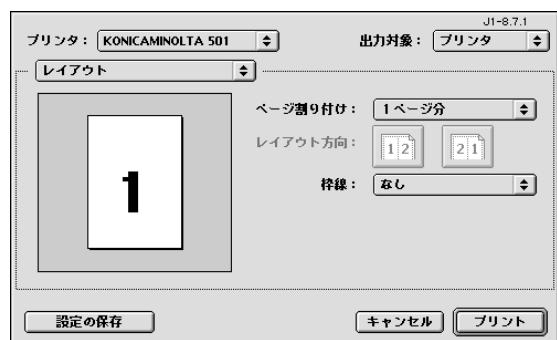
丁合い：複数部数を、部数ごと印刷するかどうかを設定します。

ページ：印刷するページ範囲を設定します。

給紙元：使用する給紙トレイを選択します。

10.3.4 レイアウト (ページ割付)

複数ページを1枚の用紙に割付けるときに設定します。



ページ割り付け：複数ページの文書を1枚の用紙に割付けます。

レイアウト方向：ページの割付け順を設定します。

枠線：ページ間に境界線を設定します。

10.3.5 プリンター固有機能 (Finishing Option 1 ~ 3)

プリンター固有の機能を設定します。ステープルやパンチなど本機の機能を利用するときに設定します。



仕分け：仕分けを設定します。

排紙トレイ：排紙トレイを選択します。

開き方向 / とじ方向：とじ位置を設定します。

印刷種類：両面印刷を行います。

ページ割付：小冊子印刷を行います。

ステープル：ステープルを行います。

パンチ：パンチを行います。

折り：折りを行います。

画像シフト：画像シフトを行います。

表カバー：オモテ表紙を付けて印刷します。

表カバー用トレイ：オモテ表紙を給紙するトレイを選択します。

裏カバー：ウラ表紙を付けて印刷します。

裏カバー用トレイ：ウラ表紙を給紙するトレイを選択します。

OHP 合紙：OHP フィルムに合紙を付けて印刷します。

合紙用トレイ：OHP 合紙を給紙するトレイを選択します。

出力方法：文書が 1 部出力された後、一時停止して確認できる確認印刷を指定します。

解像度：解像度を設定します。

スムージング：印刷する文字やグラフィックを滑らかに印刷します。タ イプ 3 がもっとも細かい曲線部に適しています。

印刷濃度：印刷濃度を調整し、トナー消費量を節約します。または、下書き用に、薄く印刷します。

■ 原則

- 「ステープル」、「折り」機能は、オプションのフィニッシャーが装着されている場合のみ使用可能となります。
- 「パンチ」機能は、オプションのフィニッシャーにパンチキットが装着されている場合のみ使用可能となります。

第11章

機能詳細説明

プリンタードライバーと本機のパネル操作を組み合わせる必要があるなど、特に注意が必要な機能について説明します。

11.1 確認印刷	11-2
11.2 セキュリティ印刷	11-5
11.3 ボックス保存	11-12
11.4 ユーザー認証を設定している本機で印刷する	11-17
11.5 部門管理機能を使用している本機で印刷する	11-19
11.6 認証＆プリント	11-22
11.7 暗号化ワードをユーザー設定する	11-28
11.8 ドライバー設定を保存する	11-32
11.9 bizmic PS Lite によるプリントデータスプール機能	11-35

11.1 確認印刷

確認印刷機能は、複数部数を印刷するときに、1部のみ出力して残り部数を待機する機能です。印刷結果を確認してから残り部数を出力できるので、大量部数印刷のミスプリントを防ぎたい場合に便利です。

確認印刷は、印刷時にプリンタードライバーで指定し、操作パネルで残り部数の出力を実行します。

11.1.1 プリンタードライバーの設定

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の5種類です。

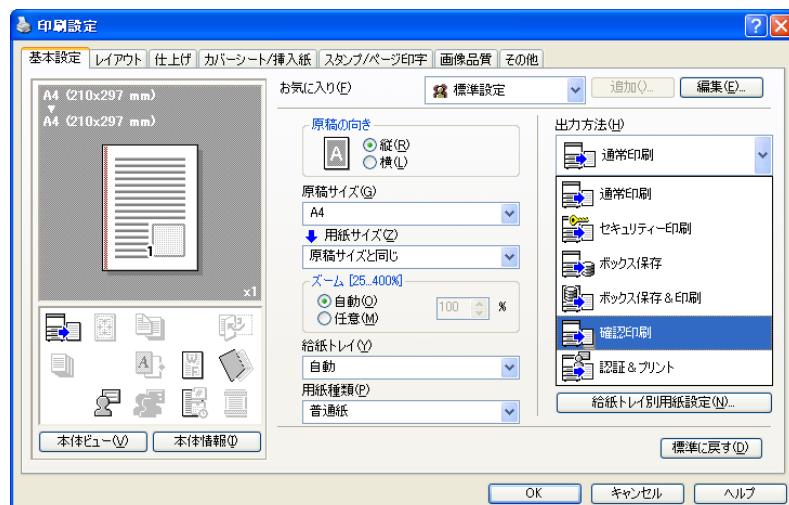
- Windows用PCLコニカミノルタ製プリンタードライバー(PCLドライバー)
- Windows用PostScriptコニカミノルタ製プリンタードライバー(PSドライバー)
- Windows用XPSコニカミノルタ製プリンタードライバー(XPSドライバー)
- Mac OS X用PostScript PPDプリンタードライバー
- Mac OS 9.2用PostScript PPDプリンタードライバー

以下の設定で印刷します。

- 出力方法：「確認印刷」
- 印刷部数：複数部数

■ Windowsの場合

- 1 「基本設定」タブを表示します。
- 2 「出力方法」で「確認印刷」を選択します。



- 3 目的の部数を指定して印刷します。
1部のみ出力され、内容を確認できます。

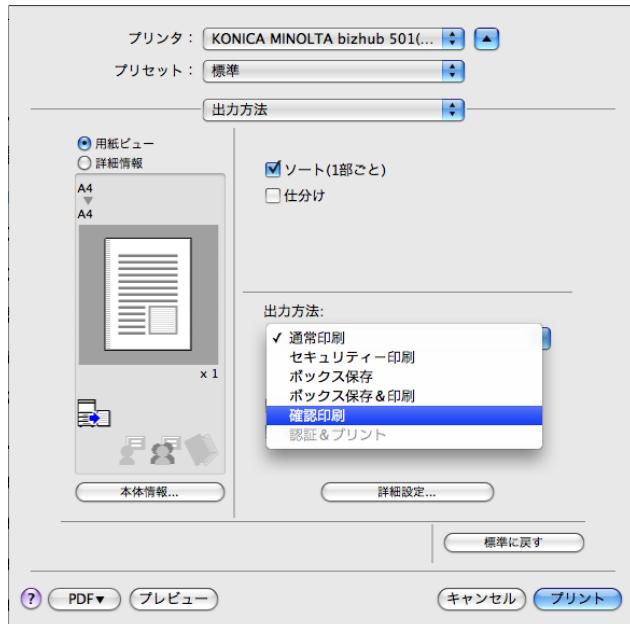
■ Mac OS X の場合

1

「出力方法」画面を表示します。

2

「出力方法」で「確認印刷」を選択します。



3

目的の部数を指定して印刷します。

1 部のみ出力され、内容を確認できます。

11.1.2 操作パネルからのジョブ呼び出し

1

本体操作パネルの [ジョブ表示] を押し、さらに [ジョブ詳細] を押します。



印刷画面が表示されます。

ひとこと

OS 9.2 では、「Finishing Option 3」画面の「出力方法」で選択できます。



操作パネルの各キーのはたらきについて、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

2

[実行中リスト] が表示されている状態で、[蓄積解除] を押します。



蓄積解除画面が表示されます。

3

ジョブリストから印刷するジョブを選択します。

- そのまま残り部数を印刷する場合は、手順 6 へ進みます。
- 印刷条件を変更する場合は、手順 4 へ進みます。



4

[設定変更] を押します。

設定変更画面が表示されます。

5

設定変更画面で印刷条件を変更して、[OK] を押します。

蓄積解除画面に戻ります。

6

[実行] または操作パネルの【スタート】を押します。

蓄積ジョブは動作中ジョブに変わり、印刷されます。

ひとこと

蓄積解除をしたいジョブが表示されていないときは、[↑] または [↓] を押して表示させます。

ひとこと

設定を変更した結果を確認するときは、ジョブリストから確認するジョブを選び、操作パネルの【確認コピー】を押します。

1 部のみ出力され、内容を確認できます。

【確認コピー】後は、設定が元に戻りますので、再度設定してください。

ひとこと

蓄積解除を中止する場合は、[中止] を押します。

11.2 セキュリティー印刷

セキュリティー印刷機能は、印刷ジョブを本機のセキュリティー文書ボックスに保存する機能です。操作パネルから ID とパスワードを入力することで出力するので、機密性の高い文書の出力に便利です。

セキュリティー印刷は、印刷時にプリンタードライバーで指定し、操作パネルで出力を実行します。

11.2.1 プリンタードライバーの設定

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 4 種類です。

- Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー (PCL ドライバー)
- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー (PS ドライバー)
- Windows 用 XPS コニカミノルタ製プリンタードライバー (XPS ドライバー)
- Mac OS X 用 PostScript PPD プリンタードライバー

以下の設定で印刷します。

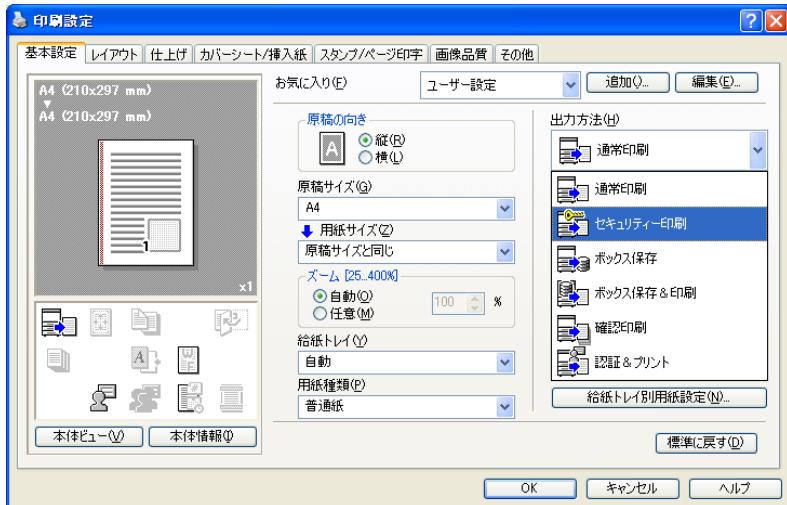
- 出力方法：「セキュリティー印刷」

ひとこと

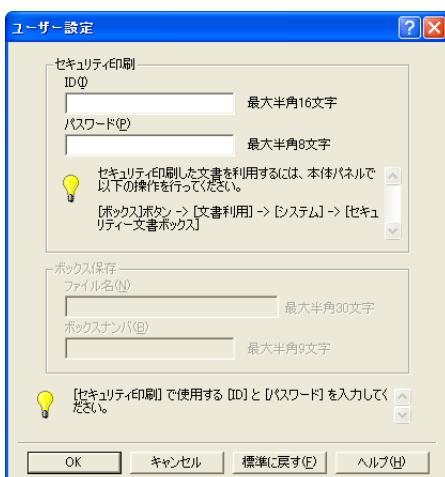
「セキュリティー印刷」を使用するには、オプションのハードディスクが必要です。

■ Windows の場合

- 1** 「基本設定」タブを表示します。
- 2** 「出力方法」で「セキュリティー印刷」を選択します。



- 3** ID とパスワードを入力します。



- 4** 印刷します。

ひとこと

本機側でパスワード規約が ON の場合、セキュリティー印刷で使用可能なパスワードに制限があり、パスワード規約を満たさないパスワードを入力するとジョブが消去されます。パスワード規約については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

ひとこと

「基本設定」タブの「ユーザー設定」では、セキュリティー印刷で必要な ID とパスワードをあらかじめ登録しておくことができます。常に同じ ID とパスワードで印刷する場合は、あらかじめ登録しておくと「セキュリティー印刷」選択時に ID とパスワードを入力する画面が表示されません。

■ Mac OS X の場合

1

「出力方法」画面を表示します。

2

「出力方法」で「セキュリティー印刷」を選択します。



3

ID とパスワードを入力します。



4

印刷します。

ひとこと

- ・「設定を保存する」を ON になると設定した内容が保存されます。さらに「設定時にこの画面を表示しない」を ON にすると、機能を指定したときにダイアログが表示されません。
- ・本機側でパスワード規約が ON の場合、セキュリティー印刷で使用可能なパスワードに制限があり、パスワード規約を満たさないパスワードを入力するとジョブが消去されます。パスワード規約については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

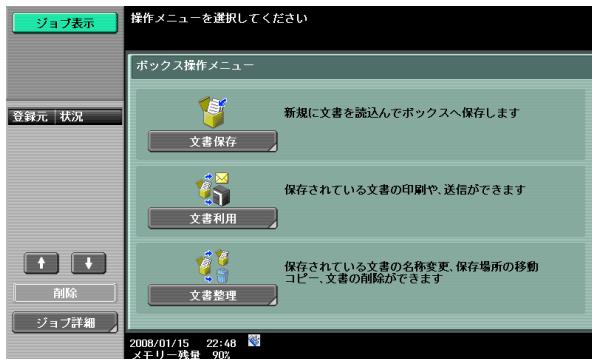
11.2.2 操作パネルからのジョブ呼び出し

「セキュリティー印刷」によるジョブは、セキュリティー文書ボックスに保存されます。セキュリティー文書を印刷するには、プリンタードライバーで指定した ID とパスワードが必要です。

■ セキュリティー文書アクセス方式が「モード 1」に設定されている場合

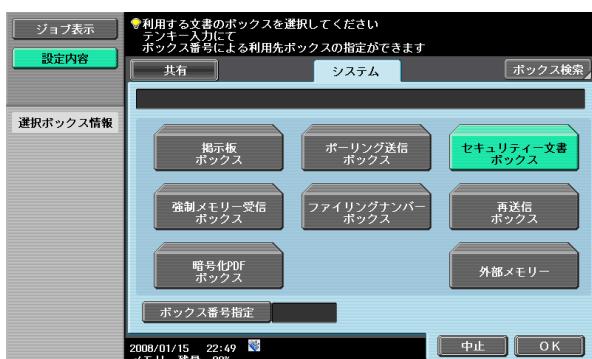
1

本体操作パネルの【ボックス】を押し、[文書利用] を押します。



2

[システム] の [セキュリティー文書ボックス] を選択し、[OK] を押します。



3

セキュリティー文書の ID を入力し、[OK] を押します。



参考

- 操作パネルの各キーのはたらきについては、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
- オプションのハードディスクを装着すると、ボックスを使用することができます。本機のボックス機能については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
- セキュリティー文書アクセス方法の設定について詳しくは、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

ひとこと

- セキュリティー文書は登録されてから一定時間経過すると自動的に削除されます。この時間は初期値が 1 日に設定されており、管理者モードで設定できます。詳しくは、「セキュリティー文書削除時間設定」(p. 12-30) をごらんください。
- 印刷したセキュリティー文書を手動で削除するときは管理者モードで操作します。詳しくは、「セキュリティー文書削除」(p. 12-29) をごらんください。

ひとこと

オプションのハードディスクを装着していない場合は、使用することができません。

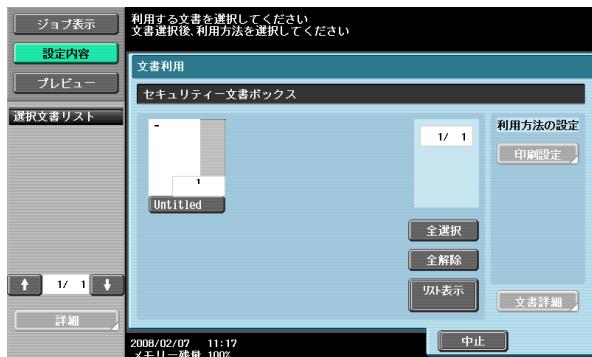
4

- セキュリティ文書のパスワードを入力し、[OK] を押します。
指定した ID、パスワードと一致するセキュリティ文書の一覧が表示されます。



5

- 印刷したい文書を選択し、[印刷設定] を押します。
文書の内容やプレビューは、[文書詳細] で確認できます。



6

- 必要に応じて印刷条件を変更します。



7

- [実行] または操作パネルの【スタート】を押します。
文書が印刷されます。

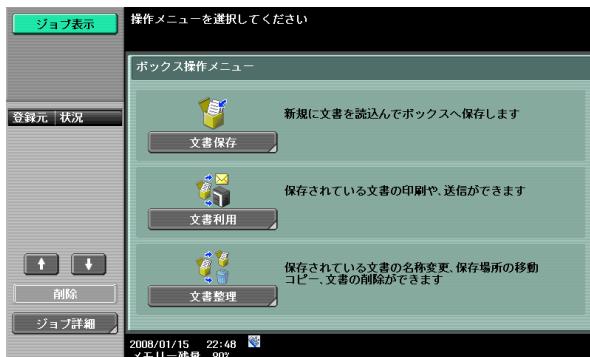
ひとこと

操作を中止する場合は、[中止] を押します。

■ セキュリティー文書アクセス方式が「モード2」に設定されている場合

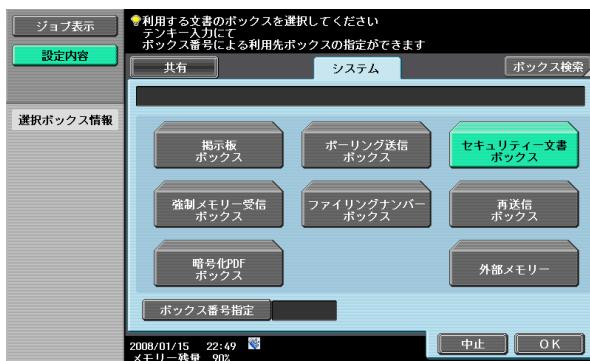
1

本体操作パネルの【ボックス】を押し、【文書利用】を押します。



2

[システム] の [セキュリティー文書ボックス] を選択し、[OK] を押します。



3

セキュリティー文書の ID を入力し、[OK] を押します。

指定した ID と一致するセキュリティー文書の一覧が表示されます。

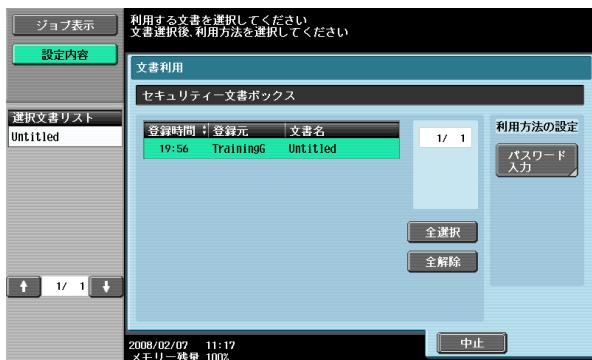


ひとこと

オプションのハードディスクを装着していない場合は、使用することができます。

4

印刷したい文書を選択し、[パスワード入力] を押します。
文書の内容やプレビューは、[文書詳細] で確認できます。

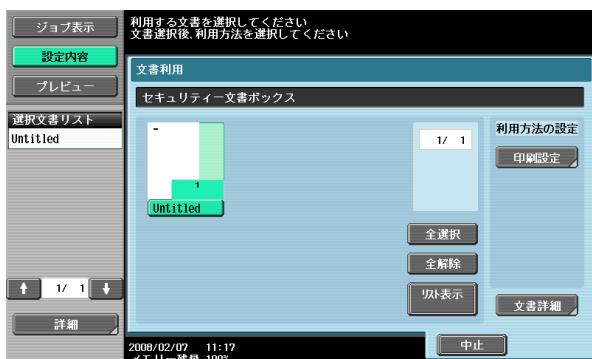


5

セキュリティ文書のパスワードを入力し、[OK] を押します。
指定したパスワードと一致するセキュリティ文書の一覧が表示されます。

6

印刷したい文書を選択し、[印刷設定] を押します。



7

必要に応じて印刷条件を変更します。



8

[実行] または操作パネルの【スタート】を押します。
○ 文書が印刷されます。

ひとこと

管理者設定の「認証操作禁止機能」でモード2が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、選択している文書がロックされます。操作禁止状態の解除については管理者に問合させてください。

ひとこと

操作を中止する場合は、[中止] を押します。

11.3 ボックス保存

ボックス保存機能は、印刷ジョブを本機のユーザーBOXに保存する機能です。操作パネルからボックスを指定することで出力するので、文書の配布にも利用できます。

ボックス保存は、印刷時にプリンタードライバーで指定し、操作パネルで出力や配信を実行します。

11.3.1 プリンタードライバーの設定

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の4種類です。

- Windows用PCLコニカミノルタ製プリンタードライバー(PCLドライバー)
- Windows用PostScriptコニカミノルタ製プリンタードライバー(PSドライバー)
- Windows用XPSコニカミノルタ製プリンタードライバー(XPSドライバー)
- Mac OS X用PostScriptPPDプリンタードライバー

以下の設定で印刷します。

- 出力方法：「ボックス保存」または「ボックス保存&印刷」

ひとこと

本機のボックス機能については、「ユーザーズガイド（ボックス機能編）」をごらんください。

ひとこと

「ボックス保存」または「ボックス保存&印刷」を使用するには、オプションのハードディスクが必要です。

ひとこと

- ・ボックスへの保存と印刷を同時に実行したいときは「ボックス保存&印刷」を選択します。
- ・保存先のボックスは本機のボックス機能であらかじめ作成しておいてください。本機のボックス機能については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

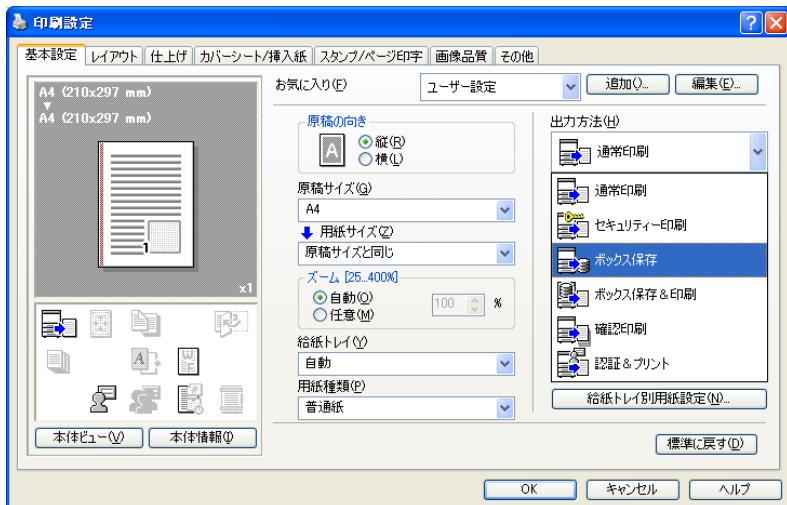
■ Windows の場合

1

「基本設定」タブを表示します。

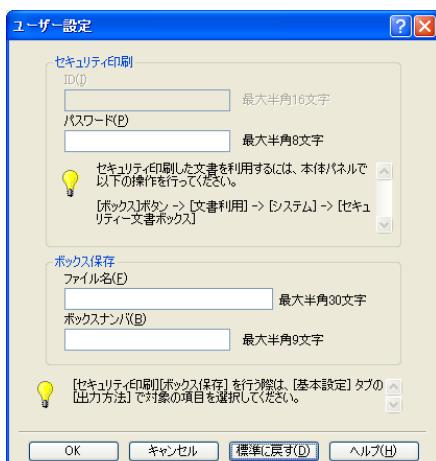
2

「出力方法」で「ボックス保存」または「ボックス保存 & 印刷」を選択します。



3

文書のファイル名と保存先のボックスナンバを入力します。



4

印刷します。

ひとこと

「基本設定」タブの「ユーザー設定」では、ボックス保存で必要なファイル名とボックス番号をあらかじめ登録しておくことができます。常に同じファイル名とボックス番号で保存する場合は、あらかじめ登録しておくと「ボックス保存」選択時にファイル名とボックス番号を入力する画面が表示されません。

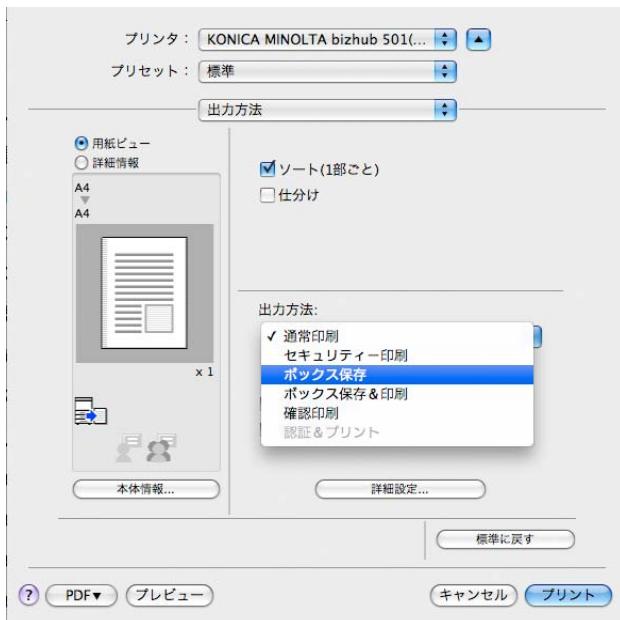
■ Mac OS X の場合

1

「出力方法」画面を表示します。

2

「出力方法」で「ボックス保存」または「ボックス保存 & 印刷」を選択します。



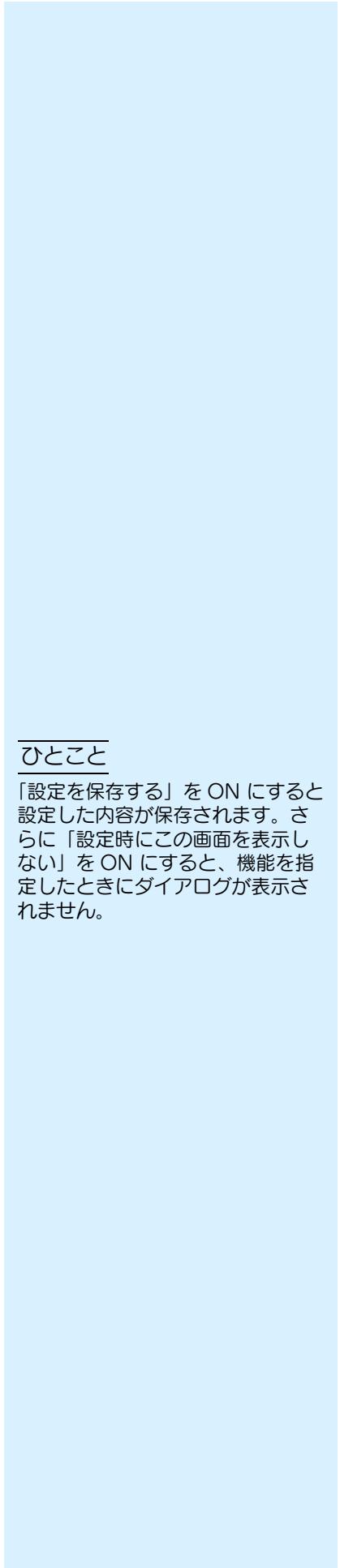
3

文書のファイル名と保存先のボックスナンバを入力します。



4

印刷します。



ひとこと

「設定を保存する」を ON にすると設定した内容が保存されます。さらに「設定時にこの画面を表示しない」を ON にすると、機能を指定したときにダイアログが表示されません。

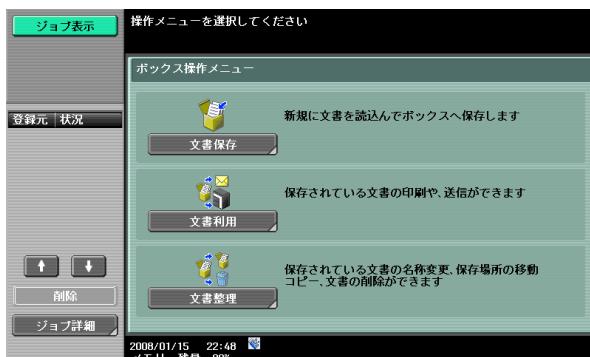
11.3.2 操作パネルからのジョブ呼び出し

「ボックス保存」、「ボックス保存＆印刷」によるジョブは、指定した番号のボックスに保存されます。

ボックスに保存された文書を印刷するには、指定したボックスを開いて文書を取り出します。ボックスにパスワードが設定されている場合は、ボックスパスワードが必要です。

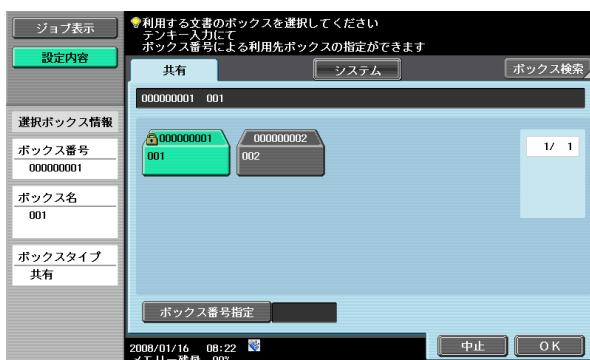
1

- 本体操作パネルの【ボックス】を押し、[文書利用] を押します。



2

- 目的のボックス番号を選択し、[OK] を押します。
ボックスは、共有、個人、グループの分類で分かれています。
保存したボックスの分類から目的のボックスを指定します。
ボックス番号で直接指定することもできます。
- ボックスにパスワードが設定されている場合は、手順 3 へ進みます。
 - ボックスにパスワードが設定されていない場合は、手順 4 へ進みます。



3

- ボックスのパスワードを入力し、[OK] を押します。
指定したボックスの文書一覧が表示されます。



参考

- ・操作パネルの各キーのはたらきについては、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
- ・本機のボックス機能については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

ひとこと

ボックス文書は登録されてから一定時間経過すると自動的に削除されます。この時間は初期値が 1 日に設定されており、ボックス作成時に設定できます。

ひとこと

- ・オプションのハードディスクを装着していない場合は、[共有]、[個人]、[グループ]、[システム] タブは表示されません。

4

印刷したい文書を選択し、[印刷設定] を押します。



5

必要に応じて印刷条件を変更します。



6

[実行] または操作パネルの【スタート】を押します。
文書が印刷されます。

ひとこと

ポックスに保存された文書は、Email 送信、ファクス送信などで配信できます。本機のポックス機能については、「ユーザーズガイド ポックス機能編」をごらんください。

ひとこと

操作を中止する場合は、[中止] を押します。

11.4 ユーザー認証を設定している本機で印刷する

本機側でユーザー認証が設定されている場合、印刷時にユーザー名とパスワードを入力する必要があります。



- ・本機側の「認証モード」で有効ではないユーザー名やパスワードを入力して印刷したり、または「認証」を設定しないで印刷した場合は本機で認証されずにジョブが破棄されます。

- ・本機のユーザー認証が設定され、認証操作禁止機能がモード 2 の場合、認証情報が正しく入力されていない場合は、該当するユーザーがロックされアクセスができない場合があります。
- ・本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 4 種類です。

Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー (PCL ドライバー)

Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー (PS ドライバー)

Windows 用 XPS コニカミノルタ製プリンタードライバー (XPS ドライバー)

Mac OS X 用 PostScript PPD プリンタードライバー

ひとこと

- ・登録ユーザーであっても、印刷が許可されていない場合は印刷できません。
ユーザー認証については、本機の管理者にお問い合わせください。
- ・オプションの認証装置によるユーザー認証を行っている場合も、ユーザー名とパスワードを入力してください。詳しくは、認証装置に付属のマニュアルをごらんください。

ひとこと

PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、サーバー管理者により指定されているユーザー情報の入力が必要です。設定により、表示される画面や入力項目が異なります。詳しくはサーバーの管理者にお問い合わせください。

11.4.1 プリンタードライバーの設定

■ Windows の場合

1

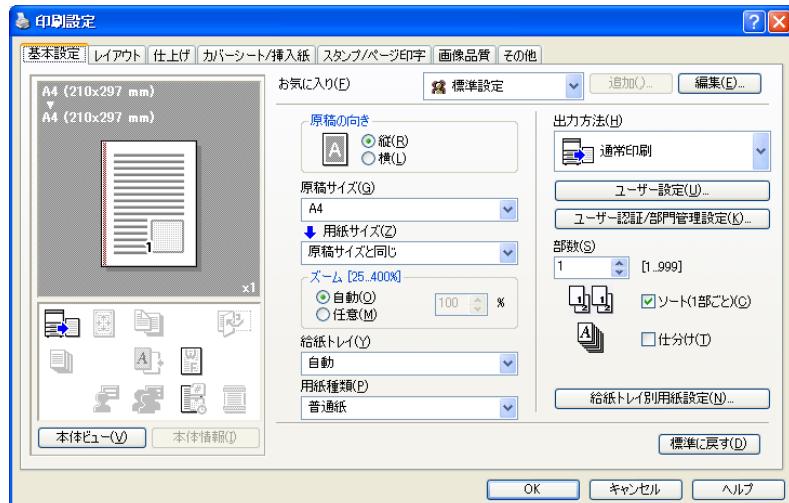
「印刷」ダイアログボックスで「プロパティ」(または「詳細設定」)をクリックして、プリンタードライバーの設定ダイアログを表示します。

2

「基本設定」タブをクリックします。

3

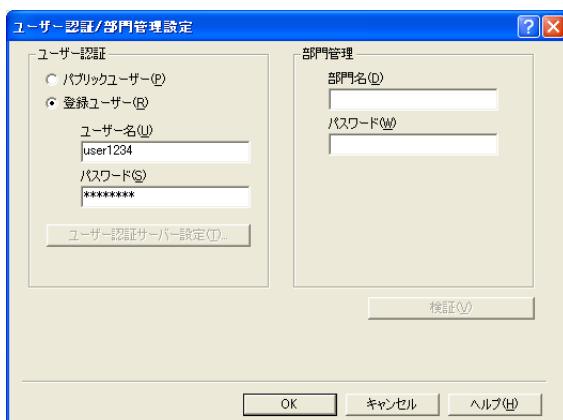
「ユーザー認証 / 部門管理設定」をクリックします。



4

「登録ユーザー」を選択し、ユーザー名、パスワードを入力します。

- 本体でパブリックユーザーが許可されている場合は、パブリックユーザーで利用できます。
- パスワードはジョブごとではなく、デフォルト値としてプリンタードライバーに設定しておいても使用できます。



5

[OK] をクリックして設定後、印刷します。

- 入力したユーザー名が本機側で有効になっているユーザー名である場合、ジョブは印刷され、指定したユーザーにカウントされます。

■ Mac OS X の場合

1

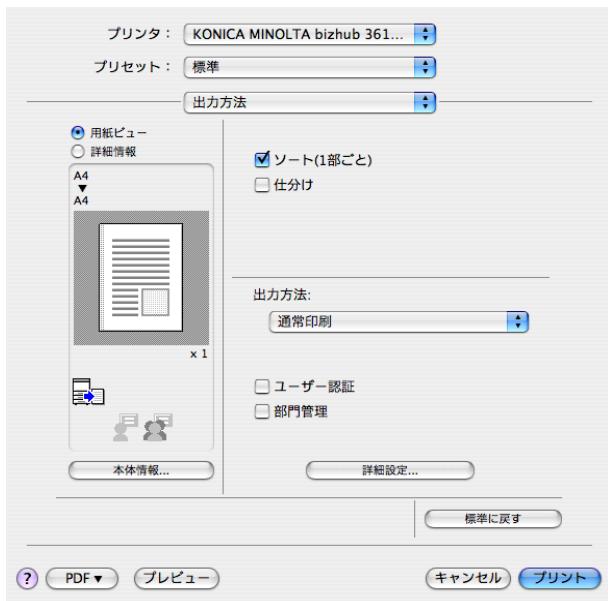
[ファイル] メニューの「プリント」を選択します。

2

「出力方法」を選択します。

3

「ユーザー認証」のチェックボックスを ON にします。



4

「登録ユーザー」を選択し、ユーザー名、パスワードを入力します。

- 本体でパブリックユーザーが許可されている場合は、パブリックユーザーで利用できます。



ひとこと

- ・ユーザー認証が「装置情報」タブで設定されていないと、ユーザー認証が行えません。ユーザー認証を利用している場合は、必ず「装置情報」で設定してください。詳しくは、「[装置情報タブ](#)」(p. 8-3)をごらんください。
- ・ユーザー認証をサーバーで行っている場合は、サーバーの設定が必要です。「[ユーザー認証サーバー設定](#)」をクリックし、サーバーを選択してください。
- ・[検証] をクリックすると、本機と通信し入力したユーザーで認証可能かどうかを確認できます。この機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。
- ・PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、本機の管理者設定で「[システム連携](#)」 - 「[OpenAPI 設定](#)」 - 「[認証](#)」を「使用しない」にしてください。詳しくは、「[12.4.12 OpenAPI 設定の認証設定](#)」をごらんください。

ひとこと

- ・「設定を保存する」を ON になると設定した内容が保存されます。さらに「設定時にこの画面を表示しない」を ON にすると、機能を指定したときにダイアログが表示されません。
- ・ユーザー認証をサーバーで行っている場合は、サーバーの設定が必要です。「[ユーザー認証サーバー設定](#)」をクリックし、サーバーを選択してください。

11.5 部門管理機能を使用している本機で印刷する

本機側で「部門管理機能」を使用している場合、印刷時に部門管理コード（暗証番号）を入力する必要があります。



詳しく説明します

- ・本機側の「部門管理機能」で有効ではない暗証番号を入力して印刷した、または「部門管理」を設定しないで印刷した場合は本機で認証されずにジョブが破棄されます。

本機の部門認証が設定され、認証操作禁止機能がモード 2 の場合、認証情報が正しく入力されていない場合は、該当する部門がロックされアクセスができない場合があります。

- ・本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 4 種類です。

Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー (PCL ドライバー)
Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー (PS ドライバー)
Windows 用 XPS コニカミノルタ製プリンタードライバー (XPS ドライバー)
Mac OS X 用 PostScript PPD プリンタードライバー

11.5.1 プリンタードライバーの設定

■ Windows の場合

1

「印刷」ダイアログボックスで「プロパティ」（または「詳細設定」）をクリックして、プリンタードライバーの設定ダイアログを表示します。

2

「基本設定」タブをクリックします。

ひとこと

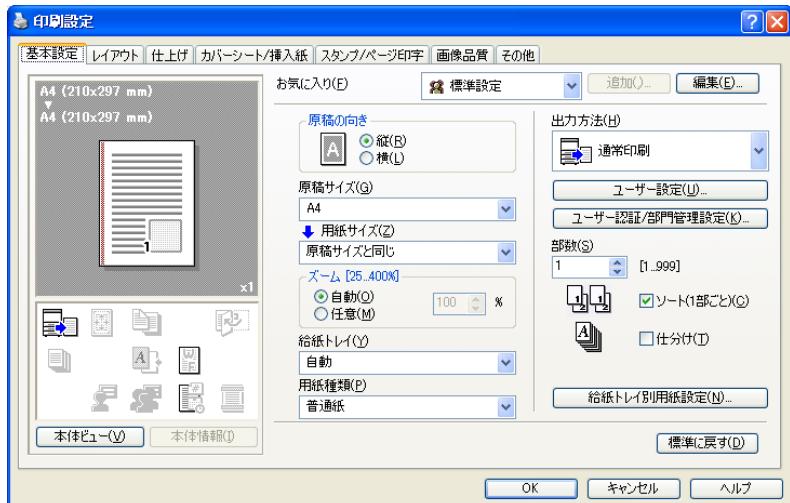
- ・登録部門であっても、印刷が許可されていない場合は印刷できません。
- ・部門管理については、本機の管理者にお問合せください。

ひとこと

- ・部門管理が「装置情報」タブで設定されていないと、部門管理が行えません。部門管理を利用している場合は、必ず「装置情報」で設定してください。詳しくは、「装置情報タブ」(p. 8-3)をごらんください。
- ・[検証] をクリックすると、本機と通信し入力した部門で認証可能かどうかを確認できます。この機能は、本機と通信可能な状態で接続されてないと利用できません。

3

[ユーザー認証 / 部門管理設定] をクリックします。



4

部門名、パスワードを入力します。

- パスワードはジョブごとではなく、デフォルト値としてプリントドライバーに設定しておいても使用できます。



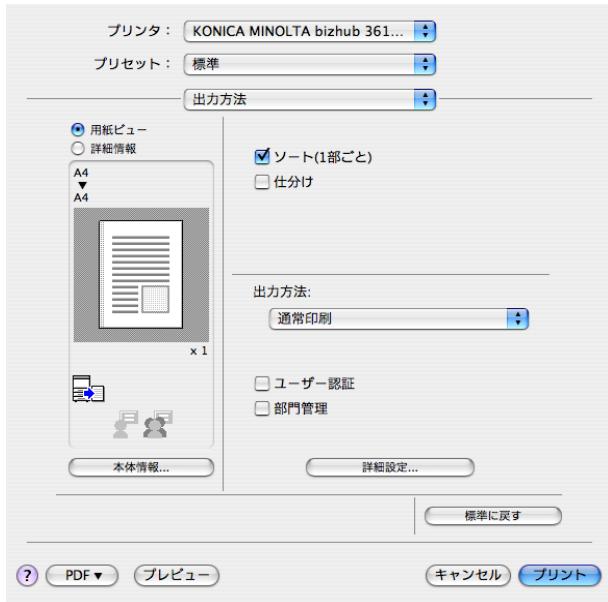
5

[OK] をクリックして設定後、印刷します。

入力した暗証番号が本機側で有効になっている暗証番号である場合、ジョブは印刷され、指定した部門番号にカウントされます。

■ Mac OS X の場合

- 1** [ファイル] メニューの「プリント」を選択します。
- 2** 「出力方法」を選択します。
- 3** 「部門管理」のチェックボックスを ON にします。



- 4** 部門名とパスワードを登録します。



ひとこと

「設定を保存する」を ON にすると設定した内容が保存されます。さらに「設定時にこの画面を表示しない」を ON にすると、機能を指定したときにダイアログが表示されません。

11.6 認証&プリント

認証&プリント機能を選択してプリントすると、本機の操作パネルでユーザー名とパスワードを入力して認証が成功してはじめてプリントが開始されるため、文章の機密性を保持することができます。

認証 & プリントを使用するには、本機でユーザー認証を行っている必要があります。

コンピューターから印刷する時は、プリンタードライバーでユーザー名とパスワードを入力した上で、認証&プリントを指定します。

認証 & プリントの印刷データは、認証&プリントボックスに保存され、プリント後に認証 & プリントボックスから自動的に削除されます。本機の操作パネルからユーザー名とパスワードを入力して、本機にログインし、認証 & プリントボックスに保存されている印刷データをプリントすることもできます。

オプションの生体認証装置、IC 認証装置によるユーザー認証を行っている場合は、認証装置に指または IC カードでタッチするだけで印刷またはログインできます。

11.6.1 プリンタードライバーの設定

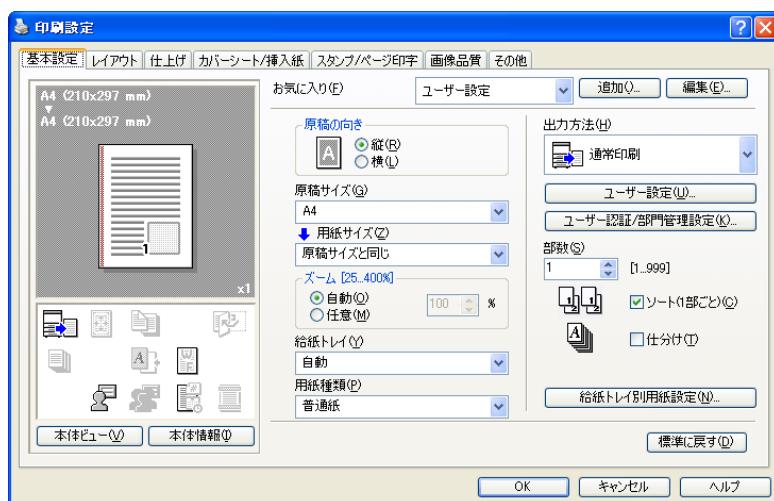
■ Windows の場合

1

「基本設定」タブを表示します。

2

[ユーザー認証 / 部門管理設定] をクリックします。



3

- 「登録ユーザー」を選択し、本機で登録されているユーザー名、パスワードを入力して [OK] をクリックします。



ユーザー認証については、「[ユーザー認証を設定している本機で印刷する](#)」(p. 11-17) をごらんください。

ひとこと

本機の管理者設定で「ユーザー認証 / 部門管理」－「ユーザー認証設定」－「管理設定」－「認証＆プリント設定」の「認証なし / パブリックユーザージョブ」を「蓄積」にしている場合でパブリックユーザージョブが許可されている場合は、パブリックユーザーのジョブも認証＆プリントボックスに保存されます。詳しくは、「[ユーザーズガイド ボックス機能編](#)」をごらんください。

4

- 「出力方法」で「認証＆プリント」を選択します。
ユーザーが認証されると文書が印刷されます。

5

- 印刷します。

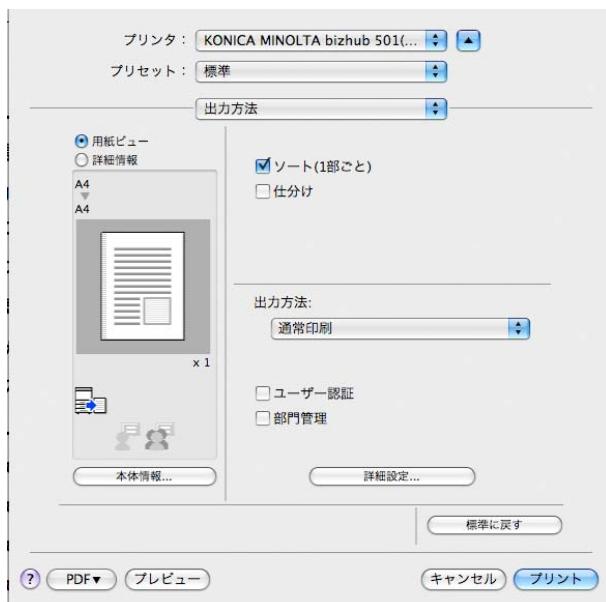
■ Mac OS X の場合

1

- 「出力方法」画面を表示します。

2

- 「ユーザー認証」のチェックボックスを ON にします。



ひとこと

本機の管理者設定で「ユーザー認証 / 部門管理」－「ユーザー認証設定」－「管理設定」－「認証＆プリント」を「使用する」にしている場合は、通常印刷のジョブも認証＆プリントボックスに保存されます。詳しくは、「[ユーザーズガイド ボックス機能編](#)」をごらんください。

3

「登録ユーザー」を選択し、本機で登録されているユーザー名、パスワードを入力して [OK] をクリックします。



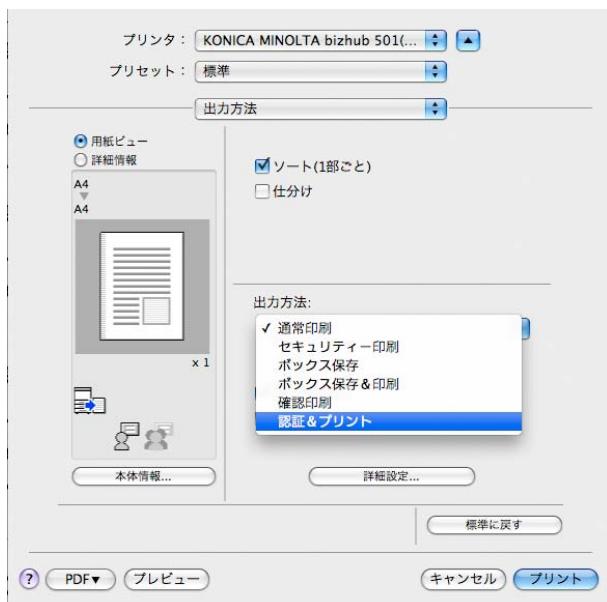
ユーザー認証については、「[ユーザー認証を設定している本機で印刷する](#)」(p. 11-17) をごらんください。

ひとこと

本機の管理者設定で [ユーザー認証 / 部門管理] – [ユーザー認証設定] – [管理設定] – [認証＆プリント設定] の「認証なし / パブリックユーザージョブ」を「蓄積」にしている場合でパブリックユーザージョブが許可されている場合は、パブリックユーザーのジョブも認証＆プリントボックスに保存されます。詳しくは、「[ユーザーズガイド ボックス機能編](#)」をごらんください。

4

「出力方法」で「認証＆プリント」を選択します。



5

印刷します。

ひとこと

本機の管理者設定で [ユーザー認証 / 部門管理] – [ユーザー認証設定] – [管理設定] – [認証＆プリント設定] の「認証＆プリント」を「使用する」にしている場合は、通常印刷のジョブも認証＆プリントボックスに保存されます。詳しくは、「[ユーザーズガイド ボックス機能編](#)」をごらんください。

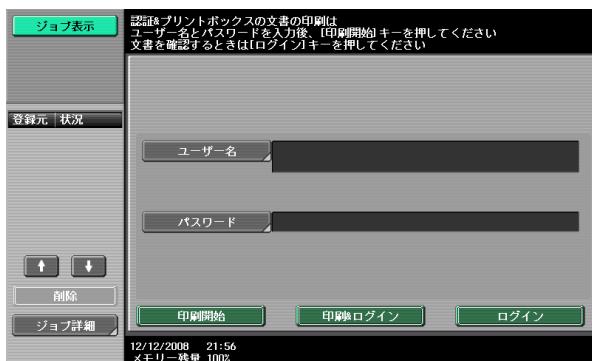
11.6.2 操作パネルからのジョブ呼び出し

■ ユーザー情報を入力して印刷する

1

本体操作パネルでユーザー名とパスワードを入力します。

パブリックユーザーがログインなしで許可されている場合など、ログイン後の画面が表示されているときは、[ID] を押してログアウトするとログイン画面が表示されます。



2

[印刷開始] を押します。

ユーザーが認証されるとジョブが出力されます。

- [印刷＆ログイン] を押すと、ジョブの出力と通常のログインができます。
- [ログイン] を押すと、通常のログインのみとなり、ジョブは出力されません。ログイン後に認証＆プリントボックスを開いて文書を印刷してください。
- 複数のジョブがある場合は、全てのジョブが出力されます。文書を選択して印刷したい場合は、[ログイン] を押し、認証＆プリントボックスから文書を印刷してください。
- オプションの認証装置を装着している場合は、[本体認証] と [認証装置] が表示されます。キーを選択することで、認証方法を本体認証または認証装置のどちらかに切換えて利用できます。

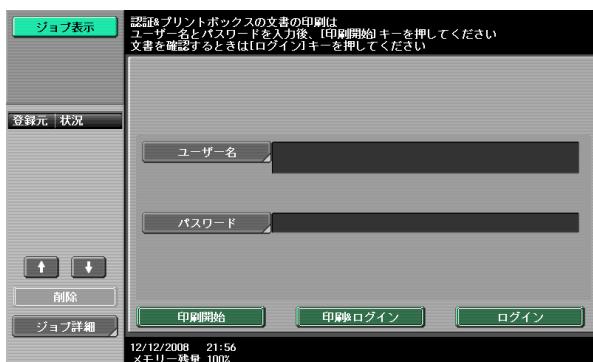
ひとこと

パブリックユーザーの場合は、パブリックユーザーでログイン後に認証＆プリントボックスを開いて文書を印刷します。

■ 認証＆プリントボックスから文書を指定して印刷する

1

本体操作パネルでユーザー名とパスワードを入力します。



2

[ログイン] を押します。

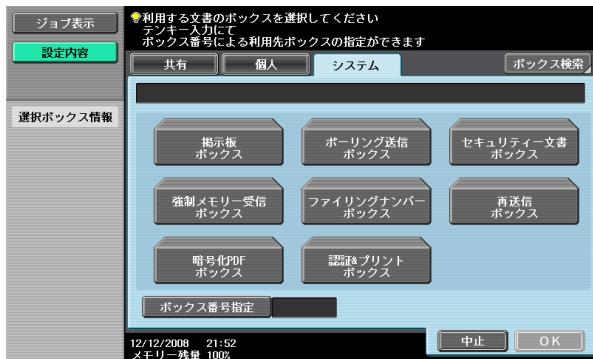
本機にログインします。

3

本体操作パネルの [ボックス] を押します。

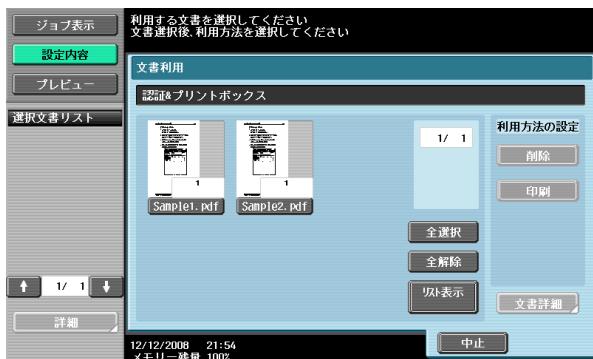
4

[システム] の [認証＆プリントボックス] を選択し、[OK] を押します。



5

印刷したい文書を選択し、[印刷] を押します。



ひとこと

認証＆プリントボックスを使用する頻度が高いときは、本機の「画面カスタマイズ設定」 - 「ボックス設定」で「認証＆プリントボックス」を表示するように設定しておくと便利です。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

ひとこと

アプリケーションメニューが表示される場合は、[ボックス] を押してください。

ひとこと

- 文書の内容やプレビューは、[文書詳細] で確認できます。
- 操作を中止する場合は、[中止] を押します。

6

ジョブの削除を確認する画面が表示される場合は、処理方法を選択します。

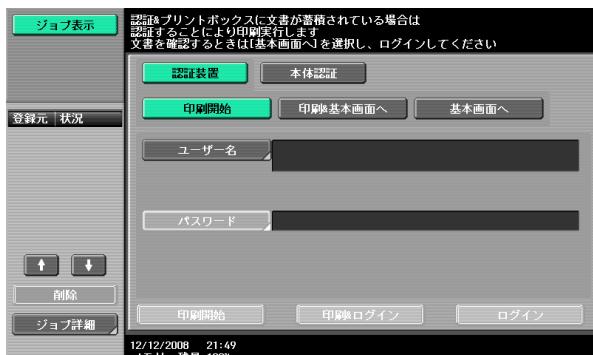


文書が印刷されます。

■ 認証装置でログインする

1

[認証装置] を押し、[印刷開始] を押します。



2

認証装置に指または IC カードでタッチします。

ユーザーが認証されるとジョブが出力されます。

- [印刷 & 基本画面へ] でログインすると、ジョブの出力と通常のログインができます。
- [基本画面へ] でログインすると、通常のログインのみとなり、ジョブは出力されません。ログイン後に認証 & プリントボックスを開いて文書を印刷してください。
- 複数のジョブがある場合、[認証 & プリント動作設定] が [全ジョブ印刷] に設定されているときは 1 回の認証で全てのジョブが出力され、[1 ジョブ印刷] に設定されているときは蓄積された順に 1 ジョブずつ出力されます。

ひとこと

[印刷 & 文書削除] を選択すると、認証 & プリントボックスの文書を削除して印刷します。

ひとこと

本機の管理者設定で [環境設定] – [ボックス設定] – [認証 & プリント印字後削除設定] を「ユーザーに確認」にしている場合に「認証 & プリントボックス」から文書を指定して印刷すると、ジョブの削除を確認する画面が表示されます。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

ひとこと

- ・[認証 & プリント動作設定] は、本機の管理者設定の [ユーザー認証 / 部門管理] – [ユーザー認証設定] – [管理設定] – [認証 & プリント動作設定] で設定できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
- ・複数のジョブがある場合に文書を選択して印刷したい場合は、[基本画面へ] を押し、認証 & プリントボックスから文書を印刷してください。



オプションの認証装置については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

11.7 暗号化ワードをユーザー設定する

本機とプリンタードライバーは、ユーザーパスワード、部門パスワード、機密文書のパスワードを暗号化共通鍵で暗号化して通信します。暗号化共通鍵を生成する暗号化ワードは初期値で設定されていますが、ユーザー定義の暗号化ワードで生成することもできます。暗号化ワードをユーザー定義する場合は、本機とプリンタードライバーの両方で同じ暗号化ワードを設定してください。

ひとこと

- ・本機とプリンタードライバーの暗号化ワードの値が異なる場合は、本機が暗号化されたユーザーパスワード、部門パスワード、機密文書パスワードを復号することができないため、印刷できません。
- ・暗号化共通鍵は、暗号化ワードで自動生成されます。暗号化共通鍵を直接設定することはできません。

11.7.1 本機の設定

本機の設定は、管理者設定で行います。

- 1 管理者設定画面で、[セキュリティー設定] を押します。
- 2 セキュリティー設定画面で、[ドライバーパスワード暗号化設定] を押します。
- 3 [ユーザー定義] を押します。
 - 「暗号化ワード」をユーザー定義に設定しない場合は、「出荷値を使用」を押します。



- 4 暗号化ワードを入力し、[OK] を押します。



ひとこと

- ・暗号化ワードは 20 文字の英数字で入力します。本機とプリンタードライバーの両方で同じ暗号化ワードを設定してください。
- ・同一文字が連続する暗号化ワードは無効です。

5

暗号化ワードを再入力し、[OK] を押します。

暗号化ワードが設定されます。



11.7.2 プリンタードライバーの設定

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の4種類です。

- Windows用PCLコニカミノルタ製プリンタードライバー(PCLドライバー)
- Windows用PostScriptコニカミノルタ製プリンタードライバー(PSドライバー)
- Windows用XPSコニカミノルタ製プリンタードライバー(XPSドライバー)
- Mac OS X用PostScriptPPDプリンタードライバー

■ Windowsの場合

1

プロパティ画面を表示します。

- プロパティ画面は、「プリンタ」ウィンドウまたは「プリンタとFAX」ウィンドウを開き、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックして表示させます。

2

「装置情報」タブをクリックします。

3

- 「暗号化ワード」をチェックし、暗号化ワードを入力します。
- 「暗号化ワード」をユーザー定義に設定しない場合は、「暗号化ワード」のチェックを外します。



ひとこと

- ・暗号化ワードは 20 文字の英数字で入力します。本機とプリンタードライバーの両方で同じ暗号化ワードを設定してください。
- ・同一文字が連続する暗号化ワードは無効です。
- ・OpenAPI で SSL が有効な場合で、プリンタードライバーの装置情報の自動取得が可能であれば、暗号化共通鍵を本機側から取得することもできます。

4

- [OK] をクリックします。

■ Mac OS X の場合

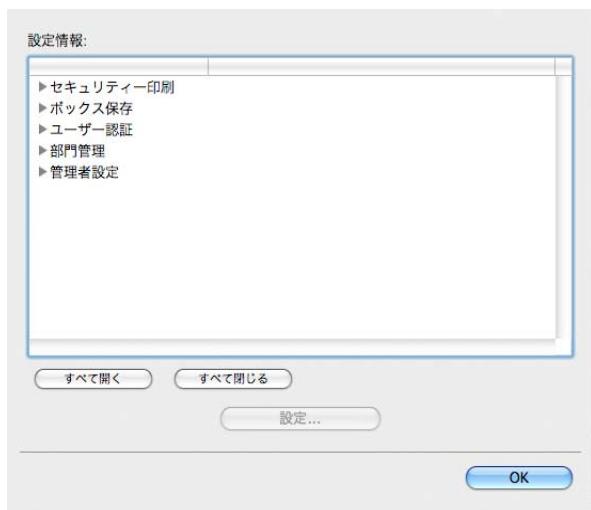
1

- 「出力方法」画面を表示します。

2

- [詳細設定] をクリックします。

「詳細設定」ダイアログが表示されます。



3

- 「管理者設定」を選択し、[設定] をクリックします。
 「管理者設定」ダイアログが表示されます。



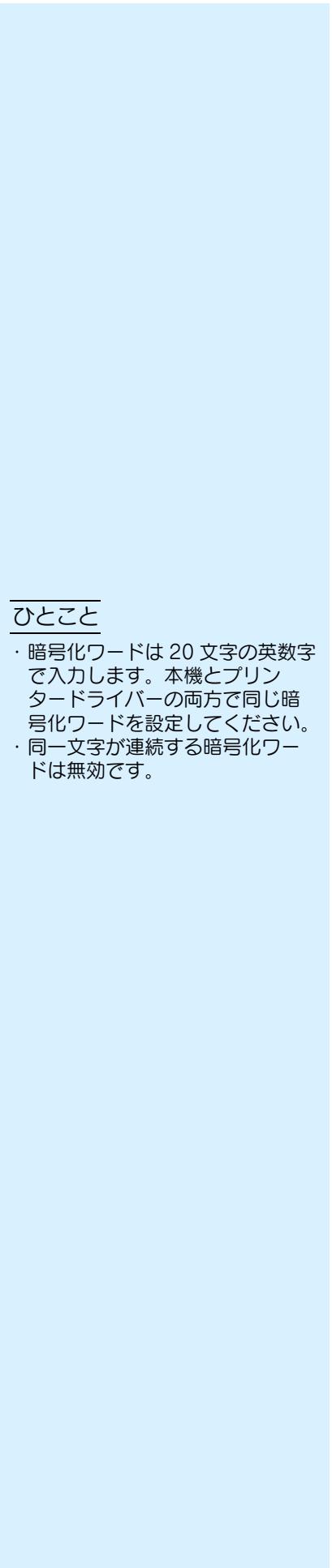
4

- 「暗号化ワード」をチェックし、暗号化ワードを入力します。
 ○ 「暗号化ワード」をユーザー定義に設定しない場合は、「暗号化ワード」のチェックを外します。



5

- [OK] をクリックします。



ひとこと

- ・ 暗号化ワードは 20 文字の英数字で入力します。本機とプリンタードライバーの両方で同じ暗号化ワードを設定してください。
- ・ 同一文字が連続する暗号化ワードは無効です。

11.8 ドライバー設定を保存する

変更したドライバーの設定値を保存し、必要に応じて呼び出せます。

11.8.1 プリンタードライバーの設定

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の3種類です。

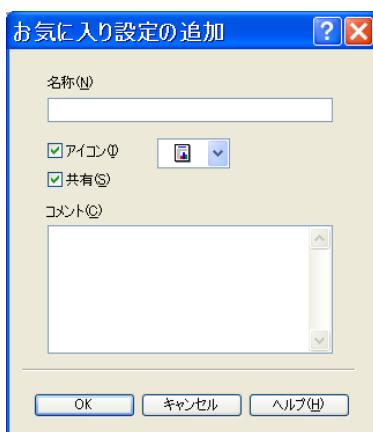
- Windows用PCLコニカミノルタ製プリンタードライバー(PCLドライバー)
- Windows用PostScriptコニカミノルタ製プリンタードライバー(PSドライバー)
- Windows用XPSコニカミノルタ製プリンタードライバー(XPSドライバー)

■ Windowsの場合

- 1 「基本設定」タブや「レイアウト」タブなどでドライバーの設定値を変更します。
- 2 「お気に入り」の「[追加]」をクリックします。



- 3 各項目を設定します。



- 名称： 設定の登録名称を入力します。
- アイコン： アイコンを設定します。アイコンは設定しなくても登録できます。
- 共有： 設定ファイルを公開で登録するか、プライベートにするかを設定します。
- コメント： 必要であれば設定ファイルの詳細説明を入力します。

4

[OK] をクリックします。

設定内容が「お気に入り」リストに登録されます。

11.8.2 設定を呼び出すには

プリンタードライバー画面の「お気に入り」ドロップダウンリストで呼び出す設定を選択します。

設定値が呼び出され、プリンタードライバーの設定が変更されます。

11.8.3 設定を編集する

設定名称やコメント、呼び出す機能項目を選択するなどの編集ができます。

1

プリンタードライバーの画面で「お気に入り」の【編集】をクリックします。

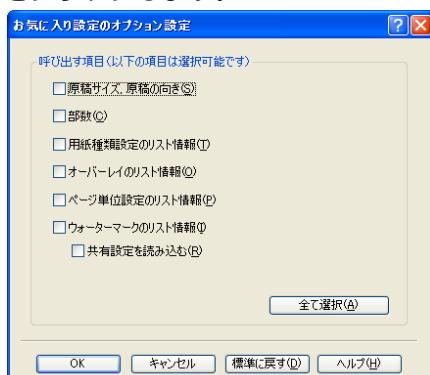
2

リストから、変更したい設定名を選択し、項目を設定します。
削除する場合は、ここで【削除】をクリックします。
表示順を入れ替えたい場合は【▲上へ】【▼下へ】で移動します。



3

【オプション】をクリックし、呼び出す機能をチェックし、
[OK] をクリックします。



4

[OK] をクリックします。

ひとこと

- ・設定は共有設定 30 件、プライベート設定 20 件まで登録できます。
- ・「名称」は 30 文字まで入力できます。コメントは 255 文字まで入力できます。
- ・「共有」は、管理者のみ選択できます。



設定した内容をファイルに保存（エクスポート）することもできます。詳しくは、「[ドライバー設定のインポート／エクスポート](#)」(p. 11-34)をごらんください。

ひとこと

ドライバーの機能の設定内容を変更することはできません。

11.8.4 ドライバー設定のインポート／エクスポート

設定した内容をファイルに保存（エクスポート）したり、読み込み（インポート）することもできます。他のコンピューターでも同じ設定内容を利用したいときなどに便利です。

- 1 プリンタードライバーの画面で「お気に入り」の〔編集〕をクリックします。
- 2 リストから、エクスポートしたい設定名を選択し、〔エクスポート〕をクリックします。
設定ファイルを保存するダイアログボックスが表示されます。
- 3 ファイルを保存する場所を指定してファイル名を入力します。
- 4 [保存] をクリックします。
設定ファイルが作成されます。拡張子は「.ksf」になります。

ひとこと

保存した設定ファイルをお気に入り一覧に読み込む場合は、〔インポート〕をクリックしてファイルを指定します。

11.9 bizmic PS Lite によるプリントデータスプール機能

■ 原則

bizmic PS Lite によるプリントデータスプール機能を使用するためには、別途 bizmic PS Lite をご購入いただき、あらかじめサーバーとクライアントの環境を構築する必要があります。詳しくは、bizmic PS Lite のマニュアルをごらんください。

bizmic PS Lite によるプリントデータスプール機能は、サーバーに印刷データを蓄積（スプール）し、任意の複合機でサーバーから印刷データをダウンロードして印刷する機能です。

ここでは、プリントデータスプール機能の操作方法を説明します。

11.9.1 印刷データをスプールする

■ プリンタードライバーの設定

印刷データを送信する前に、プリンタードライバーで以下の設定を行います。プリンタードライバーの設定について詳しくは、bizmic PS Lite のマニュアルをごらんください。

- プロパティ画面の「装置情報」タブで、印刷する複合機の装置情報を取得する。
- 印刷設定画面の「基本設定」タブで、ユーザー認証と部門管理を設定する。

■ 印刷データを送信する

サーバーに印刷データをスプールするには、印刷先のプリンターとして仮想プリンターを指定します。

- 1 アプリケーションソフトウェアでデータを開き、メニューなどから印刷機能を選択します。
- 2 印刷先のプリンターとして仮想プリンターを指定します。
- 3 印刷を実行します。
印刷データがサーバーに送信され、スプールされます。



スプールしたデータを複合機から印刷するには、印刷する複合機に対応したプリンタードライバーを使用して、データをスプールする必要があります。印刷する複合機に応じて、対応するプリンタードライバーのポートの設定を変更してください。詳しくは bizmic PS Lite のマニュアルをごらんください。



仮想プリンターについて詳しくは、bizmic PS Lite のマニュアルをごらんください。

11.9.2 複合機から印刷する

サーバーに登録されている複合機から、スプールしたデータを印刷します。

印刷方法には、認証と同時に印刷する方法と、ログイン後にサーバー内の印刷データを指定して印刷する方法があります。

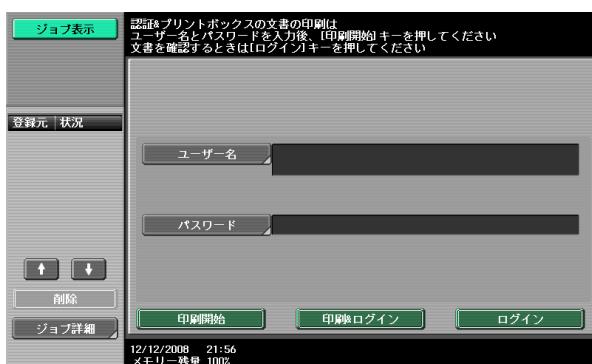
オプションの生体認証装置、IC 認証装置によるユーザー認証を行っている場合は、認証装置に指または IC カードでタッチするだけで印刷できます。

■ 認証と同時に印刷する

サーバーに複合機を登録すると、複合機のログイン画面に [印刷開始]、[印刷＆ログイン] ボタンが表示されます。

1

本体操作パネルでユーザー名とパスワードを入力します。



2

[印刷開始] を押します。

- [印刷＆ログイン] を押すと、ジョブの出力と通常のログインができます。

スプールされているデータがすべて印刷されます。

ひとこと

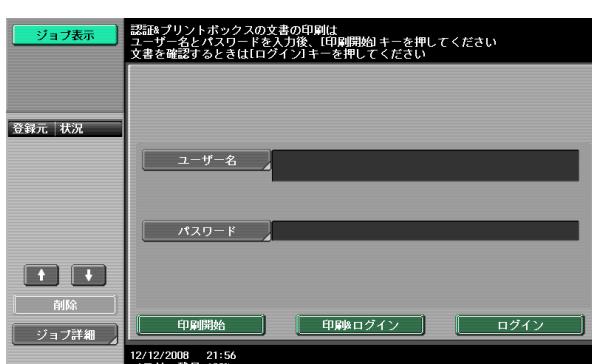
認証方式によって、ログイン画面の表示は異なります。

■ 印刷データを指定して印刷する

装置にログインしてから、印刷するデータを選択します。

1

本体操作パネルでユーザー名とパスワードを入力します。



2

[ログイン] を押します。

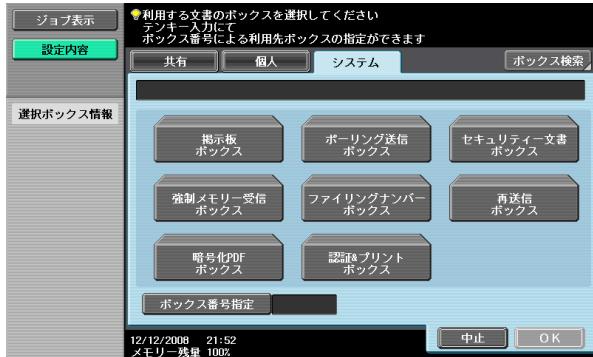
複合機にログインします。

3

本体操作パネルの【ボックス】を押し、[文書利用] を押します。

4

[システム] の [認証＆プリントボックス] を選択し、[OK] を押します。



ひとこと

アプリケーションメニューが表示される場合は、[ボックス] を押してください。

5

[サーバー] を押します。

- [URL 直接入力] を押すと、サーバーの URL、ユーザー名、パスワードを直接指定してアクセスします。

サーバーにスプールされているデータの一覧が表示されます。

6

印刷したいデータを選択し、[印刷] を押します。

ひとこと

[印刷] を押すと、選択した文書をそのまま印刷するか、印刷後に削除するかを選択する画面が表示されます。[印刷＆文書削除] を選択すると、サーバーの文書を削除して印刷します。

第12章

操作パネルでの各種設定

操作パネルで設定できるプリンター関連の機能を説明します。

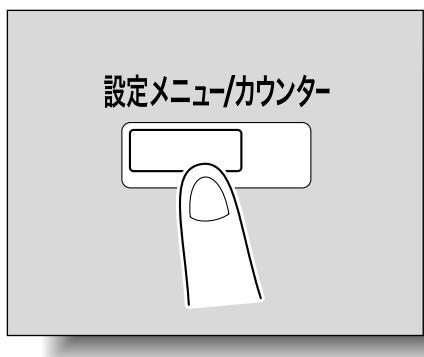
12.1	ユーザー設定の基本操作	12-2
12.2	ユーザー設定	12-3
12.3	管理者設定の基本操作	12-27
12.4	管理者設定	12-28

12.1 ユーザー設定の基本操作

12.1.1 ユーザー設定画面を表示させるには

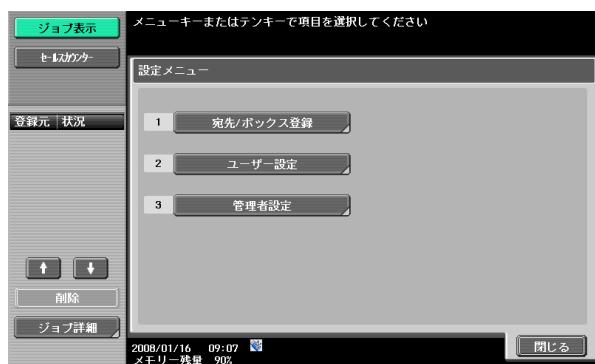
1

【設定メニュー／カウンター】を押します。



2

[2 ユーザー設定] を押します。



ユーザー設定画面が表示されます。



- キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。
[2 ユーザー設定] の場合は、テンキーの【2】と入力します。
- 設定メニューの設定を終了するときは、【設定メニュー／カウンター】を押します。コピー、ファクス / スキャン、ボックスのいずれかの画面になるまで [閉じる] を押しても終了できます。
- 設定メニューの階層を戻るときは、目的の画面になるまで [閉じる] を押します。サブエリアのメニュー項目を押しても戻ります。

12.2 ユーザー設定

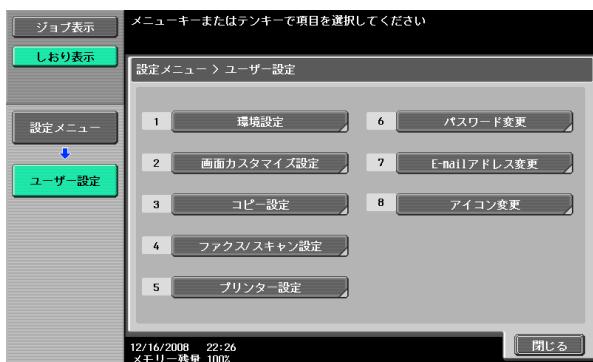
12.2.1 PDL 設定

Page Description Language の設定ができます。(初期値:自動)

- 自動: PCL と PS を自動で切換えます。
- PCL: PCL を固定で使用します。
- PS: PS を固定で使用します。

1

ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。

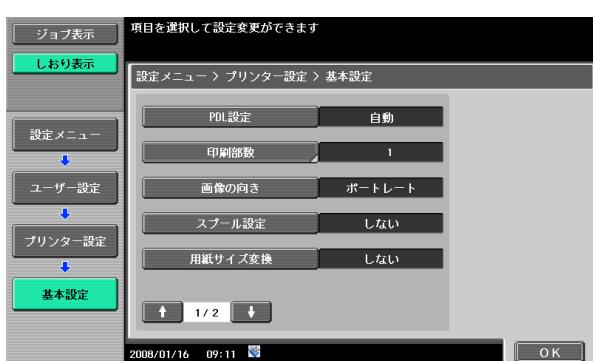
2

[1 基本設定] を押します。



3

[PDL 設定] を押します。



4

希望するキーを押します。



12.2.2 印刷部数

印刷部数の初期値を設定できます。(初期値 : 1 部)

1

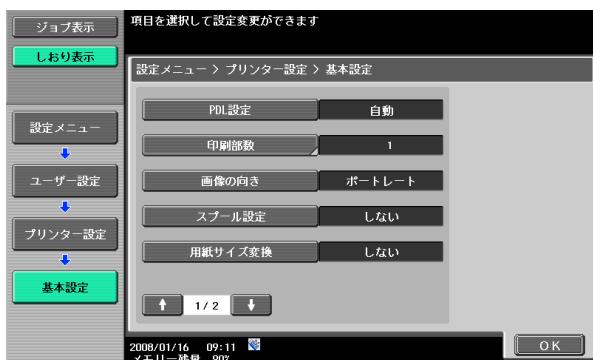
ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。

2

[1 基本設定] を押します。

3

[印刷部数] を押します。



4

[C] を押し数値をクリアしてから、テンキーで部数を入力します。(1 部～ 999 部)



5

[OK] を押します。

印刷部数が設定されます。



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「ユーザー設定画面を表示させるには」(p. 12-2) をごらんください。

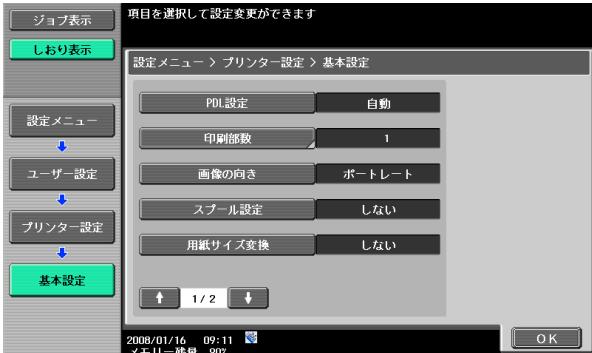
ひとこと

設定範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力し直してください。

12.2.3 画像の向き

画像の向きの初期値が設定できます。(初期値:ポートレート)

- ポートレート:用紙を縦置きにして印刷する画像
- ランドスケープ:用紙を横置きにして印刷する画像

- 1 ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。
 - 2 [1 基本設定] を押します。
 - 3 [画像の向き] を押します。
 - 4 希望するキーを押します。
- 



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。

12.2.4 スプール設定

スプールの設定ができます。(初期値:する)

- する:ジョブの処理中に次のジョブを受信した場合、HDD (オプション) にジョブを格納します。
- しない:HDD (オプション) に印刷データを格納しません。

- 1 ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。
- 2 [1 基本設定] を押します。



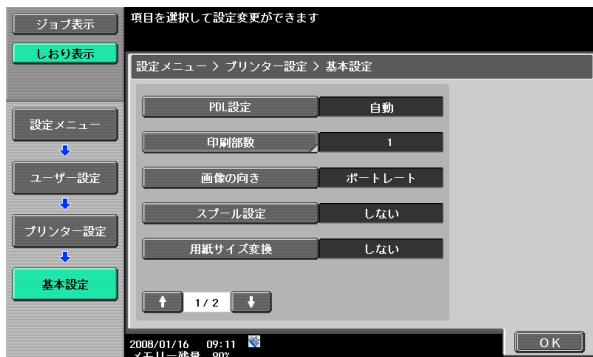
HDD (オプション) 装着時、通常は“しない”的設定変更はしないでください。印刷が正常にできない場合があります。



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。

3

[スプール設定] を押します。



4

希望するキーを押します。



12.2.5 用紙サイズ変換

プリンタードライバーで指定されている用紙がトレイにセットされていない場合に、A4 ⇄ Letter、A3 ⇄ 11 x 17 の用紙変換をし、近いサイズの用紙で印刷します。(初期値：しない)

1

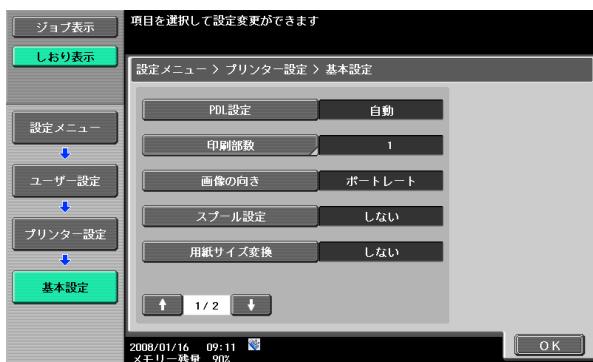
ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。

2

[1 基本設定] を押します。

3

[用紙サイズ変換] を押します。



ひとこと

強制的に印刷をするため、画像が欠損する場合があります。



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。

4

希望するキーを押します。



12.2.6 バナーシート設定

印刷ジョブの送信者や表題などの入ったバナーページ（表紙）を印刷するかどうかを設定できます。（初期値：しない）

- する：バナーページを印刷します。
- しない：バナーページを印刷しません。

1

ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。

2

[1 基本設定] を押します。

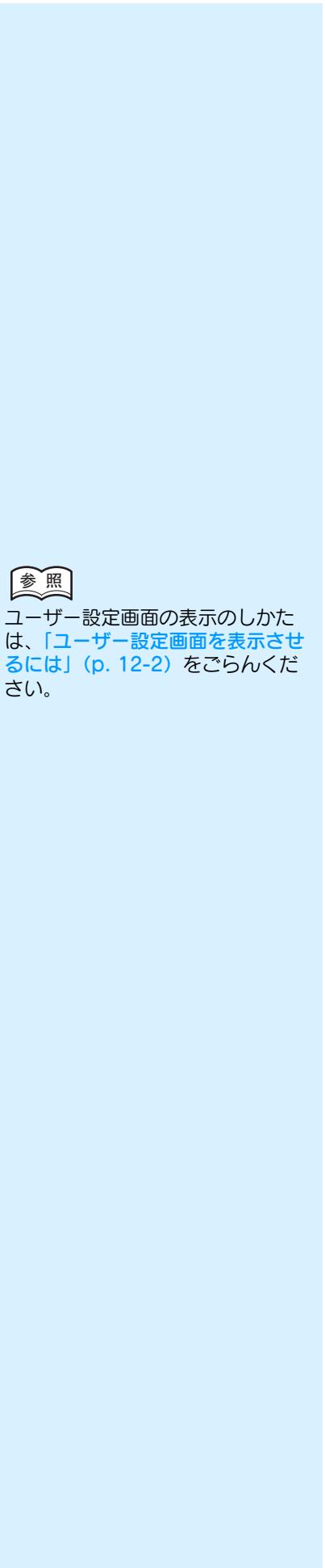
3

[↑] または [↓] を押してページを切換え、[バナーシート設定] を押します。



4

希望するキーを押します。



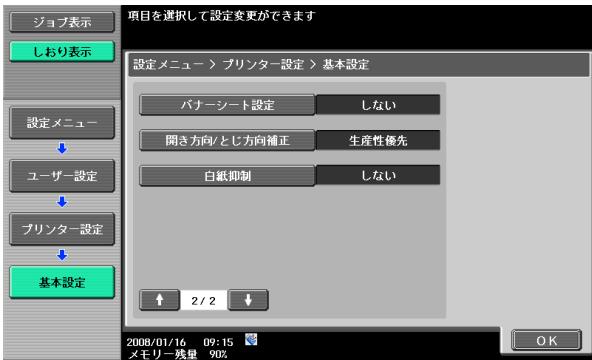
ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。

12.2.7 開き方向 / とじ方向補正

両面印刷する場合の辺あわせ（とじ位置補正）処理を設定します。（初期値：生産性優先）

印刷効率を上げたい場合は生産性優先にしてください。

- 生産性優先：データを受信／印刷しながら処理するため、印刷処理を効率的に行えます。
- 補正を抑制：辺あわせ処理を行わず、プリンタードライバーからの指定にしたがいます。

- 1** ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。
 - 2** [1 基本設定] を押します。
 - 3** [↑] または [↓] を押してページを切換え、[開き方向 / とじ方向補正] を押します。
- 



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。

- 4** 希望するキーを押します。
- 

12.2.8 白紙抑制

データに白ページがある場合、白ページを印刷するかどうかを設定できます。(初期値：しない)

- する：白ページを印刷しません。
- しない：白ページを印刷します。

1 ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。

2 [1 基本設定] を押します。

3 [↑] または [↓] を押してページを切換え、[白紙抑制] を押します。



4 希望するキーを押します。



12.2.9 給紙トレイ

給紙トレイの初期値を設定できます。(初期値：自動)

1

ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。

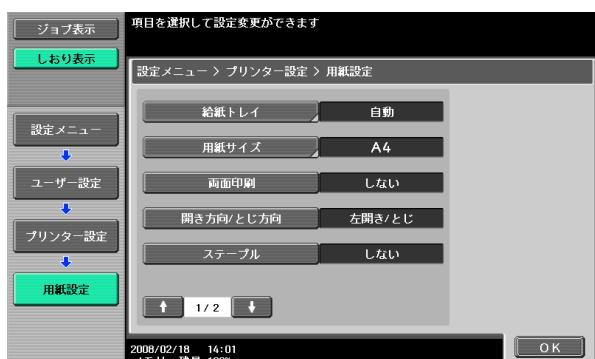
2

[2 用紙設定] を押します。



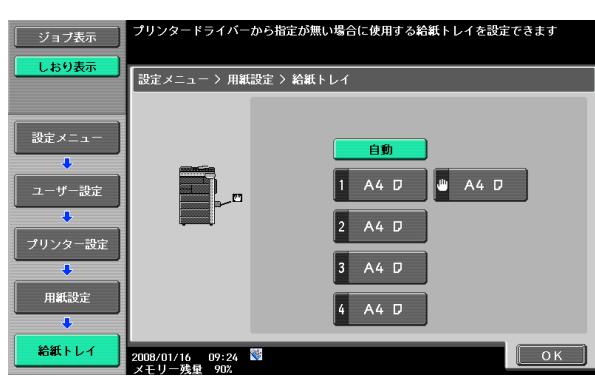
3

[給紙トレイ] を押します。



4

希望するトレイのキーを押します。



5

[OK] を押します。



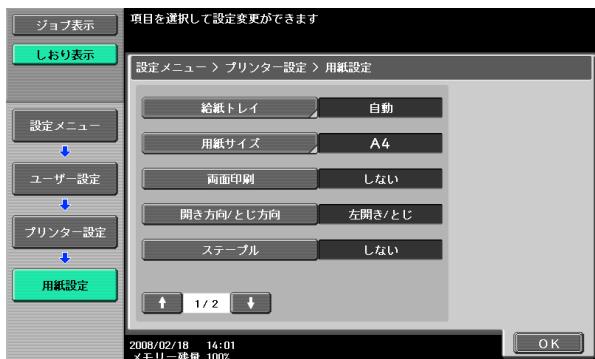
ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。

ひとこと

給紙トレイを自動で選択させる場合は [自動] を押します。

12.2.10 用紙サイズ

用紙サイズの初期値を設定できます。(初期値 : A4)

- 1** ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。
 - 2** [2 用紙設定] を押します。
 - 3** [用紙サイズ] を押します。
- 
-
- 4** 希望するキーを押します。
- 
-
- 5** [OK] を押します。

12.2.11 両面印刷

両面印刷の初期値が設定できます。(初期値 : しない)

- 1** ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。
- 2** [2 用紙設定] を押します。



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。

ひとこと

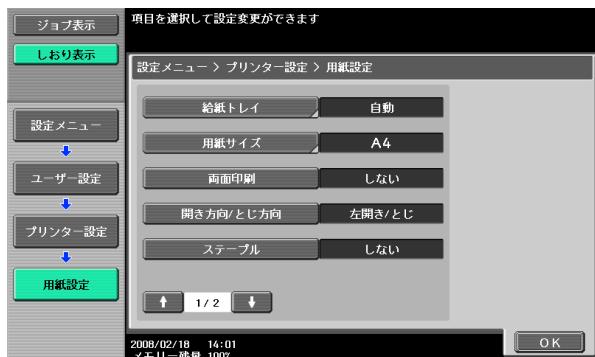
他の用紙を選択するときは、[↑] または [↓] を押してページを切換えます。



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。

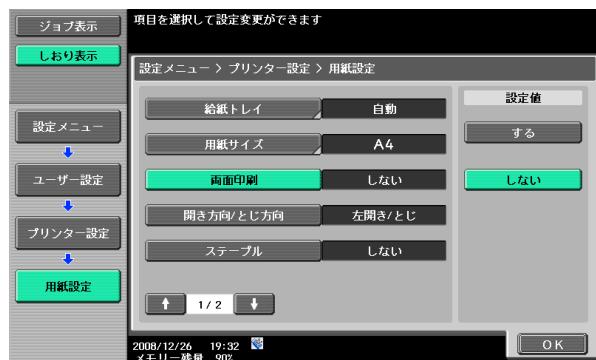
3

[両面印刷] を押します。



4

希望するキーを押します。



12.2.12 開き方向 / とじ方向

両面印刷時のとじ方向の初期値を設定できます。(初期値 : 左開き / とじ)

1

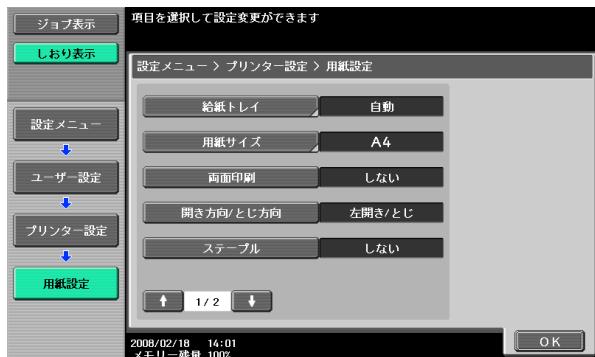
ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。

2

[2 用紙設定] を押します。

3

[開き方向 / とじ方向] を押します。



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。

4

希望するキーを押します。



12.2.13 ステープル

印刷データにステープルの設定情報がない場合のステープルの設定ができます。(初期値: しない)

1

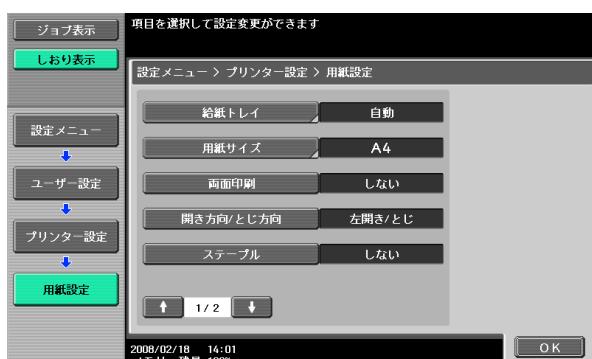
ユーザー設定画面で、[5 プリンターセット] を押します。

2

[2 用紙設定] を押します。

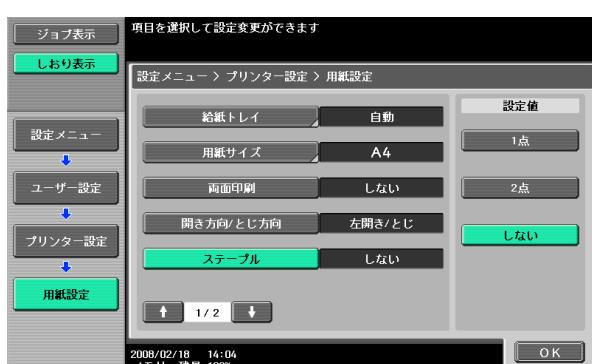
3

[ステープル] を押します。



4

希望するキーを押します。



ひとこと

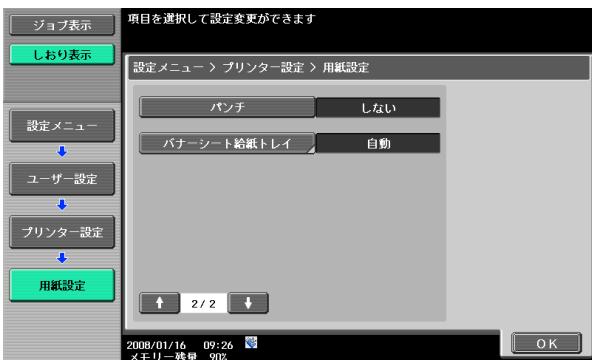
ステープル機能は、オプションのフィニッシャーが装着されている場合のみ使用可能となります。



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。

12.2.14 パンチ

印刷データにパンチの設定情報がない場合のパンチの設定ができます。
(初期値：しない)

- 1** ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。
 - 2** [2 用紙設定] を押します。
 - 3** [↑] または [↓] を押してページを切換え、[パンチ] を押します。
- 
- The screenshot shows the User Setting menu. The 'Paper Setting' page is selected. In the center, there is a configuration table with two rows. The first row has 'Punch' (パンチ) and 'none' (しない). The second row has 'Banner Sheet Paper Tray' (バナーシート給紙トレイ) and 'Automatic' (自動). On the right side of the screen, there is a 'Setting Value' column with '2 holes' (2穴) and 'none' (しない). At the bottom right is an 'OK' button.

- 4** 希望するキーを押します。



12.2.15 バナーシート給紙トレイ

バナーページの印刷で使用する給紙トレイを設定できます。(初期値：自動)

- 1** ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。
- 2** [2 用紙設定] を押します。

ひとこと

パンチ機能は、オプションのフィニッシャーにパンチキットが装着されている場合のみ使用可能となります。



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。

3

[↑] または [↓] を押してページを切換え、[バナーシート給紙トレイ] を押します。



4

希望するキーを押します。



12.2.16 フォント設定

フォントの初期値を設定できます。(初期値 : Courier)

1

ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。

2

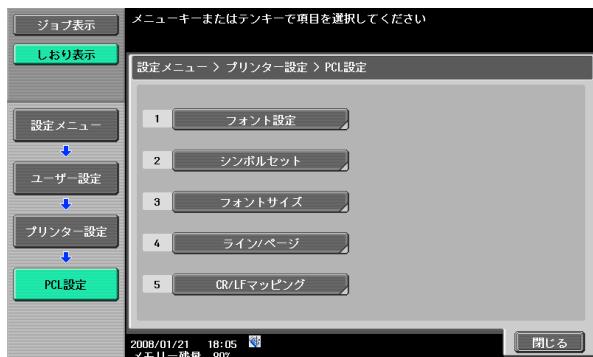
[3 PCL 設定] を押します。



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。

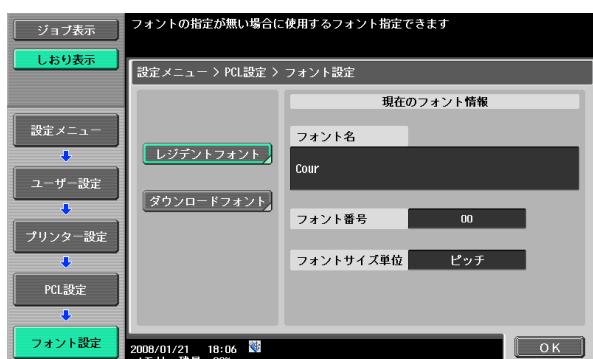
3

[1 フォント設定] を押します。



4

[レジデントフォント] を押します。



5

希望するキーを押します。



6

[OK] を押します。

12.2.17 シンボルセット

フォントシンボルセットの初期値を設定できます。(初期値: PC-8、Code Page 437)

1

ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。

2

[3 PCL 設定] を押します。

ひとこと

ダウンロードフォントがある場合は、[ダウンロードフォント] も選択できます。

ひとこと

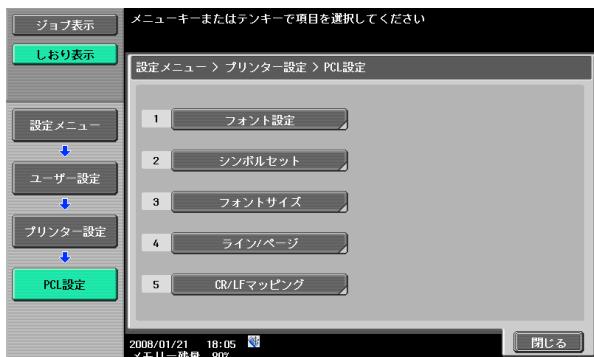
- ・[↑] または [↓] を押してページを切換え、希望するキーを押します。
- ・選択したフォントのフォント番号とフォントサイズ単位を確認できます。



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2)をごらんください。

3

[2 シンボルセット] を押します。



4

希望するキーを押します。



5

[OK] を押します。

12.2.18 フォントサイズ

フォントサイズの初期値を設定します。(初期値：プロポーショナルフォント - 12.00 ポイント／固定幅フォント - 10.00 ピッチ)

- プロポーショナルフォント：フォントサイズ（単位：ポイント）を設定します。
- 固定幅フォント：固定幅フォントの幅をピッチで設定します。

1

ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。

2

[3 PCL 設定] を押します。

ひとこと

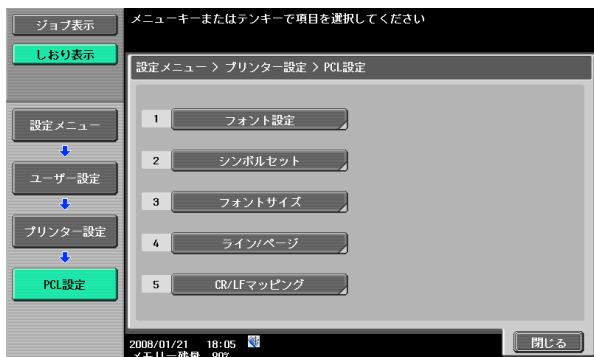
[↑] または [↓] を押してページを切換え、希望するキーを選択します。



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。

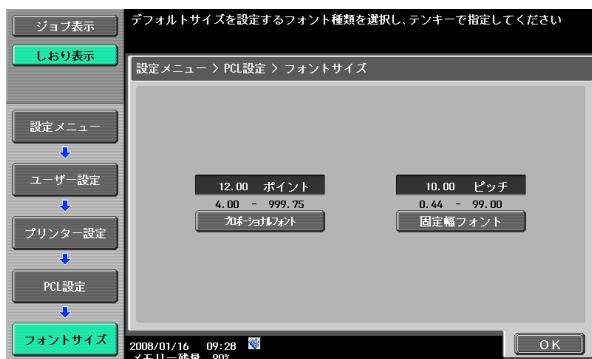
3

[3 フォントサイズ] を押します。



4

[C] を押し数値をクリアしてから、テンキーでサイズを入力します。(プロポーショナルフォント：4.00 ポイント～999.75 ポイント、固定幅フォント：0.44 ピッチ～99.00 ピッチ)



5

[OK] を押します。

フォントサイズが設定されます。

12.2.19 ライン / ページ

テキスト印字時の 1 ページのライン数を設定できます。(初期値 : 64 ライン)

1

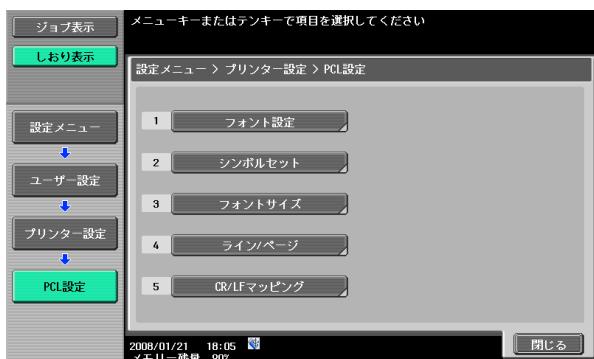
ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。

2

[3 PCL 設定] を押します。

3

[4 ライン / ページ] を押します。



ひとこと

設定範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力し直してください。



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。

4

【C】を押し数値をクリアしてから、テンキーでライン数を入力します。(5 ライン～128 ライン)



ひとこと

設定範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力し直してください。

5

[OK] を押します。
ライン数が設定されます。

12.2.20 CR/LF マッピング

テキストデータを印刷する場合の CR と LF の置換方法を設定できます。(初期値：しない)

- [モード 1] : CR を CR-LF に置換えます。
- [モード 2] : LF を CR-LF に置換えます。
- [モード 3] : CR/LF を CR-LF に置換えます。
- [しない] : 置換えは行いません。

1

ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。

2

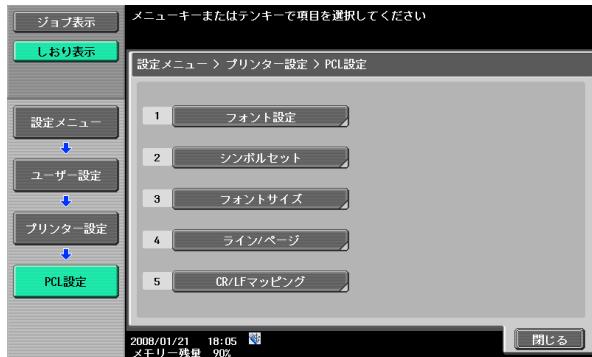
[3 PCL 設定] を押します。

3

[5 CR/LF マッピング] を押します。



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。



4

[する]、[しない] を選択し、[する] の場合はさらに希望するキーを押します。



5

[OK] を押します。

12.2.21 PS エラー印刷

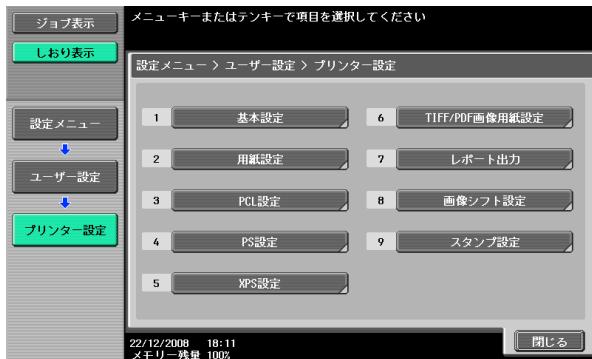
PS のラスタライズ中にエラーが発生した場合、エラー情報を印字するかしないかの設定ができます。(初期値：しない)

1

ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。

2

[4 PS 設定] を押します。



3

[PS エラー印刷] を押します。



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。

4

希望するキーを押します。



12.2.22 XPS デジタル署名検証

XPS 印刷でデジタル署名の検証を行うかどうかを設定できます。検証を「する」にした場合、署名が無効な場合に印刷されません。(初期値：しない)

1

ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。

2

[5 XPS 設定] を押します。



3

[XPS デジタル署名検証] を押します。



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。

ひとこと

- ・署名検証でエラーになった場合で、「XPS エラー印刷」で情報を印刷する設定になっている場合は、エラー情報が印刷されます。詳しくは、「[XPS エラー印刷](#)」(p. 12-37) をごらんください。
- ・[XPS 設定] は、HDD 装着時に表示されます。

4

希望するキーを押します。



12.2.23 TIFF/PDF 画像用紙設定

TIFF/PDF 画像用紙設定として、[自動] または [優先用紙サイズ] を設定します。

1

ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。

2

[6 TIFF/PDF 画像用紙設定] を押します。



3

[用紙選択] を押し、希望するキーを押します。



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。

12.2.24 レポート出力

レポートの出力を行います。以下の4種類のレポートを出力することができます。ここではレポートの出力方法をPCLフォントリストで説明をします。

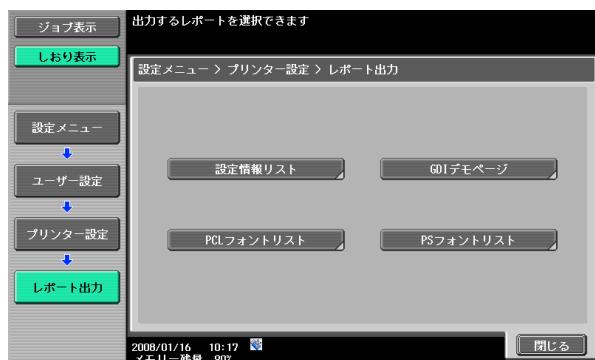
- 設定情報リスト：本機の設定内容の一覧が出力されます。
- GDI デモページ：テストページが出力されます。
- PCL フォントリスト：PCL フォントリストを出力します。
- PS フォントリスト：PS フォントリストを出力します。

1 ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。

2 [7 レポート出力] を押します。



3 希望するキーを押します。



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。

4

希望するトレイのキーと片面／両面のキーを押します。



[実行] または [スタート] を押し、レポートを出力します。

12.2.25 画像シフト設定

印刷イメージのシフト幅を設定します。

1

ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。

2

[8 画像シフト設定] を押します。



3

[左右シフト]、[上下シフト]、[ページ間隔] のシフト幅を設定します。



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。

ひとこと

[裏面編集] を押すと、裏面のシフト幅を設定できます。

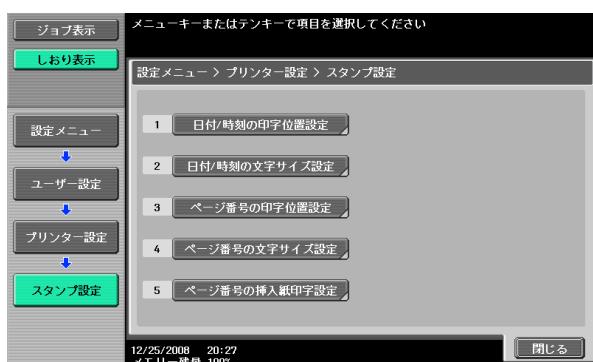
12.2.26 スタンプ設定

スタンプについて設定します。

- 1** ユーザー設定画面で、[5 プリンター設定] を押します。
- 2** [9 スタンプ設定] を押します。



- 3** 希望するキーを押して、日付 / 時刻またはページ番号の設定をします。



■ 日付 / 時刻の印字位置設定

日付 / 時刻の印字位置を設定します。



ユーザー設定画面の表示のしかたは、「[ユーザー設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-2) をごらんください。

■ 日付 / 時刻の文字サイズ設定

日付 / 時刻の文字サイズを設定します。



■ ページ番号の印字位置設定

ページ番号の印字位置を設定します。



■ ページ番号の文字サイズ設定

ページ番号の文字サイズを設定します。



■ ページ番号の挿入紙印字設定

「コピー挿入紙」および「白紙挿入紙」に対する印字指定を設定します。

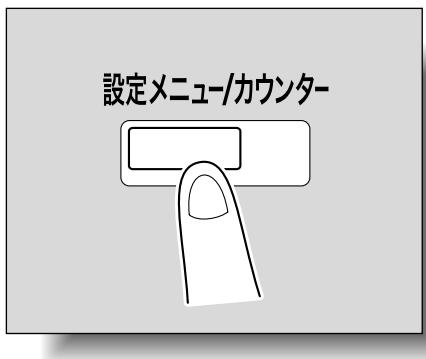


12.3 管理者設定の基本操作

12.3.1 管理者設定画面を表示させるには

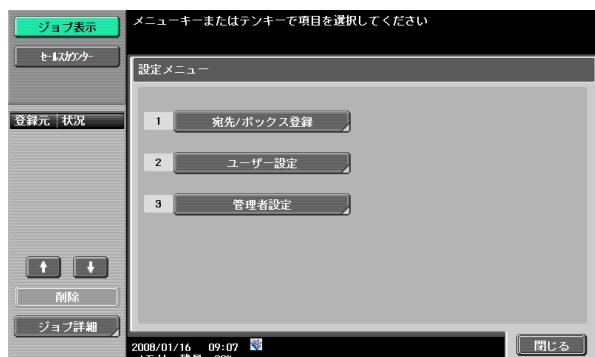
1

【設定メニュー / カウンター】を押します。



2

[3 管理者設定] を押します。



3

パスワードを入力し、[OK] を押します。



管理者設定画面が表示されます。



- 詳しく説明します
- ・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。[3 管理者設定] の場合は、テンキーの【3】を入力します。
 - ・パスワードの設定や変更については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
- 詳しく説明します
- ・設定メニューの設定を終了するときは、【設定メニュー / カウンター】を押します。コピー、ファックス / スキャン、ボックスのいずれかの画面になるまで [閉じる] を押しても終了できます。
 - ・設定メニューの階層を戻るときは、目的の画面になるまで [閉じる] を押します。サブエリアのメニュー項目を押しても戻ります。

12.4 管理者設定

12.4.1 受信印刷出力設定

データを受信したときに、受信完了後、一括で印刷するか、受信と同時に印刷するかの印刷のタイミングを設定できます。

プリンターの場合とファクスの場合と分けて設定できます。(初期値: プリンター/同時印刷)

- 1 管理者設定画面で、[1 環境設定] を押します。
- 2 環境設定画面で、[2 出力設定] を押します。
- 3 出力設定画面で、[1 受信印刷出力設定] を押します。
受信印刷出力設定画面が表示されます。



- 4 [プリンター] を押します。
設定値選択キーが表示されます。



- 5 希望する設定値選択キーを押します。
印刷のタイミングが設定されます。



管理者設定画面の表示のしかたは、「[管理者設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-27)をごらんください。

ひとこと

- ・ユーザー開放レベルがレベル 2 の場合、ユーザー設定でも設定できます。[ユーザー設定] - [環境設定] - [出力設定] - [受信印刷出力設定] を押して受信印刷出力設定画面を表示させます。
- ・ユーザー開放レベルについては、「[ユーザーズガイド コピー機能編](#)」をごらんください。

ひとこと

一括印刷を選択した場合は、全てのデータを受け取ってから一括して印刷が開始されます。同時印刷を選択した場合は、1 ページ目のデータを受け取ったときにジョブとして登録され印刷が開始されます。

12.4.2 排紙トレイ設定

排紙トレイの初期値を設定できます。(初期値: プリンター/トレイ 1)

- 1** 管理者設定画面で、[1 環境設定] を押します。
- 2** 環境設定画面で、[2 出力設定] を押します。
- 3** 出力設定画面で、[2 排紙トレイ設定] を押します。
排紙トレイ設定画面が表示されます。

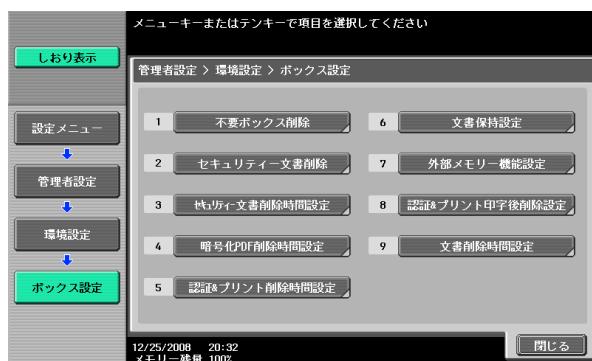


- 4** 希望する設定値選択キーを押します。
排紙トレイが設定されます。

12.4.3 セキュリティー文書削除

保存されているすべてのセキュリティー文書を削除します。

- 1** 管理者設定画面で、[1 環境設定] を押します。
- 2** 環境設定画面で、[0 ボックス設定] を押します。
- 3** ボックス設定画面で、[2 セキュリティー文書削除] を押します。



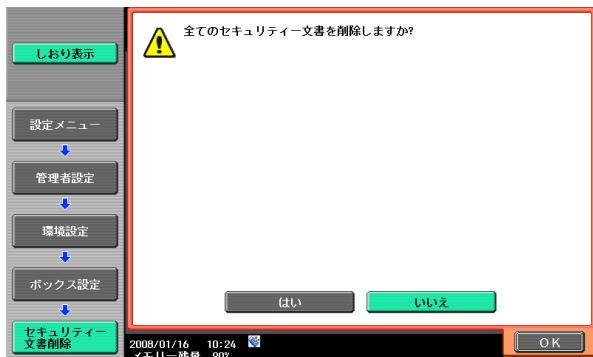
管理者設定画面の表示のしかたは、「[管理者設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-27)をごらんください。

ひとこと

オプションのハードディスクを装着すると、ボックス（共有 / 個人）を使用することができます。本機のボックス機能については、「[ユーザーズガイド（ボックス機能編）](#)」をごらんください。

4

セキュリティ文書を削除する場合は、[はい] を押します。



5

[OK] を押します。

12.4.4 セキュリティ文書削除時間設定

保存してからセキュリティ文書を削除するまでの期間を設定します。

1

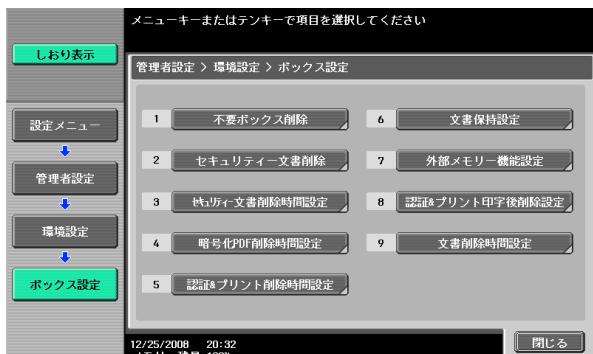
管理者設定画面で、[1 環境設定] を押します。

2

環境設定画面で、[0 ボックス設定] を押します。

3

ボックス設定画面で、[3 セキュリティ文書削除時間設定] を押します。



4

希望するキーを押します。

- 任意の時間を設定する場合は、[時間] を押してからテンキーで時間を入力します。



5

[OK] を押します。

12.4.5 認証＆プリント削除時間設定

保存してから認証＆プリント文書を削除するまでの期間を設定します。
(初期値：1 日)

1

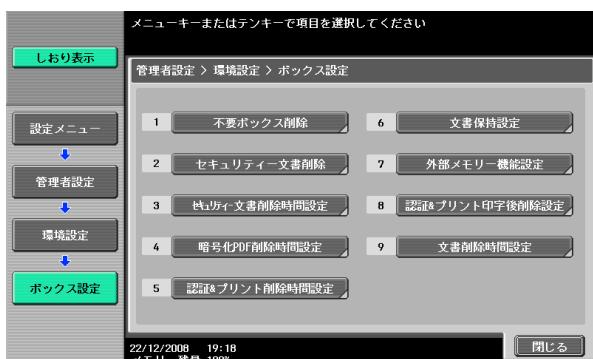
管理者設定画面で、[1 環境設定] を押します。

2

環境設定画面で、[0 ボックス設定] を押します。

3

ボックス設定画面で、[5 認証 & プリント削除時間設定] を押します。



4

希望するキーを押します。



5

[OK] を押します。

12.4.6 認証＆プリント印字後削除設定

認証＆プリント文書を印刷したあとに削除するかどうかを設定できます。
(初期値：ユーザーに確認)

- ユーザーに確認：認証＆プリントボックスからの印刷時に削除するかどうかを選択する画面を表示し、ユーザーに選択させるようにします。ユーザーによって文書を残しておきたい場合はこちらを設定します。
- 常に削除：印刷後は削除します。ユーザーに確認しません。

参考

- ・「認証＆プリント削除時間設定」は、本機でユーザー認証を行っている場合に表示します。
- ・管理者設定画面の表示のしかたは、「[管理者設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-27) をご覧ください。

ひとこと

任意の時間を設定する場合は、[時間] を押してからテンキーで時間を入力します。

- 1** 管理者設定画面で、[1 環境設定] を押します。
- 2** 環境設定画面で、[0 ボックス設定] を押します。
- 3** ボックス設定画面で、[8 認証 & プリント印字後削除設定] を押します。



- 4** 希望するキーを押します。



- 5** [OK] を押します。

12.4.7 認証&プリント設定

ユーザー認証／部門管理を行っている本機で、認証&プリント機能を使用するかどうかを設定できます。

(初期値：使用しない)

- 認証&プリント「使用する」：登録ユーザーからの通常印刷および認証&プリントの全ジョブを認証&プリントボックスに保存します。
- 認証&プリント「使用しない」：登録ユーザーからの認証&プリントジョブは認証&プリントボックスに保存します。通常印刷ジョブはそのまま出力します。
- 認証なし / パブリックユーザージョブ「即時印刷」：パブリックユーザーまたはユーザー認証情報のないジョブをそのまま出力します。
- 認証なし / パブリックユーザージョブ「蓄積」：パブリックユーザーまたはユーザー認証情報のないジョブを認証&プリントボックスに保存します。

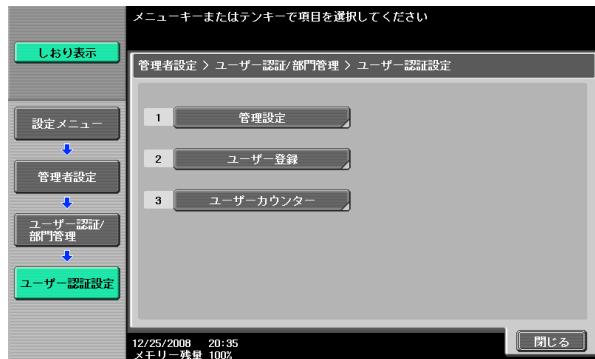


管理者設定画面の表示のしかたは、「[管理者設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-27)をごらんください。

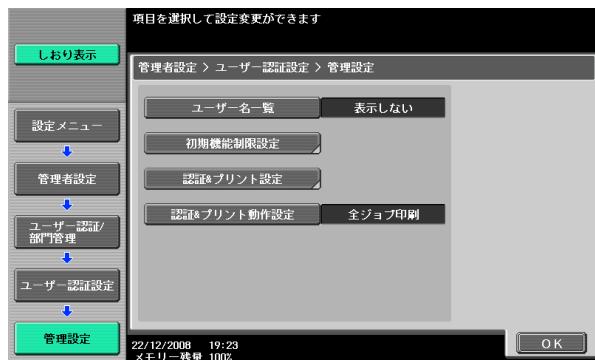
ひとこと

- ・パブリックユーザージョブは、パブリックユーザーの印刷が許可されているときに印刷または蓄積されます。
- ・認証なしジョブは、「認証指定なし印刷」が許可されているときに印刷または蓄積されます。

- 1** 管理者設定画面で、[4 ユーザー認証 / 部門管理] を押します。
- 2** ユーザー認証 / 部門管理画面で、[2 ユーザー認証設定] を押します。
- 3** ユーザー認証設定画面で、[1 管理設定] を押します。



- 4** 管理設定画面で、[認証 & プリント設定] を押します。



- 5** 「認証&プリント」と「認証なし / パブリックユーザージョブ」を設定します。



- 6** [OK] を押します。



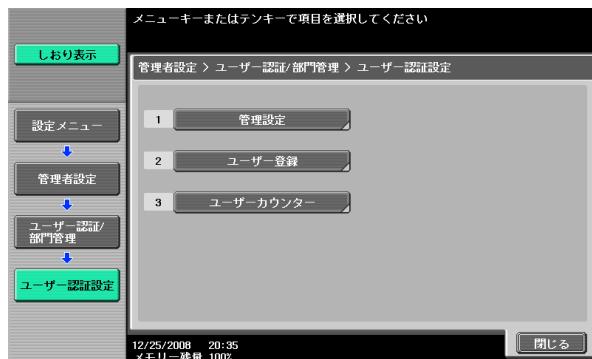
管理者設定画面の表示のしかたは、「[管理者設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-27) をごらんください。

12.4.8 認証＆プリント動作設定

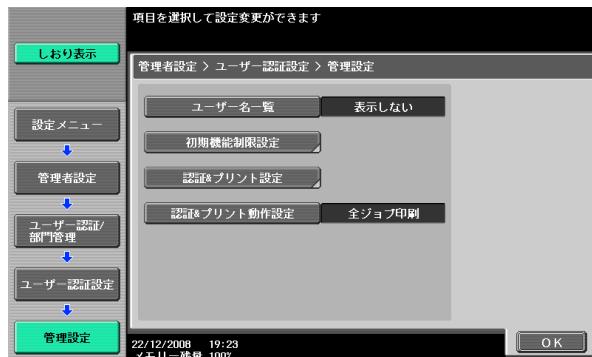
オプションの認証装置で認証＆プリント機能を利用するときの印刷方法を設定します。(初期値：全ジョブ印刷)

- 全ジョブ印刷：認証＆プリントボックスに複数の文書が保存されている場合に、1回の認証で認証されたすべての文書が印刷されます。
- 1ジョブ印刷：認証＆プリントボックスに保存されている文書が、1回の認証で1文書ずつ印刷されます。

- 1 管理者設定画面で、[4 ユーザー認証 / 部門管理] を押します。
- 2 ユーザー認証 / 部門管理画面で、[2 ユーザー認証設定] を押します。
- 3 ユーザー認証設定画面で、[1 管理設定] を押します。



- 4 管理設定画面で、[認証＆プリント動作設定] を押します。



- 5 希望するキーを押します。

ひとこと

「認証＆プリント動作設定」は、オプションの認証装置が装着されている場合のみ表示されます。



管理者設定画面の表示のしかたは、「[管理者設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-27) をごらんください。



12.4.9 認証指定なし印刷

ユーザー認証／部門管理を行っている本機で、ID やパスワードのない印刷ジョブの印刷を許可するかどうかを設定できます。（初期値：禁止）

- 許可：ユーザー認証の ID ／パスワード、部門管理の部門名／パスワードが設定されていないジョブの印刷を許可します。印刷は Public ジョブとしてカウントされます。
- 禁止：ユーザー認証の ID ／パスワード、部門管理の部門名／パスワードが設定されていないジョブの印刷を禁止します。



認証指定なし印刷を許可にした場合、ユーザー認証／部門管理を行っている本機に対し、プリンタードライバーでユーザー認証や部門管理を設定しなくても印刷できてしまいます。カウンター管理上またはセキュリティー上不都合がある場合は禁止で使用してください。

ひとこと

設定の許可／禁止に関わらず、間違った ID ／パスワード、部門名／パスワードが設定されたジョブについては印刷せずに破棄します。



管理者設定画面の表示のしかたは、「[管理者設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-27) をごらんください。

- 1 管理者設定画面で、[4 ユーザー認証 / 部門管理] を押します。
- 2 ユーザー認証 / 部門管理画面で、[4 認証指定なし印刷] を押します。
- 3 希望する設定値選択キーを押します。

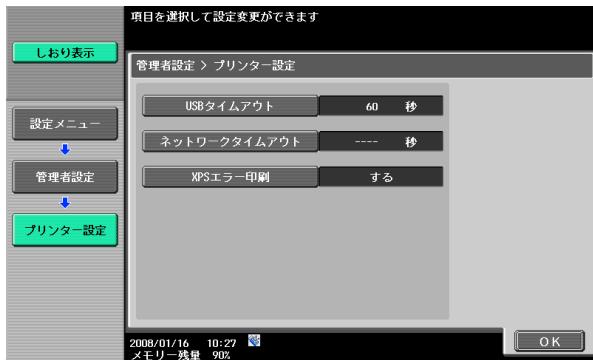
認証指定なし印刷を許可するか禁止するか設定します。



12.4.10 I/F タイムアウトの設定

通信タイムアウトまでの時間を、USB、ネットワークそれぞれに設定できます。(初期値：60秒)

- 1** 管理者設定画面で、[7 プリンター設定] を押します。
- 2** プリンター設定画面で設定する I/F を押します。



- 3** 【C】を押し数値をクリアしてから、テンキーで時間を入力します。(10秒～1000秒)



- 4** [OK] を押します。
通信タイムアウトまでの時間が設定されます。



管理者設定画面の表示のしかたは、「[管理者設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-27)をごらんください。

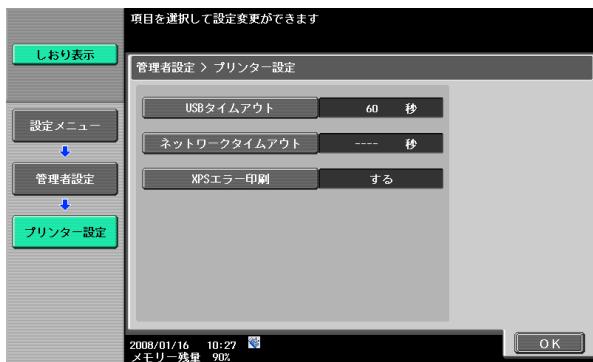
ひとこと

設定可能範囲以外の数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力し直してください。

12.4.11 XPS エラー印刷

XPS 印刷中にエラーが発生した場合、エラー情報を印字するかしないかの設定ができます。(初期値：しない)

- 1** 管理者設定画面で、[7 プリンター設定] を押します。
- 2** [XPS エラー印刷] を押します。



- 3** 希望するキーを押します。



- 4** [OK] を押します。

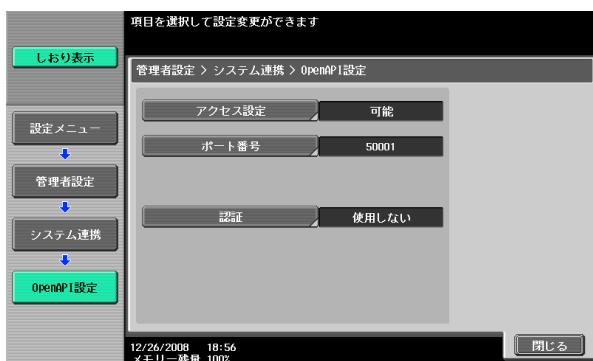


管理者設定画面の表示のしかたは、「[管理者設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-27)をごらんください。

12.4.12 OpenAPI 設定の認証設定

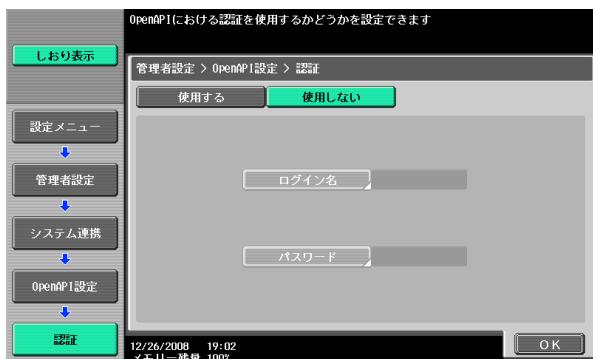
中間サーバー（PageScope Authentication Manager）で認証を行っている場合や装置情報を取得する場合などは、本機でOpenAPI設定の認証設定を「使用しない」に設定します。（初期値：使用しない）

- 1** 管理者設定画面で、[9 システム連携] を押します。
- 2** システム連携画面で、[1 OpenAPI 設定] を押します。
- 3** OpenAPI 設定画面で、[認証] を押します。



- 4** 「認証」を「使用しない」に設定します。

認証設定が設定されます。



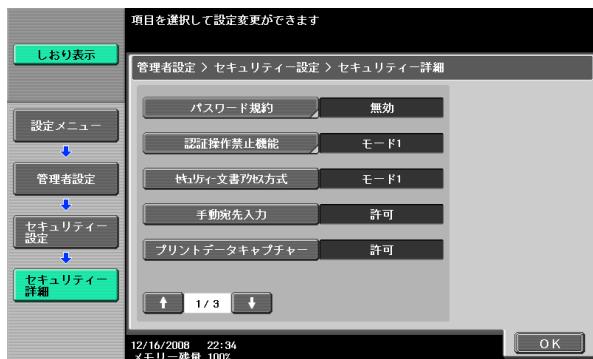
管理者設定画面の表示のしかたは、「[管理者設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-27)をごらんください。

12.4.13 プリントデータキャプチャー

印刷ジョブのデータキャプチャーを許可するか禁止するかを設定できます。(初期値: 許可)

- 1** 管理者設定画面で、[セキュリティー設定] を押します。
- 2** セキュリティー設定画面で、[4 セキュリティー詳細] を押します。
- 3** セキュリティー詳細設定画面で、[プリントデータキャプチャー] を押します。

設定値選択キーが表示されます。



- 4** 希望する設定値選択キーを押します。
印刷ジョブのデータキャプチャーを許可するか禁止するかが設定されます。



管理者設定画面の表示のしかたは、「[管理者設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-27)をごらんください。

印刷ジョブのデータキャプチャーについて詳しくはサービス技術者にお問合せください。



詳しくはサービス技術者にお問合せください。

12.4.14 セキュリティ印刷のみ許可

コンピューターからの印刷をセキュリティ文書のみに限定するかどうかを設定できます。(初期値: しない)

プリンタードライバーから印刷するときには、必ずセキュリティ印刷で送信する必要があります。すべての印刷ジョブで ID / パスワードを必要とするので、出力を第 3 者に見られることはありません。

- する: セキュリティ文書のみに限定します。
- しない: セキュリティ文書のみに限定しません。

参考

- 「セキュリティ印刷のみ許可」を「する」にしている本機で印刷する場合は、プリンタードライバーで「セキュリティ印刷のみ許可」の設定にし、「セキュリティ印刷」のみ送る設定にしてください。
- 「セキュリティ印刷のみ許可」を「する」にしている本機に通常の印刷ジョブを送信した場合は、印刷ジョブは消去されます。

- 1** 管理者設定画面で、[0 セキュリティ設定] を押します。
- 2** セキュリティ設定画面で、[4 セキュリティ詳細] を押します。
- 3** [↑] または [↓] を押してページを切換え、[セキュリティ印刷のみ許可] を押します。
- 4** 希望するキーを押します。



セキュリティ文書に限定するかどうかが設定されます。



セキュリティ印刷については
[p. 11-5](#) をごらんください。



管理者設定画面の表示のしかたは、
[「管理者設定画面を表示させるには」\(p. 12-27\)](#) をごらんください。

12.4.15 ドライバーパスワード暗号化設定

印刷ジョブに付加されるパスワードの暗号化共通鍵について、出荷値を使用するかユーザー定義の暗号化ワードに変更するかを設定できます。
(初期値：出荷時を使用)

- ユーザー定義：暗号化ワードを設定します。20 文字の暗号化ワードを入力します。
- 出荷時を使用：出荷時に設定されている暗号化ワード <公開されないあらかじめ決められた暗号鍵（共通鍵）> を使用します。

1

管理者設定画面で、[セキュリティー設定] を押します。

2

セキュリティー設定画面で、[0 ドライバーパスワード暗号化設定] を押します。

3

希望する設定値選択キーを押します。



- ・暗号化共通鍵で暗号化されるパスワードは、ユーザーパスワード、部門パスワード、機密文書のパスワードです。
- ・暗号化ワードを「ユーザー定義」にした場合は、PC のプリンタードライバーの装置情報タブにて「暗号化ワード」にチェックをつけて有効にし、同じ値を入力してください。
本機とプリンタードライバーの暗号化ワードの値が異なる場合は、本機が暗号化されたユーザーパスワード、部門パスワード、機密文書パスワードを復号することができないため、印刷できません。詳しくは、「[暗号化ワードをユーザー設定する](#)」(p. 11-28) をご覧ください。
- ・OpenAPI で SSL が有効な場合で、プリンタードライバーの装置情報の自動取得が可能であれば、暗号化共通鍵を本機側から取得することもできます。



管理者設定画面の表示のしかたは、「[管理者設定画面を表示させるには](#)」(p. 12-27) をご覧ください。



暗号化ワードを「ユーザー定義」にする方法については、「[暗号化ワードをユーザー設定する](#)」(p. 11-28) をご覧ください。

第13章

PageScope Web Connection

デバイス管理用ユーティリティー「PageScope Web Connection」の機能について説明します。

13.1	PageScope Web Connection の使いかた	13-2
13.2	ログインとログアウト	13-6
13.3	ユーザー モードの概要	13-11
13.4	管理者 モードの概要	13-14

13.1 PageScope Web Connection の使いかた

PageScope Web Connection は、本機に内蔵されている HTTP サーバーが提供する、デバイス管理用ユーティリティーです。ネットワーク上のコンピューターで Web ブラウザーを起動し、本機の設定変更や状態確認ができます。

本機の操作パネルで行う設定の一部を、手元のコンピューターから操作でき、漢字の入力もスムーズなので便利です。

13.1.1 動作環境

ネットワーク	Ethernet (TCP/IP)
コンピューター側の アプリケーション	対応 Web ブラウザー： Microsoft Internet Explorer Ver.6 以降推奨 (JavaScript 有効・Cookie 有効) Internet Explorer Ver.5.5 の使用の場合、Microsoft XML parser MSXML3.X のインストールが必須 Netscape Navigator Ver.7.02 以降 (JavaScript 有 効・Cookie 有効) Mozilla Firefox Ver.1.0 以降 (JavaScript 有効 · Cookie 有効) Adobe® Flash® Player (表示形式で Flash を選択す る場合、Ver.7.0 以降のプラグイン必須)

13.1.2 アクセス方法

PageScope Web Connection は、Web ブラウザーを起動して使用します。

1
2

Web ブラウザーを起動します。

URL フィールドに、本機の IP アドレスを入力して [Enter] キーを押します。

http:// <本機の IP アドレス> /

○ (例) 本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合

http://192.168.1.20/

IPv6 が「使用する」に設定されていて、Internet Explorer 以外のブラウザーを使用している場合は、IPv6 アドレスを [] で囲んでアクセスします。

http://[本機の IPv6 アドレス]/

○ (例) 本機の IPv6 アドレスが fe80::220:6bff:fe10:2f16 の場合

http://[fe80::220:6bff:fe10:2f16]

○ IPv6 が「使用する」に設定されていて、Internet Explorer を使用している場合は、あらかじめ hosts ファイルに 「fe80::220:6bff:fe10:2f16|IPv6 IPv6_MFP_1」といった追記をする編集をし、ドメイン名による URL 指定を行います。

ユーザーとしてログインしたユーザーモードの画面が表示されます。

ひとこと

Windows NT 4.0 と Mac OS 8/9 は、Flash プレイヤー 8 以後のバージョンをサポートしません。この場合、Adobe のサイトから Flash プレイヤー 7 をダウンロードするか、PageScope Web Connection の表示スタイルで HTML を選択してください。

ひとこと

- ・ユーザー認証機能が有効の場合は、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。詳しくは、「[登録ユーザーとしてログイン \(p. 13-9\)](#)」をごらんください。
- ・本機の IP アドレスの設定については、「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をごらんください。
- ・PageScope Web Connection の表示形式には Flash と HTML があります。詳しくは、「[ログインとログアウト \(p. 13-6\)](#)」をごらんください。
- ・IPv6 アドレス指定でアクセスした場合は、Flash は表示できません。

13.1.3 Web ブラウザーのキャッシュ機能について

Web ブラウザーにキャッシュ機能があるため、PageScope Web Connection で画面を表示しても最新の情報が表示されない場合があります。また、キャッシュ機能を使用したときに問題が起こる場合があります。

PageScope Web Connection 使用時は、Web ブラウザーでキャッシュ機能を無効にしてください。

■ Internet Explorer の場合

- 1** 「ツール」メニューから「インターネットオプション」を選択します。
- 2** 「全般」タブで「インターネット一時ファイル」の「設定」をクリックします。
- 3** 「ページを表示するごとに確認する」を選択し、[OK] をクリックします。

■ Netscape Navigator の場合

- 1** 「編集」メニューから「設定」を選択します。
- 2** 左側の「カテゴリ」で「詳細」 – 「キャッシュ」を選択します。
- 3** 「キャッシュにあるページとネットワーク上のページの比較：」で「ページにアクセスするたび」を選択します。

■ Mozilla Firefox の場合

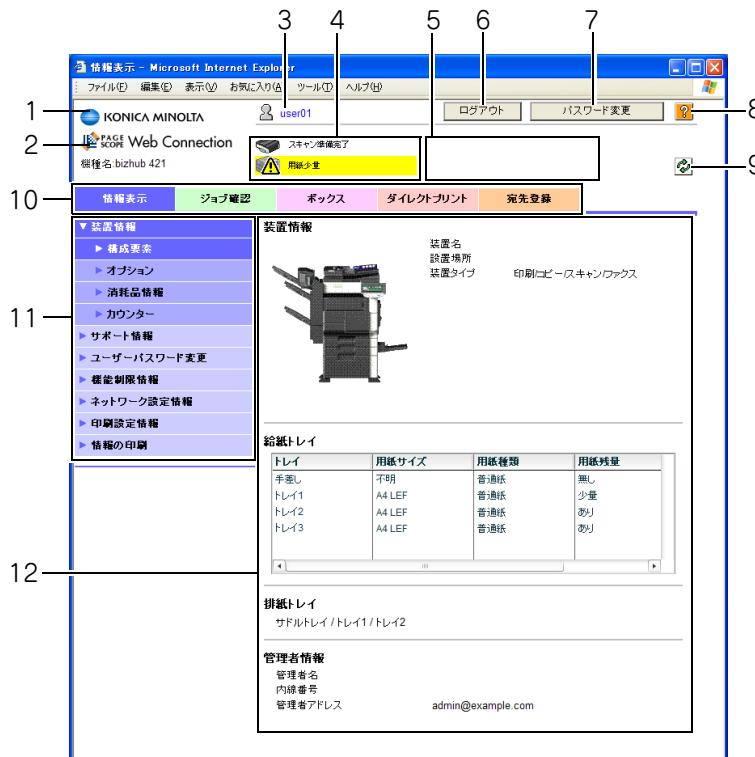
- 1** 「ツール」メニューから「オプション」を選択します。
- 2** 「プライバシー」をクリックし、「消去設定」をクリックします。
- 3** 「消去するデータ」で「キャッシュ」にチェックを付け、「消去の設定」で「Firefox の終了時にプライバシー情報を消去する」にチェックを付け、[OK] をクリックします。

ひとこと

- ・ Web ブラウザーのバージョンによっては、メニュー名や項目名が異なる場合があります。詳しくは、Web ブラウザーのヘルプをごらんください。
- ・ キャッシュ機能を有効にしたまま使用すると、管理者モードでタイムアウトになったあと、再度アクセスしてもタイムアウト表示になることがあります。この場合でも、本機の操作パネルがロックされ操作できなくなるため、主電源の再投入が必要になります。このような問題を避けるために、キャッシュ機能を無効にしてください。

13.1.4 画面の構成

PageScope Web Connection の画面は、以下のように構成されています。



No.	項目	説明
1	KONICA MINOLTA ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、以下のサイト (KONICA MINOLTA のサイト) ヘジャンプします。 http://konicaminolta.jp
2	PageScope WebConnection ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、PageScope Web Connection のバージョンが表示されます。
3	ログインユーザー名	現在ログインしているモードアイコンとユーザー名（パブリック、管理者、ボックス管理者、登録ユーザー名、部門名）が表示されます。ユーザー名をクリックすると、ログインしているユーザー名が表示されます。
4	ステータス表示	本機プリンター部分と本機スキャナー部分の状態が、アイコンとメッセージで表示されます。エラーが発生している場合にアイコンをクリックすると、その状態に関連した情報（消耗品情報画面、給紙トレイ画面、ユーザー登録情報画面）が表示され、状況を確認できます。
5	メッセージ表示	本機の動作状態が表示されます。
6	[ログアウト]	現在のモードからログアウトするときにクリックします。
7	[パスワード変更]	クリックすると、「 ユーザーパスワード変更 (p. 13-11)」ヘジャンプします。登録ユーザーでログインしたユーザー モード画面でのみ表示されます。
8	ヘルプ	オンラインマニュアルホームページに設定してあるページが表示されます。設定方法は、「 サポート情報 」(p. 13-11) をごらんください。

ひとこと

- PageScope Web Connection でアクセス直後に表示される画面は「ユーザー モード」と呼ばれる画面で、ユーザーとしてログインした状態で表示されます。
- ユーザー認証機能が有効の場合は、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。詳しくは、「[登録ユーザーとしてログイン](#)」(p. 13-9) をごらんください。
- 本機に装着されているオプションや本機の設定によって、PageScope Web Connection の画面表示が異なります。別のユーザー や管理者としてログインする方法については「[ログインとログアウト](#)」(p. 13-6) をごらんください。

9	更新	クリックすると画面の表示を更新します。
10	タブ	表示する項目のカテゴリを選択します。ユーザー モードでは、以下のタブが表示されます。 ・情報表示 ・ジョブ確認 ・ボックス ・ダイレクトプリント ・宛先登録
11	メニュー	選択されたタブにおける情報および設定が表示されます。タブの選択により、ここに表示されるメニューが異なります。
12	情報、設定の表示	メニューで選択されている項目の内容が表示されます。

13.2 ログインとログアウト

13.2.1 ログインとログアウトのながれ

PageScope Web Connection でアクセスすると、本機でユーザー認証や部門管理を行っているときはログイン画面が表示され、ユーザー認証や部門管理を行っていないときはパブリックユーザーとしてログインした画面が表示されます。ログイン後、別のユーザーとしてログインするときや、管理者としてログインするためにはいったんログアウトし、ログインしなおす必要があります。

■ ユーザー認証、部門管理を行っていない場合

Public ユーザーとして自動的にログインします。



管理者としてログインするときは、いったんログアウトします。



管理者としてログインし直します。



■ ユーザー認証、部門管理を行っている場合

ユーザー認証、部門認証画面が表示されます。必要事項を入力してログインします。

KONICA MINOLTA PageScope Web Connection - Microsoft Internet Explorer

言語 OS言語 (OS Language)

ログイン 登録ユーザー
ユーザー名
パスワード

管理者

表示形式 Flash HTML
Flash形式でご覧頂くには Flash Playerが必要です。Get ADODE FLASHPLAYER

ユーザー補助 警告時、ダイアログ表示する

ログイン

ひとこと

PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、ログインについてはサーバーの管理者にお問い合わせください。

他のユーザーまたは管理者としてログインするときは、いったんログアウトします。

ログインし直します。

KONICA MINOLTA PageScope Web Connection - Microsoft Internet Explorer

言語 OS言語 (OS Language)

ログイン 登録ユーザー
ユーザー名
パスワード

管理者

表示形式 Flash HTML
Flash形式でご覧頂くには Flash Playerが必要です。Get ADODE FLASHPLAYER

ユーザー補助 警告時、ダイアログ表示する

ログイン

13.2.2 ログアウト

画面右上の【ログアウト】をクリックすると、ログアウトを確認する画面が表示されます。[OK] をクリックするとログイン画面に戻ります。



13.2.3 ログイン

PageScope Web Connection はログインのしかたによって、ユーザー モードと管理者モードがあります。ユーザー認証やボックス管理者の設定によって、管理者またはボックス管理者としてユーザー モードにログインすることもできます。

■ ログイン時の選択項目

- 必要に応じて言語や表示形式を選択します。
- 「警告時、ダイアログ表示する」にチェックを付けると、ログイン後の操作中、警告時にダイアログが表示されます。
- 表示形式で「Flash」を選択すると、以下の項目が Flash 機能を利用して表示されます。
 - ステータスのアイコンやメッセージ
 - 「情報表示タブ - 装置情報」の「給紙トレイ」の状態
 - 「ジョブ確認タブ」の状態
- 「Flash」機能を使用する場合は、Flash Player が必要です。
- 読み上げソフトを使用する場合は、HTML を選択することを推奨します。IPv6 環境においては、HTML を選択してください。

ひとこと

- ・本機の認証設定によって、表示されるログイン画面が異なります。
- ・ログインした状態で操作が一定期間行われずにタイムアウトとなつた場合や、ユーザー モードログイン中に本機の操作パネルで認証設定が変更された場合は、自動的にログアウトされます。
- ・ユーザー モードおよび管理者モードのタイムアウトの時間設定については、「[自動ログアウト](#)」(p. 13-15) をご覧ください。

ひとこと

- ・操作パネルからの設定でボックス管理者がみとめられている場合に、ボックス管理者としてログインできます。ボックス管理者の設定や権限、パスワードの設定などについては、「[ユーザーズガイド ボックス機能編](#)」をご覧ください。
- ・管理者としてユーザー モードにログインした場合は、管理者モードでは行えないジョブ削除を行うことができます。

■ パブリックユーザーとしてログイン

本機でユーザー認証を行っていない場合はパブリックユーザーとしてログインします。ログイン画面で「パブリックユーザー」を選択し、[ログイン]をクリックします。



■ 登録ユーザーとしてログイン

本機でユーザー認証を行っている場合は、登録ユーザー名とパスワードを利用してログインする必要があります。ログイン画面でユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

- 部門管理を行っている場合は、部門名と部門パスワードも入力します。
- [ユーザー一覧]をクリックすると、一覧からユーザー名を選択できます。
- 外部サーバー認証が設定されている場合は、サーバーを選択します。
- 管理者としてユーザー mode にログインする場合は、[管理者] - 「管理者（ユーザー mode）」を選択し、管理者パスワードを入力します。



ひとこと

- ・管理者設定の「認証操作禁止設定」でモード2が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、そのユーザーがロックされて使用できなくなります。操作禁止状態の解除については管理者にお問い合わせください。
- ・[ユーザー一覧]は、「ユーザー名一覧」が「表示する」設定のときのみ利用できます。
- ・ユーザー名一覧の設定について詳しくは「ユーザーズガイドコピー機能編」をごらんください。

■ 管理者モードへログイン

システムやネットワークなどの設定を行うには、管理者モードにログインします。ログイン画面で「管理者」を選択し、管理者パスワードを入力して【ログイン】をクリックします。



■ ボックス管理者としてログイン

本機でユーザー認証を行っている場合は、管理者としてユーザー mode にログインし、ジョブ削除を行うことができます。また、操作パネルでボックス管理者がみとめられている場合に、ボックス管理者としてユーザー mode にログインすることができます。



→ ログイン画面で「管理者」を選択し、【ログイン】をクリックします。

- ボックス管理者としてユーザー mode にログインする場合は、「ボックス管理者」を選択し、ボックス管理者のパスワードを入力します。

ひとこと

- ・管理者モードにログインしているときは、本機の操作パネルがロックされ、操作できなくなります。
- ・本機の状態によっては、管理者モードにログインできない場合があります。
- ・管理者設定の「認証操作禁止設定」でモード 2 が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、管理者モードにログインできなくなります。認証操作設定について詳しくは「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
- ・本機の設定によって、表示されるパスワード入力の画面が異なります。

ひとこと

- ・管理者設定の「認証操作禁止設定」でモード 2 が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、管理者モードにログインできなくなります。認証操作設定について詳しくは「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
- ・本機の設定によって、表示されるパスワード入力の画面が異なります。

13.3 ユーザーモードの概要

ユーザー モードにログインすると、以下の機能を設定できます。

13.3.1 情報表示

PageScope Web Connection にアクセスしたときに、最初に表示されます。



ひとこと

ユーザー モードに関するその他の情報は、PageScope Utilities CD-ROM の PageScope Web Connection のヘルプをごらんください。

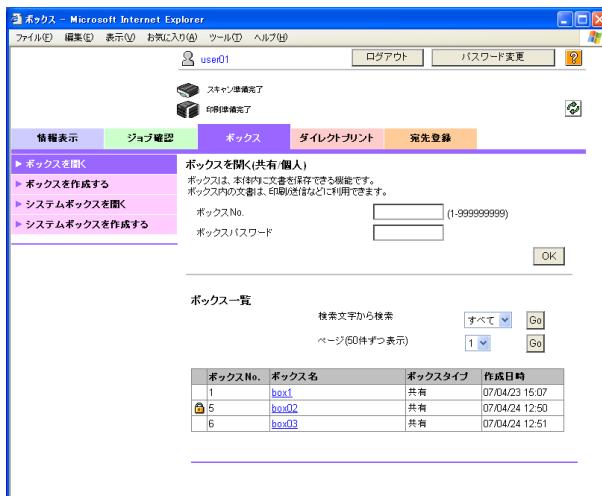
項目	説明
装置情報	本機の構成要素、オプション、消耗品情報、カウンターを確認できます。
サポート情報	製品に関するサポート情報を確認できます。
ユーザーパスワード変更	ログインしているユーザーのパスワードを変更できます。
機能制限情報	ユーザーや部門の操作制限情報を確認できます。
ネットワーク設定情報	本機のネットワーク設定を確認できます。
印刷設定情報	本機のイメージコントローラーに関連した設定情報を確認できます。 オプションのイメージコントローラ IC-207 を装着している時に表示されます。
情報の印刷	フォント情報や設定情報を印刷できます。 オプションのイメージコントローラ IC-207 を装着している時に表示されます。

13.3.2 ジョブ確認



項目	説明
実行中リスト	実行中 / 実行待ちのジョブを確認できます。
履歴リスト	実行済みのジョブを確認できます。
通信リスト	完了した送受信のジョブを確認できます。

13.3.3 ボックス



項目	説明
ボックスを開く	現在作成されているボックス（共有 / 個人 / グループ）を開き、保存されている文書を操作したり、ボックスの設定を変更できます。
ボックスを作成する	新しくボックスを作成できます。
システムボックスを開く	オプションのFAXキットが装着されている場合に表示されます。システムボックス（掲示板ボックス / ポーリング送信ボックス / 強制メモリー受信ボックス / 中継ボックス）を開き、保存されている文書を操作したり、ボックスの設定を変更できます。
システムボックスを作成する	オプションのFAXキットが装着されている場合に表示されます。新しく掲示板ボックスと中継ボックスを作成できます。

13.3.4 ダイレクトプリント



項目	説明
ダイレクトプリント	コンピューターに保存されているファイルを指定して、本機で印刷を行うことができます

13.3.5 宛先登録



項目	説明
短縮宛先	本機に登録されている短縮宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
グループ宛先	本機に登録されているグループ宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
プログラム宛先	本機に登録されているプログラム宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
一時プログラム	本機に登録されている一時プログラム宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
E-mail 件名	E-mail 送信時に利用する件名を 10 件まで登録できます。
E-mail 本文	E-mail 送信時に利用する本文を 10 件まで登録できます。

ひとこと

ダイレクトプリントでは、以下のファイルを印刷できます。
ハードディスク装着時 XPS, PDF, TIFF, PS, PCL, Text (1 バイト文字のみ)

ハードディスク非装着時 : PS, PCL, Text (1 バイト文字のみ)

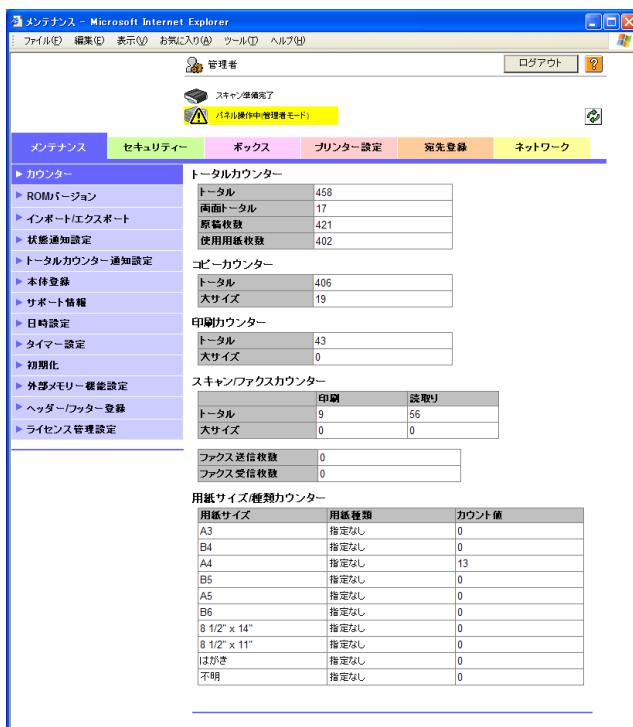
ひとこと

管理者モードでの設定によって表示されない場合があります。

13.4 管理者モードの概要

管理者モードにログインすると、以下の機能を設定できます。

13.4.1 メンテナンス



ひとこと

管理者モードの詳細は「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

項目	説明
カウンター	本機で管理されているカウンターを確認できます。
ROMバージョン	ROMバージョンを確認できます。
インポート / エクスポート	本機の設定情報をファイルとして保存（エクスポート）またはファイルから本機に書き込み（インポート）できます。
状態通知設定	本機でエラーが発生した場合に登録者に通知する機能の設定を行います。エラーの通知先と通知する項目を設定できます。
トータルカウンター通知設定	トータルカウンターを E-mail で通知する設定と通知先のメールアドレスを登録します。
本体登録	装置の登録情報を変更します。
サポート情報	本機のサポート情報を設定します。この内容はユーザーモードの「情報表示」タブ「サポート情報」で表示されます。
日時設定	本機に表示される日時の設定を行います。
タイマー設定	本機のパワーセーブ、ウィークリータイマー機能の設定を行います。
初期化	ネットワーク設定、コントローラーのリセットや宛先の一括消去を行います。
外部メモリー機能設定	文書保存および文書印刷に外部メモリーを使用する設定を行います。
ヘッダー / フッター登録	ヘッダー / フッターの一覧が表示され、登録や編集ができます。
ライセンス管理設定	リクエストコードの発行を行います。ライセンスコードを取得し、機能を有効化することができます。

ひとこと

外部メモリーから文書を印刷するには、オプションのハードディスクとイメージコントローラーを装着する必要があります。

13.4.2 セキュリティー



項目	説明
認証設定	本機のユーザー認証、部門管理の設定を行います。認証を行う場合は使用する外部サーバーの設定、初期機能制限の設定もできます。
ユーザー登録	ユーザー認証が設定されている場合に、ユーザーの登録や設定変更ができます。
部門登録	部門登録が設定されている場合に、部門の登録や設定変更ができます。
SSL/TLS 設定	SSL/TLS の設定を行います。SSL/TLS を有効になると、本機とクライアントコンピューター間の通信を暗号化し、パスワードや通信内容の漏洩を防止します。
CA 証明書のインストール	CA 証明書をインストールします。
宛先参照許可設定	宛先参照許可を行う場合、参照許可グループの設定や、パブリックユーザーの参照設定を行います。
宛先登録変更許可	ユーザーによる宛先登録を許可するかどうかを設定します。
自動ログアウト	管理者モード、ユーザー モードの自動ログアウト時間を設定します。
管理者パスワード設定	管理者モードにログインするためのパスワードを設定します。

ひとこと

「管理者パスワード設定」は以下の場合は表示されません。

- ・ SSL 証明書がインストールされていない
- ・ セキュリティー強化モードが「ON」に設定されている

13.4.3 ボックス

管理者モードでログインしている場合は、ボックスを開くときのパスワード入力をせずに操作できます。

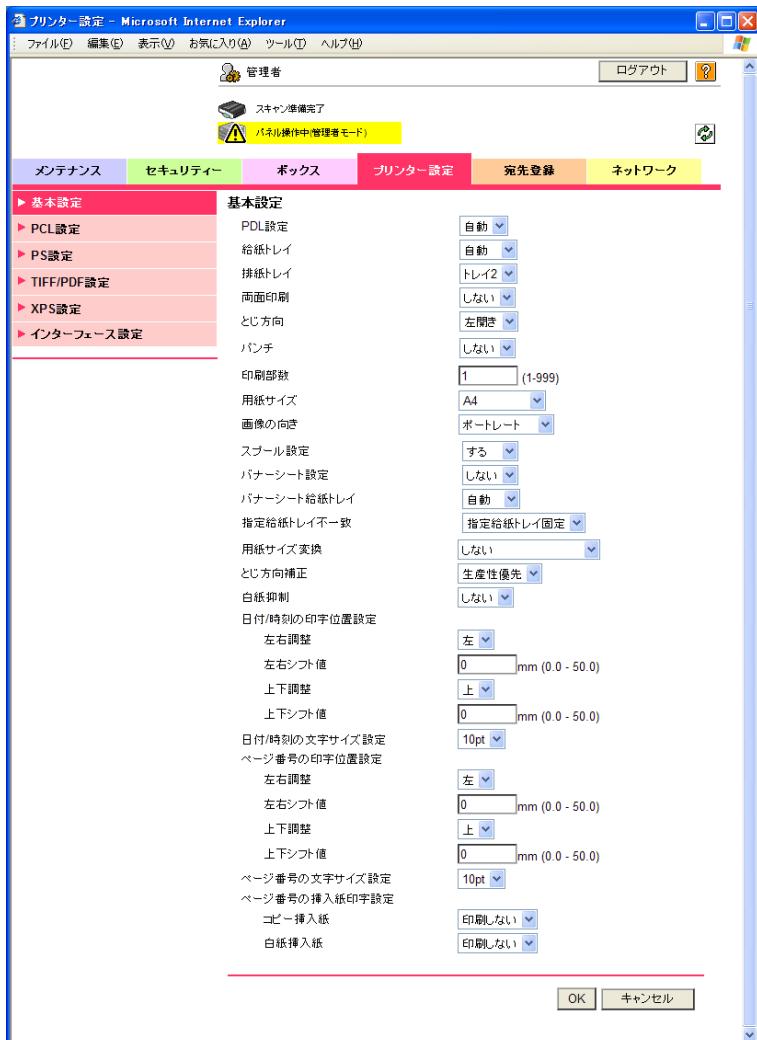


項目	説明
ボックスを開く	現在作成されているボックス（共有 / 個人 / グループ）を開き、保存されている文書を操作したり、ボックスの設定を変更できます。
ボックスを作成する	新しくボックスを作成できます。
システムボックスを開く	システムボックス（掲示板ボックス / 中継ボックス / ファイリングナンバーボックス）を開き、保存されている文書を操作したり、ボックスの設定を変更できます。
システムボックスを作成する	新しくファイリングナンバーボックス、掲示板ボックス、中継ボックスを作成できます。

ひとこと

掲示板ボックス、中継ボックスはオプションのFAXキットが装着されている場合に操作できます。ファイリングナンバーボックスは、オプションのハードディスクが装着されている場合に操作できます。

13.4.4 プリンター設定



項目	説明
基本設定	プリンターの初期設定値を設定できます。
PCL 設定	PCL モードの初期設定値を設定できます。
PS 設定	PS モードの初期設定値を設定できます。
TIFF/PDF 設定	TIFF/PDF ダイレクトプリントに関する設定ができます。
XPS 設定	XPS プリントに関する設定ができます。 オプションのハードディスクを装着しているときに表示されます。
インターフェース 設定	インターフェースのタイムアウト時間を設定できます。

13.4.5 宛先登録

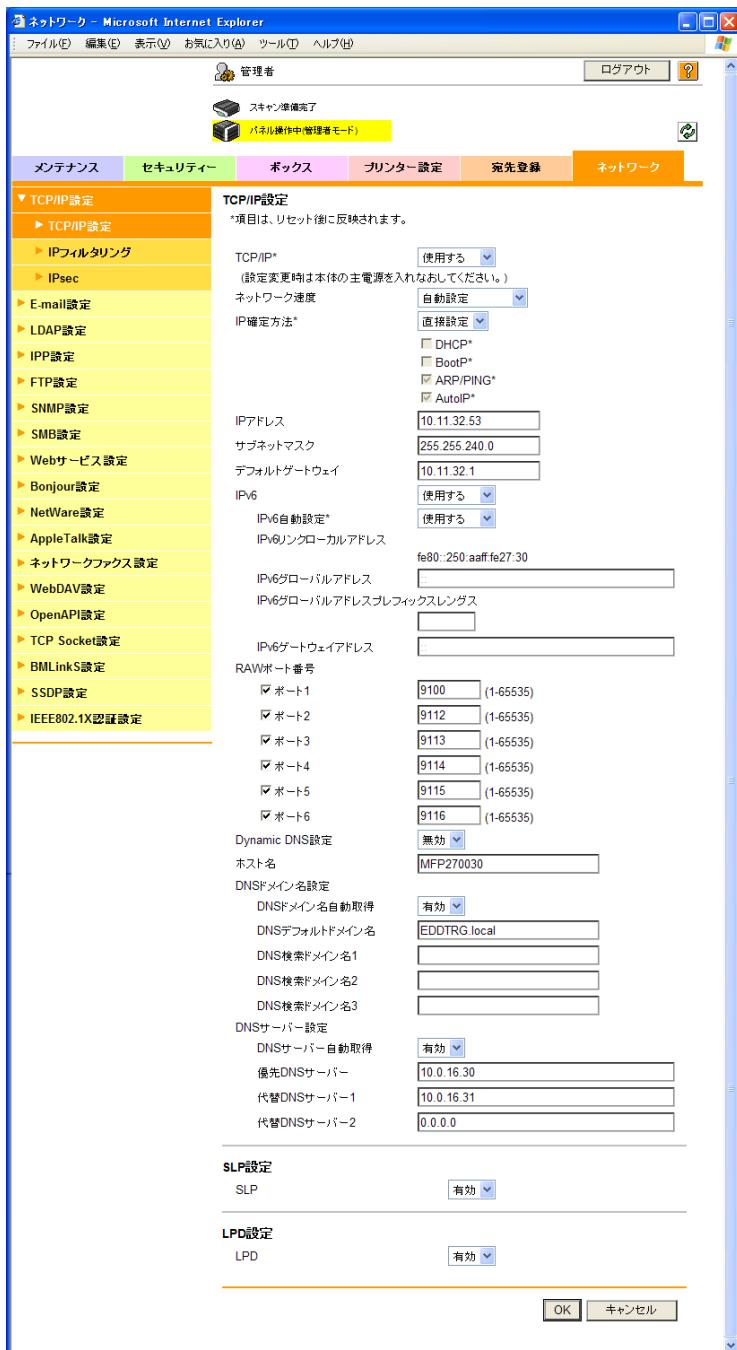


項目	説明
短縮宛先	本機に登録されている短縮宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
グループ宛先	本機に登録されているグループ宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
プログラム宛先	本機に登録されているプログラム宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
一時プログラム	本機に登録されている一時プログラム宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
E-mail 件名	E-mail 送信時に利用する件名を 10 件まで登録できます。
E-mail 本文	E-mail 送信時に利用する本文を 10 件まで登録できます。
アプリケーション登録	RightFax Server など、外部サーバーに登録されたアプリケーションを使用するとき、アプリケーションの内容やサーバーアドレスなどを登録します。アプリケーションとサーバーを登録することで、選択したアプリケーションのサーバーへ自動的に接続して使用することができます。
Prefix/Suffix	メール送信時に、送信先の情報として付与する Prefix/Suffix を登録できます。
発信元 / ファクスの ID 登録	送信時の発信元情報を登録します。

ひとこと

「アプリケーション登録」は FAX キット装着時は表示されません。

13.4.6 ネットワーク



項目	説明
TCP/IP 設定	本機をネットワーク接続する場合の TCP/IP の設定ができます。
E-mail 設定	E-mail 送受信や I-Fax の拡張機能の設定ができます。
LDAP 設定	LDAP サーバーを使用するとき、サーバーの登録ができます。
IPP 設定	IPP 印刷の設定をします。 オプションのイメージコントローラ IC-207 を装着時に表示されます。
FTP 設定	本機を FTP クライアントまたはサーバーとして使用するための設定ができます。
SNMP 設定	SNMP の設定ができます。

項目	説明
SMB 設定	SMB クライアント、WINS、SMB 印刷の設定ができます。
Web サービス設定	Web サービスによるスキャン、プリントに関する設定ができます。
Bonjour 設定	Bonjour の設定ができます。
NetWare 設定	NetWare の設定ができます。
AppleTalk 設定	AppleTalk の設定ができます。 オプションのイメージコントローラ IC-207 を装着時に表示されます。
ネットワークアクセス設定	ダイレクト SMTP 送信 / ダイレクト SMTP 受信の設定ができます。
WebDAV 設定	WebDAV クライアントに関する設定ができます。
OpenAPI 設定	OpenAPI の設定ができます。
TCP Socket 設定	コンピューターのアプリケーションソフトと本機のデータ通信に使用される TCP Socket の設定ができます。
BMLinks 設定	BMLinks 機能の設定を行います。
SSDP 設定	SSDP 設定を行います。
IEEE802.1X 認証設定	IEEE802.1X 認証の設定を行います。



第14章

トラブルシューティング

14.1 印刷できない	14-2
14.2 設定できない／設定したとおりに印刷できない	14-4

14.1 印刷できない

本章では、想定するトラブルおよび困った場合の解決方法について説明します。

印刷を実行したにもかかわらず、印刷できない場合に、上から順に確認してください。

状況	考えられる原因	対処方法
コンピューター上の画面に「プリンターが接続されていない」または「印刷エラー」という内容のメッセージが表示される。	印刷時に指定しているプリンタードライバーがイメージコントローラー対応になっていない可能性があります。	指定しているプリンター名を確認してください。
	ネットワークケーブルまたはUSBケーブルが外れている可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	本機側でエラーが発生している可能性があります。	本機の操作パネルを確認してください。
	メモリが不足している可能性があります。	テスト印刷で印刷できるか確認してください。
コンピューター上の画面にポストスクリプトエラーが表示される。	コンピューターのメモリが不足している可能性があります。	テスト印刷で印刷できるか確認してください。
	アプリケーションソフトウェアの設定によるエラーが考えられます。	アプリケーションソフトウェアの取扱説明書などを参考に、設定を再確認してください。
	ファイルの印刷設定が間違っている可能性があります。	設定を変えて再度印刷を試してみてください。
コンピューター側の印刷処理は終了したが印刷が開始されない。	印刷時に指定しているプリンタードライバーがイメージコントローラー対応になっていない可能性があります。	指定しているプリンター名を確認してください。
	ネットワークケーブルまたはUSBケーブルが外れている可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	本機側でエラーが発生している可能性があります。	本機の操作パネルを確認してください。
	未処理のジョブが本機に残っていて、処理待ち状態になっている可能性があります。	本機の操作パネルのジョブ確認でジョブの順番を確認してください。
	印刷実行時に「ボックス保存」を指定している可能性があります。	本機の操作パネルで「ボックス」に目的のジョブが保留されていないか確認してください。
	印刷実行時に「セキュリティー印刷」を指定している可能性があります。	本機の操作パネルで「セキュリティー文書ボックス」に目的のジョブが保留されていないか確認してください。
	部門管理している場合、登録以外の部門管理コード（暗証番号）を入力している可能性があります。	部門管理コード（暗証番号）を正しく入力してください。
	認証設定している場合、登録以外のユーザー名やパスワードを入力している可能性があります。	ユーザー名やパスワードを正しく入力してください。
	プリンタードライバーと本機の暗号化ワードが異なっている可能性があります。	本機とプリンタードライバーの暗号化ワードを同じ設定にしてください。
	コンピューターのメモリが不足している可能性があります。	テスト印刷で印刷できるか確認してください。
	イメージコントローラーとのネットワークが確立されていません（ネットワーク接続時）。	ネットワーク管理者にご相談ください。
	本機側でセキュリティー強化モードになっている可能性があります。	セキュリティー強化モードでの認証設定を行ってください。詳しくは、本機の管理者にご相談ください。

状況	考えられる原因	対処方法
セキュリティ印刷で印刷されない。	本体でパスワード規約がONになっている可能性があります。	パスワード規約に適合したパスワードを設定してください。
	プリンタードライバーと本機の暗号化ワードが異なっている可能性があります。	本機とプリンタードライバーの暗号化ワードを同じ設定にしてください。
ボックス保存のジョブが消えてしまった。	本体側でボックスジョブが削除される設定になっている可能性があります。	本体側のボックス設定を確認してください。 詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
ユーザー認証（部門管理）で印刷できない	ID／パスワードが間違っています。	正しいID／パスワードを入力してください。
	プリンタードライバーの「認証」にチェックがされていません。	プリンタードライバーの「認証」にチェックをしてください。
	プリンタードライバーと本機の暗号化ワードが異なっている可能性があります。	本機とプリンタードライバーの暗号化ワードを同じ設定にしてください。
	お使いのIDで印刷が許可されていない可能性があります。	使用可能なIDであるかどうかを管理者に確認してください。
ユーザー認証で、「パブリックユーザー」を選択したが印刷できない	本体側でパブリックユーザーのプリントが許可されていない可能性があります。	パブリックユーザーの印刷が許可されているかどうかを管理者に確認してください。

以上のことを行っても解決しない場合は、「ユーザーズガイド コピー機能編」をお読みください。

14.2 設定できない／設定したとおりに印刷できない

プリンタードライバーで設定ができない場合や、設定してもそのとおりに印刷されない場合に確認してください。

ひとこと

プリンタードライバーの項目を設定する場合、項目によっては同時に選択できないものがあります。

14.2.1 プリンタードライバーの設定が機能しない

状況	考えられる原因	対処方法
プリンタードライバー上で項目が選択できない。	機能によっては組み合わせできない場合があります。	グレー表示の部分は設定できません。
コンピューター画面上に「設定できない」「機能が解除される」内容の「競合」メッセージが表示される。	組み合わせできない機能を設定しています。	内容をよく確認し、機能を指定しなおしてください。
設定したとおりに印刷できない。	正しく設定されていない可能性があります。	プリンタードライバーの各設定項目を確認してください。
	プリンタードライバー上では組み合わせて設定できますが、本機としては組み合わせができません。	
	アプリケーションで設定した用紙サイズや用紙の向きなどがプリンタードライバーでの設定より優先されて印刷されることがあります。	アプリケーション側の設定を正しく設定してください。
ウォーターマークが印刷できない。	ウォーターマークを正しく設定していない可能性があります。	ウォーターマークの設定を確認してください。
	ウォーターマークの濃度が薄い可能性があります。	濃度設定を確認してください。
	グラフィックス系などのアプリケーションソフトウェアでは、ウォーターマークが印刷されないことがあります。	この場合、ウォーターマークは印刷できません。
ステープルが指定できない。	用紙種類が厚紙、OHP フィルムの場合は、ステープルできません。	プリンタードライバーの各設定項目を確認してください。
	ステープルは、オプションのフィニッシャーが必要です。	必要なオプションを装着し、プリンタードライバーでオプションを使用可能にしてください。
ステープルができない。	印刷するページ数が多い場合は、ステープルできません。	印刷するページ数を変更してください。
	異なる用紙サイズが混在している場合は、ステープルできません。	書類を確認してください。
ステープルの位置が思いどおりにならない。	方向の設定が合っていません。	プリンタードライバーの設定でステープルの位置を確認してから印刷してください。
パンチが指定できない。	小冊子、OHP フィルム、厚紙 2、厚紙 3、封筒を指定した場合は、パンチを指定できません。	プリンタードライバーの各設定項目を確認してください。
	オプションのフィニッシャーとパンチキットが必要です。	必要なオプションを装着し、プリンタードライバーでオプションを使用可能にしてください。
パンチされない。	給紙口にセットしてある用紙の向きが適切でない場合は、パンチせずに印刷されることがあります。	用紙の向きを確認してください。
パンチの位置が思いどおりにならない。	方向の設定が合っていません。	プリンタードライバーの設定でパンチの位置を確認してから印刷してください。

状況	考えられる原因	対処方法
オーバーレイがうまく印刷されない。	コンピューターのメモリが不足している可能性があります。	オーバーレイを簡単なものにしてデータ量を減らしてください。
画像がうまく印刷されない。	コンピューターのメモリが不足している可能性があります。	画像を簡単なものにしてデータ量を減らしてください。
指定した給紙口から給紙されない。	指定した給紙口に必要なサイズ／方向の用紙が入っていない場合は、指定した給紙口から給紙されない可能性があります。	給紙口に適切なサイズ／方向の用紙を入れてください。
ユーザー認証（部門管理）の設定がグレーアウトしていて設定できない	プリンタードライバーでユーザー認証（部門管理）機能が有効になっていない可能性があります。	「装置構成」でユーザー認証（部門管理）を使用する設定にしてください。

14.2.2 その他

状況	考えられる原因	対処方法
プリンタードライバーがインストールできない	Windows Vista/7/Server 2008 で Web サービスプリント対応プリンターとしてインストール済みとなっています。	Windows Vista/7/Server 2008 で Web サービスプリントを利用してインストールした場合は、インストールを完了していなくてもインストールされた状態になります。「ネットワーク」ウインドウで該当するプリンターをアンインストールしてからインストールしなおしてください。
印刷後に印刷ジョブが残る	Windows Vista/7/Server 2008 で「ネットワーク探索」が無効になっている可能性があります。	Windows Vista/7/Server 2008 で Web サービスプリントを利用する場合は、コンピューターの「ネットワークと共有センター」で「ネットワーク探索」を有効にしてください。

14.2.3 エラーメッセージ

メッセージ	原因と対処方法
ネットワークに接続できませんでした	ネットワークに接続できませんでした。ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、「管理者設定」の「ネットワーク設定」が正しく行われているか確認してください。

第15章 付録

15.1	製品仕様	15-2
15.2	コンフィグレーションページ	15-5
15.3	フォントリスト	15-6
15.4	PPD ドライバー（Linux 用、アプリケーション用）	15-9
15.5	BMLinks 統合プリンタードライバー	15-11
15.6	用語集	15-12

15.1 製品仕様

項目	仕様
型式	本体内蔵型コントローラー
電源	本体と共に通
RAM	本体と共に通
HDD	本体と共に通
I/F	Ethernet (1000Base-T / 100Base-TX / 10Base-T) USB 2.0 (オプション)
フレームタイプ	Ethernet 802.2 Ethernet 802.3 Ethernet II Ethernet SNAP
対応プロトコル	TCP/IP IPX/SPX NetBEUI AppleTalk (EtherTalk)
プリント速度	501 : 50 枚／分 (A4、片面) 421 : 42 枚／分 (A4、片面) 361 : 36 枚／分 (A4、片面)
ファーストプリントタイム	501 : 3.2 秒以下 (A4) 421 : 3.6 秒以下 (A4) 361 : 3.6 秒以下 (A4) ※ E-RDH 圧縮終了から測定
プリンター言語	PCL5e エミュレーション PCL XL Ver3.0 エミュレーション PostScript 3 エミュレーション (3016) XPS ver.1.0
動作環境条件	温度 10 ~ 30 °C 湿度 10 ~ 80%RH
解像度	データ処理 600 × 600 dpi (プリント、FAX 機能) 400 × 400 dpi (FAX 機能) 200 × 200 dpi (FAX 機能)
	プリント 2400 dpi 相当 × 600 dpi
対応原稿サイズ	最大原稿 : 幅 297mm 長さ 431.8mm 最小原稿 : 幅 92mm 長さ 148mm
フォント (内蔵フォント)	< PCL > 欧文 80 書体 日本語 HG 明朝 L HGP 明朝 L HG ゴシック B HGP ゴシック B < Postscript 3 Emulation > 欧文 137 書体 日本語 HG 明朝 L HG ゴシック B
対応コンピューター	IBM PC およびその互換機、Mac (PowerPC、Intel プロセッサー)

項目	仕様
プリンタードライバー	<p>· 32bit 版 Windows NT4.0 (Service Pack 6a 以降) Windows 2000 Professional/Server (Service Pack 3 以降) Windows XP Home/Professional (Service Pack 2 以降) Windows Server 2003 Standard Windows Vista (全バージョン) Windows Server 2008 (全バージョン) Windows 7 (全バージョン)</p>
	<p>· 64bit 版 Windows XP Professional (Service Pack 2 以降) Windows Server 2003 Windows Vista (全バージョン) Windows Server 2008 (全バージョン) Windows 7 (全バージョン)</p>
PostScript コニカミノルタ製ドライバー (PS ドライバー)	<p>· 32bit 版 Windows 2000 Professional/Server (Service Pack 3 以降) Windows XP Home/Professional (Service Pack 2 以降) Windows Server 2003 Standard Windows Vista (全バージョン) Windows Server 2008 (全バージョン) Windows 7 (全バージョン)</p>
	<p>· 64bit 版 Windows XP Professional (Service Pack 2 以降) Windows Server 2003 Windows Vista (全バージョン) Windows Server 2008 (全バージョン) Windows 7 (全バージョン)</p>
XPS コニカミノルタ製ドライバー (XPS ドライバー)	<p>· 32bit 版 Windows Vista (全バージョン) Windows Server 2008 (全バージョン) Windows 7 (全バージョン)</p>
	<p>· 64bit 版 Windows Vista (全バージョン) Windows Server 2008 (全バージョン) Windows Server 2008 R2(全バージョン) Windows 7 (全バージョン)</p>
PostScript PPD ドライバー (PS-PPD)	Mac OS 9.2 以降 Mac OS X 10.2/10.3/10.4/10.5/10.6
ファクスドライバー	<p>· 32bit 版 Windows NT4.0 (Service Pack 6a 以降) Windows 2000 Professional/Server (Service Pack 3 以降) Windows XP Home/Professional (Service Pack 2 以降) Windows Server 2003 Standard Windows Vista (全バージョン) Windows Server 2008 (全バージョン) Windows 7 (全バージョン)</p>
	<p>· 64bit 版 Windows XP Professional (Service Pack 2 以降) Windows Server 2003 Windows Vista (全バージョン) Windows Server 2008 (全バージョン) Windows 7 (全バージョン)</p>

項目	仕様
ユーティリティ	<p>PageScope Web Connection 対応 Web ブラウザー： Microsoft Internet Explorer Ver.6 以降推奨（JavaScript 有効・Cookie 有効） Internet Explorer Ver.5.5 の使用の場合、Microsoft XML parser MSXML3.X のインストールが必須 Netscape Navigator Ver.7.02 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） Mozilla Firefox Ver.1.0 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） Adobe® Flash®（表示形式で Flash を選択する場合、Ver.7.0 以降のプラグイン必須）</p>
MetaFrame 動作環境	<p>本ドライバーは以下の環境でのみ動作確認を実施しております。 Server OS : Windows 2000 Advanced server/ Windows 2003 Enterprise Server/Windows Server 2008 MetaFrame : Citrix® MetaFrame® Presentation Server 3.0 Citrix® MetaFrame® Presentation Server 4.0 Client OS : Windows 2000/Windows XP/Vista ICA Client : ICA32bit * 上記以外の構成での動作については販売会社にお問合せください。</p>

15.2 コンフィグレーションページ

KONICA MINOLTA 361			
Configuration Page			
<i>Print Operation Menu Map</i>		<i>Installed</i>	
Basic Setting			
Default Paper Size	= A4	Printer HDD	= Installed
Paper Tray	= Auto	System Memory	= 2048 [MByte]
Output Tray	= Standard Output Tray	ERDH Memory	= 320 [MByte]
Binding Position	= Left Binding	<i>Printer Information</i>	
Double-Sided	= Off	Installed Tray	
Staple	= Off	Tray 1	= A4
Hole-Punch	= Off	Tray 2	= A4
Orientation	= Portrait	Tray 3	= None
# of Sets	= 1	Tray 4	= None
No Matching Paper in Tray Setting	= Stop Printing (Tray Fixed)	LCT	= None
Spool Setting	= On	Option	
Convert	= Off	Duplex Unit	= Installed
PDL Setting	= Auto	Finisher	= Not Available
Banner Setting	= Disable	Punch Unit	= Not Available
Banner Paper Tray	= Auto	Fold Unit	= Not Available
PCL Setting			
Font Source	= I	Fax Unit	= Available
Font Number	= 0	Mailbin Unit	= Not Available
Font Point	= 12.00	<i>Firmware Version</i>	
Font Pitch	= 10.00	Printer Controller	= A0R50Y0-3000-D00-13
Symbol Set	= PC-8, Code Page 437	<i>Network</i>	
Line/Page	= 64 [Line / Page]	MAC Address	
CR/LF Mapping	= Off	MAC Address	= 00:50:AA:27:00:27
PS Setting			
Print Reports	= Disable	TCP/IP	
Text RGB Source	= 4	TCP/IP	= Enable
Text Destination Profile	= Auto	IP Address	= 10.11.32.98
Image RGB Source	= 4	Subnet Mask	= 255.255.240.0
Image Destination Profile	= Auto	Default Gateway	= 10.11.32.1
Graphics RGB Source	= 4	RAW Port 0	= 9100
Graphics Destination Profile	= Auto	RAW Port 1	= 9112
Simulation Profile	= None	RAW Port 2	= 9113
XPS Settings			
Verify XPS Digital Signature	= Disable	RAW Port 3	= 9114
Test Print		RAW Port 4	= 9115
Configuration		RAW Port 5	= 9116
PCL Font List		Netware	
PS Font List		Netware	= Disable
Demo Page		Appletalk	
I/F Setting			
Network Rx Timeout	= 60 [sec.]	Appletalk	= Enable
USB Timeout	= 60 [sec.]	SMB	
Print XPS Errors	= Enable	SMB	= Enable

15.3 フォントリスト

15.3.1 PCL フォントリスト

KONICA MINOLTA 361				
PCL Font List				P.1
Resident Fonts				
Font	Pitch/Point	Escape Sequence	Font #	Font ID
Courier	Scalable	<esc>(01X<esc>(s0p10h0s0b4099T	00000	
CG Times	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4101T	00001	
CG Times Bold	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4101T	00002	
<i>CG Times Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4101T	00003	
<i>CG Times Bold Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4101T	00004	
CG Omega	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4113T	00005	
CG Omega Bold	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4113T	00006	
<i>CG Omega Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4113T	00007	
<i>CG Omega Bold Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4113T	00008	
<i>Coronet</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4116T	00009	
Clarendon Condensed	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s3b4140T	00010	
Univers Medium	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4148T	00011	
Univers Bold	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4148T	00012	
<i>Univers Medium Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4148T	00013	
<i>Univers Bold Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4148T	00014	
Univers Condensed Medium	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s0b4148T	00015	
Univers Condensed Bold	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s3b4148T	00016	
<i>Univers Condensed Medium Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v5s0b4148T	00017	
<i>Univers Condensed Bold Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v5s3b4148T	00018	
Antique Olive	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4168T	00019	
Antique Olive Bold	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4168T	00020	
<i>Antique Olive Italic</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4168T	00021	
Garamond Antiqua	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4197T	00022	
Garamond Halbfett	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4197T	00023	
<i>Garamond Kursiv</i>	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4197T	00024	

15.3.2 PS フォントリスト

KONICA MINOLTA 361

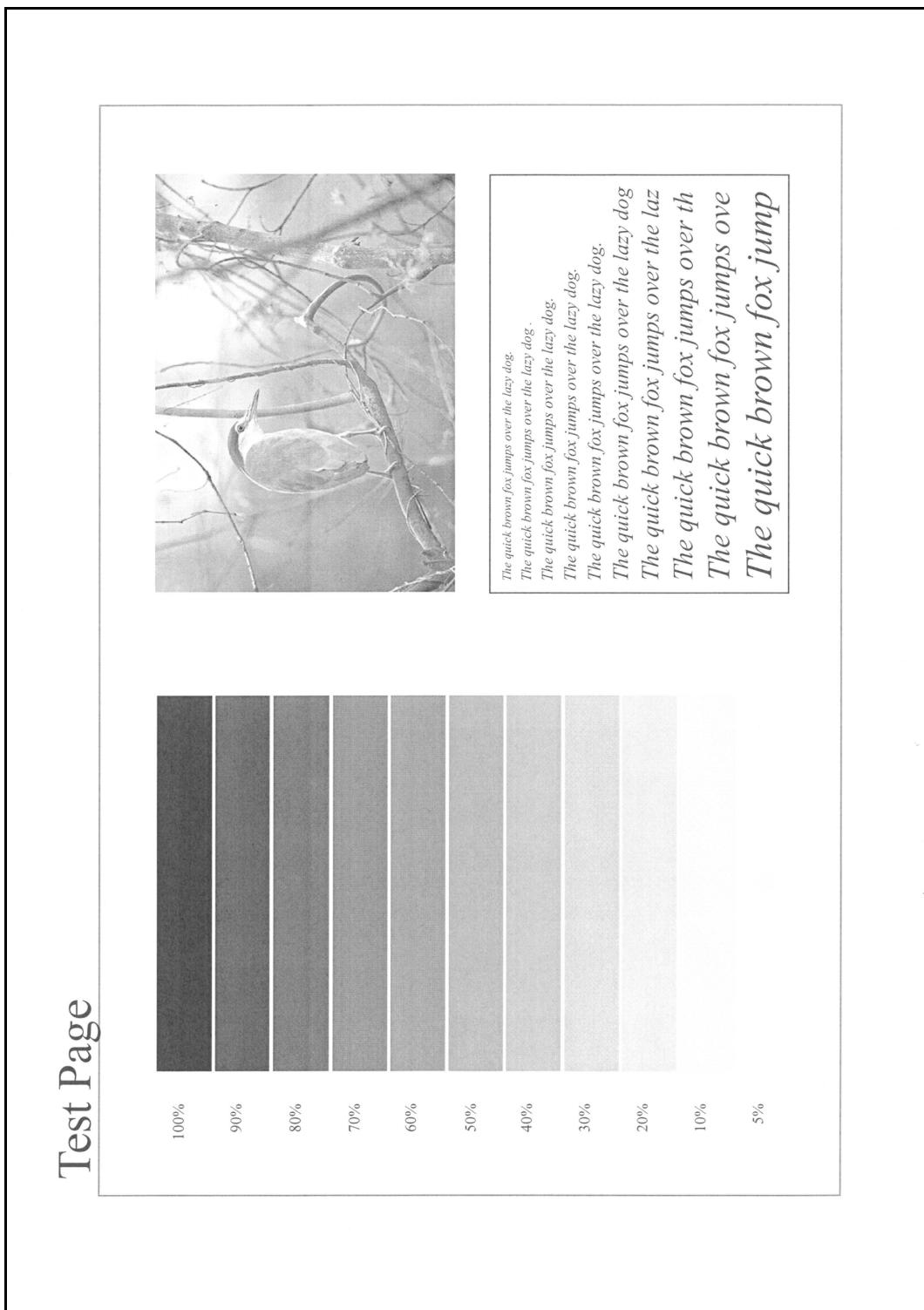
PS Font List

P.1

Resident Fonts

Font	Font #
Albertus MT	00000
<i>Albertus MT Italic</i>	00001
Albertus MT Light	00002
Antique Olive Roman	00003
<i>Antique Olive Italic</i>	00004
Antique Olive Bold	00005
Antique Olive Compact	00006
<i>Apple Chancery</i>	00007
Arial	00008
<i>Arial Italic</i>	00009
Arial Bold	00010
Arial Bold Italic	00011
ITC Avant Garde Gothic Book	00012
<i>ITC Avant Garde Gothic Book Oblique</i>	00013
ITC Avant Garde Gothic Demi	00014
<i>ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique</i>	00015
Bodoni Roman	00016
<i>Bodoni Italic</i>	00017
Bodoni Bold	00018
Bodoni Bold Italic	00019
Bodoni Poster	00020
Bodoni Poster Compressed	00021
ITC Bookman Light	00022
<i>ITC Bookman Light Italic</i>	00023
ITC Bookman Demi	00024
<i>ITC Bookman Demi Italic</i>	00025
Chicago	00026
Clarendon Roman	00027
Clarendon Bold	00028
	00029

15.3.3 デモページ



15.4 PPD ドライバー（Linux 用、アプリケーション用）

15.4.1 PPD ドライバーの種類

PPD ドライバーには、Mac OS9 用のほかに Linux 用とアプリケーション用の PPD 情報が含まれています。

- Linux 用 : Linux で使用する場合にインストール (Linux 用 PPD と OpenOffice 用 PPD が含まれています。)
- アプリケーション用 : PageMaker など PPD を必要とするアプリケーションを使用する場合にインストール

15.4.2 Linux 用 PPD ドライバーについて

動作条件

- 対応 OS : Red Hat Linux 9、SuSE Linux 8.2
- 対応 PostScript Level:3.0
- CUPS: 1.1.23、1.2.x

Linux 用 PPD の登録

- 1 PPD ファイルを CUPS の model ディレクトリへコピーします。
(主な Linux の場合は、/usr/share/cups/model)
- 2 CUPS 印刷システムの [Add Printer] で PPD を指定し、本機を追加します。

ひとこと

CUPS については、CUPS Web 管理 ページの [Help] を参照してください。

Linux 用 PPD の設定

CUPS 印刷システムの [Configure Printer] で機能を設定します。

OpenOffice 用 PPD の登録

- 1 CUPS 印刷システムの [Add Printer] で PPD を指定し、本機を追加します。
- 2 OpenOfficePrinterAdministrator ツールを開きます。
- 3 [New Printer] をクリックします。
- 4 「Choose a device type」画面で「add a printer」を選択し、[Next] をクリックします。
- 5 「Choose a driver」画面で [import] をクリックします。
- 6 「KONICA MINOLTA 501/421/361 PPD」を選択して [OK] をクリックします。
- 7 「Please Select a Suitable driver.」一覧で「KONICA MINOLTA 501/421/361 PPD」を選択し、[Next] をクリックします。

8

「Choose a command line」画面で CUPS に登録したプリンターを選択し、[Next] をクリックします。

9

[Finish] をクリックします。

OpenOffice での印刷方法

1

OpenOffice の File-Print を開きます。

2

「Printer name」で「KONICA MINOLTA 501/421/361 PPD」を選択します。

3

[Properties] をクリックします。

4

「Page size」を指定し、[OK] をクリックします。
Page Size 以外の項目は、CUPS の [Configure Printer] で設定します。

5

OpenOffice の Print ダイアログの [OK] をクリックし、印刷します。

15.4.3 アプリケーション用 PPD ドライバーについて

PPD の登録先（例：PageMaker）

- PageMaker6.0 の場合
PPD ファイルを PageMaker がインストールされているフォルダ下の RSRC\PPD4 にコピーします。
- PageMaker6.5/7.0 の場合
PPD ファイルを PageMaker がインストールされているフォルダ下の RSRC\<Language>\PPD4 にコピーします。

印刷方法

1

[ファイル] - [プリント] を選択します。

2

プリントダイアログ内の「形式」コンボボックスで、本機を選択します。

3

「用紙設定」や「プリンタ特性」でプリンタに応じた設定を行います。

4

「印刷」ボタンをクリックし、印刷を行います。

15.5 BMLinkS 統合プリンタードライバー

本機は、BMLinkS 対応オフィス機器となっており、BMLinkS 統合プリンタードライバーが使用できます。

15.5.1 仕様とプリンタードライバーの入手方法

対応している仕様は「BMLinkS 2007」です。

「BMLinkS 2007」に対応した統合プリンタードライバーを、BMLinkS のサイトからダウンロードしてご利用ください。

15.5.2 印刷する

1

アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから [印刷]（または [プリント]）をクリックします。

2

[プリンタ名]（または [プリンタの選択]）で BMLinkS 統合プリンタードライバー名が選択されているか確認します。

3

印刷するページ範囲や部数を設定して [印刷] をクリックします。

BMLinkS 統合プリンタードライバーが起動し、自動的に BMLinkS 対応機器を検索します。

4

[プリントサービス:] から本機を選択します。

5

必要に応じて設定を変更し、[印刷実行] をクリックします。

[セキュリティー印刷] に設定するときは、[機密印刷を行う] の項目を設定してください。



BMLinkS 統合プリンタードライバーで [機密印刷を行う]（セキュリティー印刷）を設定して印刷すると、印刷ジョブは、[セキュリティー文書ボックス] に保存されます。印刷するには、[ID]（機密印刷の [ユーザーID]）と [パスワード]（機密印刷の [開始キー]）を入力する必要があります。[セキュリティー文書ボックス] から印刷ジョブを印刷する方法は、[11-5 ページ](#)をごらんください。[セキュリティー文書ボックス] に保存した印刷ジョブを印刷するとき、[倍率]、[集約] キーを選択できません。



- ・ BMLinkS 統合プリンタードライバーからの印刷を利用するには、本機の [BMLinkS 設定] を有効にしておく必要があります。詳しくは、[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編] をごらんください。
- ・ 本機で [ユーザー認証]、[部門管理] を有効に設定している場合、BMLinkS 統合プリンタードライバーから印刷を行うには、本機で [認証指定なし印刷] で [許可] を選択する必要があります。認証指定なし印刷については、[12-35 ページ](#)をごらんください。



BMLinkS 統合プリンタードライバーの対応 OS やインストール方法、使用方法については、BMLinkS のサイトからダウンロードできるマニュアルをごらんください。

15.6 用語集

	用語	説明
記号・アルファベット	10BASE-T/ 100BASE-TX/ 1000BASE-T	Ethernet の規格における仕様の一種。 銅でできた線材を 2 本ずつ組み合わせたケーブルを使っている。 通信速度は 10Base-T が 10Mbps、100Base-TX が 100Mbps、 1000Base-T は 1000Mbps である。
	Adobe® Flash®	Adobe Systems 社（旧 Macromedia 社）の開発した、ベクターグラフィックのアニメーションや音声を組み合わせたコンテンツを作成するソフト、またはそのファイル形式。キーボードやマウスからの入力により、双方向性を持たせたコンテンツを扱える。ファイル容量を比較的小さく抑えることができ、ウェブブラウザーに専用のプラグインを導入して閲覧できる。
	AppleTalk	Apple 社が開発したネットワーク機能を実現するプロトコル群の総称。
	bit	Binary Digit の略。コンピューターやプリンターなどが扱う情報（データ量）の最小単位。0 か 1 かでデータを表す。
	BMLinkS	Business Machine Linkage Service の略。社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMIA) が策定した統合的なネットワーク OA 機器インターフェースのこと。
	BMP	Bitmap の略。画像データを保存するファイル形式の 1 つ（拡張子は .bmp）。 Windows 上で一般的に使用されている。白黒（2 値）の画像からフルカラー（1677 万 7216 色）までの色数を指定できる。基本的には圧縮せずに画像を保存する。
	Bonjour	ネットワーク上に接続しているデバイスを自動的に検出し、設定を行う、Mac のネットワーク技術。以前は Rendezvous と呼ばれていたが、Mac OS X v10.4 から Bonjour と名称変更された。
	BOOTP	BOOTstrap Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバーからネットワークに関する設定を自動的に読み込むプロトコル。ただし現在では BOOTP をベースとして一部改良した DHCP が主流になっている。
	Byte	コンピューターやプリンターなどが扱う情報（データ量）の単位。 1Byte=8bit で構成される。
	CMYK	Cyan（薄青）、Magenta（赤紫）、Yellow（黄）、Black（黒）の略。 カラー印刷で用いられるトナー／インクの色で、CMYK 4 色の配合比率を変化させて全ての色を表現する。
	Default Gateway	同一 LAN 上に存在しないコンピューターへアクセスする際に使用する「出入り口」の代表となるコンピューターやルーターなどの機器のこと。
	DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。 TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバーからネットワークに関する設定を自動的に読み込むプロトコル。 DHCP サーバーで DHCP クライアント用に IP アドレスを一括管理するだけで、アドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。
	DNS	Domain Name System の略。 ネットワーク環境において、ホスト名から対応する IP アドレスを取得できるようするシステムのこと。これによりユーザーは、憶えにくく、分かりにくい IP アドレスではなく、ホストの名前を指定してネットワーク上の他のコンピューターにアクセスできるようになる。
	DPI (dpi)	Dots Per Inch の略。プリンターやスキャナーなどで使われる解像度の単位。 1 インチを何個の点の集まりとして表現するかを表す。 この値が高いほど、より精細な表現が可能となる。
	FTP	File Transfer Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルのこと。
	HTTP	HyperText Transfer Protocol の略。Web サーバーとクライアント（Web ブラウザーなど）がデータを送受信するのに使われるプロトコル。文書に関連付けられている画像、音声、動画などのファイルを、表現形式などの情報を含めてやり取りできる。

	用語	説明
	IEEE802.1X	有線 LAN や無線 LAN で、ネットワークにアクセスする端末を認証するための規格。 IEEE802.1X に対応した LAN スイッチは、接続されたパソコンを認証し、正しい利用者であることを確認してから LAN への接続を許可する。
	IPP	Internet Printing Protocol の略。インターネットなどの TCP/IP ネットワークを通じて、印刷データの送受信や印刷機器の制御を行うプロトコルのこと。インターネットを通じて遠隔地のプリンターにデータを送って印刷することもできる。
	IPX	NetWare で利用されるプロトコルのひとつ。OSI 参照モデルのネットワーク層で動作する。
	IPX/SPX	Internetwork Packet exchange/Sequenced Packet exchange の略。Novell 社により開発された、NetWare 環境下で一般的に使用されるプロトコルのこと。
	IP アドレス	インターネット上で個々のネットワーク機器を識別する符号（アドレス）。現在広く普及している IPv4 (Internet Protocol version 4) は、4 つに区切られた 32 ビットの数値が使われ、192.168.1.10 のように表される。次世代の IPv6 (Internet Protocol version 6) では、128 ビットの IP アドレスが使われる。 コンピューターを始めとしてインターネットに接続した機器には、全て IP アドレスが割り振られる。
	LAN	Local Area Network の略。同一フロア、同一のビルないしは近隣のビル内などにあるコンピューター同士を接続したネットワークのこと。
	LPD	Line Printer Daemon の略。TCP/IP 上で動作する、プラットフォームに依存しない印刷プロトコル。もともと BSD UNIX 用に開発されたが、一般的なコンピューターでも使用されるようになり、今では標準的な印刷プロトコルとなっている。
	LPR/LPD	Line Printer Request/Line Printer Daemon の略。Windows NT 系、UNIX 系におけるネットワーク経由印刷の 1 種。TCP/IP を使って、Windows、UNIX からの印刷データをネットワーク上にあるプリンターに出力させることができる。
	MAC Address	Media Access Control address の略。各 Ethernet カード固有の ID 番号で、これを元にカード間のデータの送受信が行われる。48 ビットの数字で表現されており、前半の 24 ビットは IEEE が管理・割当てをしている各メーカーごとに固有な番号で、後半の 24 ビットはメーカーが一意にカードに割当てる番号である。
	NDPS	Novell Distributed Print Services の略。NDS 環境において高機能なプリントソリューションを提供する。NDPS をプリントサーバーとして利用することにより、希望するプリンターからの出力、新規プリンター導入時のドライバーの自動ダウンロードなど、プリンター利用に関する煩雑な管理環境を簡素化・自動化できるほか、ネットワーク・プリンターに関わる統合的な管理を行うことができる。
	NDS	Novell Directory Service の略。 ネットワーク上に存在するサーバーやプリンター、ユーザー情報などの共有資源、またそれらに対する個々のユーザーのアクセス権限などの情報を、階層構造で一元管理できる。
	NetBIOS	Network Basic Input Output System の略。 IBM 社によって開発された通信インターフェースのこと。
	NetBEUI	NetBIOS Extended User Interface の略。IBM 社が開発したネットワークプロトコル。コンピューターナー名を設定するだけで、小規模なネットワークを構築できる。
	NetWare	ノベル社が開発したネットワーク OS。 通信プロトコルに NetWare IPX/SPX を使用している。
	Nprinter/ Rprinter	Netware 環境下でプリントサーバーを使用する場合の、リモートプリンターサポートモジュールのこと。 Netware 3.x で Rprinter、Netware 4.x で Nprinter を使用する。
	OHP/OHT	OHP（オーバーヘッドプロジェクター）用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。

用語	説明
OS (オーエス)	Operating System の略。コンピューターのシステムを管理する基本ソフトウェア。Windows/MacOS/Unix もその中の 1 つ。
PDF	Portable Document Format の略。電子形式書類の 1 つ（拡張子は .pdf）。PostScript をベースとしたフォーマットで、Adobe Acrobat Reader という無料ソフトを使用して閲覧できる。
PDL	Page Description Language の略。ページプリンターで印刷するとき、プリンターにページ単位で印刷イメージを指示する言語。
PostScript	米 Adobe 社によって開発された、とくに高品質が要求される印刷処理で一般的に利用される代表的なページ記述言語のこと。
PPD	PostScript Printer Description の略。解像度や利用可能紙サイズ等、PostScript プリンターの機種固有の情報を記述したファイルのこと。
Proxy Server	Internet との接続において、各クライアントの代わりに外部との接続窓口となり、組織全体で効率的にセキュリティーを確保するために設置されるサーバーのこと。
PServer	Netware 環境下におけるプリントサーバーモジュールのこと。プリントジョブの監視、変更、休止、再開、および中止を行う。
Queue Name	ネットワーク印刷を行うときに、印刷を許可させる為に機器毎に設定する名称。
RIP	Raster Image Processor の略。PostScript 等のページ記述言語を用いて記述されたテキストデータを、画像イメージに展開する処理のこと。通常はプリンターに内蔵されている。
RGB	Red (赤)、Green (緑)、Blue (青) の略。モニタ等の色表現で用いられる原色で、RGB 3 色の輝度比率を変化させて全ての色を表現する。
Samba	SMB (Server Message Block) を利用して、UNIX システムの資源を Windows 環境から利用できるようにする、UNIX のサーバーソフトウェア。
SLP	Service Location Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のサービスの検索や、クライアントの自動設定などを可能にするプロトコルのこと。
SMB	Server Message Block の略。主に Windows 間でネットワークを通じてファイル共有やプリンター共有を実現するプロトコルのこと。
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol の略。電子メールを送信／転送するためのプロトコルのこと。
SNMP	Simple Network Management Protocol の略。TCP/IP を使ったネットワーク環境での管理プロトコルのこと。
SSDP	Simple Service Discovery Protocol の略。ネットワーク上の UPnP デバイスを検出するためのプロトコルのこと。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。インターネットにて使用されている事実上標準的なプロトコルのこと。個々のネットワーク機器を識別するために、IP アドレスを使用する。
TrueType	アウトラインフォントの一種。Apple 社と Microsoft 社によって開発され、Mac や Windows には標準で採用されている。ディスプレイ表示と印刷の両方に使用できる。
USB	Universal Serial Bus の略。コンピューターとマウスやプリンター等を接続するための汎用インターフェース規格のこと。
WINS	Windows Internet Name Service の略。Windows 環境で、コンピュータ名と IP アドレス変換を行うネームサーバーを呼び出すためのサービス。
XPS	XML Paper Specification の略。Microsoft 社が開発した電子形式書類の 1 つ。Windows Vista から採用されている。

	用語	説明
あ行	アウトラインフォント	文字の形を、直線や曲線による輪郭線で表したフォントのこと。 文字サイズが大きくなっても、ギザギザの無い画面表示と印刷ができる。
	アンインストール	インストールされているソフトウェアを削除すること。
	イーサネット(Ethernet)	LAN の伝送路に関する規格のこと。
	印刷ジョブ	PC から印刷機器に送信される印刷要求のこと。
	インストール	ハードウェア、OS、アプリケーション、プリンタードライバー等を、コンピューターのシステムに組み込むこと。
	ウェブブラウザー	Web ページを閲覧するためのソフトウェアのこと。 Internet Explorer や、Netscape Navigator などがある。
か行	解像度	画像や印刷物の細部を、どれだけ正確に再現できるかを表したもの。
	輝度	ディスプレイ等の画面の明るさのこと。
	キューネ	LPD/LPR 印刷のときに必要な論理プリンター名のこと。
	共有プリンター	ネットワーク上のサーバーに接続され、複数のコンピューターから使用可能のように設定されたプリンターのこと。
	クライアント	ネットワークを介して、サーバーが提供するサービスを利用する側のコンピューターのこと。
	グレースケール	黒から白への階調情報を使用して表現したモノクロ画像の表現形式のこと。
	ゲートウェイ	ネットワークとネットワークを接続するポイントとなるハードウェアやソフトウェアのこと。単に接続するだけでなく、接続先のネットワークに合わせて、データのフォーマット、アドレス、プロトコルなどを変換する。
さ行	サブネットマスク	TCP/IP ネットワークをいくつかの小さなネットワーク（サブネット）に区切るために用いる値。 IP アドレスの上位何ビットがネットワークアドレスであるかを識別するために使用する。
	スクリーンフォント	CRT などのモニタ上で、文字／記号を表示するためのフォント。
	スプール (Spool)	Simultaneous Peripheral Operation On-Line の略。 プリンター出力で、データを直接プリンターに送らず、一時的に別の場所に貯めておき、後でまとめてプリンターに送信すること。
た行	ドライバー	コンピューターと周辺機器の橋渡しをするソフトウェアのこと。
な行	認証 & プリント	ユーザー認証時にプリンタードライバーから送信したジョブを、本機の操作パネルでユーザー名とパスワードを入力することで、または本体と接続された認証装置に指または IC カードをかざすことでプリントできる機能。 認証装置を利用するときは、本機に認証装置を装着し、ユーザーごとに静脈または IC カードの ID を登録する必要がある。
は行	ハードディスク	データを保存するための大容量記憶装置。 電源を OFF しても、データが保持される。
	ピア・ツー・ピア	専用のサーバーを使うことなく、接続された機器同士が、相互に通信可能なネットワーク形態のこと。
	プラグアンドプレイ	周辺機器を PC に接続した時に、適切なドライバーが自動検索されて使用可能になる仕組みのこと。
	プリンタードライバー	コンピューターとプリンターの橋渡しをするソフトウェアのこと。
	プリンターバッファ	印刷ジョブのデータ処理のために、一時的に利用されるメモリ領域。
	プリントキュー	スプーラにおいて、発生したプリントジョブを記憶しておくソフトウェアシステム。
	フレームタイプ	Netware 環境において使用される通信形式の種類のこと。 同じフレームタイプ同士でなければ、通信する事が出来ない。
	プレビュー	印刷／スキャン処理前に、あらかじめ処理後のイメージを表示する機能のこと。
	プロトコル	コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と互いに通信するための規約のこと。

	用語	説明
	プロパティ	属性情報のこと。 プリンタードライバーを使用するときは、プロパティから様々な機能の設定を行う事ができる。 またファイルのプロパティでは、そのファイルの属性情報を確認する事ができる。
	ホスト名	ネットワーク上の機器を表す名前のこと。
ま行	メモリ	データを一時保存するための記憶装置のこと。 電源を OFF した時にデータが消去されるものと、消去されないものがある。
ら行	ローカルプリンター	コンピューターのパラレル／USB ポートに接続されたプリンターのこと。

第 16 章

索引

16.1 使用別索引	16-2
16.2 項目別索引	16-5

16.1 使用別索引

■ あ行

アンインストールする

プリンタードライバーのアンインストール 7-2, 7-5

印刷する

Mac OS 9.2 で印刷する	10-2
Mac で印刷する	9-2
Windows で印刷する	8-2
印刷できない	14-2
ウォーターマークを印刷する	8-12
オーバーレイを印刷する	8-12
確認印刷をする	11-2
時間を印刷する	8-12, 9-16
小冊子印刷をする	8-9, 9-11
セキュリティー印刷をする	11-5
設定したとおりに印刷できない	14-4
認証 & プリントで印刷する	11-22
日付を印刷する	8-12, 9-16
部門管理されている本機で印刷する	11-19
ページ番号を印刷する	8-12, 9-16
ヘッダー / フッターを印刷する	8-13, 9-16
ユーザー認証をして印刷する	11-17
両面印刷をする	8-9, 9-11

インストールする

OS 9.2 のインストール	5-15
OS X のインストール	5-2
インストーラによるインストール	3-3
プラグアンドプレイでインストール	4-10, 4-32
プリンタードライバーをインストール	3-3
プリンターの追加機能によるインストール	4-1

折り

折りを設定する

8-10

■ か行

確認する

印刷結果を確認してから残り部数を出力する

11-2

機密

機密文書を印刷する

11-5

■ さ行

削除する

プリンタードライバーのアンインストール

7-2, 7-5

作成する

オーバーレイ用のデータを作成する

8-12

ジョブ

ジョブを呼出す

11-3, 11-8, 11-15

ステープル

ステープルを設定する

8-10, 9-12

セキュリティー

セキュリティー印刷をする	11-5
セキュリティー文書を呼出す	11-8
ユーザー認証を設定する	11-17

設定する

PageScope Web Connection で設定する	13-2
印刷部数と印刷ページ	9-8
画像品質	9-20
画像品質タブ	8-16
カバーシート / OHP 用紙	9-14
カバーシート / 挿入紙タブ	8-11
基本設定タブ	8-7
給紙トレイ / 排紙トレイ	9-13
仕上げタブ	8-10
出力方法	9-8
スタンプ / ページ印字	9-16
スタンプ / ページ印字タブ	8-12
設定できない	14-4
その他タブ	8-17
プリンタードライバーの初期設定	8-3, 9-3, 10-3
プリンタードライバーの装置情報を設定する	8-3
プリンタ情報を設定する	9-3
ページ属性	9-7
ページ単位設定	9-15
レイアウト / 仕上げ	9-11
レイアウトタブ	8-9

■ た行**付ける**

OHP 合紙を付ける	8-11, 9-15
カバーシートを付ける	8-11, 9-14

登録する

カスタム用紙サイズを登録する	9-6
----------------	-----

■ な行**中とじ**

中とじを設定する	8-10
----------	------

中とじ / 折り

中とじ / 折りを設定する	9-12
---------------	------

入力する

管理者パスワードを入力する	12-27
---------------	-------

認証 & プリントで印刷する

11-22

認証する

認証 & プリントで印刷する	11-22
部門認証をする	11-19
ユーザー認証をする	11-17, 11-22

■ は行

パンチ

パンチを設定する 8-10, 9-12

表示する

管理者設定画面を表示する 12-27

プリンタードライバーのプロパティ画面を表示する 8-3

ユーザー設定画面を表示する 12-2

編集する

ウォーターマークを編集する 8-13

コピープロテクトを編集する 9-16

日付 / 時刻を編集する 8-15, 9-18

ページ番号を編集する 8-15, 9-18

ヘッダー / フッターを編集する 9-19

保存する

ボックスに保存する 11-12

16.2 項目別索引

Numerics

- 180°回転 8-9, 9-12
1枚集約 8-9

A

- AppleTalk 2-8, 5-4, 5-10, 5-15

B

- Bonjour 2-8, 2-9, 5-3, 5-9

C

- CR/LF マッピング 12-19

E

- Ethernet 1-7

I

- I/F タイムアウトの設定 12-36
IC カード 11-22
IC 認証装置 11-22
IPP 2-5, 2-8, 2-9, 3-3, 4-8, 4-16, 4-30, 5-7, 5-13
IPPS 2-5, 3-3, 4-8, 4-16, 4-30
IP アドレス 3-3

L

- Linux 15-9
LPD 4-2, 4-11, 4-26, 4-33, 5-11, 5-16
LPR .2-6, 2-8, 2-9, 4-2, 4-11, 4-26, 4-33, 5-6, 5-11, 5-16

M

- Macintosh 1-6, 5-1

N

- NetWare 2-9, 6-1

O

- OHP 合紙 8-11, 9-15, 10-7
OS 1-6
OS 9.2 5-15
OS X 10.2 5-2
OS X 10.3 5-2
OS X 10.4 5-2
OS X 10.5 5-2

P

- PageScope Web Connection 13-1, 13-2
PC-FAX 1-2
PCL 2-3
PCL ドライバー 2-3, 8-1
PCL フォントリスト 15-6
PDL 設定 12-3
Port9100 2-5, 3-3, 4-2, 4-11, 4-26
PostScript 2-3
PPD ドライバー 2-3, 15-9
PPD ファイル 5-15
PS エラー印刷 12-20
PS ドライバー 2-3, 8-1
PS フォントリスト 15-7

R

- Rendezvous 2-8, 5-9

S

- SMB 2-6, 4-5, 4-11, 4-29

U

- USB 1-7, 2-5, 4-10, 4-32

W

- Web サービス 4-19
Web サービスプリント 4-19
Web ブラウザー 13-2
Windows 1-6
Windows 2000 4-26
Windows 7 4-11
Windows NT 4.0 4-33
Windows Server 2003 4-2
Windows Server 2008 4-11
Windows Vista 4-11
Windows XP 4-2

X

- XPS 2-3
XPS エラー印刷 12-37
XPS デジタル署名検証 12-21
XPS ドライバー 8-1, 2-3

あ行

- アクセス方法 13-2
宛先登録 13-13, 13-18
アンインストール 7-2
暗号化ワード 8-4, 9-10, 12-41
一枚集約 9-11
一般設定 10-6

イメージコントローラー	1-2
印刷種類	8-9, 9-11, 10-7
印刷操作	8-2, 9-2, 10-2
印刷できない	14-2, 14-4
印刷濃度	10-7
印刷の流れ	1-3
印刷部数	12-4
印刷部数と印刷ページ	9-8
インストーラー	3-2, 3-3
インストール	3-3, 5-2, 5-15
インターフェース	1-7
ウォーターマーク	8-12
ウォーターマークの編集	8-13
裏カバー	8-11, 9-15, 10-7
エラーメッセージ	14-5
オーバーレイ印刷	8-12
オーバーレイ作成	8-12
オプション設定	9-3, 10-3
オペレーティングシステム	1-6
表カバー	8-11, 9-14, 10-7
折り	8-10, 10-7

か行

解像度	10-7
各種設定	12-1
拡大縮小	9-7, 10-5
拡大連写	9-11
確認印刷	8-8, 9-9, 10-7, 11-2
カスタムサイズ	9-6
カスタム用紙サイズ	9-6, 10-5
画像シフト	8-10, 9-12, 10-7
画像の向き	12-5
画像品質	9-20
画像品質タブ	8-16
カバーシート / OHP 合紙	9-14
カバーシート / 挿入紙タブ	8-11
管理者	13-10
管理者設定	12-27
管理者設定画面	12-27
基本設定タブ	8-7
給紙トレイ / 排紙トレイ	9-13
給紙トレイ	8-7, 9-13, 12-10
給紙トレイ設定	8-4
給紙元	10-6
共通項目	8-6, 9-5
クライアント	6-2
黒で印刷	8-16
原稿サイズ	8-7
原稿の向き	8-7
コピープロテクトの編集	8-14, 9-17
コンフィグレーションページ	15-5

さ行

仕上げタブ	8-10
-------	------

受信印刷出力設定	12-28
出力方法	8-8, 9-8, 9-9, 10-7
小冊子印刷	8-9, 9-11, 10-7
情報表示	13-11
章分け	8-9, 9-12
初期設定	8-3, 9-3, 10-3
初期設定タブ	8-4
ジョブ確認	13-12
ジョブ呼び出し	11-3, 11-8, 11-15
仕分け	8-8, 9-8, 10-7
シンボルセット	12-16
ズーム	8-7
スタンプ / ページ印字	9-16
スタンプ / ページ印字タブ	8-12
ステープル	8-10, 9-12, 10-7, 12-13
スプール設定	12-5
スマージング	9-20, 10-7, 8-16
製品仕様	15-2
セキュリティー	13-15
セキュリティー印刷	8-8, 9-9, 11-5
セキュリティー文書	11-8
セキュリティー文書アクセス方式	11-8, 11-10
セキュリティー文書削除	12-29
セキュリティー文書削除時間設定	12-30
セキュリティー文書ボックス	11-8
接続図	1-7
接続できるコンピューター	1-6
接続方法	2-5
設定項目詳細	8-7, 9-7, 10-5
設定できない	14-4
セットアップ	1-8
セットアップ方法	2-5, 2-6
操作パネル	1-4
装置オプション	8-4
装置情報タブ	8-3
ソート	8-8, 9-8
その他タブ	8-17

た行

ダイレクトプリント	13-13
蓄積解除	11-4
丁合い	9-8, 10-6
通常印刷	8-8, 9-9
デフォルト設定	8-5, 9-4, 10-4
デモページ	15-8
動作環境	1-6, 3-2, 13-2
登録ユーザー	13-9
とじしろ	8-9
トナー節約	8-16, 9-20
ドライバーパスワード暗号化設定	12-41
ドラフト印刷	8-16, 9-20
トラブルシューティング	14-1

な行

- 中じ 8-10
 中じ / 折り 9-12
 認証 & プリント 11-22
 認証 & プリントボックス 11-22
 認証指定なし印刷 12-35
 認証操作禁止機能 11-11
 ネットワーク 13-19
 ネットワークウィンドウ 4-19
 ネットワーク接続 . 1-8, 4-2, 4-5, 4-8, 4-11, 4-16, 4-19, 4-26, 4-29, 4-30, 4-33

は行

- 排紙トレイ 8-10, 9-13, 10-7
 排紙トレイ設定 12-29
 白紙抑制 8-9, 12-9
 パスワード 12-27
 パターン 8-16
 バナーシート給紙トレイ 12-14
 バナーシート設定 12-7
 パブリックユーザー 13-9
 パンチ 8-10, 9-12, 10-7, 12-14
 曜日 / 時刻 8-12, 8-15, 9-16
 曜日 / 時刻の編集 9-18
 開き方向 / とじ方向 8-9, 9-11, 10-7, 12-12
 開き方向 / とじ方向補正 12-8
 ファクスドライバー 2-4
 フォントサイズ 12-17
 フォント設定 8-16, 12-15
 フォントリスト 15-6
 部数 8-8, 9-8, 10-6
 不定形サイズ 8-7
 部門管理 9-9, 11-19
 部門管理設定 8-8
 プラグアンドプレイ 4-10, 4-32
 プリンター記述ファイル 5-15
 プリンターケーブル 1-7
 プリンター設定 13-17
 プリンタードライバー 2-3, 3-3
 プリンタードライバーの削除 7-5
 プリンターの選択 5-3, 5-9, 5-15
 プリンタ情報 9-3
 プリンタの追加 4-1, 4-2, 4-6, 4-8, 4-11, 4-13, 4-16, 4-20, 4-26, 4-29, 4-31, 4-33
 プリントデータキャプチャー 12-39
 プロパティ画面 8-3
 文書利用 11-8
 ページ 9-8, 10-6
 ページ属性 9-7, 10-5
 ページ単位設定 8-11, 9-15
 ページ番号 8-12, 9-16
 ページ番号の編集 8-15, 9-18
 ページ割り付け 10-6
 ページ割付 8-9, 10-7
 ヘッダー / フッター 8-13, 9-16

- ヘッダー／フッターの編集 9-19
 方向 9-7, 10-5
 ボックス 13-12, 13-16
 ボックス管理者 13-10
 ボックス保存 8-8, 9-9, 11-12
 ボックス保存 & 印刷 8-8, 9-9, 11-13

ま行

- メンテナンス 13-14

や行

- ユーザー設定 12-2
 ユーザー認証 8-8, 9-9, 11-17
 用語集 15-12
 用紙 10-5
 用紙サイズ 8-7, 9-7, 12-11
 用紙サイズ変換 12-6
 用紙種類 8-7, 9-13

ら行

- ライン / ページ 12-18
 両面印刷 8-9, 9-11, 10-7, 12-11
 レイアウト / 仕上げ 9-11
 レイアウトタブ 8-9
 レイアウト方向 10-6
 レイアウト (ページ割付) 10-6
 レポート出力 12-23
 ローカル接続 1-9, 4-10, 4-22, 4-32
 ログアウト 13-8
 ログイン 13-8

わ行

- 枠線 10-6

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》	
販売店名	<hr/>
電話番号	<hr/>
担当部門	<hr/>
担当者	<hr/>

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》	
TEL	<hr/>

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネスワールド株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

Copyright

2010 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC.

2010.3